

小阪合遺跡

—八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査—

〈昭和58年度 第2次調査・第3次調査報告書〉

1987年

(財)八尾市文化財調査研究会

（財）八尾市文化財調査研究会報告 1.1

「小阪台遺跡」 正 誤 表

誤

正

本文目次 11行	第3節 基本層序	第3節 基本層序
表目次 4行	25k地区SE10枠観察表	25k地区SE10木枠材観察表
図版目次 図版二十九	2、27m地区ピット列	2、27m地区ピット列1

誤

正

1P 21行	58年度事業	昭和58年度事業
5P 第2図	大具	大県
6P 12行	現長土面	現地表面
6P 13行	精度	精査
25P 9行	既往Ⅱ地区	既往A-Ⅱ地区
25P 21行	溝状	溝状遺構
35P 26行	東弓削遺跡出土	弓削遺跡出土
35P 註5	「東弓削遺跡」	「弓削遺跡」
281P 19行	東弓削遺跡	弓削遺跡

小 阪 合 遺 跡

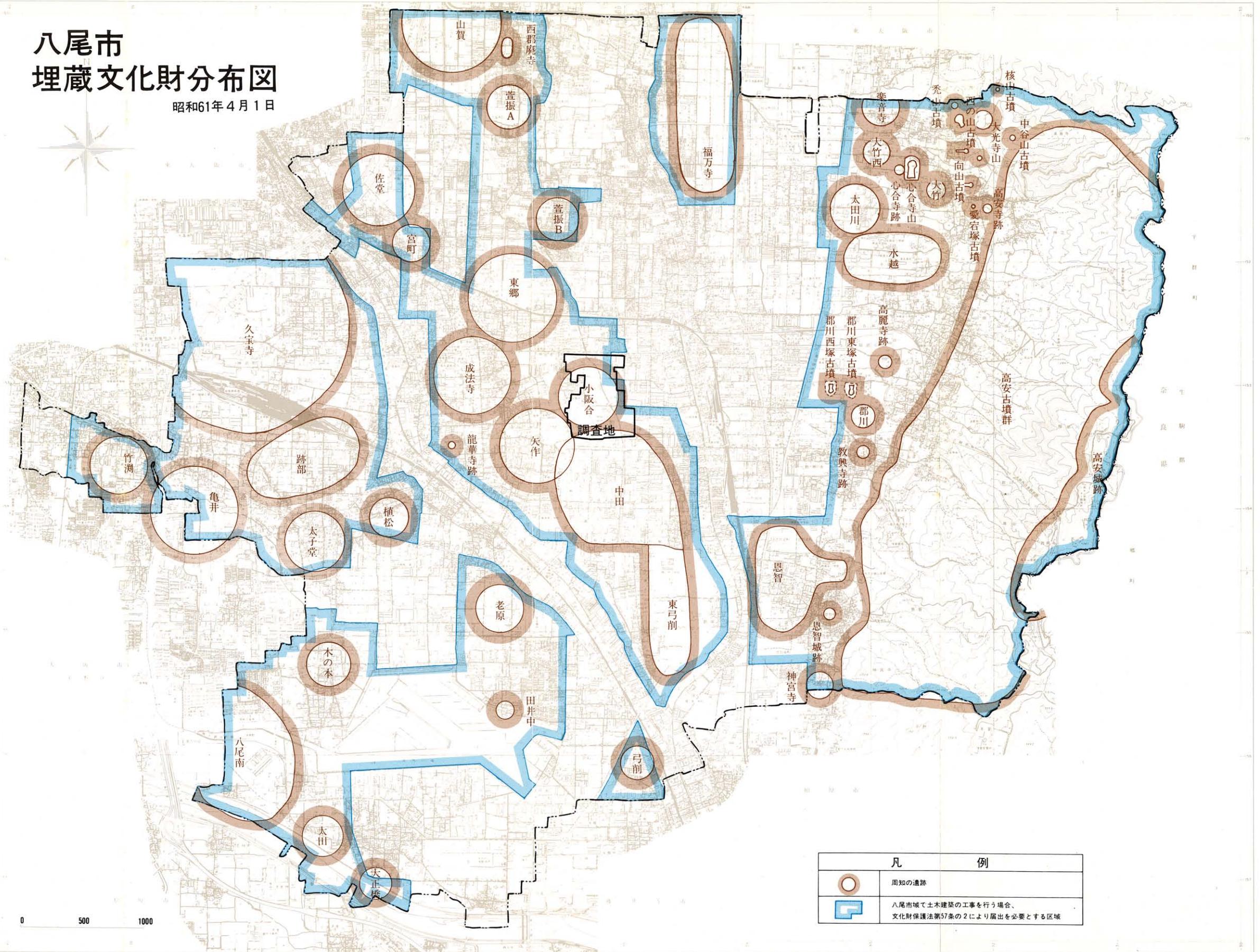
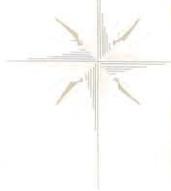
—八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査—
〈昭和58年度 第2次調査・第3次調査報告書〉

1987年

(財)八尾市文化財調査研究会

八尾市 埋蔵文化財分布図

昭和61年4月1日



序 文

八尾市は、河内平野の中央部よりやや南寄りに位置し、西に生駒山脈の景観をみる温暖で肥沃な土壤を有する地域であり、早くから人々が生活の場として住みはじめたところです。それらの先人が残した大切な遺構・遺物が多く存在しております。

今回の報告は、昭和58年度に実施した小阪合遺跡であります。この遺跡は、旧大和川の幾多の洪水等による氾濫で沖積された河内平野上に位置します弥生時代～中世に至る遺構・遺物が多量に検出しています。

当該地は、昭和57年度より実施してきました南小阪合土地区画整理事業に伴う区画街路・公共施設等の建設による発掘調査を行っています。今回が第2次調査と第3次調査の結果報告を刊行する運びとなりました。

ここに攻めて、事業者をはじめとし関係各位の文化財保護の立場から充分ご理解賜わり、ご協力いただきましたことを、ここに深甚なる感謝を申し上げます。

今後、この書が広く文化財保護にご活用いただければ、この上もない幸せに存じます。

今後共、当研究会に対して尚一層のご指導とご協力を伏してお願い申し上げます。

昭和62年3月

財団法人八尾市文化財調査研究会
理 事 長 山 脇 悅 司

例　　言

1. 本書は、八尾市南小阪合町・青山町・山本町南に所在する八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業(以下、南小阪合土地区画整理事業と略称する)に伴う昭和58年度第2次調査・第3次調査の報告書である。

1. 本書で報告する小阪合遺跡の発掘調査は、財団法人八尾市文化財調査研究会が八尾都市整備室南小阪合土地区画整理事務所の委託を受けて実施したものである。

1. 本書に要した費用は全て南小阪合土地区画整理事務所が負担した。

1. 本書の期間は、昭和58年6月22日～昭和58年7月14日までの第2次調査と昭和58年10月20日～昭和59年3月15日までの第3次調査である。なお、出土遺物の整理作業及び報文作成業務は、昭和60年度第5次調査終了後の昭和61年1月6日～昭和61年3月25日までである。

1. 本調査並びに本報告書に関係した者は下記のとおりである。

理事長　　山脇 悅司

事務局長　児玉生一(昭和58年7月1日～昭和61年3月31日)

市森管宣(昭和61年4月1日以降現在に至る)

事務員　　森本よしの

中谷暁子

調査員　　高萩千秋

1. 本調査の参加諸氏は、笛井伸彦・中野健太郎・山西嘉彦・柴田正明・米野茂幸・多田謙・香林浩道・嶋村友子・木曾直美・岩本多貴子・徳谷久美子・寺川恵子・北村教江・中村百合であり、内業整理は上記に加えて、徳谷貞正・西森忠幸・岡田清一・八元聰志・高井裕之・小倉弘恵・吉村幸子・杉本尚子・村田英子・村田圭子・中西隆子・横山真鶴の協力を得た。

1. 本調査に関わる土木工事は㈱東海アーナースが請負った。

1. 本書の執筆は高萩が担当したが、第5章出土遺物観察表は岩本が行った。

1. 本書の作成にあたり、遺物写真撮影は高萩、トレースは小倉・吉村・杉本が行った。

1. 全体の編集構成は、全員が共同で行った。

凡 例

1. 実測図の縮尺率は、遺構は1/60・1/80・1/100を基本とし、遺物は土器・埴輪等を1/4、石類を1/2、銅鏡・古錢を1/1、木製品を1/2・1/4、井戸の木枠を1/16に統一した。
1. 遺構実測図の方位は、全て真北を示している。
1. 遺構番号は、発掘調査時に付したそのままの番号で表した。
1. 遺物実測図は、断面の表示によって次のように分類した。弥生式土器・土師器・黒色土器・瓦・埴輪・石類一白、須恵器一黒、木製品一斜線で表した。
1. 本書掲載の地図は、国土地理院発行の1/25000・八尾市発行の1/2500・1/1000を使用した。
1. 本書で用いた高さの基準は東京湾の平均海面で、T Pと略して記載した。
1. 本調査に際しては、写真・実測図の他にカラースライドも多数作成している。市民の方々が、広く利用されることを希望する。

本文目次

八尾市埋蔵文化財分布図

序文

例言

凡例

第1章 調査に至る経過	1
第2章 地理・歴史的環境	3
第3章 第2次調査	6
第1節 調査の概要	6
第2節 調査の地区割	6
第3節 基本層序	6
第4節 調査の結果	8
第4章 第3次調査	11
第1節 調査の概要	11
第2節 調査の地区割	11
第3節 基本層序	12
第4節 調査地区の概要	23
第5節 調査の結果	27
I 弥生時代後期～古墳時代初頭の遺構・遺物（第3調査面）	27
II 古墳時代前期の遺構・遺物（第2・3調査面）	45
III 古墳時代中期の遺構・遺物（第2調査面）	86
IV 奈良時代～平安時代の遺構・遺物（第1・2調査面）	94
V 鎌倉時代～近世に至る遺構・遺物（第1調査面）	107
VI 遺物包含層出土遺物	114
第5章 遺物観察表	159
第6章 まとめ	279

挿 図 目 次

第1図 調査地位置図	2
第2図 弥生時代～古墳時代の遺跡分布図	5
第3図 第2次調査地地区割図	7
第4図 K地区西壁断面図	8
第5図 K地区遺構平面図	10
第6図 第3次調査地地区割図	13・14
第7図 24-1・24-2地区北壁断面図	15・16
第8図 25地区西壁断面図	17・18
第9図 26地区西壁断面図	17・18
第10図 27地区北壁断面図	19・20
第11図 28地区北壁断面図	21・22
第12図 第3次調査地第1調査面平面図	23
第13図 第3次調査地第2調査面平面図	24
第14図 第3次調査地第3調査面平面図	26
第15図 25b・c地区SK54出土遺物実測図	27
第16図 25c地区SK56出土遺物実測図	28
第17図 23n地区落ち込み27出土遺物実測図	29
第18図 25i地区と27n・o地区落ち込み28出土遺物実測図1	30
第19図 25i地区と27n・o地区落ち込み28出土遺物実測図2	31
第20図 25j・k地区落ち込み29出土遺物実測図	31
第21図 25l・m地区落ち込み30出土遺物実測図	32
第22図 24-1m地区SP135出土遺物実測図	33
第23図 27l地区SD321平断面図	35
第24図 27l地区SD321出土遺物実測図1	36
第25図 27l地区SD321出土遺物実測図2	37
第26図 27l地区SD321出土遺物実測図3	38
第27図 27l地区SD321出土遺物実測図4	39
第28図 27l地区SD321出土遺物実測図5	40
第29図 27l地区SD321出土遺物実測図6	41

第30図	27 1 地区 S D 321出土遺物実測図 7	42
第31図	27 1 地区 S D 321出土遺物実測図 8	43
第32図	27 1 地区 S D 321出土遺物実測図 9	44
第33図	24-1 1 地区 S K 52平断面図	46
第34図	24-1 1 地区 S K 53平断面図	46
第35図	26 a ~ c 地区落ち込み26出土土器平面図	47
第36図	26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図 1	48
第37図	26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図 2	49
第38図	26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図 3	50
第39図	26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図 4	51
第40図	25 c 地区 S W 1 出土銅鏡実測図	52
第41図	25 c 地区 S W 1 土器平面図	52
第42図	25 b 地区 S W 1 出土遺物実測図	53
第43図	24-1 j • k 地区 S D 308 • S D 309平断面図	54
第44図	24-1 k 地区 S D 309出土遺物実測図	55
第45図	24-1 n 地区 S D 310出土遺物実測図	55
第46図	24-1 n 地区 S D 310平断面図	55
第47図	25 i 地区 S D 314平断面図	57
第48図	28 n 地区 S D 315土器平面図	57
第49図	25 i 地区 S D 314出土遺物実測図 1	58
第50図	25 i 地区 S D 314出土遺物実測図 2	59
第51図	25 i 地区 S D 314出土木製品実測図	60
第52図	28 n 地区 S D 315出土遺物実測図	61
第53図	28 n • o 地区 S D 316土器平面図	63
第54図	28 n • o 地区 S D 316出土遺物実測図 1	64
第55図	28 n • o 地区 S D 316出土遺物実測図 2	65
第56図	28 n • o 地区 S D 316出土遺物実測図 3	66
第57図	28 n • o 地区 S D 316出土遺物実測図 4	67
第58図	28 n • o 地区 S D 316出土遺物実測図 5	68
第59図	28 n • o 地区 S D 316出土遺物実測図 6	69
第60図	28 n • o 地区 S D 316出土遺物実測図 7	70
第61図	28 n • o 地区 S D 316出土遺物実測図 8	71

第62図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図 9	72
第63図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図10	73
第64図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図11	74
第65図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図12	75
第66図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図13	76
第67図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図14	77
第68図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図15	78
第69図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図16	79
第70図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図17	80
第71図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図18	81
第72図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図19	82
第73図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図20	83
第74図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図21	84
第75図	28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図22	85
第76図	24-1 o 地区 S D 318出土遺物実測図	85
第77図	25 f 地区落ち込み16小石集積土坑平面図	87
第78図	25 e・f 地区落ち込み16平面図	87
第79図	25 e・f 地区落ち込み16出土遺物実測図	88
第80図	25 e・f 地区落ち込み16出土サヌカイト剝片実測図	88
第81図	28 a～c 地区落ち込み19出土遺物実測図	89
第82図	28 a～c 地区落ち込み19出土サヌカイト剝片実測図	89
第83図	28 j～m地区落ち込み24出土遺物実測図	91
第84図	24-2 a 地区 S D 303平断面図	92
第85図	24-2 a 地区 S D 303出土遺物実測図	93
第86図	25 k 地区 S E 10平断面図	94
第87図	25 k 地区 S E 10出土遺物実測図	95
第88図	25 k 地区 S E 10木枠実測図 1	97
第89図	25 k 地区 S E 10木枠実測図 2	98
第90図	25 k 地区 S E 10木枠実測図 3	99
第91図	28 p 地区 S E 9 平面図	100
第92図	28 p 地区 S E 9 出土遺物実測図	100
第93図	27m・n 地区ピット列 1 平断面図	101

第94図	28 o・p 地区ピット列2平面図	101
第95図	25 k 地区 S P 85・28 n 地区 S P 108・S P 113柱根平断面図	102
第96図	28 n 地区 S P 115出土遺物実測図	104
第97図	28 o 地区 S D 288出土遺物実測図	104
第98図	25 b 地区河川3出土木製品鋤実測図	106
第99図	24-1地区・25地区遺物包含層出土サヌカイト剝片実測図	117
第100図	25地区・27地区遺物包含層出土サヌカイト剝片実測図	118
第101図	28地区遺物包含層出土サヌカイト剝片実測図	119
第102図	22地区・24-1地区遺物包含層出土遺物実測図	120
第103図	24-1地区遺物包含層出土遺物実測図1	121
第104図	24-1地区遺物包含層出土遺物実測図2	122
第105図	24-2地区・25地区遺物包含層出土遺物実測図	123
第106図	25地区・26地区・27地区遺物包含層出土遺物実測図	124
第107図	28地区遺物包含層出土遺物実測図	125
第108図	22 o～q地区遺構平面図	126
第109図	23 a～d・1～n地区第1調査面遺構平面図	127・128
第110図	24-1地区第1調査面遺構平面図	129・130
第111図	24-1地区第2調査面遺構平面図	131・132
第112図	24-1地区第3調査面遺構平面図	133・134
第113図	24-2地区第1調査面遺構平面図	135・136
第114図	24-2地区第2調査面遺構平面図	137・138
第115図	25 b～m地区第1調査面遺構平面図	139・140
第116図	25 b～m地区第2調査面遺構平面図	141・142
第117図	25 b～m地区第3調査面遺構平面図	143・144
第118図	26地区第1調査面遺構平面図	145・146
第119図	26地区第2調査面遺構平面図	147・148
第120図	27地区第1調査面遺構平面図	149・150
第121図	27地区第2調査面遺構平面図	151・152
第122図	27地区第3調査面遺構平面図	153・154
第123図	28 a～p地区第1調査面遺構平面図	155・156
第124図	28 a～p地区第2調査面遺構平面図	157・158

表 目 次

第1表	弥生時代後期のピット一覧表	32
第2表	古墳時代前期のピット一覧表	51
第3表	25k地区S E 10枠観察表	96・97
第4表	古墳時代中期～奈良時代のピット一覧表	102～104
第5表	中世以降のピット一覧表	109
第6表	中世～近世の溝一覧表	109～113
第7表	サヌカイト剝片一覧表	116

写 真 插 図

写真1	25c地区S W 1銅鏡	52
写真2	28n地区S D 288古錢	104

図 版 目 次

図版一	1. K-I地区全景（南より） 2. K-II地区全景（南より）
図版二	1. K-III地区全景（北より） 2. K-IV地区全景（東より）
図版三	1. 22o～q地区第1調査面（東より） 2. 22o～q地区第2・3調査面（東より）
図版四	1. 23a～d地区第1調査面（北より） 2. 23l～n地区第2・3調査面（南より）
図版五	1. 24-1a～d地区第1調査面（西より） 2. 24-1e～j地区第1調査面（西より）
図版六	1. 24-1k～o地区第1調査面（東より） 2. 24-1a～g地区第2調査面（西より）

- 図版七 1. 24-1 m～o 地区第2調査面（東より）
2. 24-1 k～o 地区第3調査面（東より）
- 図版八 1. 24-1 l 地区SK52（北東より）
2. 24-1 l 地区SK53（北東より）
- 図版九 1. 24-1 j・k 地区SD308・SD309（東より）
2. 24-1 j 地区木製品出土状況（北より）
- 図版十 1. 24-1 n 地区SD310（南より）
2. 24-1 n 地区SD310土器出土状況（南より）
- 図版十一 1. 24-2 a～d 地区第1調査面（東より）
2. 24-2 a 地区SD303（東より）
- 図版十二 1. 24-2 b～d 地区第2調査面（東より）
2. 25 b～e 地区第1調査面（南より）
- 図版十三 1. 25 e～i 地区第1調査面（南より）
2. 25 j～m 地区第1調査面（北より）
- 図版十四 1. 25 b～e 地区第2・3調査面（南より）
2. 25 f～i 地区第2調査面（北より）
- 図版十五 1. 25 j～m 地区第2調査面（北より）
2. 25 k 地区SE10（東より）
- 図版十六 1. 25 k 地区SE10底部（上より）
2. 25 k 地区SE10（東より）
- 図版十七 1. 25 j 地区ピット検出状況（南東より）
2. 25 l 地区SP85柱根（東より）
- 図版十八 1. 25 f 地区落ち込み16（北より）
2. 25 f 地区落ち込み16小石集積（西より）
- 図版十九 1. 25 c 地区SW1土器出土状況（北より）
2. 25 c 地区SW1銅鏡出土状況（東より）
- 図版二十 1. 25 c・d 地区SD311・SD312（西より）
2. 25 h 地区SD313（南西より）
- 図版二十一 1. 25 i 地区SD314（西より）
2. 25 i 地区SD314鼓形土器出土状況（西より）
- 図版二十二 1. 25 b～d 地区第3調査面（南より）
2. 25 e～i 地区第3調査面（南より）

- 図版二十三 1. 25 i ~m地区第3調査面（北より）
2. 25 i 地区落ち込み28土器出土状況（南より）
- 図版二十四 1. 26 a ~ d 地区第1調査面（南より）
2. 26 e ~ h 地区第1調査面（北より）
- 図版二十五 1. 26 a ~ d 地区第2調査面（南より）
2. 26 e ~ h 地区第2調査面（北より）
- 図版二十六 1. 26 b 地区落ち込み26土器出土状況（東より）
2. 26 c 地区落ち込み26土器出土状況（南より）
- 図版二十七 1. 27 a ~ d 地区第1調査面（西より）
2. 27 e ~ i 地区第1調査面（西より）
- 図版二十八 1. 27 j ~ n 地区第1調査面（東より）
2. 27 a ~ d 地区第2調査面（西より）
- 図版二十九 1. 27 j ~ n 地区第2調査面（東より）
2. 27m地区ピット列（南東より）
- 図版三十 1. 27 j ~ n 地区第3調査面（東より）
2. 27 l 地区 S D 321土器出土状況（西より）
- 図版三十一 1. 28 a ~ d 地区第1調査面（西より）
2. 28 j ~ q 地区第1調査面（西より）
- 図版三十二 1. 28 a 地区 S E 9完掘（西より）
2. 28 q 地区 S E 9曲物（西より）
- 図版三十三 1. 28 o 地区 S P 108柱根検出状況（北より）
2. 28 o 地区 S P 113柱根検出状況（北より）
- 図版三十四 1. 28 p • q 地区ピット列2（北より）
2. 28 a ~ d 地区第2調査面（西より）
- 図版三十五 1. 28 e ~ i 地区第2調査面（西より）
2. 28 b 地区落ち込み19自然木検出状況（南より）
- 図版三十六 1. 28 b 地区落ち込み19自然木検出状況（南より）
2. 28 c 地区落ち込み19溝（南より）
- 図版三十七 1. 28 d 地区落ち込み20（南より）
2. 28 n • o 地区 S D 316上層土器出土状況（北より）
- 図版三十八 1. 28 n • o 地区 S D 316下層土器出土状況（西より）
2. 28 n • o 地区 S D 316拡張部土器出土状況（西より）

- 図版三十九 1. 28n・o地区 S D316南拡張部土器出土状況（北東より）
2. 28n・o地区 S D316北拡張部土器出土状況（南より）
- 図版四十 出土遺物 25i地区落ち込み28
- 図版四十一 出土遺物 25j地区落ち込み29 38~42 落ち込み30 49
24-1m地区 S P 135 54・56
- 図版四十二 出土遺物 27l地区 S D321
- 図版四十三 出土遺物 27l地区 S D321
- 図版四十四 出土遺物 27l地区 S D321
- 図版四十五 出土遺物 27l地区 S D321
- 図版四十六 出土遺物 27l地区 S D321
- 図版四十七 出土遺物 27l地区 S D321
- 図版四十八 出土遺物 27l地区 S D321
- 図版四十九 出土遺物 27l地区 S D321 230・240
26a~c地区落ち込み26 243・245・250・258
- 図版五十 出土遺物 26a~c地区落ち込み26
- 図版五十一 出土遺物 26a~c地区落ち込み26 280・287・291・302~304
25c地区 S W 1 310・311
- 図版五十二 出土遺物 25c地区 S W 1 320・322・323・328 24-1k地区
S D309 329 24-1n地区 S D310 330
- 図版五十三 出土遺物 25i地区 S D314
- 図版五十四 出土遺物 25i地区 S D314 338・340 28n地区 S D315 349~352
28n・o地区 S D316 359
- 図版五十五 出土遺物 28n・o地区 S D316
- 図版五十六 出土遺物 28n・o地区 S D316
- 図版五十七 出土遺物 28n・o地区 S D316
- 図版五十八 出土遺物 28n・o地区 S D316
- 図版五十九 出土遺物 28n・o地区 S D316
- 図版六十 出土遺物 28n・o地区 S D316
- 図版六十一 出土遺物 28n・o地区 S D316
- 図版六十二 出土遺物 28n・o地区 S D316
- 図版六十三 出土遺物 28n・o地区 S D316
- 図版六十四 出土遺物 28n・o地区 S D316

- 図版六十五 出土遺物 28 n・o 地区 S D 316
- 図版六十六 出土遺物 28 n・o 地区 S D 316
- 図版六十七 出土遺物 28 n・o 地区 S D 316
- 図版六十八 出土遺物 28 n・o 地区 S D 316
- 図版六十九 出土遺物 28 n・o 地区 S D 316
- 図版七十 出土遺物 28 n・o 地区 S D 316
- 図版七十一 出土遺物 28 n・o 地区 S D 316
- 図版七十二 出土遺物 28 n・o 地区 S D 316
- 図版七十三 出土遺物 28 n・o 地区 S D 316
- 図版七十四 出土遺物 28 n・o 地区 S D 316
- 図版七十五 出土遺物 24-2 a 地区 S D 303
- 図版七十六 出土遺物 25 k 地区 S E 10 846~850 28 p 地区 S E 9 852・853
28 o 地区 S D 288 857・858
- 図版七十七 出土遺物（サヌカイト剝片） 22地区包含層 859 24-1 地区 860~862
24-2 地区包含層 863 25地区包含層 864~867
- 図版七十八 出土遺物（サヌカイト剝片） 25地区包含層 868~873
27地区包含層 874 28地区包含層 875・876
- 図版七十九 出土遺物 24-1 地区包含層
- 図版八十 出土遺物 24-1 地区包含層 914~918 24-2 地区包含層 927・928
25地区包含層 929
- 図版八十一 出土遺物 25地区包含層 933・936・949 26地区包含層 953・954
27地区包含層 957~959 28地区包含層 976
- 図版八十二 出土遺物（木製品） 25 i 地区 S D 314 1001・1002 25 b 地区河川 3 1018
(鋤)
- 図版八十三 出土遺物（木製品） 25 k 地区 S E 10 1003（木札） 1004・1005（井戸の木枠材）
- 図版八十四 出土遺物（木製品） 25 k 地区 S E 10（井戸の木枠材）
- 図版八十五 出土遺物（木製品） 25 k 地区 S E 10（井戸の木枠材）
- 図版八十六 出土遺物（木製品） 25 k 地区 S E 10（井戸の木枠材）
- 図版八十七 出土遺物（木製品） 25 k 地区 S E 10（井戸の木枠材）

第1章 調査に至る経過

小阪合遺跡は、八尾市南小阪合町・青山町・若草町一帯に所在する弥生時代～中世に至る複合遺跡である。調査は八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業（以下、区画整理事業と略称する）に伴う発掘調査を昭和57年度より実施しており、既に昭和57年10月25日～昭和58年3月25日までの調査期間で実施した第1次調査の結果、古墳時代の遺構を中心として、各時代の遺構面が随處に検出され多大な成果をあげている。

今回の調査は、昭和58年度事業計画として行う発掘調査で、第2次調査と第3次調査の2回に分けて実施した。まず、第1次調査は、寝屋川流域（南部）下水道事業小阪合ポンプ場築造工事（この工事予定地内についての発掘調査は、大阪府教育委員会が実施している）の予定地内に楠根川の縦断と農業用水路の横断があり、外部への切換工事を行わなければならない。この仮設工事については八尾市が実施することとなり、事業者である区画整理事務所は仮設工事をする旨の計画書を八尾市教育委員会文化財室に提出した。これに基づき、区画整理事務所、八尾市教育委員会、財団法人八尾市文化財調査研究会（以下、当研究会と略称する）の三者間で協議を重ねた。その結果、調査方法として、農業用水路切換に伴う工事は掘削深度が浅く埋没した遺跡に影響を来さない為、立会調査を実施し、楠根川切換に伴う工事については掘削深度がやや深い為、工事によって破壊される部分まで全面発掘調査が必要であると判断され、これについての調査を八尾市教育委員会の指導の基で、当研究会が実施することとなった。当研究会は、協定に基づく三者契約を締結し、昭和58年6月12日工事委託業社の入札、同年6月22日現地発掘調査に着手し、同年7月14日に第2次調査を終了した。

そして、第3次調査は58年度事業として分割した当該計画地である幹線街路・区画街路等の予定地についての調査である。今年度事業は区画整理事務所の計画地として、青山町4丁目に所存する第1次調査地の南部に位置する区画街路（22号線の一部・23号線の一部・24-1号線・24-2号線・25号線・26号線・27号線・28号線）予定地の調査箇所の指定があり、この旨の計画書を文化財室に提出し、計画書に基づいて、区画整理事務所・文化財室・当研究会の三者間で再度協議を行い、協定に基づく三者契約を締結し、昭和58年10月5日工事委託業社の入札、同年10月25日現地発掘調査に着手した。しかし、調査期間中には民有地の補償や農地の水利等の問題による調査地の縮少・遺跡の埋没深度・遺構の検出と多量の遺物の出土による調査地の一部拡張・調査期間の延長などにより、数回にわたり契約変更を重ねながら、昭和59年3月25日現地に於ける調査を終了した。なお、現地に於いて、調査成果の一般への啓蒙をはかる為、新聞発表を行い、昭和59年2月18日に現地説明会を開催した。

内業整理については、昭和60年度事業として実施した第6次調査の発掘調査終了後、引き続いて、昭和61年1月6日～同年3月25日までの期間を内業整理業務とし、新たな協定に基づく三者契約を締結し、第2次調査・第3次調査の調査成果の報告書作成作業に勤しむ。報告書は、昭和62年事業として第2次調査・第3次調査報告を刊行した。



第1図 調査地位置図

第2章 遺跡の地理・歴史的環境

小阪合遺跡は、行政区画した八尾市の中南部に位置する南小阪合町・青山町・若草町の一帯に所存する弥生時代後期から中世に至る複合遺跡である。

既往報告では河内平野とその周辺地域の地理・歴史的環境について論述したので、今回は当遺跡や隣接する周辺遺跡で最も検出の多い時期である弥生時代後期から古墳時代前期にかけての時期を中心に、簡単ではあるが論述していきたい。

弥生時代後期から古墳時代前期の時期は、「古墳の出現前夜」という歴史的・社会的な変遷があった時期で、現在、考古学会上に於いて論議が各地で繰広げられている。

さて、当遺跡の地形は旧大和川で主流である長瀬川と玉串川に挟まれた沖積地上に立地する。これと同一沖積地上の遺跡は、南に東弓削遺跡・中田遺跡、北に東郷遺跡・萱振遺跡、西に矢作遺跡・成法寺遺跡が隣接する遺跡としてあげられる。では、各遺跡の概略をしたい。

東弓削遺跡は長瀬川と玉串川の分岐点の接点に位置し、弥生時代中期から中世に至る遺跡である。弥生時代後期から古墳時代前期の遺構は自然河川の堆積土内から庄内式土器を出土しているが集落遺構は検出されていない。^{註1}

中田遺跡は当遺跡に接する南部に位置する。昭和47～49年度にかけて中田遺跡調査会が実施した曙川北区土地区画整理事業に伴う調査で、特に古墳時代前期の遺物が多量に出土している。^{註2}その後の八尾市教育委員会で実施された試掘調査や小規模な発掘調査でも土坑状の遺構から一括土器として多量に出土している。また、土器の中に他地方の形態や胎土をもつ土器が多く含まれていることが確認されている。近年、中田遺跡の南部で大阪府教育委員会が実施した下水道建設関係の調査で、下層で弥生時代中期の土坑と上層で古墳時代前期の方形周溝墓が検出さ^{註4}れている。

東郷遺跡は現在大阪線近鉄八尾駅前を中心広がる遺跡である。近年の駅前再開発によって今までのところ22箇所の小規模な発掘調査が実施され、古墳時代前期の堅穴式住居跡12棟・掘立柱建物6棟・井戸10基等の集落遺構が自然堤防を形成した微高地上で確認されている。また、この集落の南部と北部に位置する地点の調査では方形周溝墓8基・土坑墓・壺棺等の墓域^{註5}が検出され、居住域と墓域の構成が明らかにされつつある現状である。^{註6}

萱振遺跡は当遺跡の北部に位置し、現在の八尾市教育委員会の遺跡分布図で北部は萱振A、南部は萱振Bに区画されている。近年の調査では弥生時代中期から中世に至る遺跡であることが明らかになってきた。萱振Aに位置する府立高校の建設に伴う大規模な発掘調査で弥生時代から中世に至る遺構・遺物が検出されている。弥生時代後期の時期では掘立柱建物10棟以上・

井戸 1基等の集落遺構、古墳時代前期の方形周溝墓・方墳等の墓域が検出している。また萱振^{註7}Bに位置する府営住宅の建設に伴う発掘調査でも弥生時代から中世に至る遺構・遺物が検出されている。ここでは一括土器を出土した古墳時代前期の井戸 1基が検出されている。また、河内平野低平地での古墳時代後期の古墳 1基が検出される。^{註8}

矢作遺跡は古墳時代前期から中世に至る遺跡で、当遺跡に接する西部に位置する。近年のビル建設に伴う発掘調査で、古墳時代前期の遺構は変形四獸鏡と土器と一緒に出土した溝状遺構が検出されている。^{註9}

成法寺遺跡は弥生時代後期から中世に至る遺跡で、八尾市教育委員会が昭和55年度に実施したビル建設に伴う発掘調査で発見された遺跡である。弥生時代後期は土器溜め・土坑。古墳時代前期は方形周溝墓 4基・土坑等が古墳時代後期の建物跡遺構によって削平され検出されている。

これらは隣接する遺跡である。検出された弥生時代後期から古墳時代前期の遺構面は、現在の表土面（近年の盛土は除外している）の高さより0.4~0.7m下に埋没されている自然堤防の形成された微高地上に立地し、住居地域と墓域を構成する集落が連綿すると考えられる。

この沖積地は狭義でいう「河内平野」と称する。この河内平野の景観は弥生時代中期までは入江状になった河内湾があり、淀川・旧大和川などの河川によって運ばれてきた土砂の堆積や海水準変動による海水の低下などによって、河内湾の淡水化が進み、河内湾－河内潟－河内湖と移り変わっていったと言われている。当遺跡周辺もより陸地化し、安定化していったことと弥生時代より伝来した稻作文化が、豊富な水源と肥えた土壤と相まって稻作づくりの開墾が広がりによる分村的な集落が微高地上に広がっていったと考えられる。

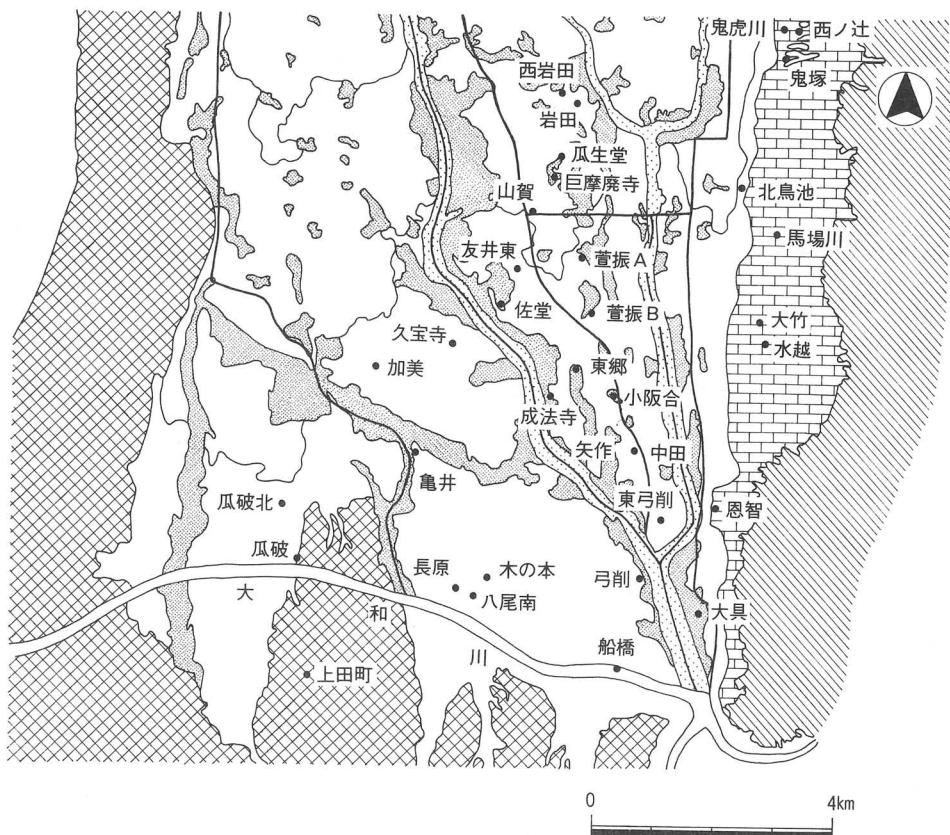
もう一つの要因は、これらの稻作文化の発展により人口の増加や生産力の拡大で、集落に貧富の差が起き、段級社会の出現より原始国家が形成され、支配する権力者により、古墳の発生する起源につながる時期にあたると言われている。

また、各遺跡の発掘調査から出土している弥生時代後期から古墳時代前期の遺物をみると、在地の土器と共に岡山県吉備地方の土器をはじめ、摂津・紀伊・和泉・大和・山陰・東海地方の形態や胎土をもつ土器が含まれている。これはこの地域の集落・集落集団が政治国家的な位置か、それとも文化や交易ルート等の交通の要衝としての役割をもつ位置を占めていたのではないかと考えられる。

以上、弥生時代後期から古墳時代前期の時期について簡単に述べてみたが、まだまだ不明瞭な点が多く、今後の発掘調査の資料や研究によって明らかにしていかなければならない。

註

- 註1 八尾市教育委員会「東弓削遺跡」八尾市文化財調査報告3 1975
註2 中田遺跡調査会「中田遺跡概要」 1973
註3 八尾市教育委員会「昭和53・54年度 埋蔵文化財発掘調査年報」八尾市文化財調査報告7 1981
註4 大阪府教育委員会「中田遺跡発掘調査概要」—柏原・八尾幹線下水管渠築造工事に伴う調査—1986
註5 八尾市教育委員会「八尾市埋蔵文化財調査概報」—1980・1981年度— 1983
註6 (財)八尾市文化財調査研究会「昭和60年度事業報告概要」(財)八尾市文化財調査研究会報告8 1986
註7 八尾市教育委員会「八尾市文化財紀要Ⅰ」『萱振遺跡調査速報』 1985
註8 大阪府教育委員会「萱振遺跡発掘調査概要Ⅰ」—八尾市緑ヶ丘2丁目所在— 1983
註9 八尾市教育委員会「現地説明会資料」 1986
註10 八尾市教育委員会「成法寺遺跡」—八尾市光南町1丁目29番地の調査— 1983



第2図 弥生時代～古墳時代の遺跡分布図

第3章 第2次調査

第1節 調査の概要

第2次調査の調査地は、区画整理事業区域内の北部に位置し、大阪府事業の寝屋川南部流域下水道事業南小阪合ポンプ場建設予定地内に楠根川と農業用水路が流れているため、これを建設予定地から除外しなければならないので、そこで今回計画されたのが青山町1丁目内の区画街路である9号線の一部・12号線の一部と1号公園の東辺に仮設する楠根川切換え工事（全長120m、幅6m）で面積約720m²と南小阪合1丁目内の区画街路である5—2号線、幹線街路である中央線の一部に仮設するA水路切換え工事（全長120m、幅1m）で面積約120m²の2箇所に仮設地が計画されたのである。

調査の方法は、前者が工事による掘削深度までの全面発掘調査である。後者は工事による掘削深度が浅いため立会調査としてそれぞれを実施した。楠根川切換え工事は工事の進行に平行して行った。掘削の方法は、現長土面より約0.3m（第2層床土の下面）までを機械掘削で排除し、以下は工事掘削深度までの土層を一葉ごとに人力掘削・精度を行い、遺構・遺物の検出に努め、写真撮影・実測図の作成等の記録保存を実施した。

一方、立会調査は、掘削深度が約0.3mと比較的浅い工事である為、掘削工事に際して、平面・断面の観察を行い、部分的に写真撮影等の記録保存を実施した。なお、立会調査に於ける報告は遺構・遺物の検出がなかったので、ここでは報告を作成しなかった。

第2節 調査の地区割

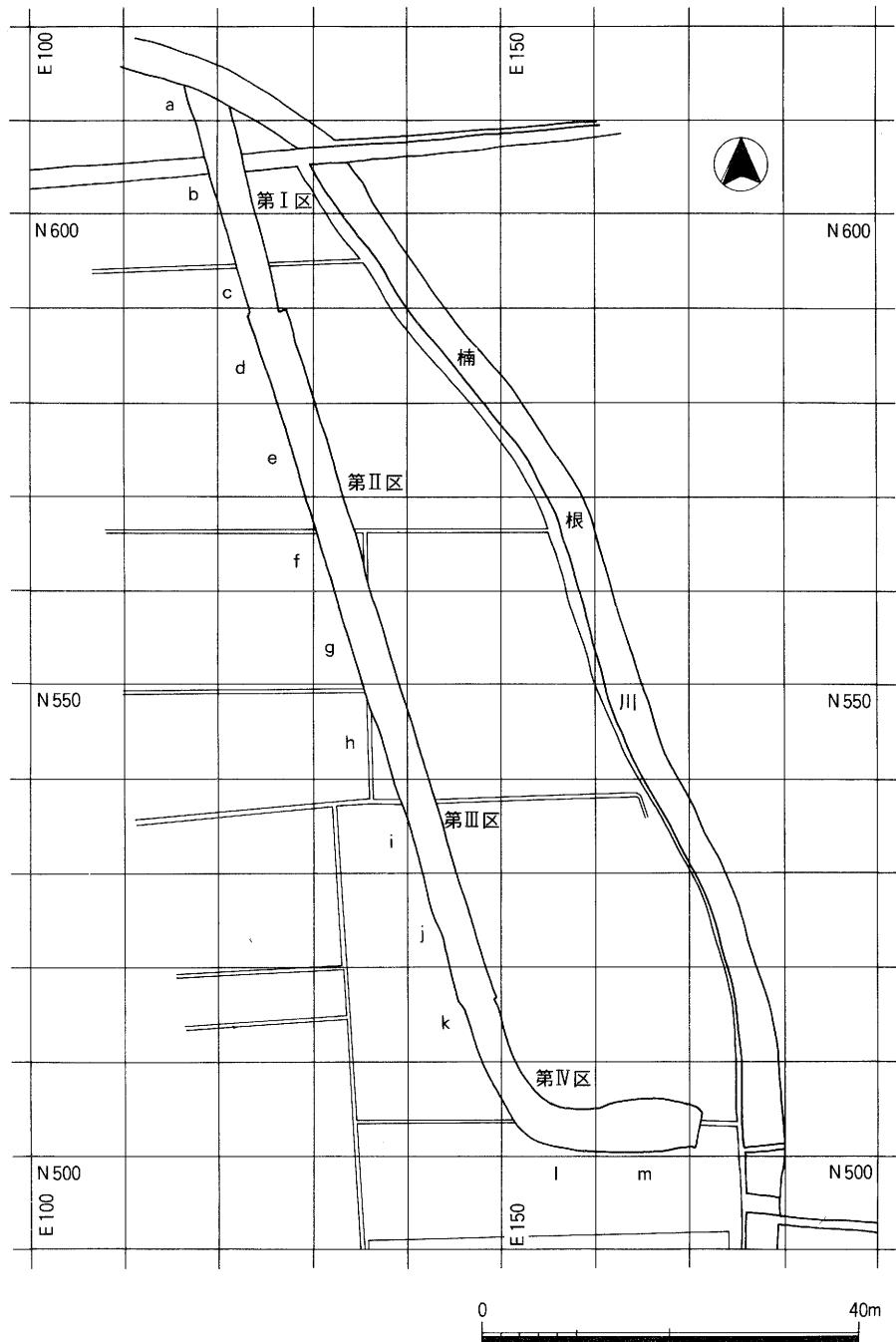
調査の地区割は、楠根川切換え工事の調査地をK地区と付称し、工事計画の工程を順行に運ぶ為、北部よりK—I地区～K—IV地区の4区画に区分して実施した。調査のメッシュ線は、第1次調査で使用した地区割を活用した（それは昭和47年にかけて実施された曙川北区土地区画整理事業に伴う中田遺跡の発掘調査で使用された地区割プラン図のD—Iラインを基準点としている）。これを10m間隔でメッシュ杭を打ち込み、調査地区が南北に長いトレンチであるため北方よりアルファベット（a・b・c・…）を付した。

第3節 基本層序

K地区の調査対象は、南北方向に細長いトレンチで、掘削深度が限定された調査である。この調査での基本層序は5層に分けることができた。以下、これらの各層ごとに概説する。

第1層表土0.1～0.2m、調査寸前まで農耕地として耕されていた土層である。なお、K—I地区では盛土を行い畑・農道としている。

第2層暗茶色砂混じり粘土0.2～0.3m、耕土の床土と考えられる。中世～近世に至る時期の



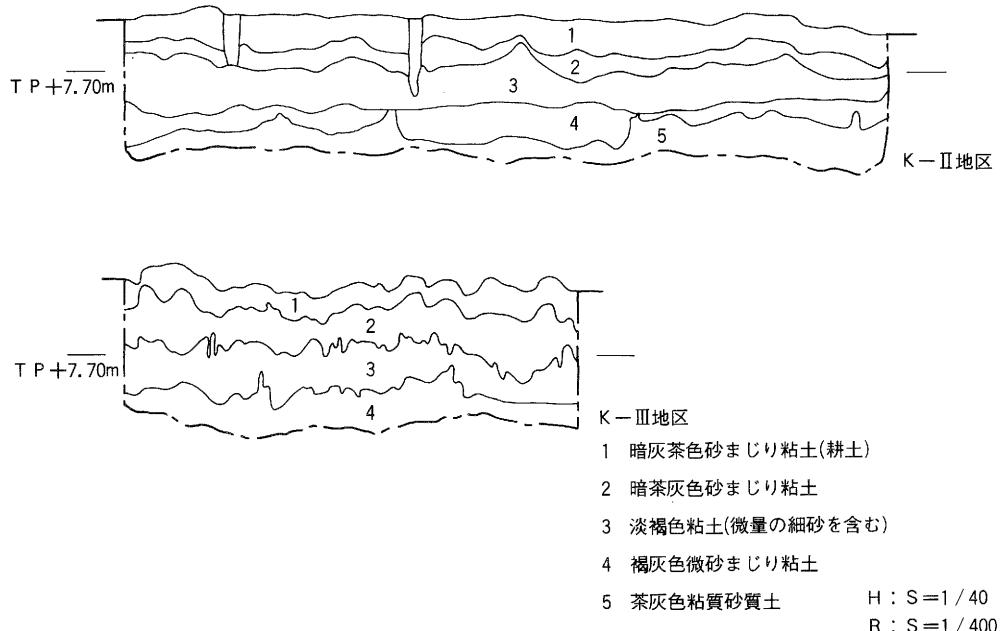
第3図 第2次調査地地区割図

遺物が摩滅した状態でごく少量出土している。

第3層淡褐色粘土0.2~0.3m、粘性度の強い土層で、微量の細砂を含む。この土層は近世の時期の水田土層ではないかと推測される。

第4層褐灰色微砂混じり粘土0.1~0.2m、この土層の上面で中世～近世に至る時期の遺構を検出した。

第5層茶灰色粘質土0.2m以上、この土層の上面は波状に起伏している。遺物は出土していない。



第4図 K地区西壁断面図

第4節 調査の結果

この調査で検出した遺構は、TP + 7.4m位を測る第4層上面で出土した。中世～近世に至る時期と考えられる土坑1基・ピット2個・溝4条・河川跡である。遺物は摩滅した土器の細片をごく小量出土したにすぎない。以下、各遺構について概説する。

土坑（SK 38）

K-1a 地区の西壁で検出した。検出部は東西径0.7m以上、南北径2.7m、深さ0.1~0.2mを測る土坑である。平面は不定形を呈す。断面は浅い皿状形を成し、基底面は起伏している。堆積土は淡灰褐色細砂の単一層で、一時的な氾濫によっての埋没であると考えられる。遺物は出土していないが、時期は近世と思われる。

ピット（SP 59）

K-Ia地区で検出した。検出部は径0.34m、深さ0.2mを測る。平面は円形を呈す。断面はU字形を成す。堆積土は茶灰色粗砂混じり粘土の単一層である。遺物は出土していない。

溝

S D 116

K-Ia地区で検出した。検出部は幅1.2~1.6m、深さ0.15mを測る東西方向に至る溝である。平面はやや西側へ拡がりをみせる。断面は逆台形を呈し、基底面には凹凸がみられる。堆積土はSK 38と同一層である。淡灰褐色粗砂である。遺物は出土していない。

S D 117

K-IIIi地区で検出した。検出部は幅0.2m、深さ0.05mを測る東西方向に至る溝である。断面は皿状形を呈す。堆積土は淡灰褐色粘土の単一層である。遺物は出土していない。

S D 118

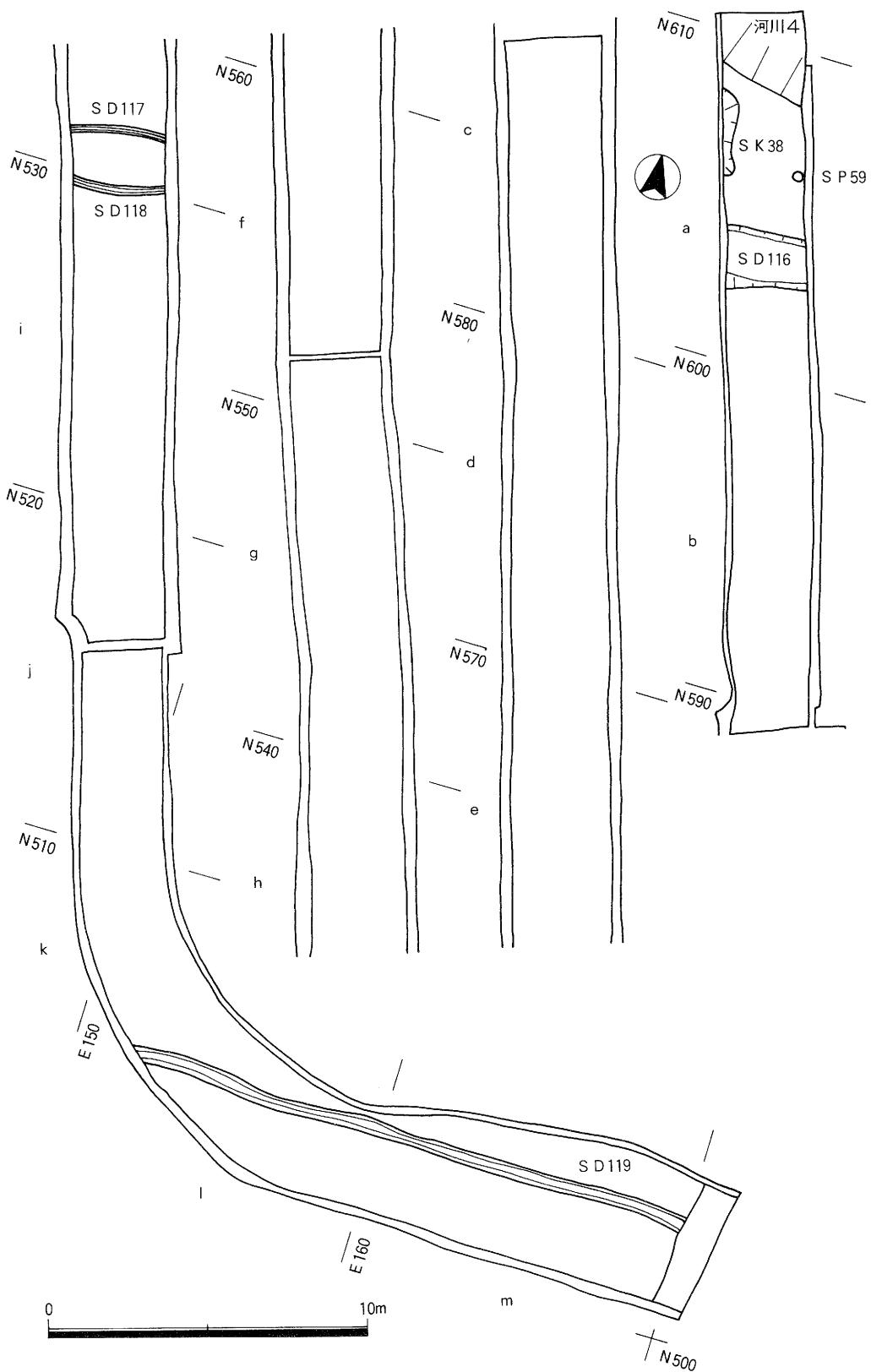
K-IIIj地区で検出した。検出部は幅0.3m、深さ0.05mを測る東西方向に至る溝である。断面は皿状形を呈す。堆積土は淡灰褐色粘土の単一層である。遺物は出土していない。

S D 119

K-IVm地区で検出した。検出部は幅0.3m、深さ0.05mを測る東西方向に至る溝である。断面は皿状形を呈す。堆積土は淡灰褐色粘土の単一層である。遺物は出土していない。

自然河川（河川4）

K-Ia・b地区で検出した。検出部は幅1.5m以上、深さ0.6m以上を測る自然河川と思われる。方向は検出した南肩で東西方向を指す。北部は現楠根川によって切られた状態である。断面は南肩より約30°の角度で傾斜している。堆積土は淡灰褐色細砂である。遺物は近世の時期に比定される陶器、瓦等の細片をごく少量出土した。



第5図 K地区遺構平面図

第4章 第3次調査

第1節 調査の概要

今回の調査は、第1次調査地の南部に位置する青山町4丁目内の22号線の一部・23号線の一部・24-1号線・24-2号線・25号線・26号線・27号線・28号線である区画街路計画地の道路敷面下の調査である。調査面積は延べ約1500m²を測る。

調査の方法は、道路敷下の中央部の幅2mを対象に、既往調査の調査結果に基づき、現表土下0.3~0.4mを機械掘削し、以下は人力による掘削・精査を一層一葉ごとに行った。検出した遺構は、できるかぎり平面実測図($S=1/5 \cdot 1/10 \cdot 1/20 \cdot 1/50$)・断面図($S=1/20$)の作成と写真撮影を実施した。これに伴い出土した遺物は、地区ごとに採集し、現場事務所にて洗浄・ネーミングを行った。

なお、第3次調査地は、北部が第1次調査地に接し、南部が中田遺跡と接するという間に挟まれた地点にある。中田遺跡は昭和47年～昭和49年にかけて中田遺跡調査会が実施した曙川北区土地区画整理事業に伴う発掘調査において弥生時代から中世に至る遺構・遺物が多量に検出されている。また、昭和56年度八尾市教育委員会が実施した中田1丁目39番地に於ける倉庫建設に伴う発掘調査では古墳時代前期(庄内式新相～布留式古相)に比定される土坑内から他地域の土器を多く含んで出土されている地点にも隣接するところである。よって、調査ではこれらを考慮しながら発掘調査を実施した。

第2節 調査の地区割

調査区の地区割は、既往第1次調査、第2次調査でも叙述したように各調査地区が細長いトレンチで網目状になっており、南部に中田遺跡が隣接し、当遺跡との関連を把握する目的などを考慮し、昭和47年～昭和49年に実施された曙川北区土地区画整理事業に伴う発掘調査で使用された地区割プラン図のD-Iラインを基準点として、当該地である東西・北方にメッシュ線の割付けを行った。地区名は、計画区画街路の道路番号をそのまま活用した。たとえば、区画街路22号線は22地区とした。そして、さらにこれらの各地区を基準点からのメッシュ線を10m間隔で細分し、東西方向のトレンチは西よりa・b・c・・・と付し、南北方向のトレンチは北よりa・b・c・・・と付した。

これらの地区割に従い、発掘調査を実施した。

第3節 基本層序

調査地区は、既往第1次調査で行った基本層序と今回の調査で観察した土層の様相は、若干の相異が見られるものの、総合的な観点からは類似するようである。

今回の調査での基本層序について、再度、新たな知見から各土層ごとに概説する。

第1層表土0.1~0.2m、調査前まで農耕地として耕されていた耕土である。なお、24-1地区、24-2地区は農道、27地区・28地区の中央部はグランドとして盛土されている。

第2層黄灰色～暗灰茶色粗砂混じり粘土0.1~0.4m、耕土の床土と考えられる。

第3層茶灰色粘質土0.2~0.4m、上面で近世以降と思われる水田耕作に関連する小溝を検出した。土層内からは中世～近世の遺物が摩滅した細片をわずかに出土した。なお、25 l ~ n地区は中世の時期に整地して壇状に盛土している。

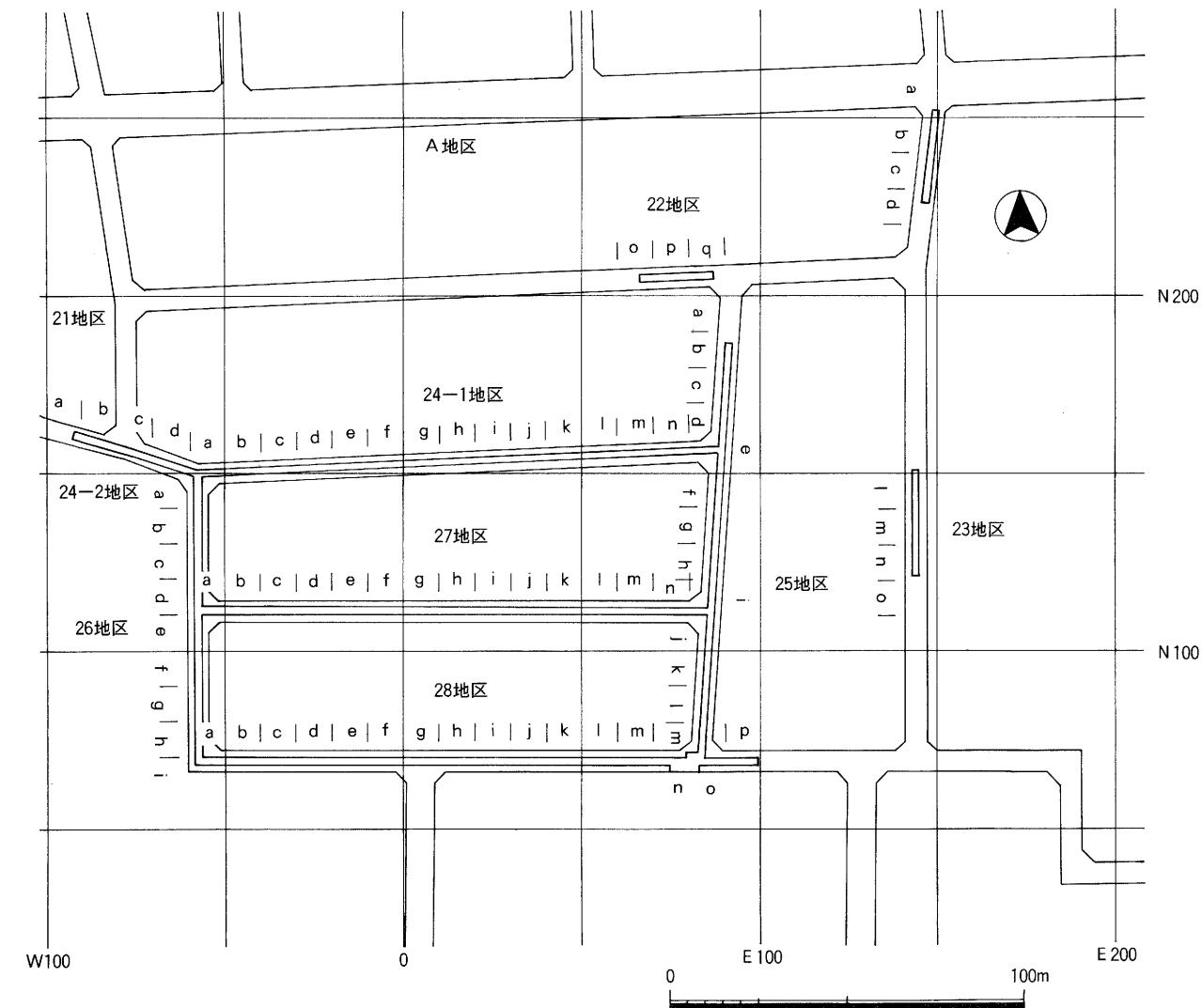
第4層暗茶灰色粘質土0.1~0.3m、この上面で中世の時期の東西・南北方向に走る小溝がほぼ全地区で検出した。また、25 i ~ m地区、27m ~ o地区、28m ~ p地区は古墳時代中期～平安時代に至る遺構を検出した。この土層は古墳時代前期の遺物包含層である。

第5層茶灰色シルト～褐灰色粘土0.1~0.3m、この上面で古墳時代前期の遺構が切り込まれている。

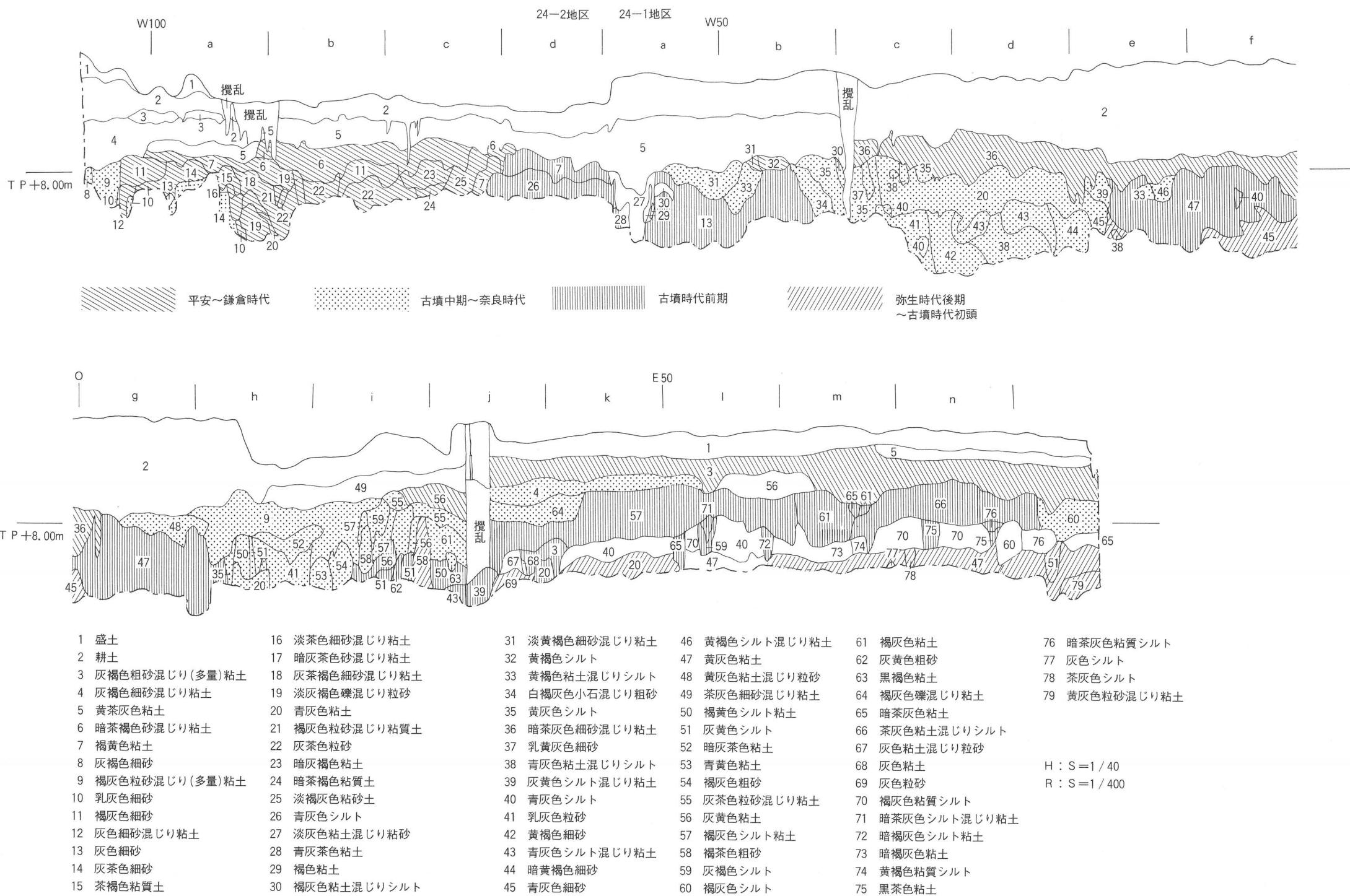
第6層黄灰色粘土0.3m、この上面は弥生時代後期の遺構を検出した。

第7層黄灰色砂混じり粘土0.2~0.3m、無遺物層である。

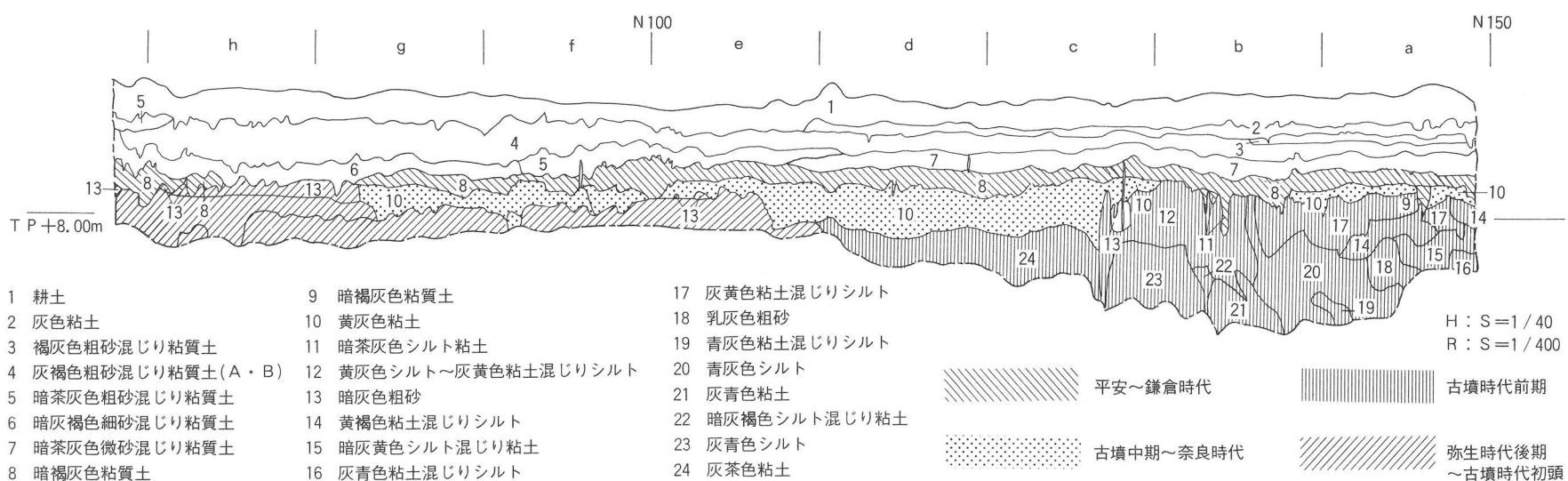
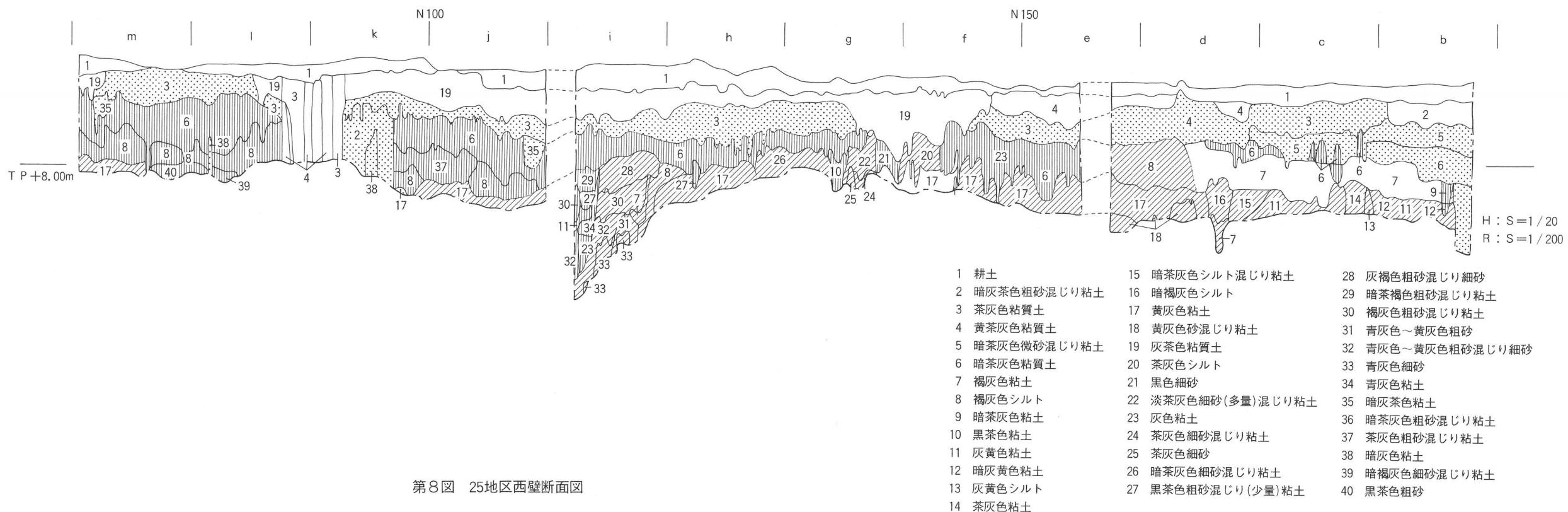
以上が、調査地区に於ける基本層序であるが、調査地区の西半部は第5層より以下は弥生時代後期～古墳時代前期に埋没した砂層が堆積する河川跡と考えられる土層である。



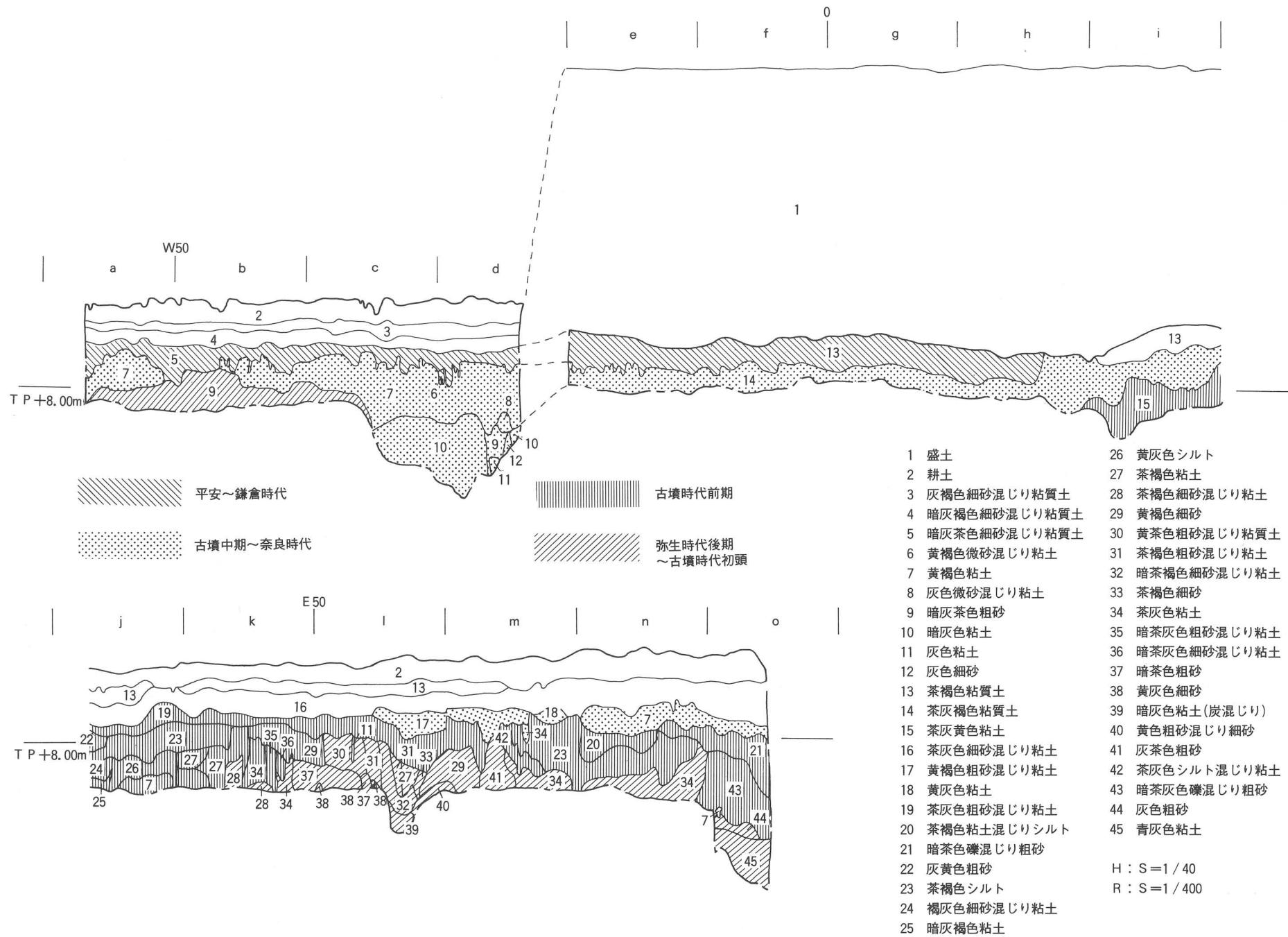
第6図 第3次調査地地区割図



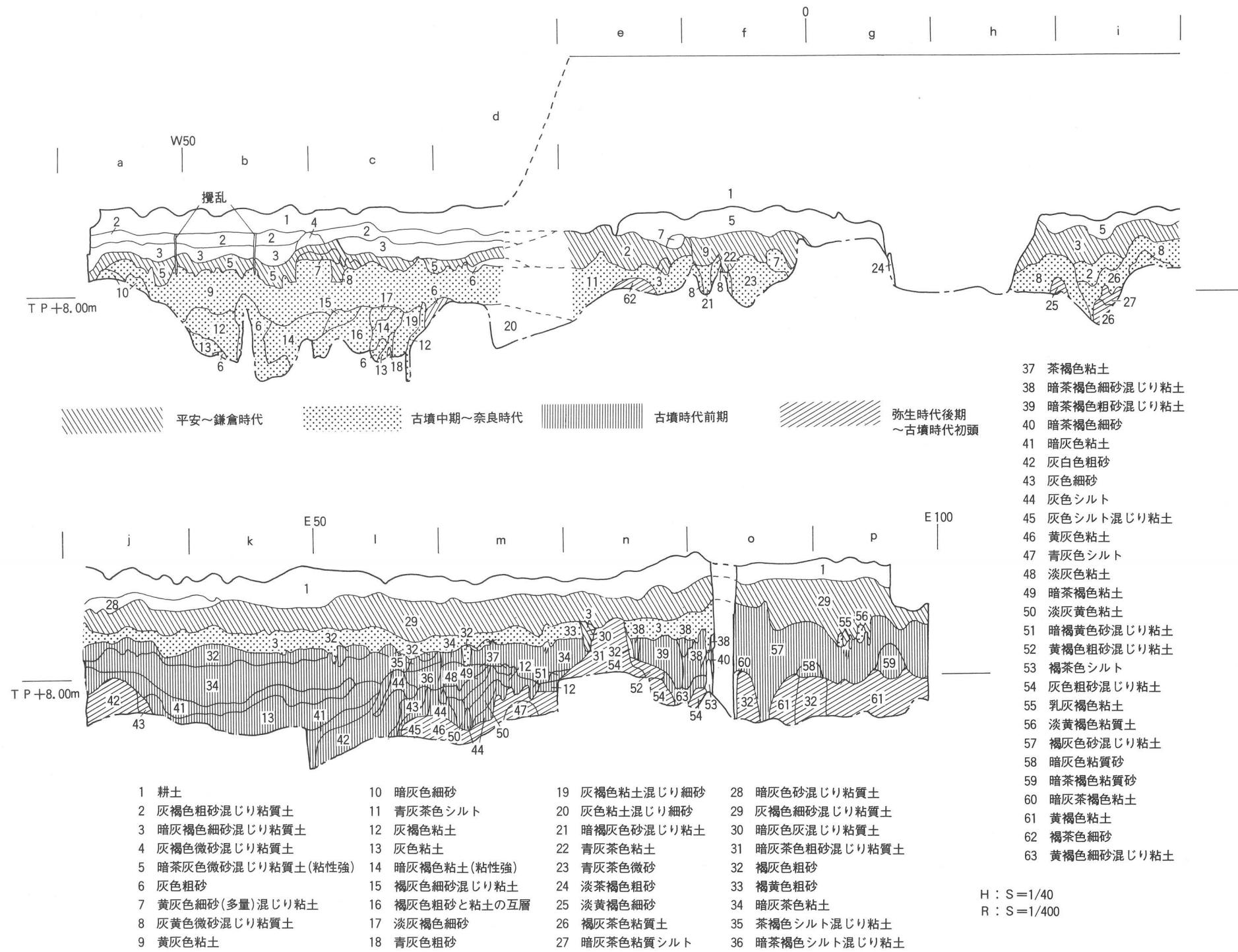
第7図 24-1・24-2地区北壁断面図



第9図 26地区西壁断面図



第10図 27地区北壁断面図



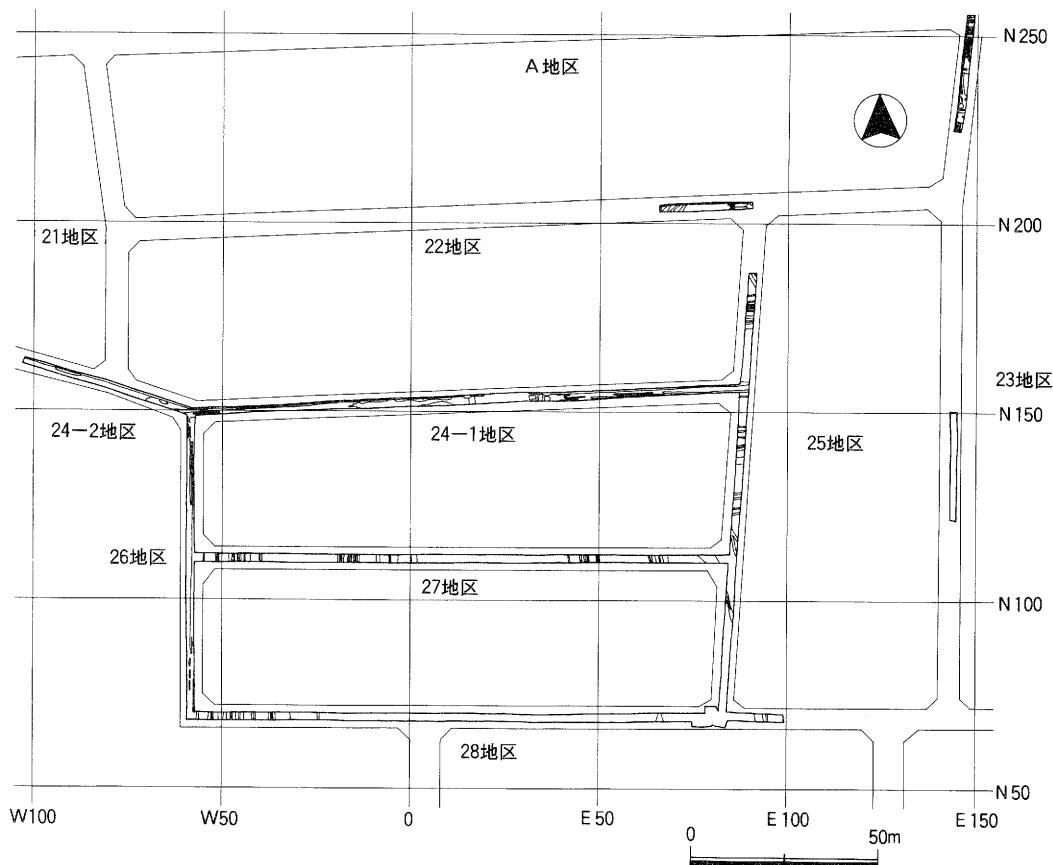
第11図 28地区北壁断面図

第4節 調査地区の概要

当調査区は、既往第1次調査地の南部にあたる。第1次調査では弥生時代後期から中近世に至る遺構・遺物が多く検出された。今回の調査でも第1次調査と同様に各調査地区で多大な成果をあげることができた。特に弥生時代後期から古墳時代前期に至る遺構・遺物が多量に検出された。以下、各地区ごとに遺構の検出状況等について簡単に概説する。

22o～p地区

東西トレンチ（長さ25m）の調査区で、面積は約50m²を測り、既往第1次調査で行った続ぎの一部である。今回の調査で検出した遺構は前回と同様で、第1層・第2層を排除した第3層上面(TP +8.5m前後を測る)で中近世の農耕作によってできたと考えられる小溝を検出した(第1調査面)。第4層上面からは砂層の堆積する自然河川跡を検出した。この自然河川跡は既往第1調査のIV地区で検出した河川3の南部にあたるものと思われる。第6層は弥生時代後期から古墳時代前期に至る遺物を包含する層で、その下の第7層上面から切り込む弥生時代後期のピット・溝状遺構を検出した。



第12図 第3次調査地第1調査面平面図

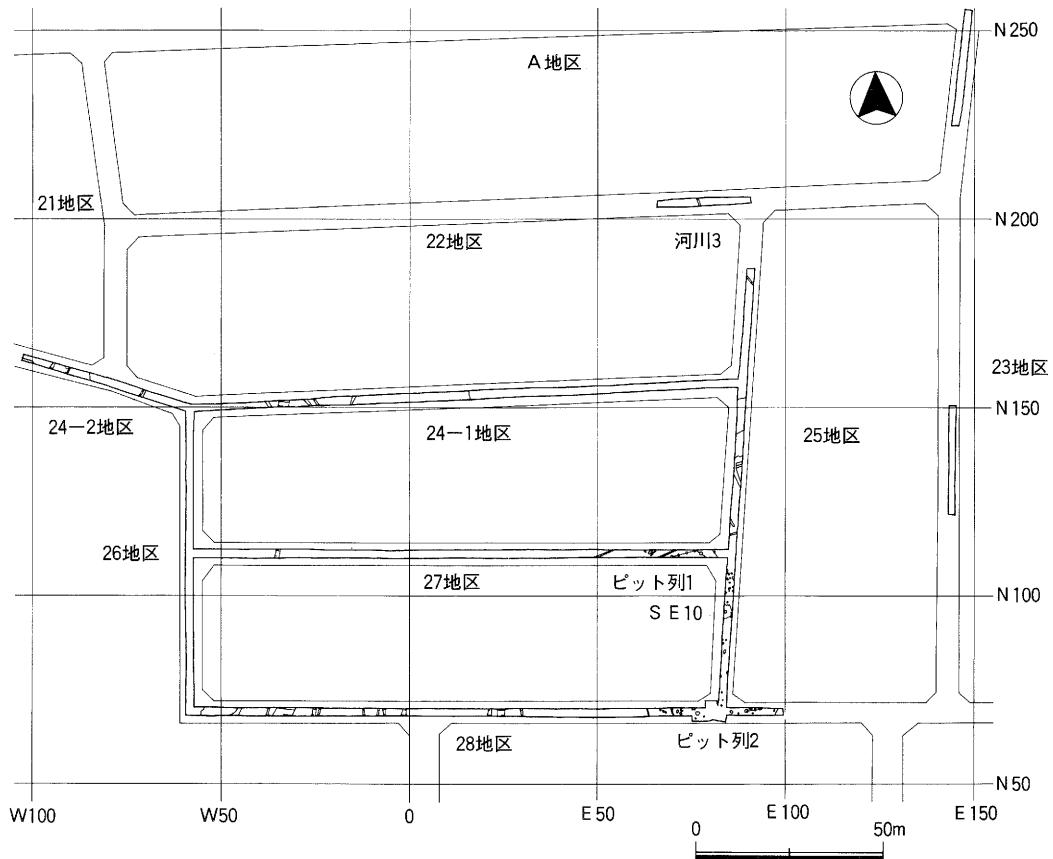
23 a ~ d 地区・23 l ~ m 地区

23 a ~ d 地区は第 2 層・第 3 層のそれぞれの上面で検出した。第 2 層の上面 (TP +8.5m 位) からは井戸 4 基、第 3 層の上面 (TP +8.3m 位) からは溝 19 条を検出した。これらは中世から近世に至る時期のものと考える。また、下層 (TP +7.2m まで) から遺構・遺物包含層は検出されなかった。

23 l ~ m 地区は表土下 0.5~1m までが現在の攪乱によって破壊されていた。南部の一部で残存した部分より遺構を検出した。遺構は第 4 層上面 (TP +8.4m 位) より切り込む古墳時代前期と思われる溝 1 条と第 5 層上面 (TP +8.2m 位) より切り込む弥生時代後期と思われる落ち込み状遺構 1 箇所が検出した。

24-1 地区

この地区は第 3 層の上面 (TP +8.5m 位) より切り込みがみられる中世から近世に至る農耕作に関連すると考えられる溝 20 条、第 4 層の上面 (TP +8.3m 位) は a ~ i 地区で古墳時代中期の遺物を含む粘土の堆積する落ち込み状遺構を検出した。そして、この下層は砂層の堆



第13図 第3次調査地第2調査面平面図

積する弥生時代後期から古墳時代前期に埋没したと思われる自然河川を検出した。j～o地区は既往A～Ⅲ地区・22地区で検出された自然堤防である微高地上の南側の延長上にあたる。第5層は古墳時代前期の包含層、その下の第6層は弥生時代後期の包含層であることを確認した。第6層上面(TP+7.5m位)からは古墳時代前期の遺構(土坑・溝)で、第7層上面(TP+7.3m位)は弥生時代後期の遺構(ピット・溝)が検出された。

24-2 地区

24-1地区の西側の延長にあたる東西トレント(長さ40m)である。調査区の面積は約80m²である。調査は2面を行なった。第3層からは中世から近世に至る農耕作に関連する溝を4条検出した。また、第3層からは既往Ⅱ地区と21地区で検出した河川2を検出した。この第4層上面は西部で埴輪片が含まれている溝(SD301)1条を検出した。東側は24-1地区の続きである古墳時代中期の落ち込み状遺構と弥生時代後期から古墳時代前期に埋没した河川を検出した。

25b～m地区

南北トレント(長さ約120m)で、調査区の面積は約240m²である。遺構は22地区的検出状況とほぼ同じであるが遺構面を4面確認した。第3層の上面(TP+8.5m位)は中世から近世に至る農耕作に関連する溝13条・井戸1基を確認した。また、j～m地区は壇上に整地した上面(TP+8.6m位)から奈良時代の井戸1基・ピット10個を検出した。第4層の上面(TP+8.3m位)は古墳時代中期から平安時代に至る土坑・溝・ピットを検出した。この層は古墳時代前期の遺物包含層である。この下の第5層の上面(TP+8.1m位)からは古墳時代前期の土坑・溝が切り込まれている。さらに、この第5層は畿内第V様式の土器を含む弥生時代後期の遺物包含層と考えられ、その下の第6層上面(TP+7.7m位)から弥生時代後期に類似する土器を出土した土坑・溝状を検出した。

26地区

南北トレント(長さ約80m)の調査区で、面積は約160m²である。遺構検出面は2面を確認した。第3層上面(TP+8.5m位)からは中世から近世に至る農耕作に関連する溝5条を検出した。北部のa～d地区は第4層上面(TP+8.3m位)から切り込まれている古墳時代前期から中期に類似する土器を出土した落ち込み状遺構を検出した。これより下は砂層の堆積で弥生時代後期から古墳時代前期に埋没した自然河川(河川1)である。

27地区

東西トレント(長さ約130m)の調査区で、面積は約260m²である。この調査区は中央部(e～g地区)に約1.8mの盛土をしている。遺構は3面を確認した。第3層上面(TP+8.5m位)からは中世から近世に至る農耕作に関連する溝30条を検出した。第4層上面(TP+8.2m位)からは古墳時代中期の落ち込み状遺構。第5層上面(TP+7.9m位)からは西側(a～g地区)

で弥生時代後期から古墳時代前期の河川 1、東側（j～o 地区）で弥生時代後期の落ち込み状遺構 1箇所・溝状遺構 1条を検出した。落ち込み状遺構は 25 i 地区に続くものである。溝状遺構は漁網のおもりに使用したと思われる土壙が畿内第 V 様式に類似する土器と一緒に多量に出土している。

28地区

東西トレンチ（長さ 140m）の調査区で、面積は約 290m²である。遺構は 3 面を確認した。第 3 層上面（TP +8.5m 位）からは他の調査区と同じ中世から近世に至る農耕作に関連する溝 20 条を検出した。また、n～o 地区は 25 j～m 地区で検出した壇上に盛り上げた整地層の一部を検出した。この上面（TP +8.5m 位）からは奈良時代から平安時代に至るピットが検出されている。第 4 層上面（TP +8.2m 位）からは古墳時代中期の落ち込み状遺構 4 箇所を検出した。第 5 層上面（TP +8.0m 位）からは m～p 地区で古墳時代前期の土坑 3 基・溝 2 条・落ち込み状遺構 1 箇所を検出した。a～m 地区は砂層の堆積する弥生時代後期から古墳時代前期に埋没したと考えられる河川 1 を検出した。



第14図 第3次調査地第3調査面平面図

第5節 調査の結果

I 弥生時代後期～古墳時代初頭の遺構・遺物(第3調査面)

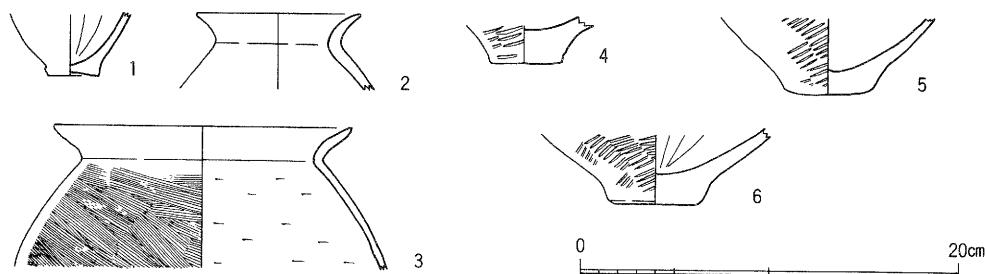
この時代の遺構は、第1次調査A-I地区・22地区で検出した自然堤防を形成した微高地上で確認されている。今回の調査はこの南部に位置する地点で、連綿する微高地を検出した。前回と同様に弥生時代後期に比定される遺物包含層が一部(22o～p地区、24-1n～o地区・25地区・271～o・28n～p地区)で確認した。この下面(TP+7.7mを測る)を構築面として切り込まれている。今回検出した遺構は土坑7基・ピット8個・落ち込み状遺構4箇所・溝7条である。以下、個々の遺構について概説する。

土坑

S K 54

25b・c地区で検出した。北部は古墳時代前期に比定されるSK44と平安時代に比定される河川3に切られ、東西ともに調査区外に至る。検出部は東西径2m以上、南北径6.7m以上、深さ0.15～0.2mを測る土坑と推定する。この土坑の南部は溝(S D319)と切り合う関係にある。基底面は平坦である。堆積土は灰黄色粘土の単一層である。

遺物は北部の基底面付近の1ヶ所に集中した状態で縦内第V様式に類似される土器の細片をごく少量出土した。器種は鉢(1)・甕(2～6)等である(第15図)。



第15図 25b・c地区SK54出土遺物実測図

S K 55

25c地区で検出した。北西部は調査区外に至る。検出部は東西径2m以上、南北径1.6m、深さ0.1mを測る土坑である。平面は検出部で隅丸方形を呈す。断面は緩やかな逆台形を成し、基底面は平坦である。堆積土は暗灰黄色粘土の単一層である。

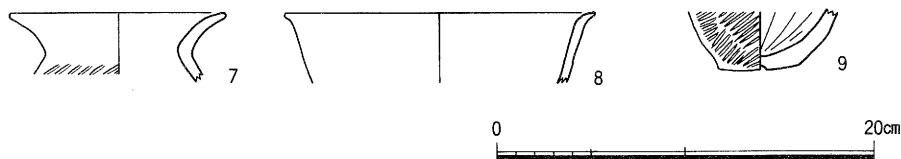
遺物は出土していないが、SK54等の遺構と同一面で検出していることから弥生時代後期に比定されると考えられる。

S K 56

25c地区の中央部で検出した。東部は調査区外に至る。検出部は長径1.8m以上、短径1.6m、

深さ0.1mを測る土坑である。平面は検出部でやや半橢円形を呈す。断面は逆台形を成し、基底面はほぼ平坦である。堆積土は灰黄色粘土の単一層である。

遺物は堆積土内より畿内第V様式に類似する土器の細片がごく少量出土した。器種は壺(7)・鉢(8)・甕(9)等である(第16図)。



第16図 25c地区S K 56出土遺物実測図

S K 57

25c地区で検出した。西部は調査区外に至る。検出部は長径1.2m以上、短径1m、深さ0.1mを測る土坑である。平面は検出面でやや半橢円形を呈す。断面は逆台形を成し、基底面はほぼ平坦である。堆積土は茶灰色粘土の単一層である。

遺構は出土していないが、S K 54等の遺構と同一時期であると考えられる。

S K 58

25c・d地区で検出した。東部・西部は共に調査区外に至る。検出部は東西径2m以上、南北径6.8~8.4m、深さ0.15~0.3mを測る土坑である。平面は検出面で不定形を呈し、南部の肩沿いには南東-北西の方向に延びる溝状(幅1m、深さ0.3mを測る)の深い落ち込みが認められる。堆積土は灰黄色粘土の単一層である。

遺物は畿内第V様式に類似する甕の底部片をごく少量出土している。

S K 59

25e地区の東壁で検出した。東半部は調査区外に至る。検出部は東西径0.6~1m以上、南北径2.4m、深さ0.2~0.37mを測る土坑である。平面は検出面で不定形を呈す。断面は逆台形を成し、基底面は北側にやや傾斜している。堆積土はS K 54と同一層である。

遺物は出土していないが、S K 54等と同一時期であると推測される。

S K 60

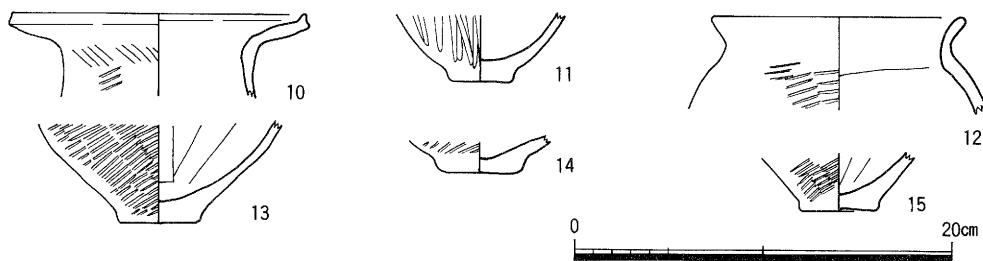
25f地区の南部で検出した。南部は上層で検出したS D 291によって一部が切られている。西半部は調査区外に至る。検出部は東西径1m以上、南北径0.8m以上、深さ0.1mを測る土坑である。平面は検出部で半橢円形を呈す。断面は逆台形を成し、基底面は平坦である。堆積土は暗茶黒褐色シルト粘土の単一層である。

遺物は出土していないが、S K 54等と同一時期であると推測される。

落ち込み27

23n 地区で検出した。東部・西部・南部は調査区外に至る。検出部は東西径 2 m 以上、南北径 8 m 以上、深さ 0.8 m を測る落ち込み状遺構である。平面・断面は不明である。基底面はやや起伏している。堆積土は灰茶褐色粘土・灰青色シルトで構成している。上層は溝（S D 149）によって切り込まれている。

遺物は顯著にローリングを受けた畿内第V様式に類似する土器の細片がごく少量出土している。器種は壺（10）・高杯・甕（11～15）である（第17図）。



第17図 23n 地区落ち込み27出土遺物実測図

落ち込み28

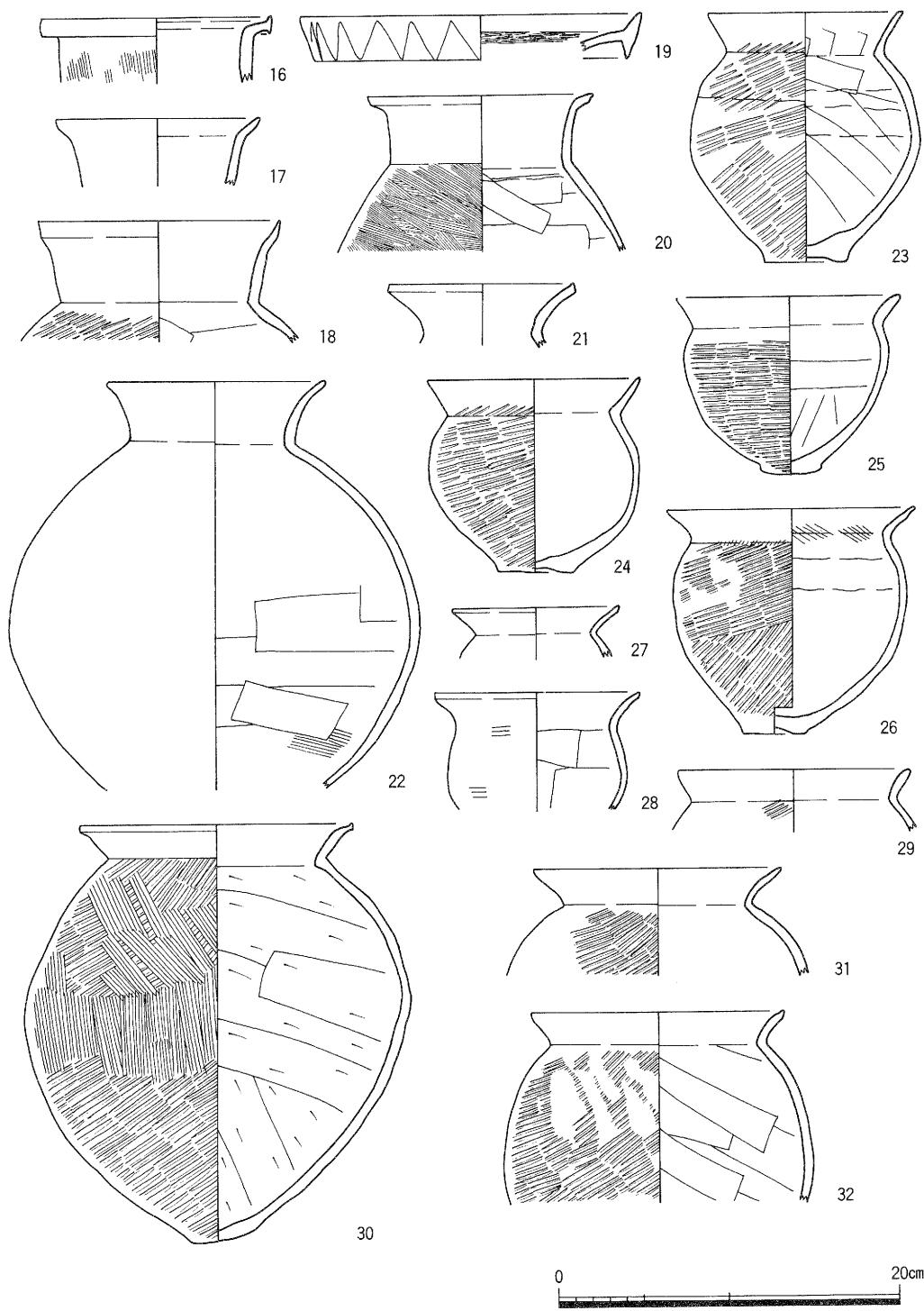
25i 地区と 27n・o 地区で検出した。東西部ともに調査区外に至る。検出部は東西径 8 m 以上、南北径 7.6～8 m、深さ 0.8 m を測る東西の方向に延びる落ち込み状遺構である。平面は不明で、断面は皿状形を呈し、基底面は緩やかな起伏がみられる。堆積土は上方から灰褐色粗砂混じり細砂・褐灰色粗砂混じり粘土、褐灰色粘土・青灰色～黄灰色粗砂混じり粘土で構成されている。南側は埋没後に溝（S D 314）が基底面まで切り込まれている。

遺物は、中層に堆積する褐灰色粗砂混じり粘土・褐灰色粘土内より畿内第V様式に類似する土器片をコンテナにして 2 杯分出土した。器種は壺（16～22）・有孔鉢・甕（23～37）で、圧倒的に甕が多い（第18図・第19図）。

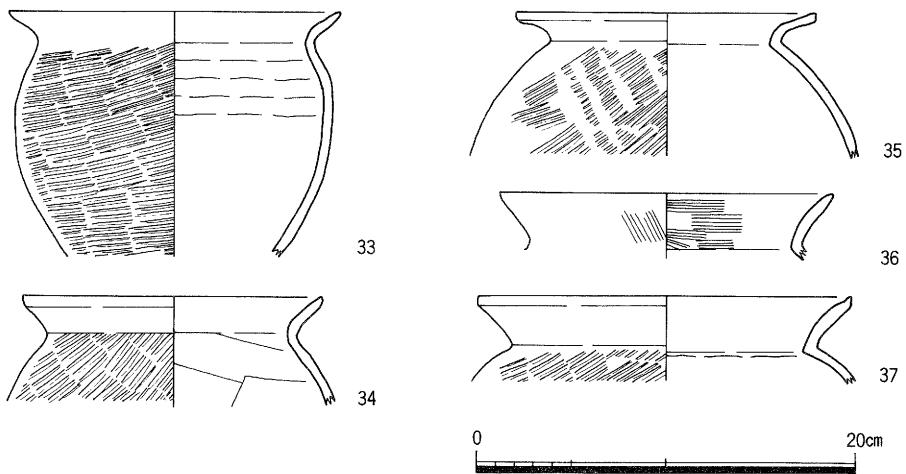
落ち込み29（第20図）

25j 地区に検出した。東西部は共に調査区外に至る。検出部は東西径 2 m 以上、南北径 8.5 m 以上、深さ 0.3 m を測る落ち込み状遺構である。南部は奈良時代の井戸（S E 10）によって切られている。平面は不明で、断面は皿状形を呈し、北部の基底面はやや深く成っている。堆積土は茶灰色粗砂混じり粘土の単一層である。

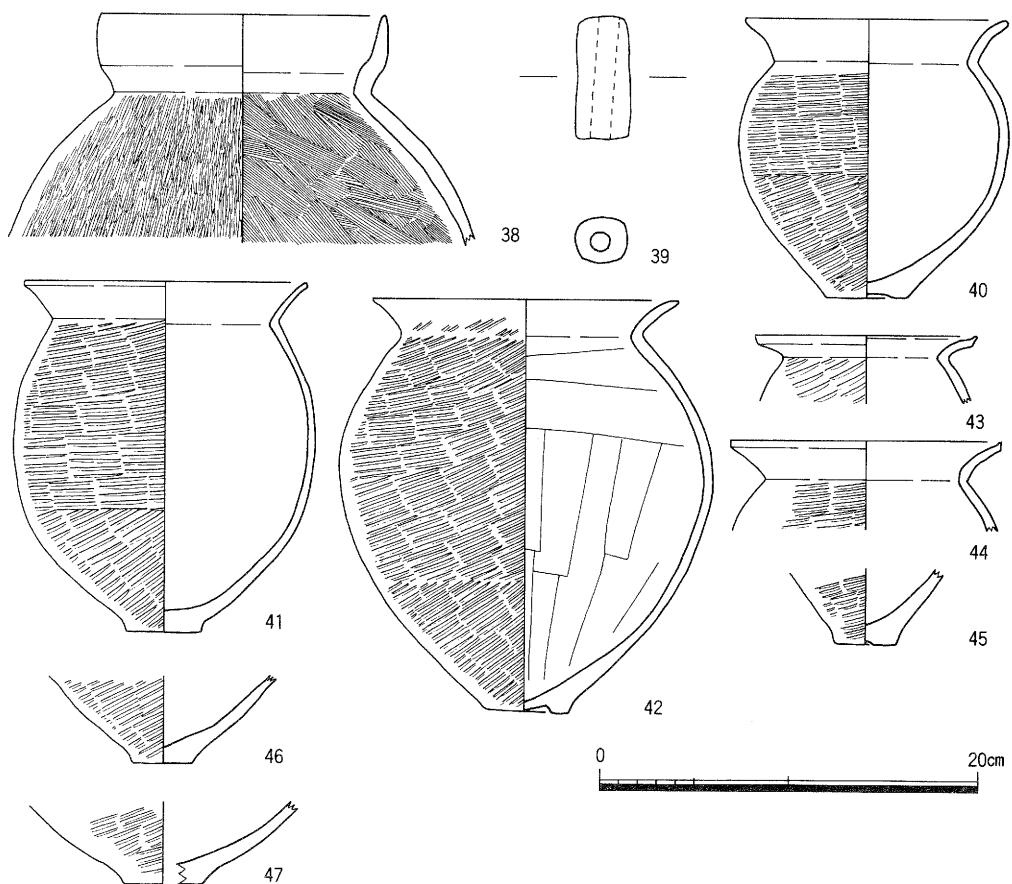
遺物は南部の上層で逆向きになった状態の壺（38）・甕（40）、北部の両壁基底面より完形に近い甕（41・42）が横向きになった状態で出土した。他には堆積土内より完形の土壙（39）・細片化した甕（43～47）を少量出土した。これらの土器は畿内第V様式に類似する資料と考える。



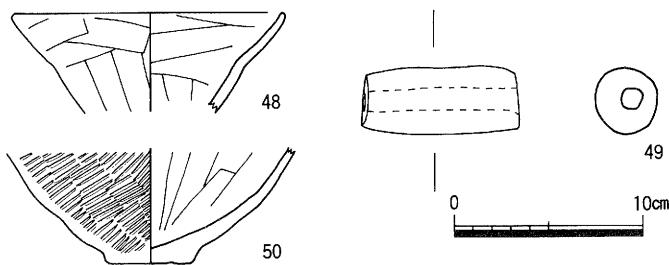
第18図 25i地区と27n・o地区落ち込み28出土遺物実測図1



第19図25 i 地区と27 n・o地区落ち込み28出土遺物実測図2



第20図 25 j・k 地区落ち込み29出土遺物実測図



第21図 25 I・m地区落ち込み30出土遺物実測図

面は緩やかな起伏がみられる。堆積土は暗茶色細砂の単一層である。

遺物は畿内第V様式に類似する土器の細片をごく少量出土した。器種は鉢(48)・土壺(49)・甕(50)である(第21図)。

ピット(S P)

S P 126・S P 134～S P 136・S P 141～S P 145

この時期のピットと判断できたのは8個を数える。検出地点は22o地区(S P 126)・24-1m～o地区(S P 134～S P 136・S P 141・S P 142)・25e地区(S P 143・S P 144)である。検出部の規模は径0.2～0.35m、深さ0.15～0.25mを測る小形のピットである。平面は円形及び橢円形を呈し、断面はU字形を成す。堆積土は灰色粘質シルトの単一層である。

24-1m地区の南壁で北半部のみを検出したS P 134～S P 136は、東西方向に並ぶピット列である。間隔は西より3.3m・2.8mを測る。南北部は調査区の範囲が限定されているため明確ではないが、住居址に伴う柱穴・棚列等が推測される。また、その他のピットも同様の性格をもつものと考えられる。24-1o地区で検出したS P 142は基底面付近より腐敗して小片化したと思われる柱根の一部を確認しているが、規則的に配列するものは見出せなかった。

第1表 弥生時代後期のピット一覧表

地 区	遺構番号	径(cm)	深さ(cm)	平面形	断面形	堆 積 土	備 考
22 o	S P 126	16.0～19.0	11.8	楕円形	椀状形	灰色粘質シルト	
24-1 m	S P 134	73.0	17.0～19.3	不定形	椀状形	灰色粘質シルト	
24-1 m	S P 135	71.0	8.6～11.8	不定形	椀状形	灰色粘質シルト	土師片多数
24-1 m	S P 136	75.0	19.8	不定形	U字形	灰色粘質シルト	
24-1 o	S P 141	21.0～31.0	20.0	楕円形	逆台形	灰色粘質シルト	若干柱根残存
24-1 o	S P 142	21.0～27.0	12.5	楕円形	椀状形	灰色粘質シルト	
25 e	S P 143	34.0	13.2	円形	椀状形	灰色粘質シルト	
25 e	S P 144	40.0	9.6	円形	椀状形	灰色粘質シルト	
27 n	S P 145	61.0～79.0	25.9	楕円形	椀状形	灰色粘質シルト	

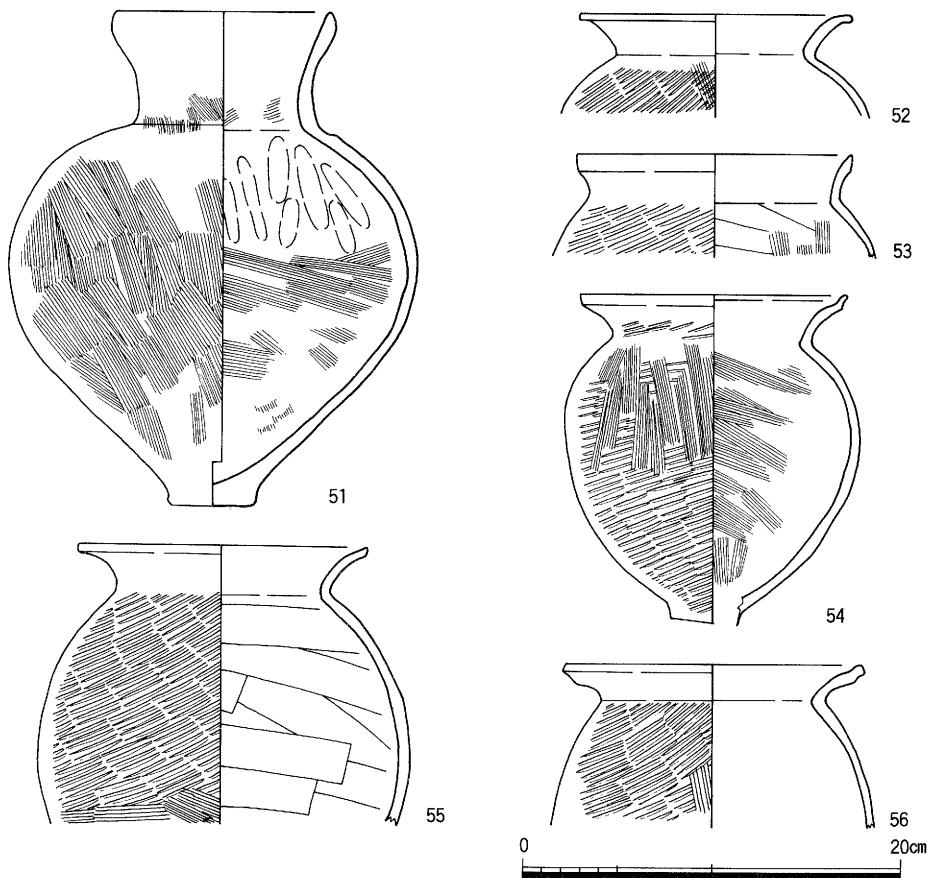
落ち込み30

25 I・m地区で検出した。

東西部は共に調査区外に至る。検出部は幅5m、深さ0.2mを測る南東一北西の方向に延びる落ち込み状遺構である。断面は浅い皿状形を呈し、基底

遺物はピットの堆積土内からほとんど出土していないが、S P 135では細片化した土器を廃棄した状態で基底面から検出面まで集積して出土している。器種は畿内第V様式に類似する壺(51)・甕(52~56)等である(第22図)。

なお、個々のピットの規模・形状等については第1表に表示した。



第22図 24-1 m地区 S P 135出土遺物実測図

溝（S D）

S D 304

22o 地区で検出した。検出部は幅 2m、深さ 0.2m を測るほぼ南北方向の溝である。南北部は共に調査区外に至り、S D 305 と切り合う関係にある。断面は皿状形を呈す。堆積土は灰褐色粘土の単一層である。

遺物は出土していないが層位的にみて弥生時代後期に比定されると推測できる。

S D 305

22o 地区で検出した。検出部は幅 0.4m、深さ 0.2m を測るほぼ東西方向の溝である。西部は S D 304 と切り合う関係にあり、東部は途切れる。断面は皿状形を呈す。堆積土は S D 304 と同じ灰褐色粘土の単一層である。遺物は出土していない。

S D 306

22o 地区の南壁で検出した。検出部は幅 0.4m、深さ 0.1m を測る南東方向に至る溝である。断面は皿状形を呈す。堆積土は灰褐色粘土の単一層である。遺物は出土していない。

S D 307

22p 地区で検出した。検出部は幅 1.7m、深さ 0.1m を測る溝である。方向は南東—北西に延びた後、屈曲して北東方向に至る。断面は皿状形を呈し、基底面は平坦である。堆積土は灰褐色粘土の単一層である。遺物は出土していない。

S D 317

24-1 地区で検出した。検出部は幅 0.3~0.5m、深さ 0.1m を測る溝である。方向は北を主軸として N-60°-W を指し、南北部は調査区外に至る。断面は U 字形を呈す。堆積土は灰色粘質シルトの単一層である。遺物は出土していない。

S D 319

25c 地区で検出した。検出部は幅 0.3~0.6m、深さ 0.12m を測る溝である。方向は主軸として N-20°-W を指し、北西部は S K 54 とつながり、南東部は調査区外に至る。断面は皿状形を呈す。堆積土は灰黄色粘土の単一層である。遺物は出土していない。

S D 321

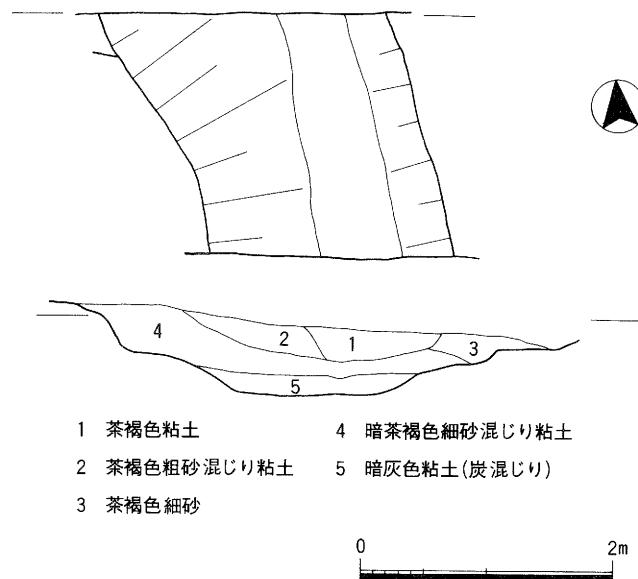
271 地区で検出した。検出面は T P +8.0m 位を測る黄灰色粗砂の上面より切り込まれていた。検出部は幅 1.9~2.1m、深さ 0.7m を測る溝状遺構である。方向は北を主軸として N-15°-W を指す。南北部は調査区外に至る。断面はやや皿状形を呈し、両肩中位には緩やかな段が見られる。堆積土は上方から第 1 層茶褐色粘土・第 2 層茶褐色粗砂混じり粘土・第 3 層茶褐色細砂・第 4 層暗茶褐色細砂混じり粘土・第 5 層暗灰色（炭混じり）粘土で構成されている。

この S D 321 は北部（約 40m）に位置する東西方向の 24-1 地区では検出されなかった。南部

(約40m)に位置する東西方向の28地区は延長した方向に一致する古墳時代前期に比定されるS D316が存在しつながりを持つ可能性が考えられる。しかし、堆積土内から出土遺物では若干の時期差が認められる(第23図)。

出土遺物

遺物は上層(第1層・第2層)でS D316と同一時期の古墳時代前期に類似する庄内式の甕(238・239)の土器細片



第23図 27 I 地区 S D316 平断面図

をごく少量出土した程度である。下層(第4層・第5層)からは畿内第V様式に類似する土器が多量に出土した。出土量はコンテナにして5箱を数える。下層の出土遺物の状況は大半が基底面上に付着したような状態で検出した。特に南部の基底面より漁網のおもりに使用したと考えられる土壙(98~175)が集積して出土した。その他には壺(57~74)・鉢(75~90)・有孔鉢(91)・台付き鉢(92)・高坏(93~97)・手培り型土器・甕(176~237)・東部瀬戸内系と思われる甕(240)等の土器とサヌカイト剝片(241)・紀伊産の紅廉石黒雲母片岩片(242)の石類を出土している(第24図~第32図)。

これらの出土した土器は東大阪市北鳥池遺跡出土の土器群や柏原市船橋遺跡第9トレンチ出土^{註1}の土器群等の資料に類似するものと考えられる。また、八尾市に於いては八尾南遺跡出土^{註2}の土器群・成法寺遺跡出土^{註3}の土器群・東弓削遺跡出土^{註4}の土器群等があげられる。^{註5}

註

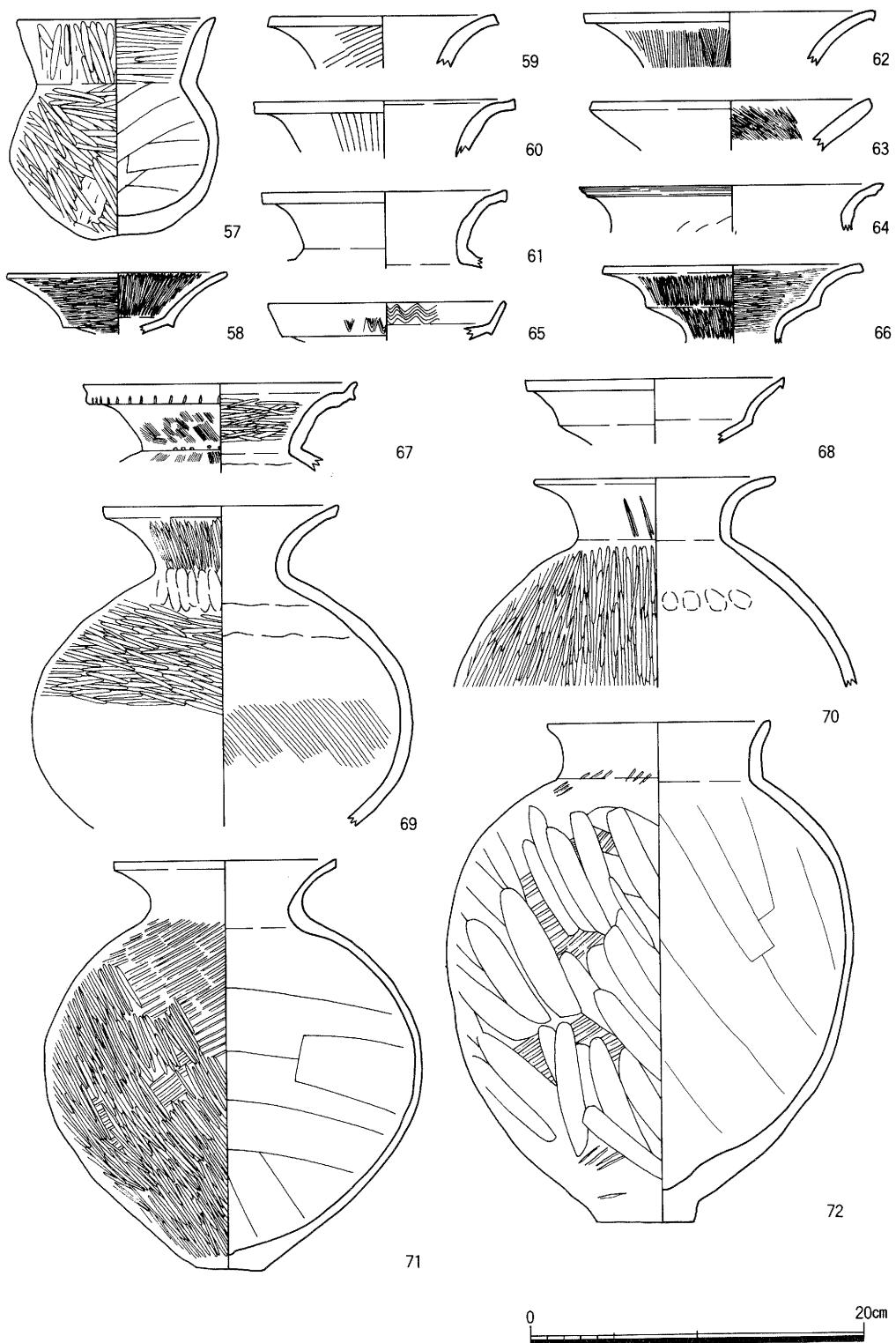
註1 「河内古代遺跡の研究」「北鳥池遺跡」大阪府立花園高等学校地歴部 1971

註2 「大和川環境整備事業柏原地区高水敷整正工事に伴う船橋遺跡試掘調査報告書」(財)大阪文化財センター 1976

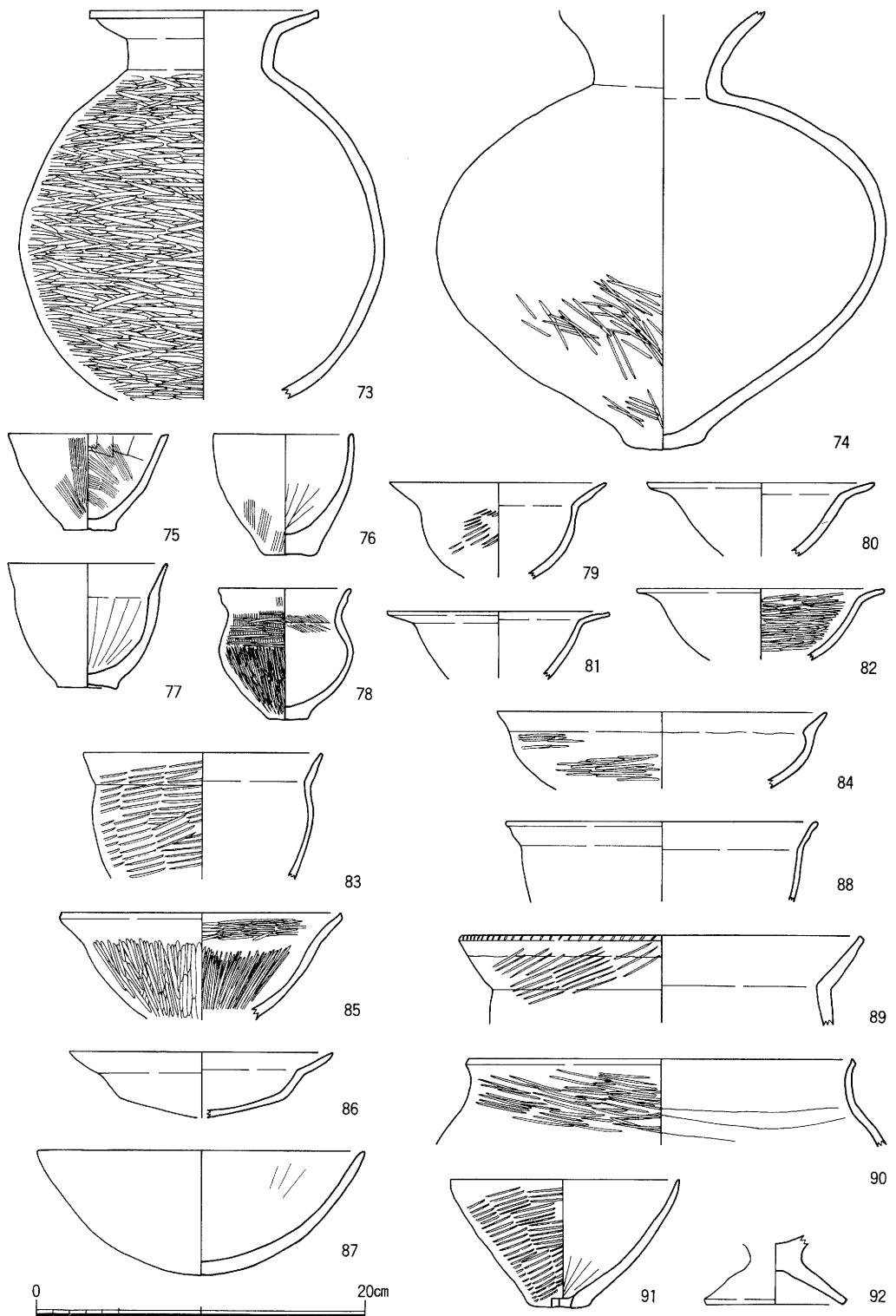
註3 「八尾南遺跡」一大阪市高速電気軌道2号線建設に伴う発掘調査報告書—八尾南遺跡調査会 1981

註4 「成法寺遺跡」—八尾市光南町1丁目29番地— (財)八尾市文化財調査研究会報告2 1983

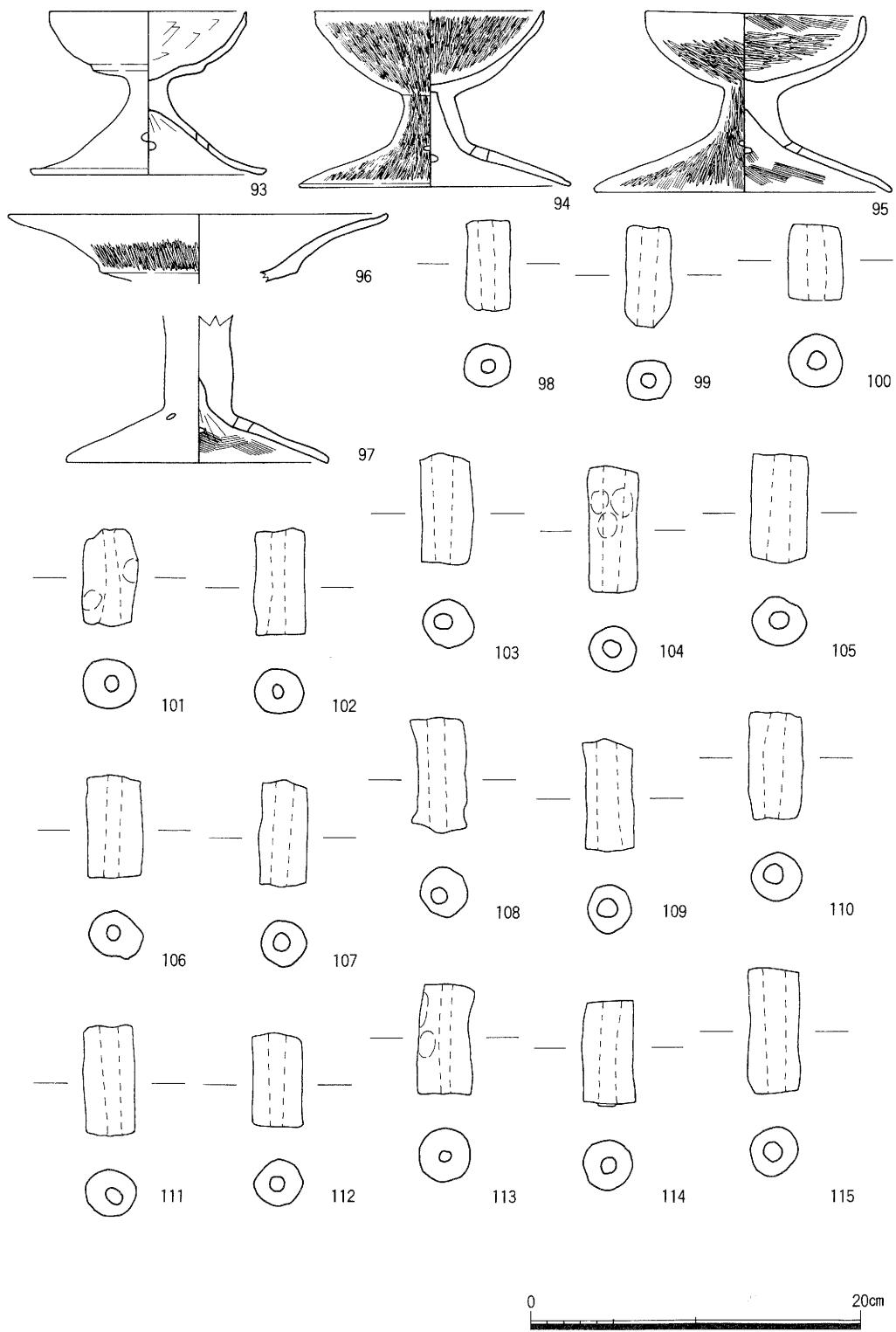
註5 「昭和59年度事業概要報告」「東弓削遺跡」 (財)八尾市文化財調査研究会報告8 1984



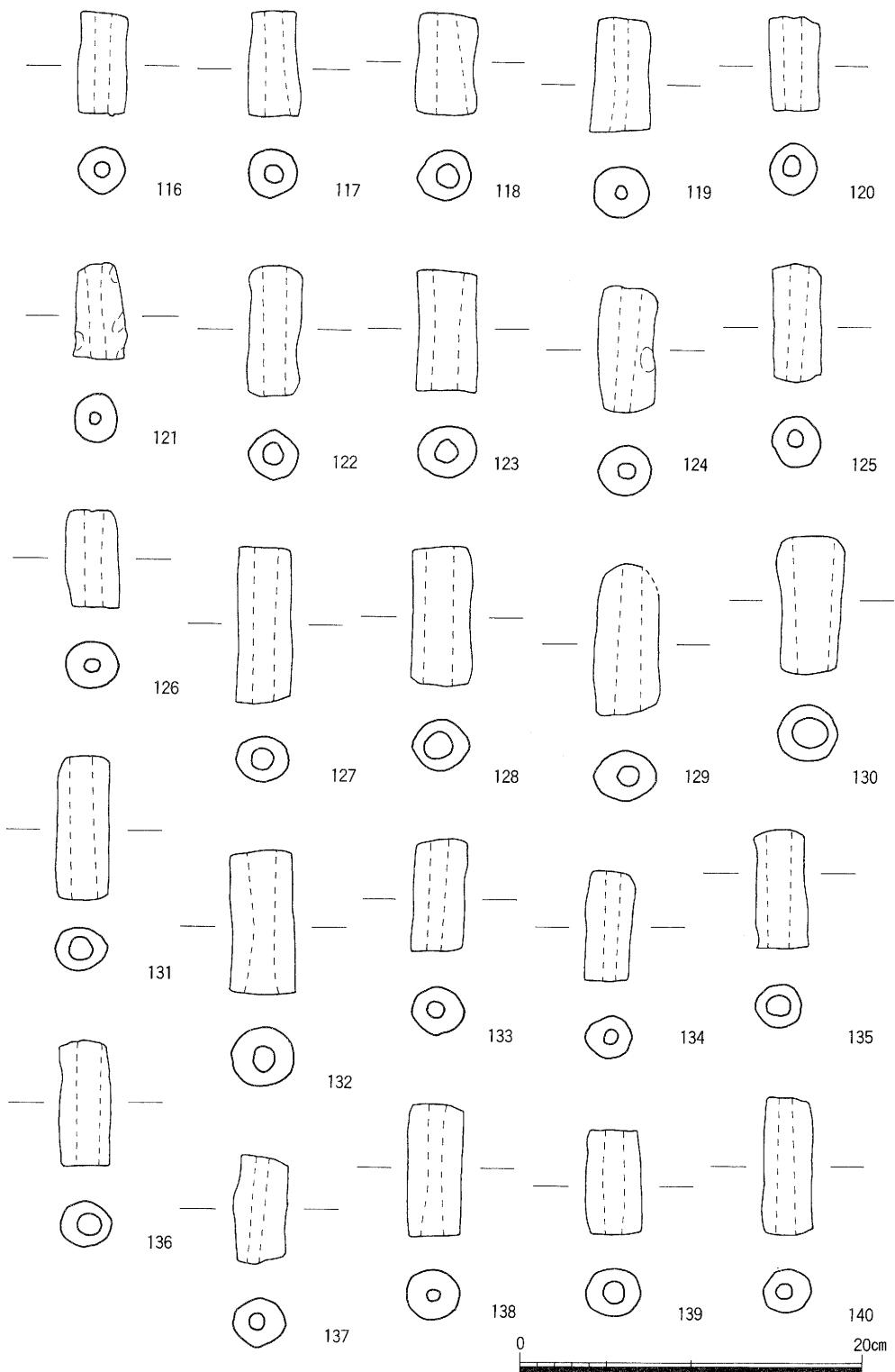
第24図 27 I 地区 S D 321出土遺物実測図 1



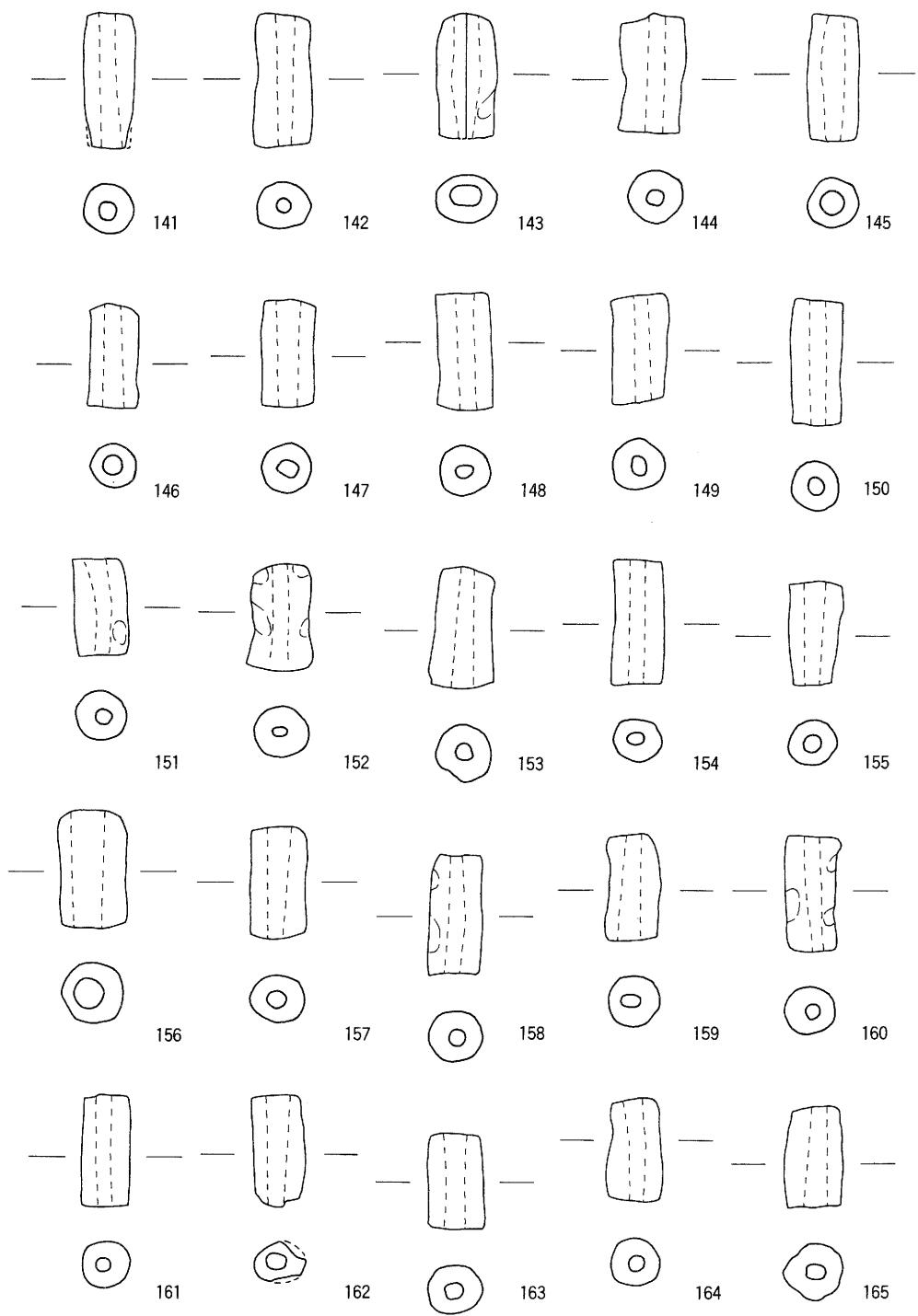
第25図 27Ⅰ地区 S D321出土遺物実測図2



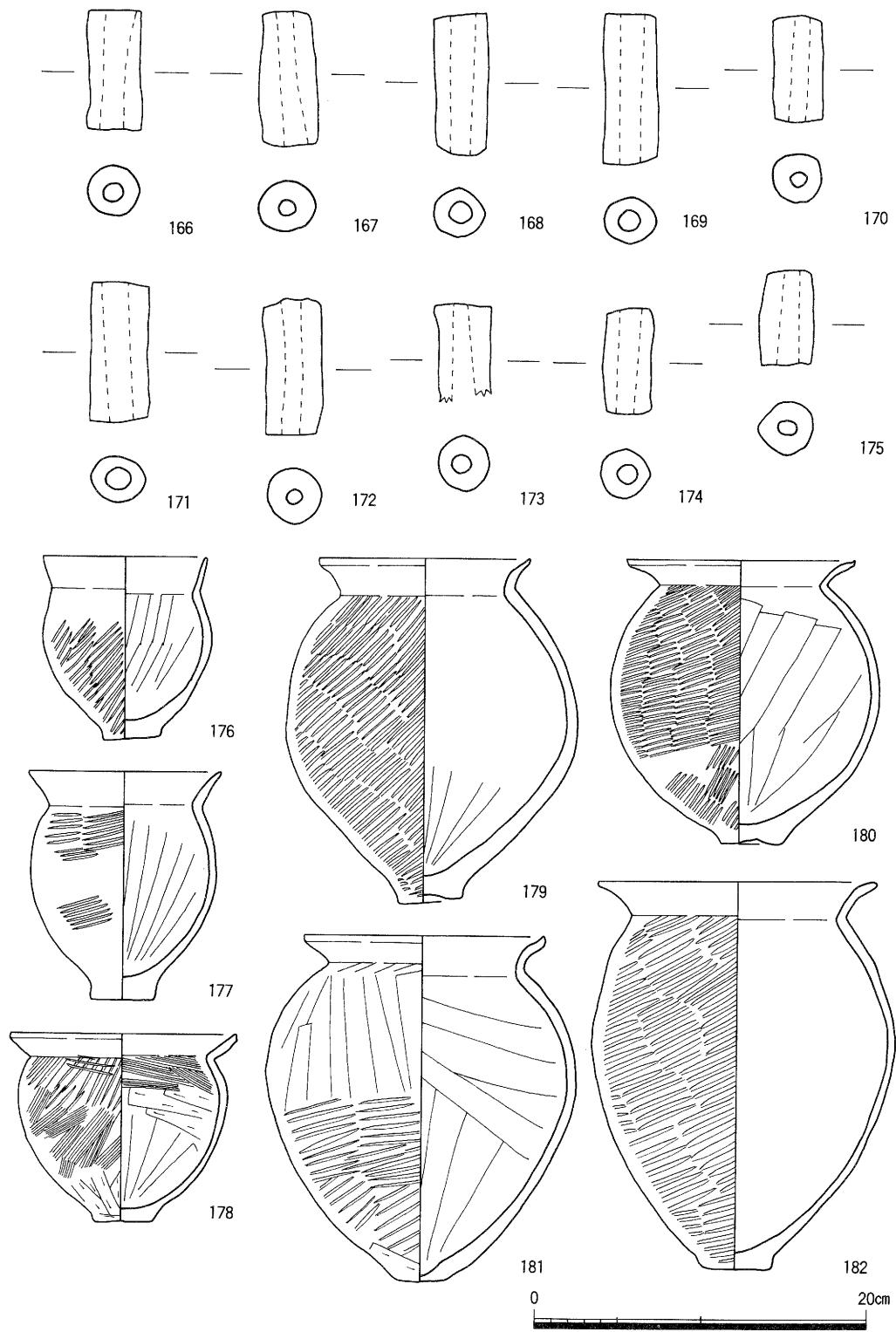
第26図 27 I 地区 S D 321出土遺物実測図3



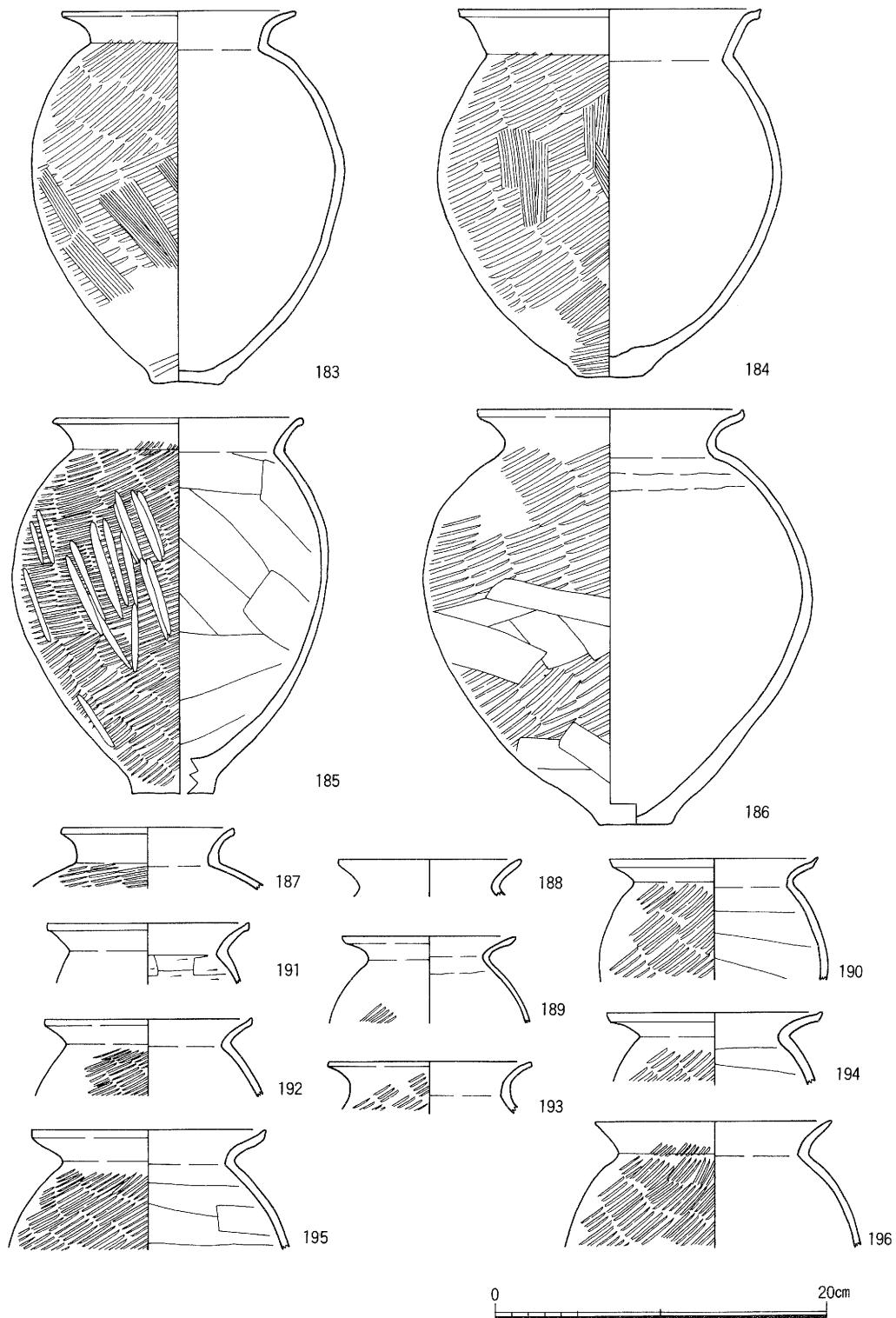
第27図 27 I 地区 S D 321出土遺物実測図4



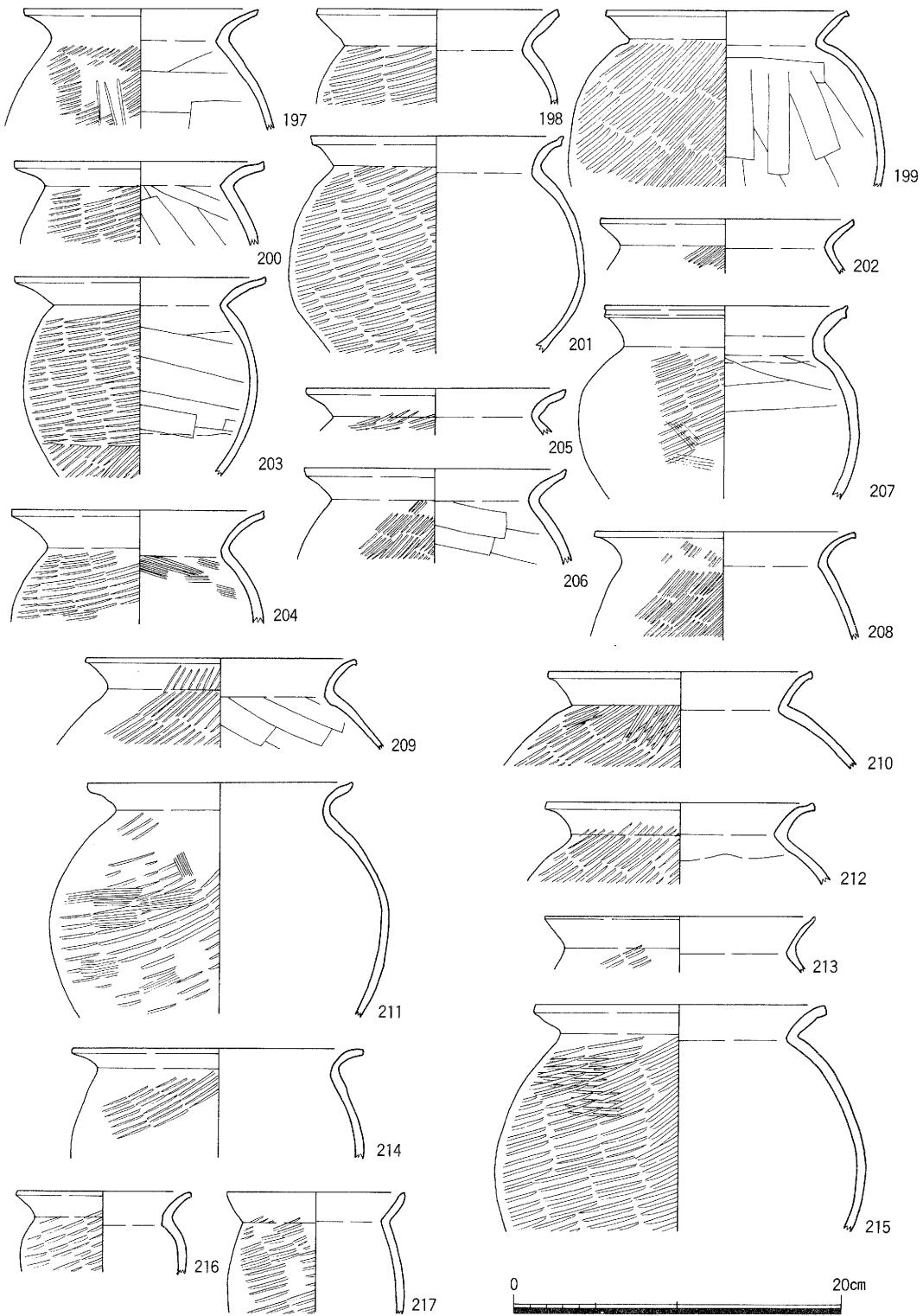
第28図 27Ⅰ地区 S D321出土遺物実測図5



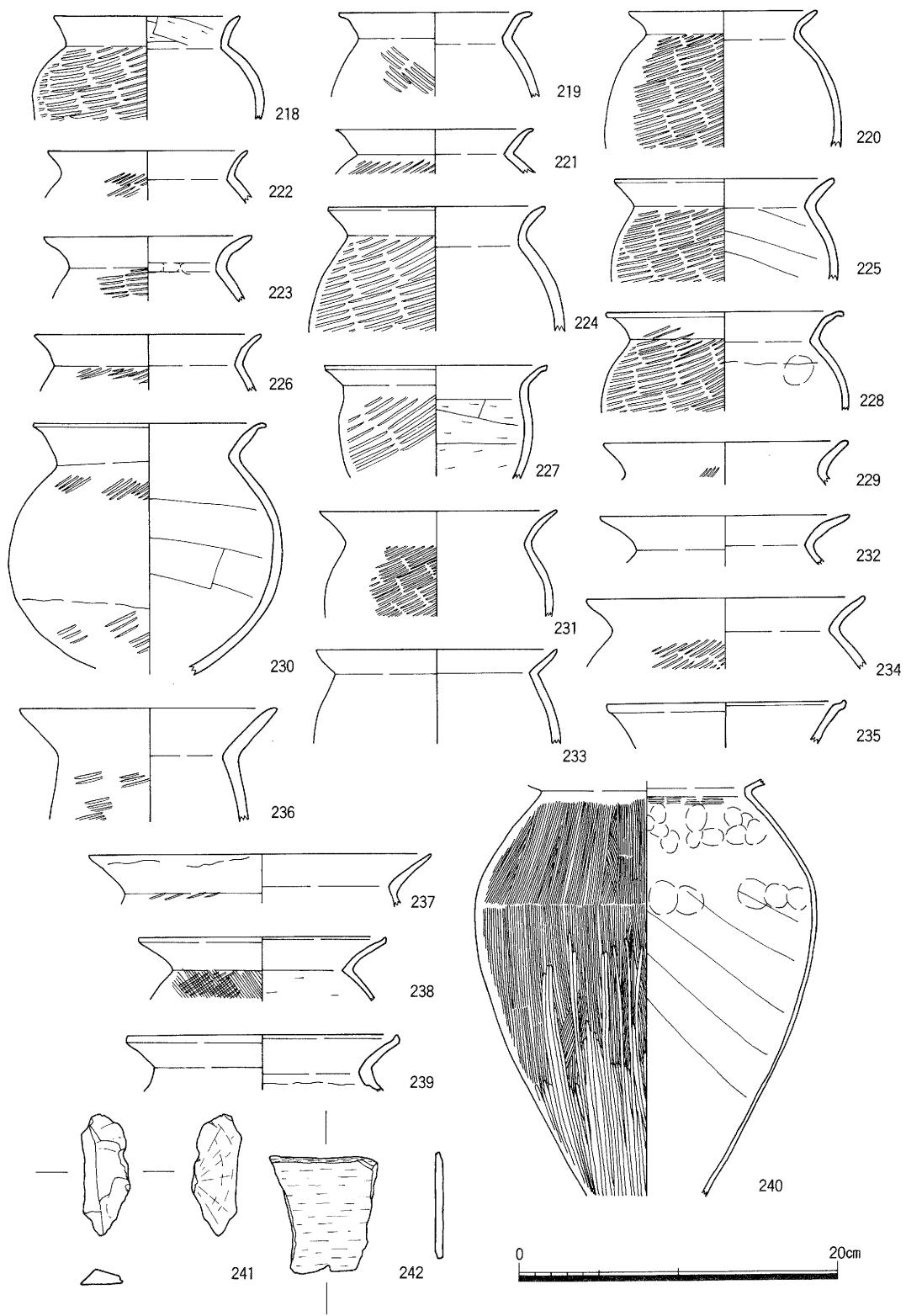
第29図 27 I 地区 S D 321出土遺物実測図6



第30図 27 I 地区 S D 321出土遺物実測図



第31図 271地区 S D321出土遺物実測図8



第32図 27 I 地区 S D 321出土遺物実測図9

II 古墳時代前期の遺構と遺物（第2・3調査面）

この時期の遺構は、検出した弥生時代後期の遺構と同様に自然堤防を形成した微高地上で大半の遺構が確認された。遺構はTP +8.0m前後を測る第5層上面で構築されている。今回検出した遺構は土坑10基・ピット8個・落ち込み状遺構1箇所、溝状遺構13条である。時期は庄内式古相～布留式に比定される。

以下、個々の遺構と遺物について概説する。

土坑

S K 44

25b地区で検出した。北部は上層より切り込む河川3に切断され、西部は調査区外に至る。検出部は東西径1.1m、南北径1.86m、深さ0.3mを測る土坑と思われる。平面は不明で、断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶褐色粘土・暗灰黄色粘土の2層に分かれる。

遺物は出土していないが、層位的・堆積土からみて布留期古相に比定されると推測される。

S K 45

25c地区で検出した。西部は調査区外に至る。検出部は東西径1.5m以上、南北径1m、深さ0.13mを測る土坑と思われる。平面は検出面で北を主軸として円弧を描きながら東に細くなる。断面は南北で皿状形を呈す。堆積土は黒灰色粘土の単一層である。

遺物は布留式土器に類似すると考える壺・甕等の細片をごく少量出土した。

S K 46

25b地区で検出した。東部は調査区外に至る。検出部は東西径0.8m以上、南北径0.8m、深さ0.15mを測る土坑である。平面は検出部でやや半楕円形を呈す。断面は皿状形を成す。堆積土は黒灰色粘土の単一層である。

遺物は出土していないが、S K 44等と同一時期であると考えられる。

S K 48

28m地区の落ち込み24の基底部で検出した。南部は調査区外に至る。検出部は東西径1.9m、南北径0.5m以上、深さ0.15mを測る土坑である。平面は不定形を呈すと推察する。断面は逆台形を成す。堆積土は暗灰色粗砂混じりシルトの単一層である。

遺物は出土していない。

S K 49

28m地区の落ち込み24の基底部で検出した。南北部は共に調査区外に至る。検出部は東西径2.1m、南北径2.2m、深さ0.2mを測る土坑である。平面は不定形を呈す。断面は緩やかな逆台形を成し、基底面は若干の起伏がみられる。堆積土は暗灰褐色砂混じり粘土の単一層である。

遺物は出土していない。

S K 50

28m地区の落ち込み24の基底面で検出した。南部は調査区外に至る。検出部は東西径0.5m、南北径0.8m以上、深さ0.15mを測る土坑である。平面は検出部で不定形を呈す。断面は逆台形を成す。堆積土は暗灰褐色砂混じり粘土の単一層である。遺物は出土していない。

S K 51

24-1 j 地区で検出した。北部は調査区外に至る。検出部は東西径1.3m、南北径1m以上、深さ0.1mを測る土坑である。平面は検出部で半楕円形を呈す。断面は皿状形を成す。堆積土は

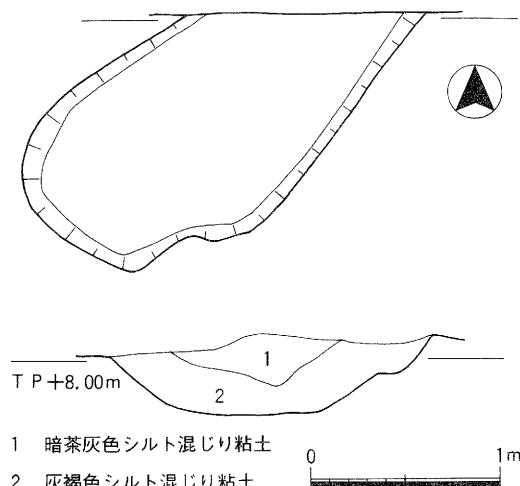
灰黄色シルト混じり粘土の単一層である。

遺物は出土していないが、層位的にみて古墳時代前期に比定されると推測する。

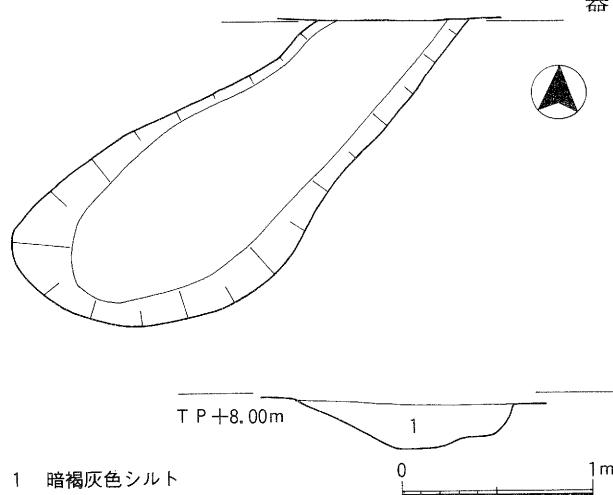
S K 52

24-1 l 地区で検出した。北部の一部は調査区外に至る。検出部は長径2m以上、短径0.9m、深さ0.32mを測る土坑である。平面は隅丸長方形を呈す。断面は逆台形を成す。堆積土は暗茶灰色シルト混じり粘土・灰褐色シルト混じり粘土に分かれる（第33図）。

遺物は布留式古相に類似する甕等の土器の細片をごく少量出土した。



第33図 24-1 l 地区 S K 52 平断面図



第34図 24-1 l 地区 S K 53 平断面図

S K 53

24-1 l 地区で検出した。北部の一部は調査区外に至る。検出部は長径1.9m、短径0.9m、深さ0.25mを測る土坑である。平面は隅丸長方形を呈す。断面は逆台形を成す。堆積土は暗褐灰色シルトの単一層である（第34図）。

遺物は細片化した布留式土器と腐敗した木片1点を出土した。

落ち込み状遺構

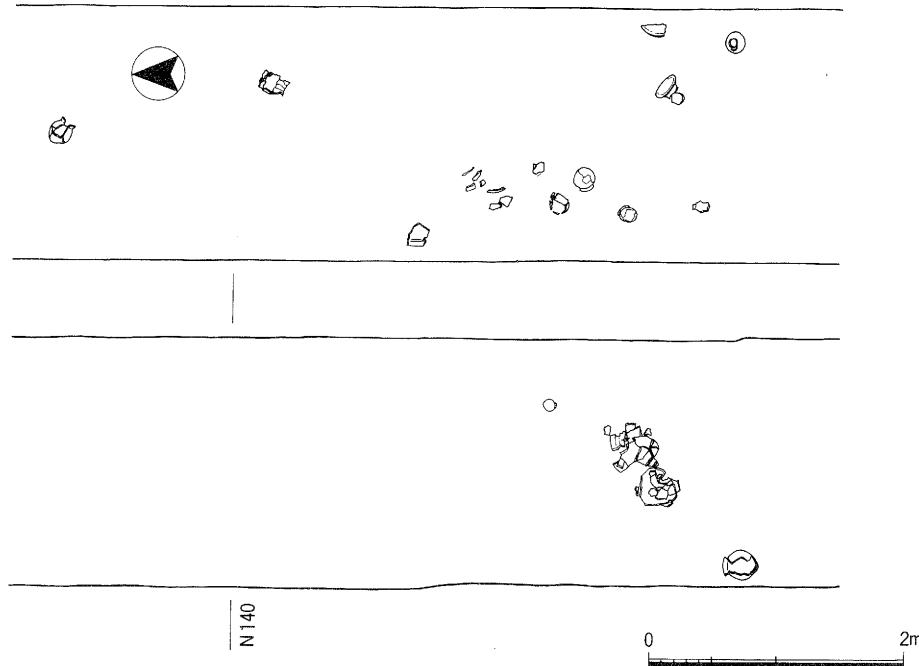
落ち込み26

26 a ~ c 地区・24-1 a 地区の一部・24-2 c 地区の一部で検出した。東西部・北部は共に調査区外に至る。検出部は東西径10m以上、南北径30m以上、深さ1mを測る落ち込み状遺構である。平断面形は明確でないが、弥生時代後期に比定される河川1の埋没して堆積した礫砂土層上の窪みに自然堆積したものと思われる。堆積土は黄灰色シルト・黄褐色粘土混じりシルト・灰黄色シルト混じり粘土・暗灰黄色シルト混じり粘土・乳灰色粗砂・青灰色シルト・灰青色シルト・灰茶色粘土で構成している（第35図）。

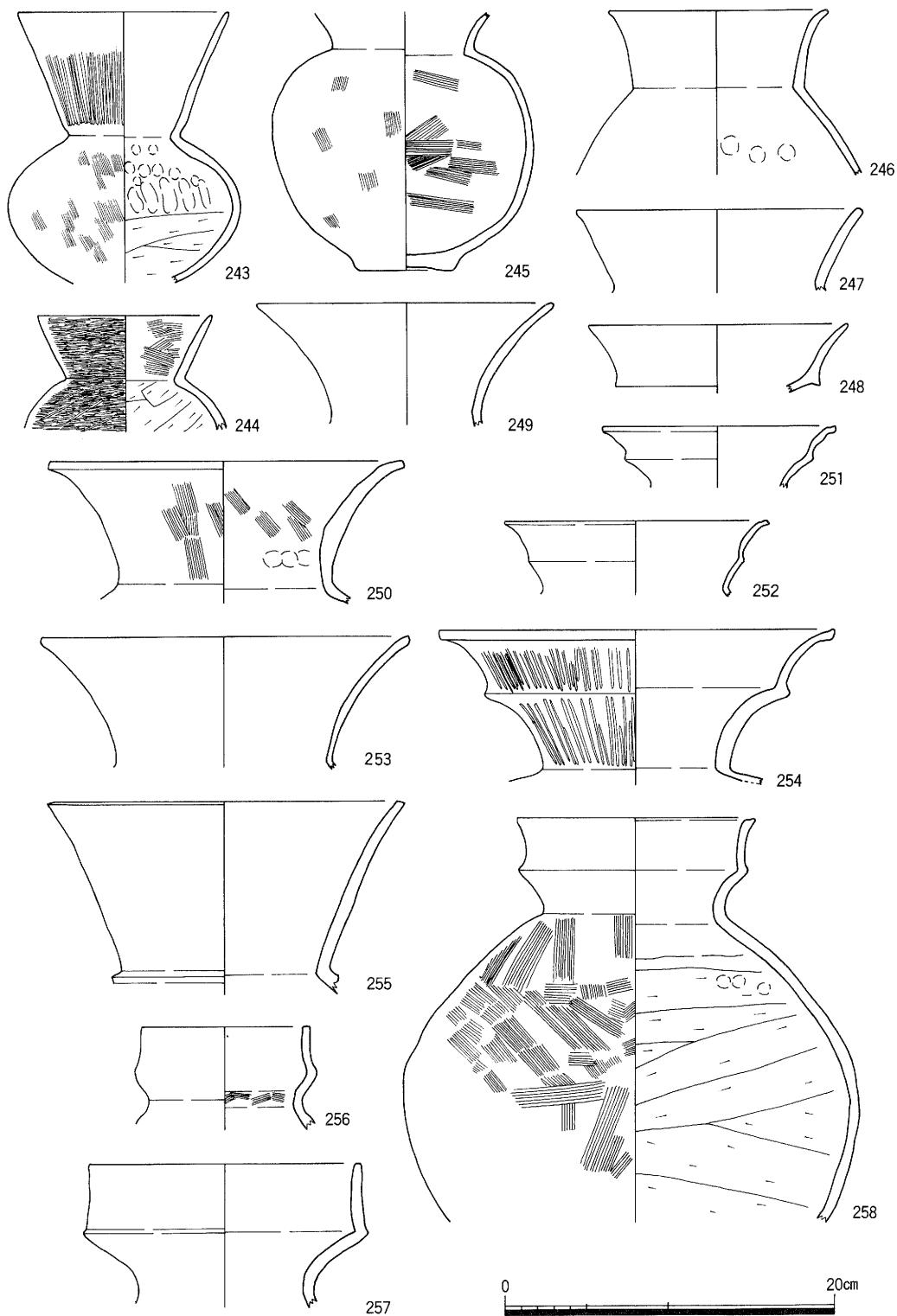
出土遺物

遺物はすべて流れ込みと思われ、堆積土内の中層に浮いた状態で布留式の時期に類似する土器と上層で古墳時代中期に比定される古式須恵器が出土した。

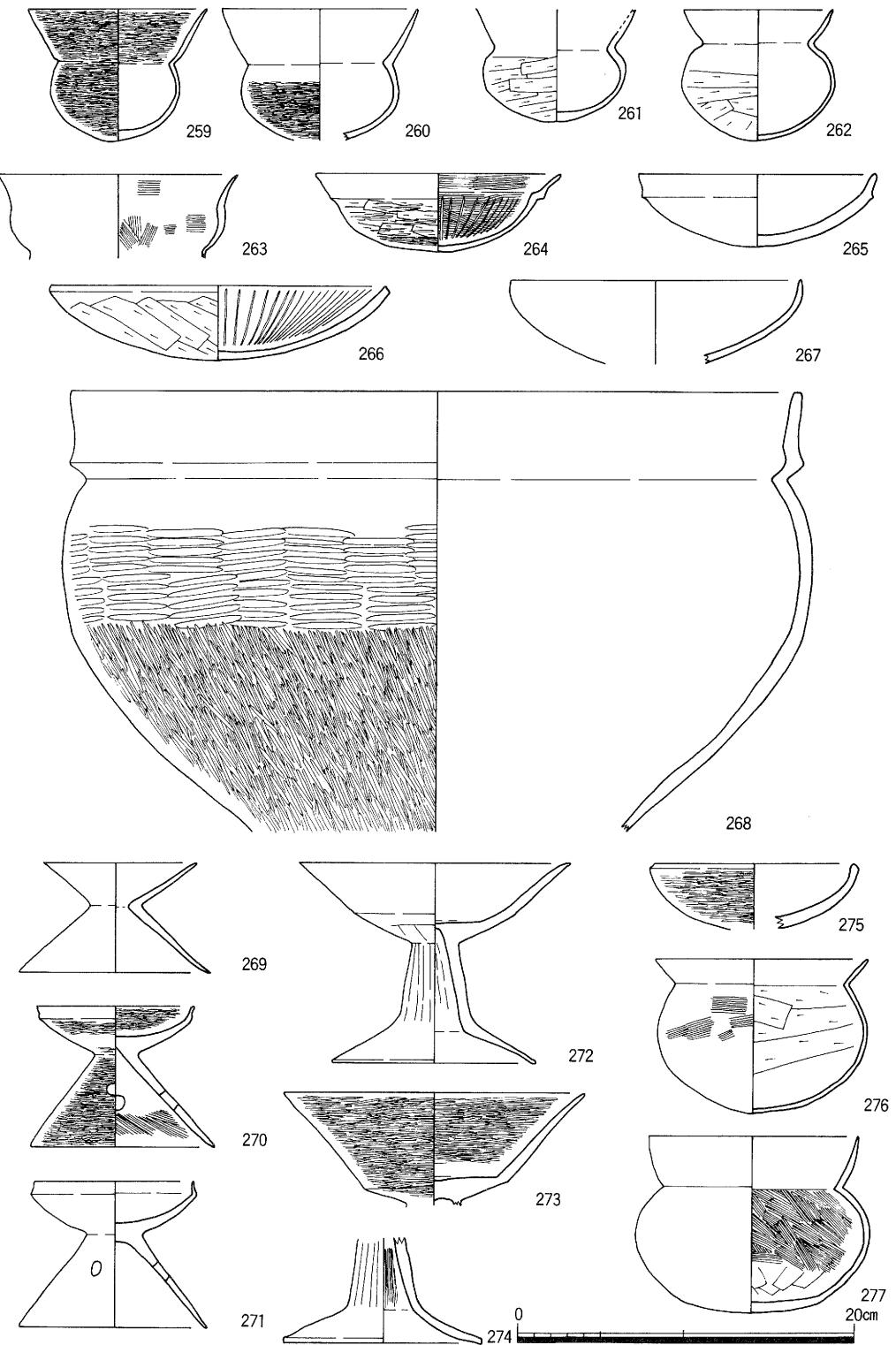
布留式土器は壺（243～258）・小型丸底壺（259～262）・鉢（263～268）・器台（269～271）・高坏（272～275）・小型甕（276・277）・庄内式甕（278）・畿内第V様式系甕（284～286）・布留式甕（287～301）・吉備地方の酒津式系甕（302）・その他の甕（279～283）等である。古式須恵器は鉢（303）・大型器台（304）等である（第36図～第39図）。



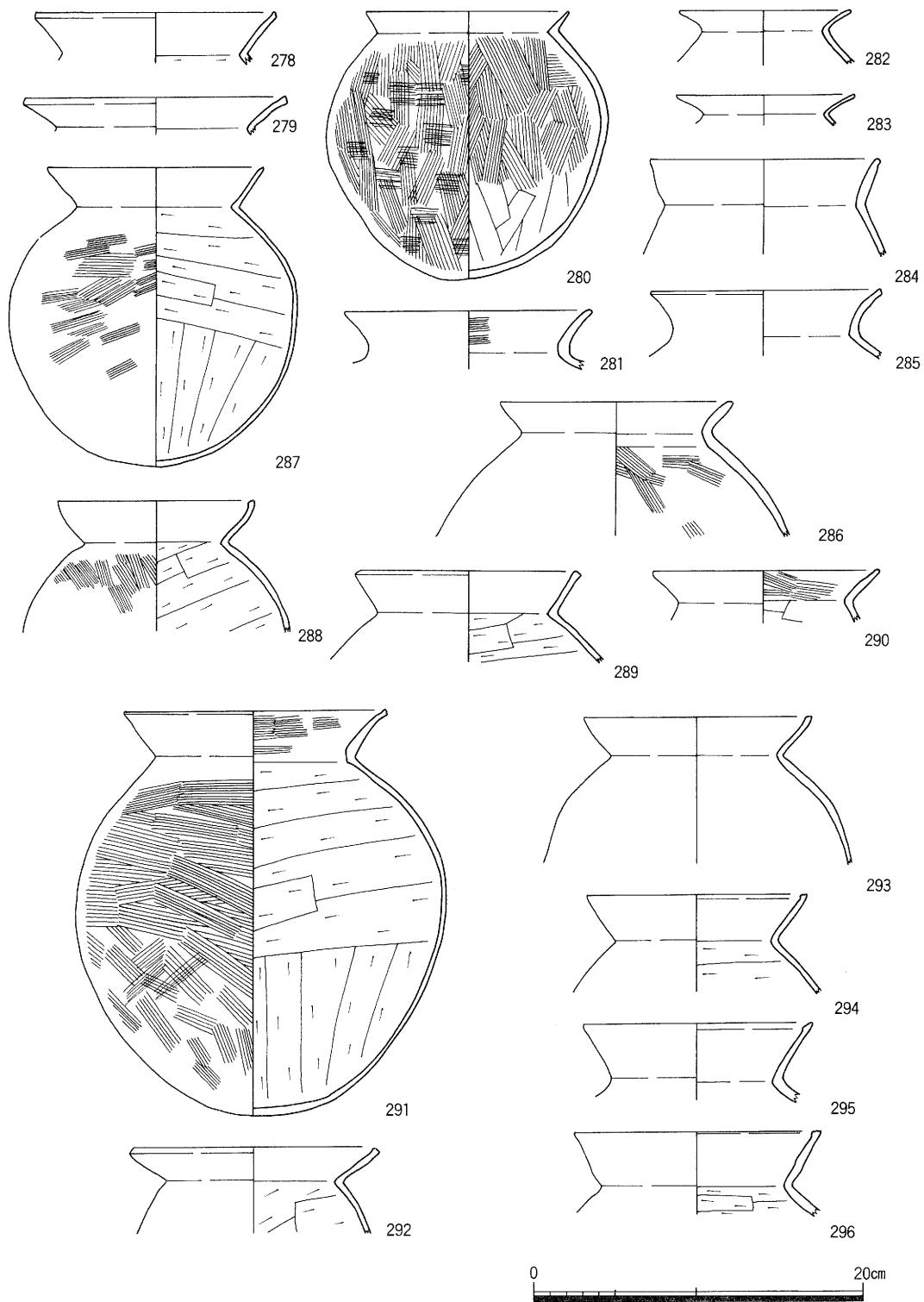
第35図 26 a ~ c 地区落ち込み26土器平面図



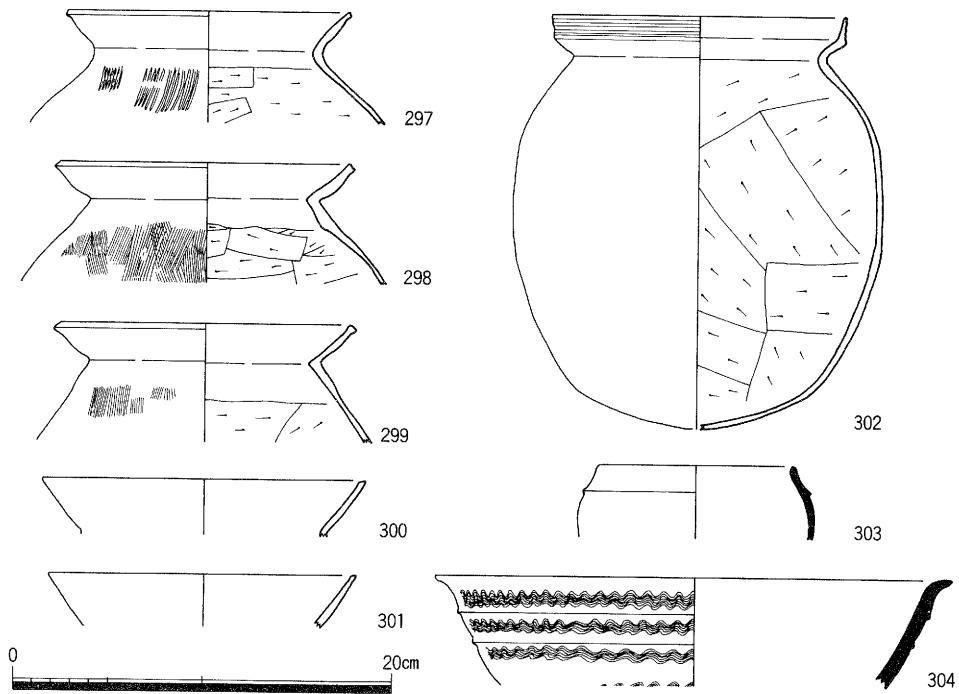
第36図 26 a～c 地区落ち込み26出土遺物実測図1



第37図 26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図2



第38図 26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図3



第39図 26 a ~ c 地区落ち込み26出土遺物実測図4

ピット (S P)

S P 129~S P 133・S P 138~S P 140

この時期に比定されるピットは8個を数える。検出地区は24-1 l ~ m地区・28m地区である。規模は径0.25~0.65m、深さ0.2~0.3mを測る。平面は円形及び橢円形を呈す。断面は逆台形及びU字形を成す。堆積土は暗茶灰色シルト混じり粘土又は暗灰褐色砂混じり粘土の単一層である。これらのピットは住居址に伴う柱穴跡と若干異なるものと考える(第2表)。

第2表 古墳時代前期のピット一覧表

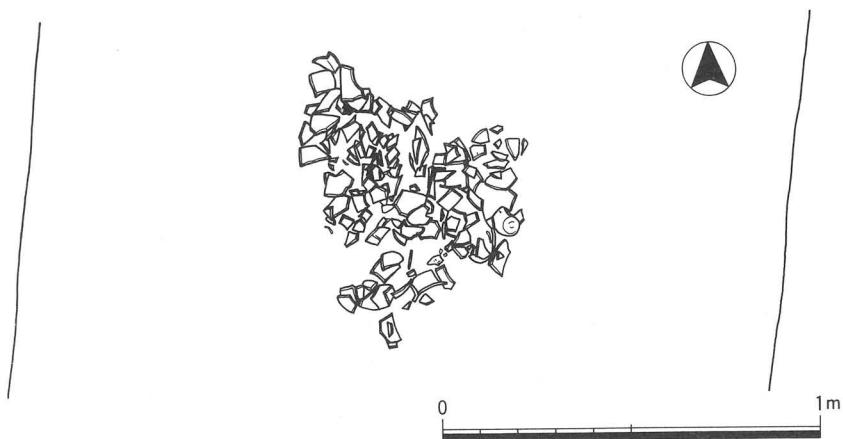
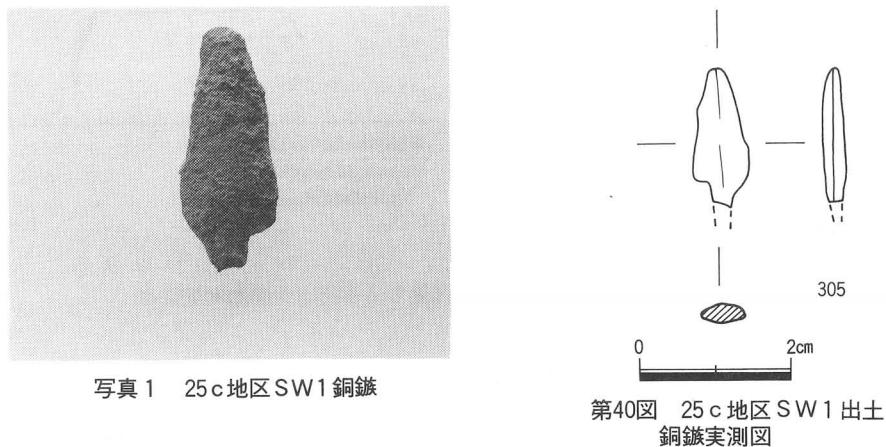
地 区	遺構番号	径 (cm)	深さ (cm)	平面形	断面形	堆 積 土	備 考
25 1	S P129					暗茶灰色シルト混じり粘土	
24-1 m	S P130	48.0	8.6~ 9.0	円 形	逆 台 形	暗茶灰色シルト混じり粘土	
24-1 n	S P131	29.0	6.2	円 形	楕 状 形	暗茶灰色シルト混じり粘土	
24-1 n	S P132	40.0~66.0	2.7~ 4.0	楕 圓 形	逆 台 形	暗茶灰色シルト混じり粘土	
24-1 n	S P133	23.0	6.5	円 形	楕 状 形	暗茶灰色シルト混じり粘土	
28l	S P138	47.0	20.7~26.0	円 形	逆 台 形	暗灰褐色砂混じり粘土	
28l	S P139	36.0	12.1~17.8	円 形	逆 台 形	暗灰褐色砂混じり粘土	
28l	S P140	23.0~43.0	13.7~17.5	不 定 形	逆 台 形	暗灰褐色砂混じり粘土	

土器溜め (SW)

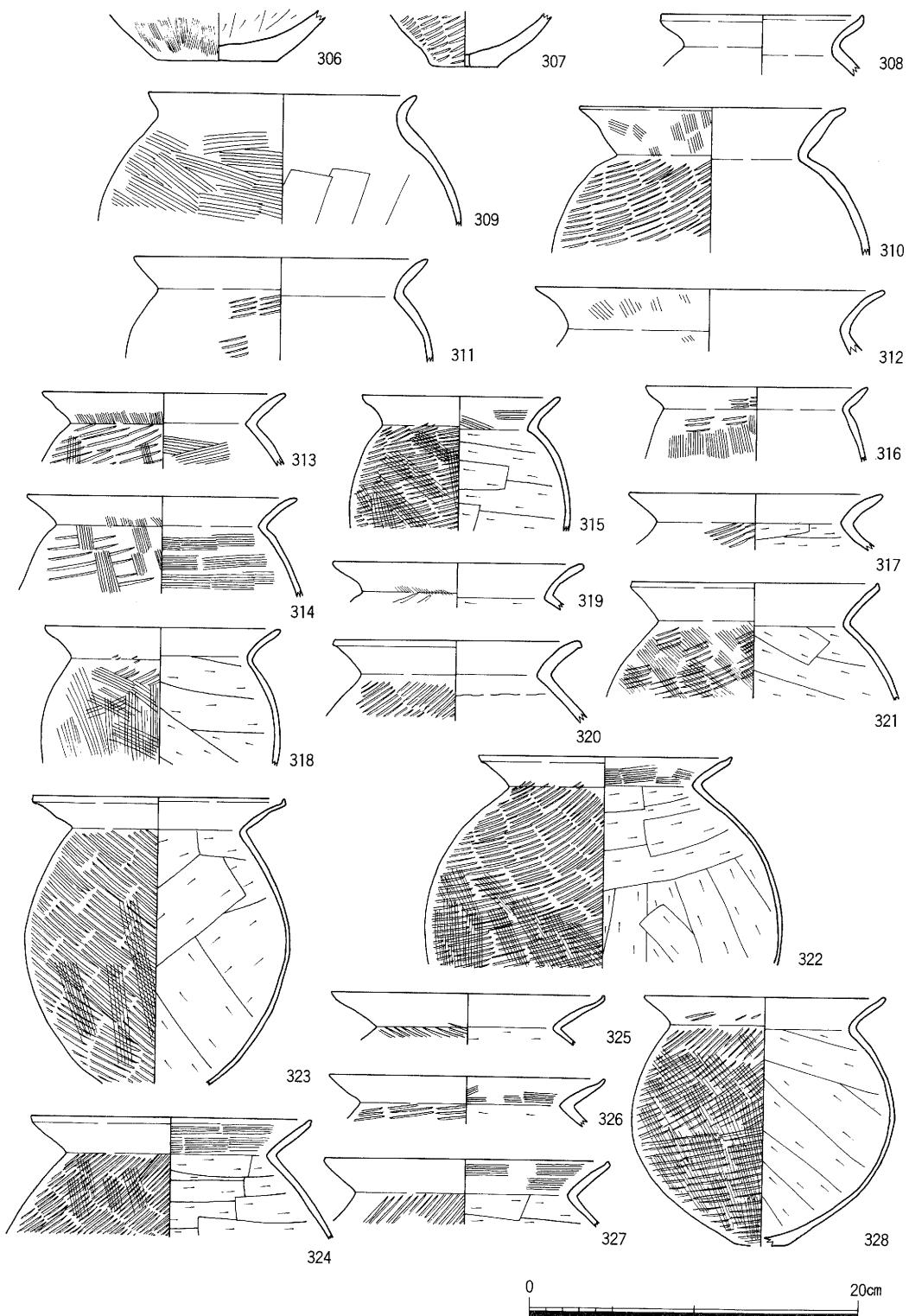
SW1

25c 地区で検出した。検出面は T P +8.0m 前後を測る褐灰色粘土の上面で、土坑状の窪みを有しない土器の集積である。土器は径0.6~1 mを測る平面橢円形で、断面は高さ0.15mを測り、やや山形状に盛り上がっている。これらの土器はすべて細片化していて、使用不能になった土器を廃棄したのではないかと思われる（第41図）。

遺物はコンテナにして1杯分で、ほとんどが庄内式甕（321~328）である。その他は壺（306）・有孔鉢（307）・畿内第V様式系甕（308~320）と長さ3.2cm以上、重さ3.2gを測る銅鏡（305）1点を出土した（第40図・第42図）。



第41図 25c 地区 SW1 土器平面図



第42図 25c地区 SW 1 出土遺物実測図

溝

S D 146

23n 地区で検出した。検出部は幅0.6~0.8m、深さ0.2mを測る溝である。方向は南東ー北西の方向で調査区外に至る。断面は皿状形を呈し、弥生時代後期に比定される落ち込み27の堆積土を切り込んでいる。堆積土は黒茶褐色粘土の単一層である。

遺物は古墳時代前期に比定される土師器の細片をごく少量出土した。

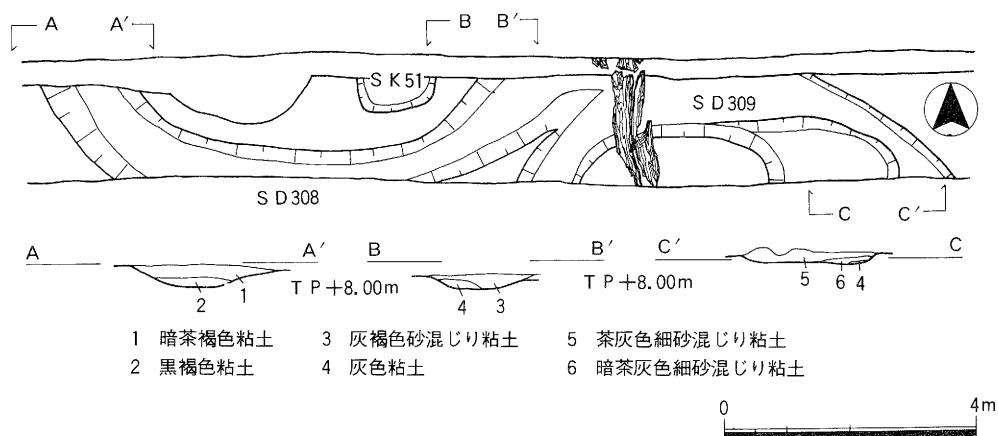
S D 308

24-1j 地区で検出した。東部は S D 309 と切り合う関係にあり、南部と北部は調査区外に至る。検出部は幅0.8~1.5m、深さ0.2~0.3mを測る溝である。平面は北を主軸として円弧を描く。断面は皿状形を成す。この溝は S D 309 の接点に木片（腐敗しているために、加工した痕跡はない）が置かれたような状態で検出した。堆積土は褐灰色粗砂混じり粘土の単一層である。この溝の性格は墳丘の高まりや主体部等の検出が認められない。また限られた調査区で全景を確認していないなどがあるが、北方で溝が廻らした方形周溝墓の可能性が強いのではないかと考える。

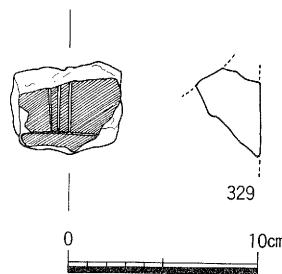
遺物は畿内第V様式系の甕・布留式甕等の土器片をごく少量出土した程度である。

S D 309

24-1k 地区で検出した。西部は S D 308 と切り合う関係にあり、北部の一部と南部は調査区外に至る。検出部は幅0.8~3m、深さ0.1~0.25mを測る溝である。平面は南を主軸として円弧を描く。断面は皿状形を成す。この溝は S D 308 で述べたように木片が横たわった状態で検出している。堆積土は暗灰褐色砂混じり粘土の単一層である。この溝の性格は S D 308 と同様に墳丘の高まりや主体部の検出等はないが、調査区外の南部で溝が廻る方形周溝墓の可能性がある。

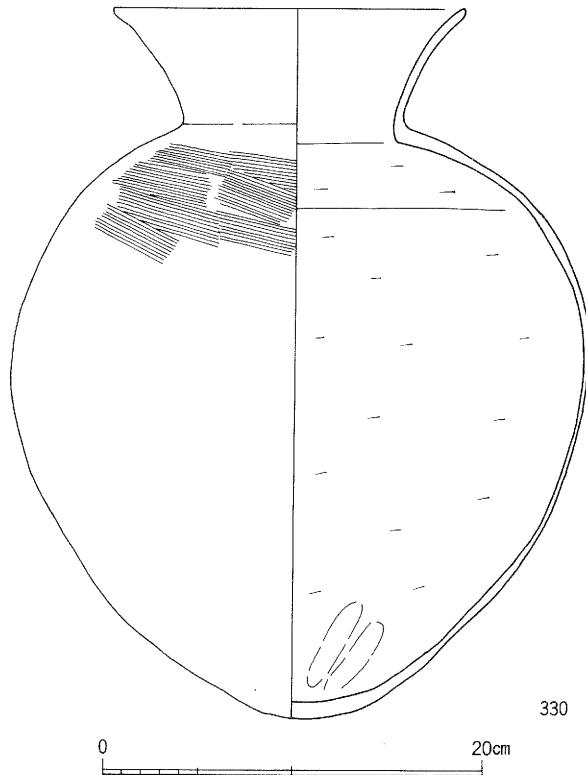


第43図 24-1j・k地区 S D 308・S D 309断面図

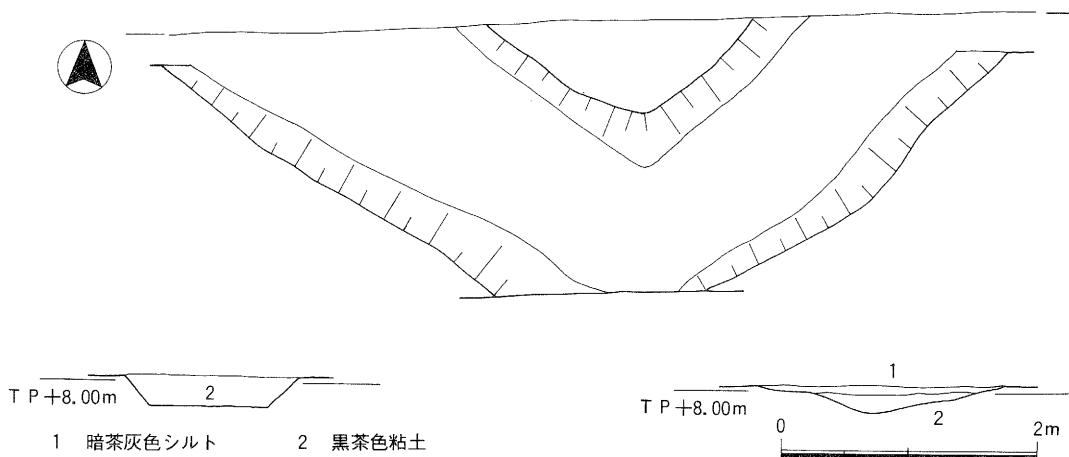


第44図 24-1 k 地区 S D 309
出土遺物実測図

遺物は畿内第V様式系の甕・布留式甕等の土器細片をごく少量出土した。また、上面付近から流れ込みで混入したと思われる形象埴輪の小片（329）1点を出土した（第44図）。



第45図 24-1 n 地区 S D 310出土遺物実測図



第46図 24-1 n 地区 S D 310 平断面図

またこの溝は墳丘の高まりや主体部の検出はないが、コーナー部の基底面より供獻土器かと思われる土器が土圧によってへしゃがった状態で出土していることから、北方に溝が廻っている方形周溝墓ではないかと推察される（第46図）。

遺物は供獻土器かと思われる壺（330）1点・布留式甕等の細片をごく少量出土した（第45図）。

S D 311

25c 地区で検出した。検出部は幅1.1～2.1m、深さ0.3mを測る溝状遺構である。方向は南西～北東の方向を指す。南西部は途切れ、北東部は調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈す。堆積土は暗茶灰色砂混じり粘土・黒灰色粘土の2層に分かれる。下層はレンズ状の堆積がみられ、当時は一定期間の帶水状態であったことを示すものと推察される。

遺物は布留式古相に比定される土師器の細片をごく少量出土した。器種は壺・甕等である。

S D 312

25d 地区で検出した。検出部は幅0.9～0.2m、深さ0.3mを測る溝状遺構である。方向は南東～北西の方向を指す。北西部は途切れ、南東部は調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈す。堆積土は暗茶灰色砂混じり粘土・黒灰色粘土の2層に分かれる。下層はS D 312と同様にレンズ状の堆積がみられ、一定期間の帶水状態であったことを示すものと推察される。

この遺構の性格を考える上でS D 311と関連づけると、西部のコーナー部に陸橋部を備えた方形周溝墓ではないかと推測される。しかし、S D 310と同様に限られた調査区内であり、墳丘の高まりや主体部の検出等が確認されていない。

遺物は布留式古相に類似する土師器の細片をごく少量出土した。器種は壺・甕等である。

S D 313

25h 地区で検出した。検出部は幅2.3m、深さ0.4mを測る溝状遺構である。方向は南西～北東の方向を指し調査区外に至る。断面は浅い掘り鉢状形を呈す。堆積土は黒茶色粗砂混じり粘土の単一層である。この溝は南西部に位置する東西トレンチの27地区では検出されなかった。

遺物は布留式古相に類似する土師器の細片をごく少量出土した。器種は壺・甕等である。

S D 314

25i 地区と一部27o 地区で検出した。検出部は幅2.4～3 m、深さ0.86mを測る溝状遺構である。方向は東西方向を指し調査区外に至る。断面は掘り鉢状形を呈す。堆積土は上方から暗茶褐色粗砂混じり粘土・黒茶色粗砂混じり粘土・灰黄色粘土・青灰色粘土・灰色粘土の5層で構成されている。この遺構のベース面は弥生時代後期に比定される落ち込み28が埋没して堆積した上面より切り込まれている（第47図）。

遺物は東壁の上層より山陰地方の形態をもつ鼓形器台（340）の完形が1点出土した。中層よりは東海地方の形態をもつ壺（338）で、赤色顔料を塗布している。その他は布留式古相に類似

する壺(331~337)・鉢(339)・甕(342~346)等を出土した。下層は沈殿した植物遺体上面より完形で壺(332・333)・細片化した畿内第V様式系に類似する甕(341)等と薄く板状に加工した木製品(1001・1002)2点を出土した。

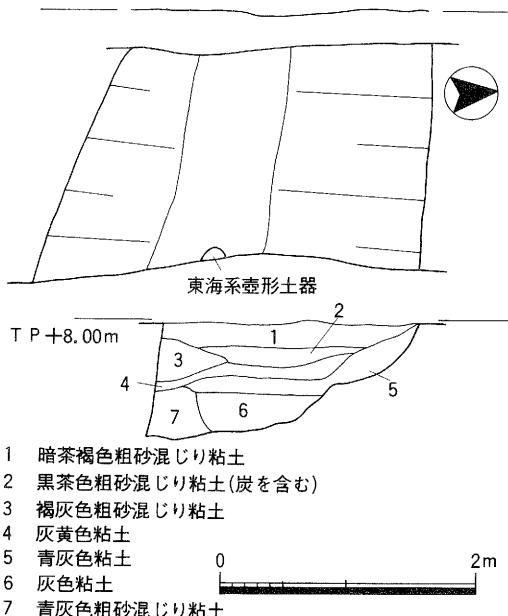
1001は長径23.5cm、短径16.4cm、厚み1.4cmを測る長方形の板状木製品である。各辺の端部付近には径0.3~0.4cmの円形を呈する穿孔が施されている。穿孔は長辺部2対の2箇所で間隔2cmと2箇所で間隔9cm・短辺部2箇所で間隔5cmとコーナー部の1箇所である。用途は不明である。材質は針葉樹に属すると思う。

1002は長径21.2cm(片端部は欠損する)、短径17.8cm、厚み1.5cmを測る長方形と思われる板状木製品である。この木製品には穿孔が認められない。用途は1001と同様に不明である。材質は針葉樹に属する(第49図~第51図)。

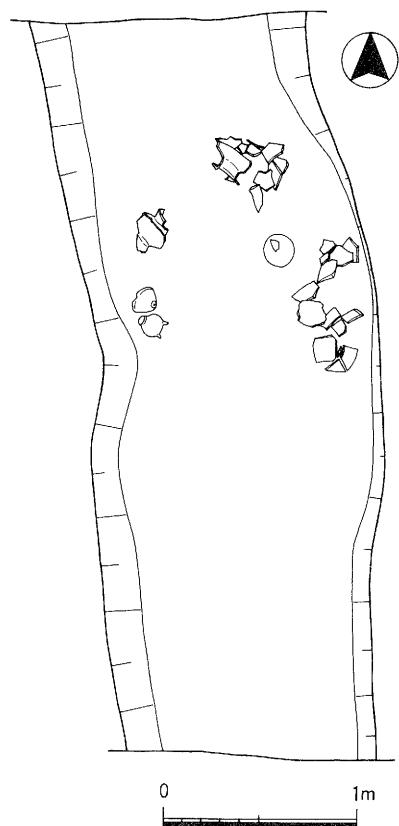
S D 315

28n地区で検出した。東部にS D 316が隣接している。検出部は幅1.3~1.5m、深さ0.2mを測る溝状遺構である。方向はほぼ南北方向を指し調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈す。堆積土は暗茶灰色粗砂混じり粘土・灰青色粘土の2層に分かれる(第48図)。

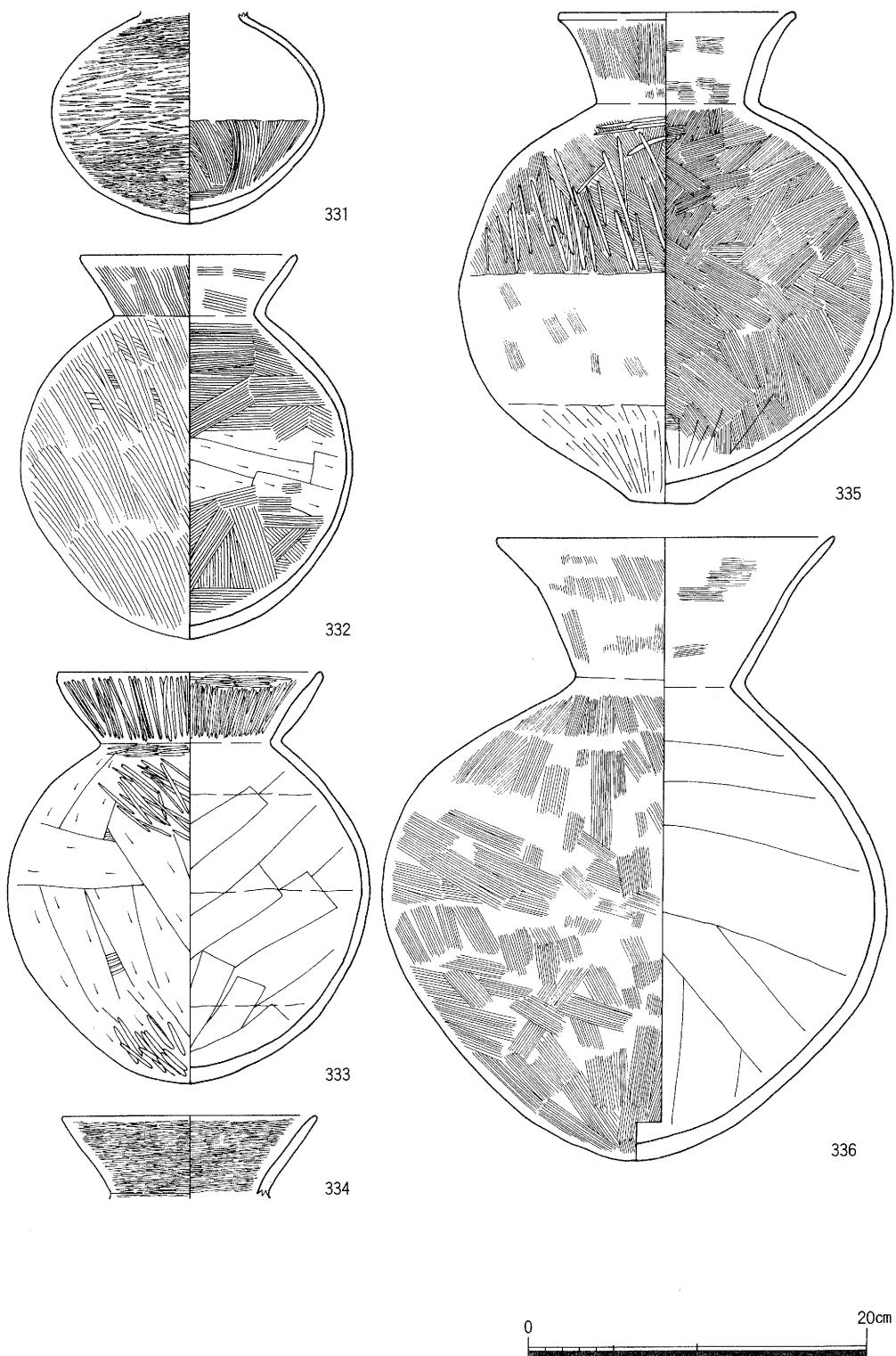
遺物は検出した溝状遺構の中央部に集中して出土した土器で、基底面にへばりついたような状態で検出した。土器は庄内式土器に類似する資料である。器種は壺(347~350)・有孔鉢(351)・畿内第V様式系の甕(352・353)・庄内式甕(354~358)等である。350の壺は体部中位に2次的の穿孔が1箇所認められる(第52図)。



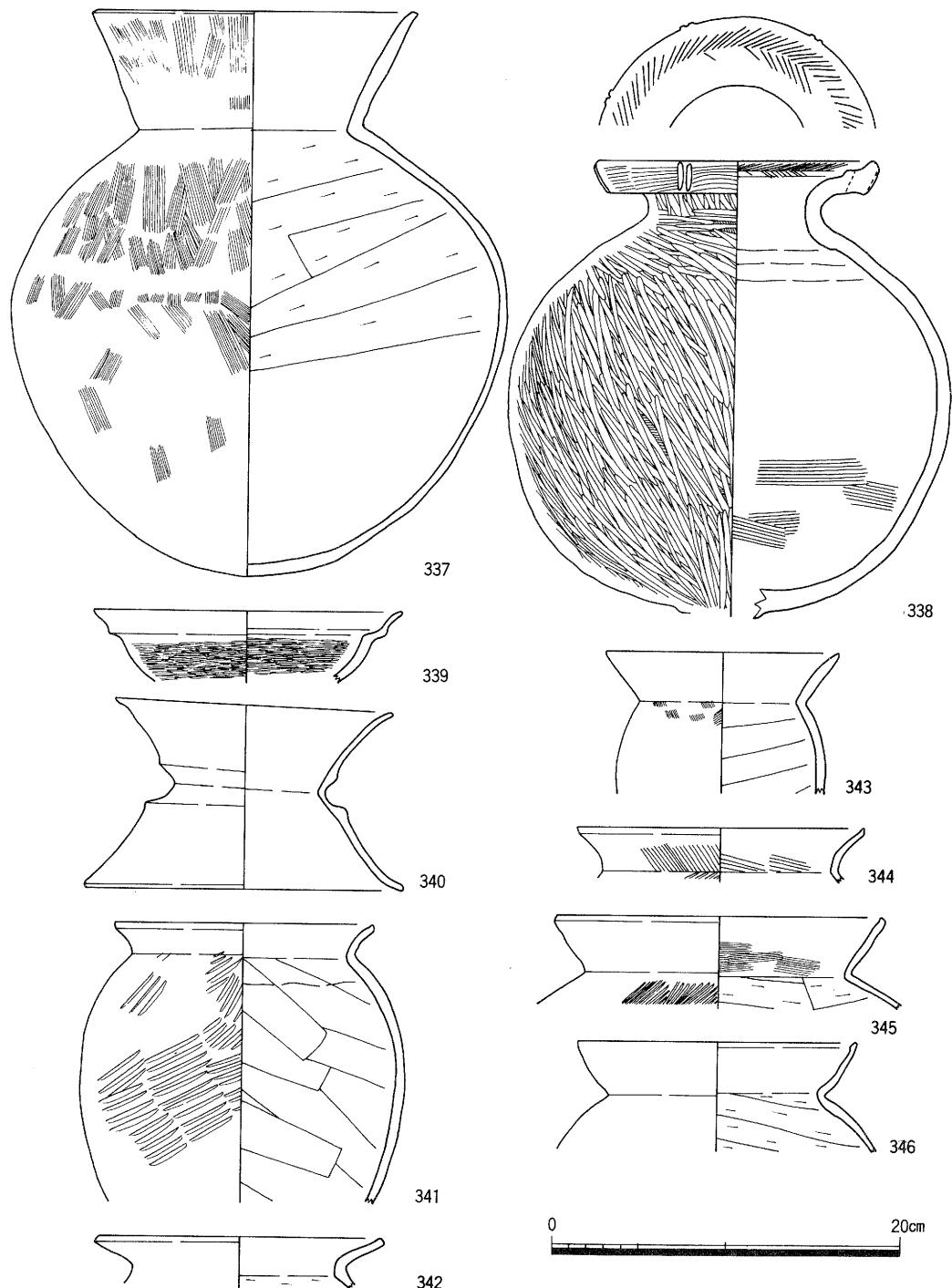
第47図 25i地区 S D 314平断面図



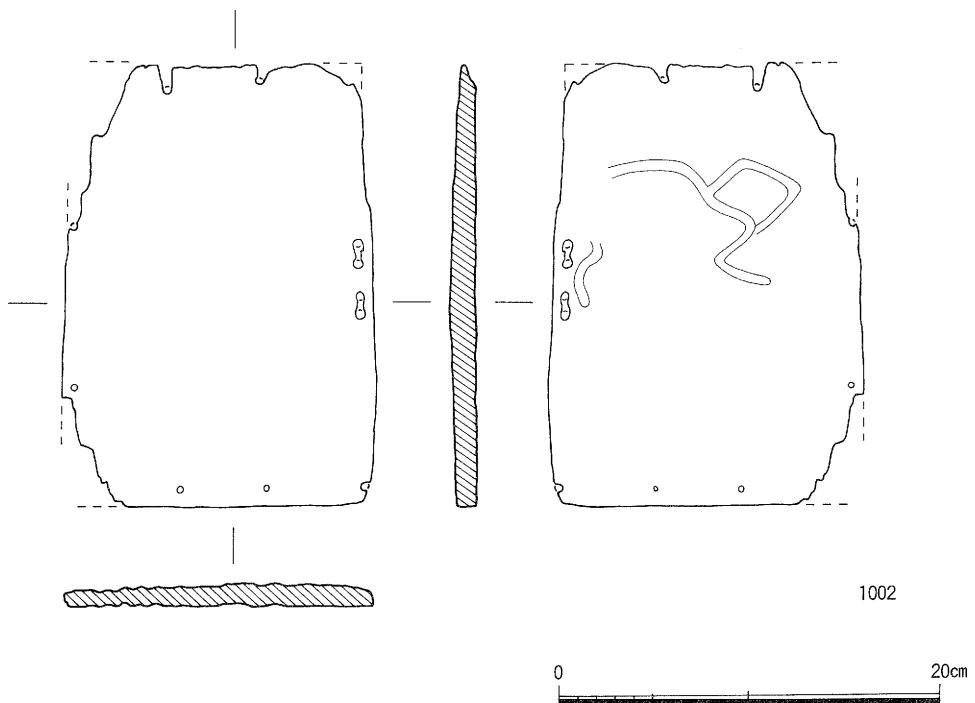
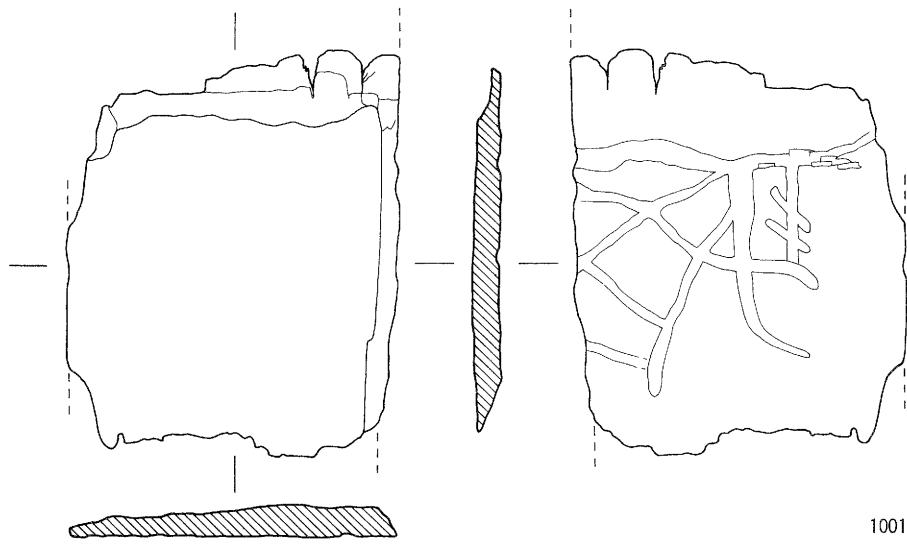
第48図 28n地区 S D 315土器平面図



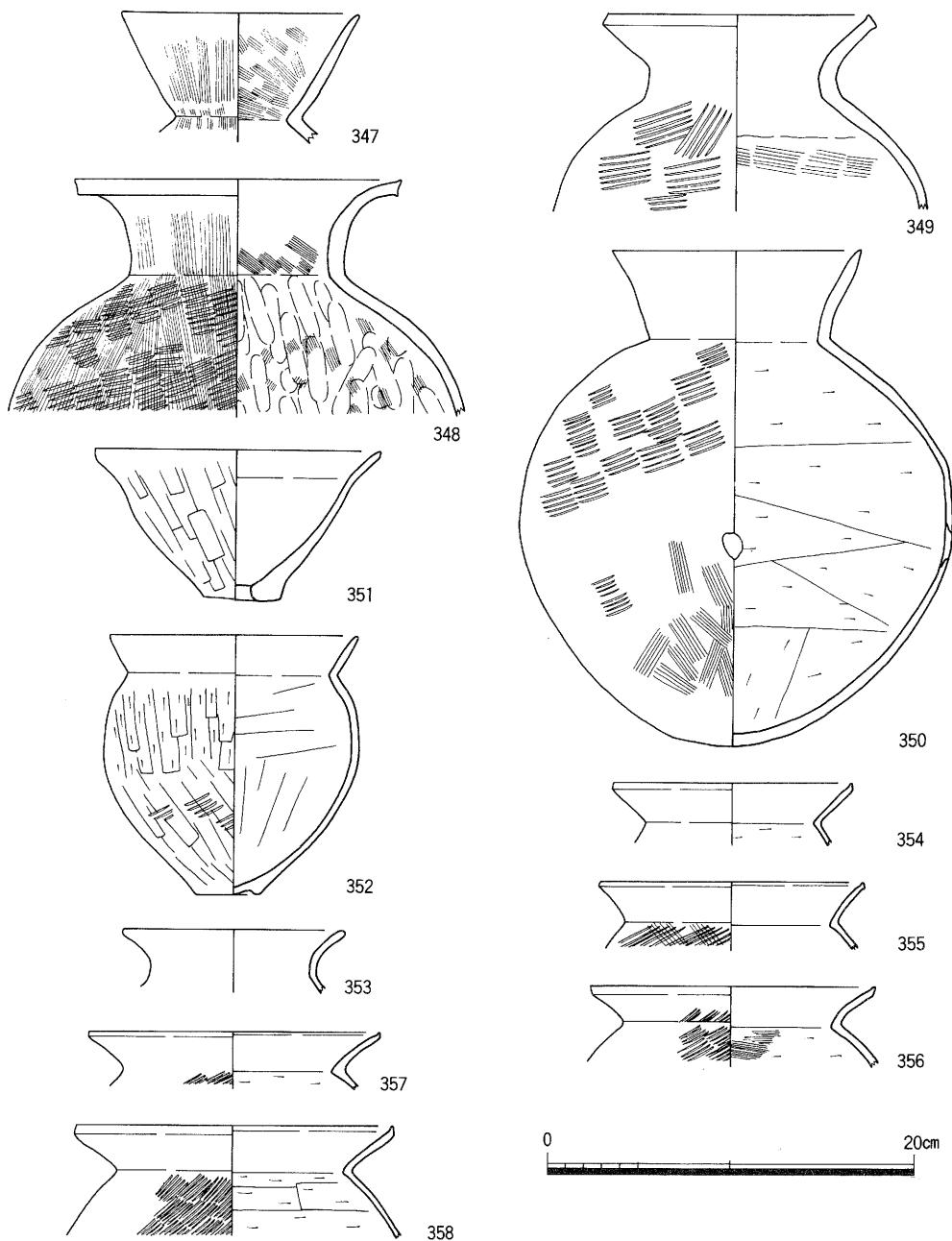
第49図 25 i 地区 S D 314出土遺物実測図 1



第50図 25 i 地区 S D 314出土遺物実測図2



第51図 25 i 地区 S D 314出土木製品実測図



第52図 28n地区 S D 315出土遺物実測図

S D 316

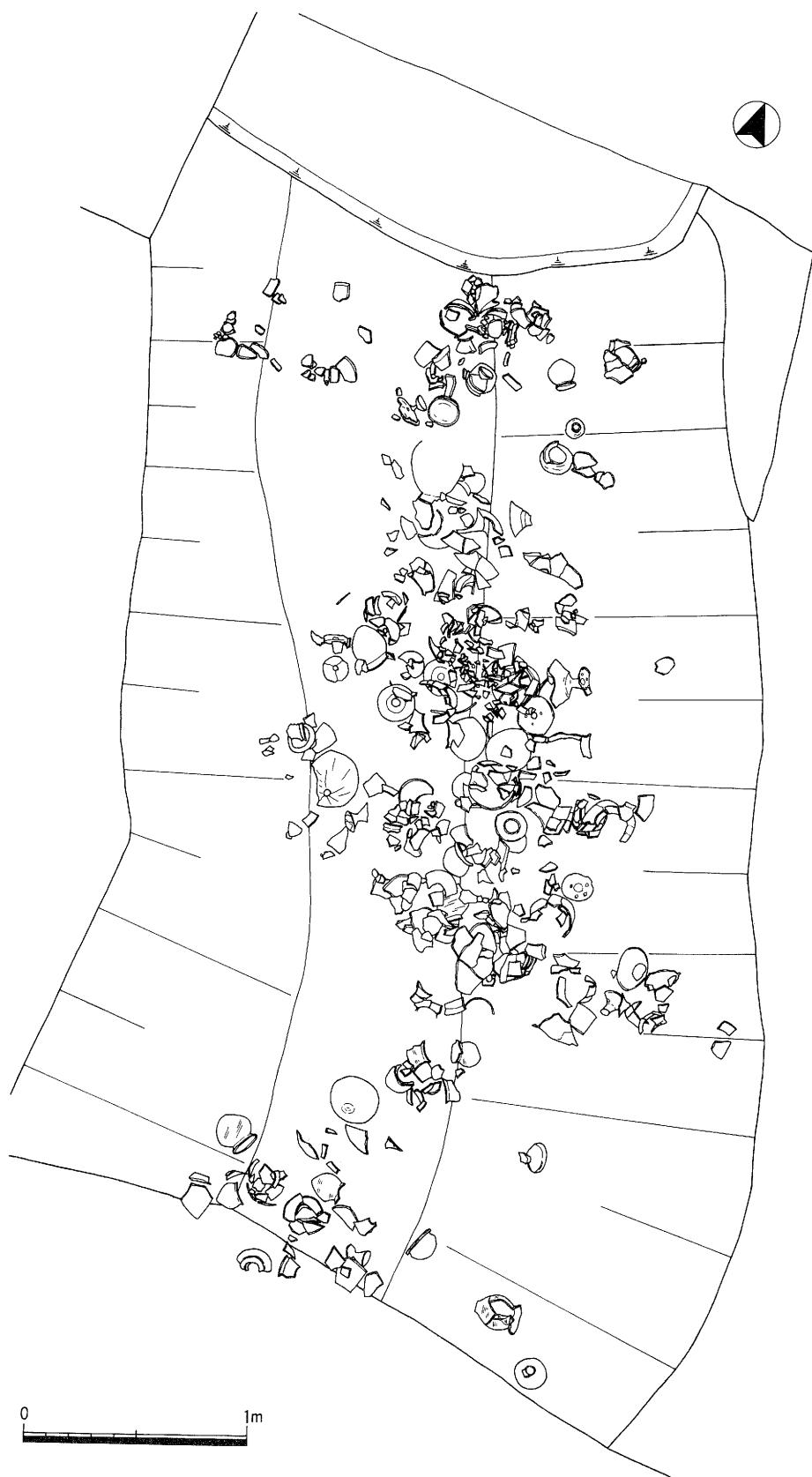
28n・o 地区で検出した。検出部は幅2.7~3.4m、深さ0.38~0.76mを測る溝状遺構である。南部と北部は約1.5mの拡張を行なったが、南北部は共に調査区外に至る。方向は南部拡張部でほぼ南北方向を示した後、緩やかなカーブを描き北西方向(北を主軸としてN-30°-Wを指す)に至る。北部は現在の攪乱に因って切断されている。断面は浅い掘り鉢状形を呈し、東斜面は西斜面より緩やかな角度で傾斜している。基底面は南部と北部で約0.38mを測る高低差がみられ、当地形とは逆方向の南方に傾斜している。これは調査区が限られているため詳細は不明であるが、部分に落ち込んでいる箇所ではないかと考えられる。堆積土は上方から茶褐色砂混じり粘土・暗茶褐色粗砂混じり粘土・黄褐色細砂混じり粘土で構成されている(第53図)。

出土遺物

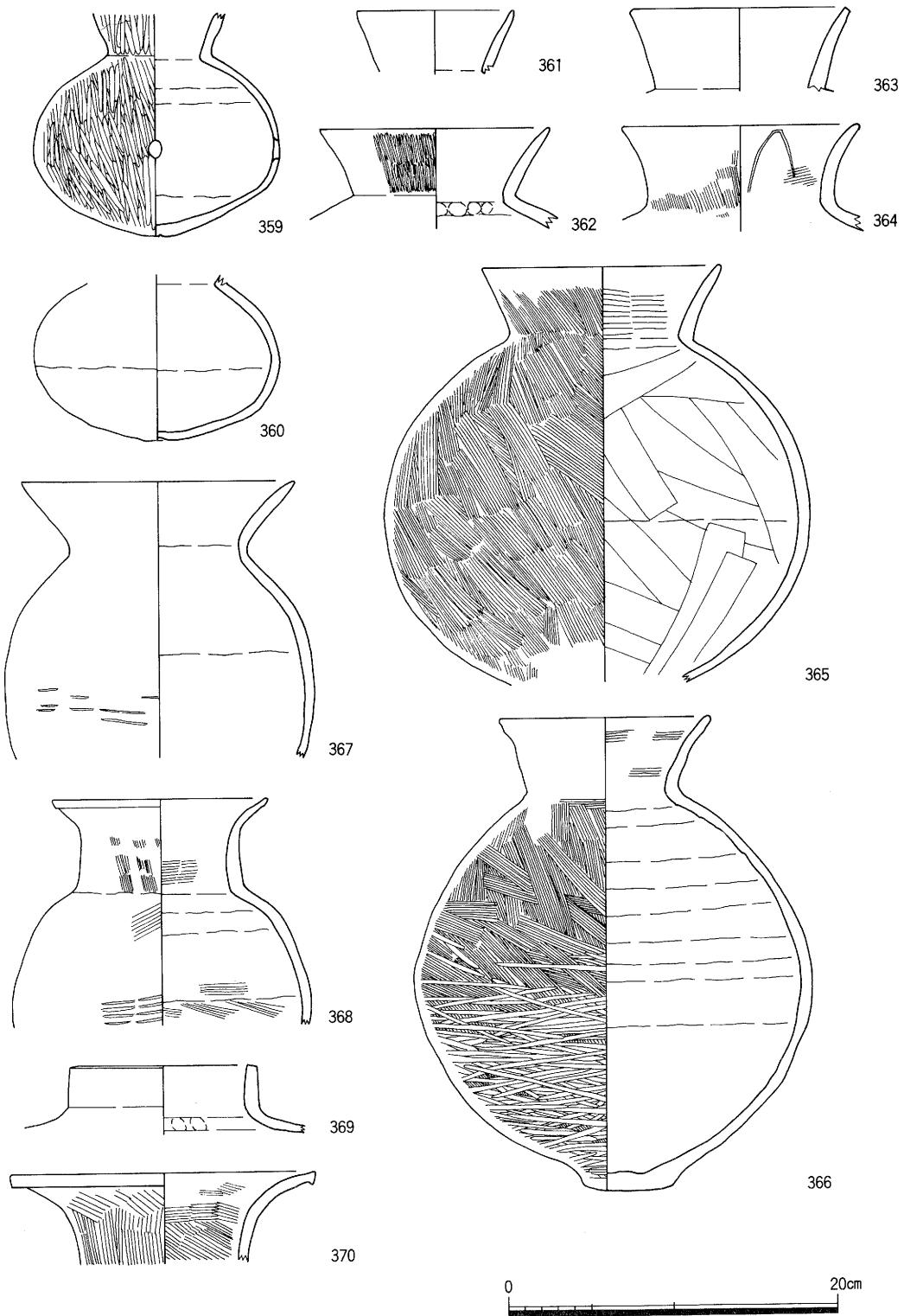
遺物の出土状況は、表土下0.6m(TP+8.4m)の奈良時代~鎌倉時代の遺構面上で一部の土器が露出していた。これより約0.1mを掘り下げた暗灰茶色粘土の上面でこの遺構の切り込み面を検出した。土器はこの遺構面より盛り上った状態であった。これを掘り下げると東側より投げ込まれたような状態で、東斜面上部より基底面まで何重にも積み重なり完形又は完形に近い土器も多く含まれていた。また、北部拡張部の東斜面上で検出した土器には、器台の坏部を庄内式甕の中に人為的に入れたものが2点(400と464・401と459)を検出した。これらの土器は完形で出土している。これらは単に廃棄したものとは考えにくく、何かの祭祀に関連するものではないかと考えられる。しかし、調査区の範囲が限られて、遺構の全景を知りうることができなかつた。

出土した土器はすべて古墳時代前期で、庄内式に類似する資料である。出土量はコンテナ箱にして約40箱分を数え、実測できたものは437点である。器種は甕(451~797)を主体とし、壺(359~379)・鉢(380~396)・有孔鉢(397)・器台(398~411)・高坏(412~449)・製塩土器等で構成されている。土器の器種は甕347点で全体の78%を占め最も多く、次に高坏が38点で約8%、壺が21点で約6%・鉢が17点で約5%・器台が14点で約4%・製塩土器が1点で約0.1%の割合である。

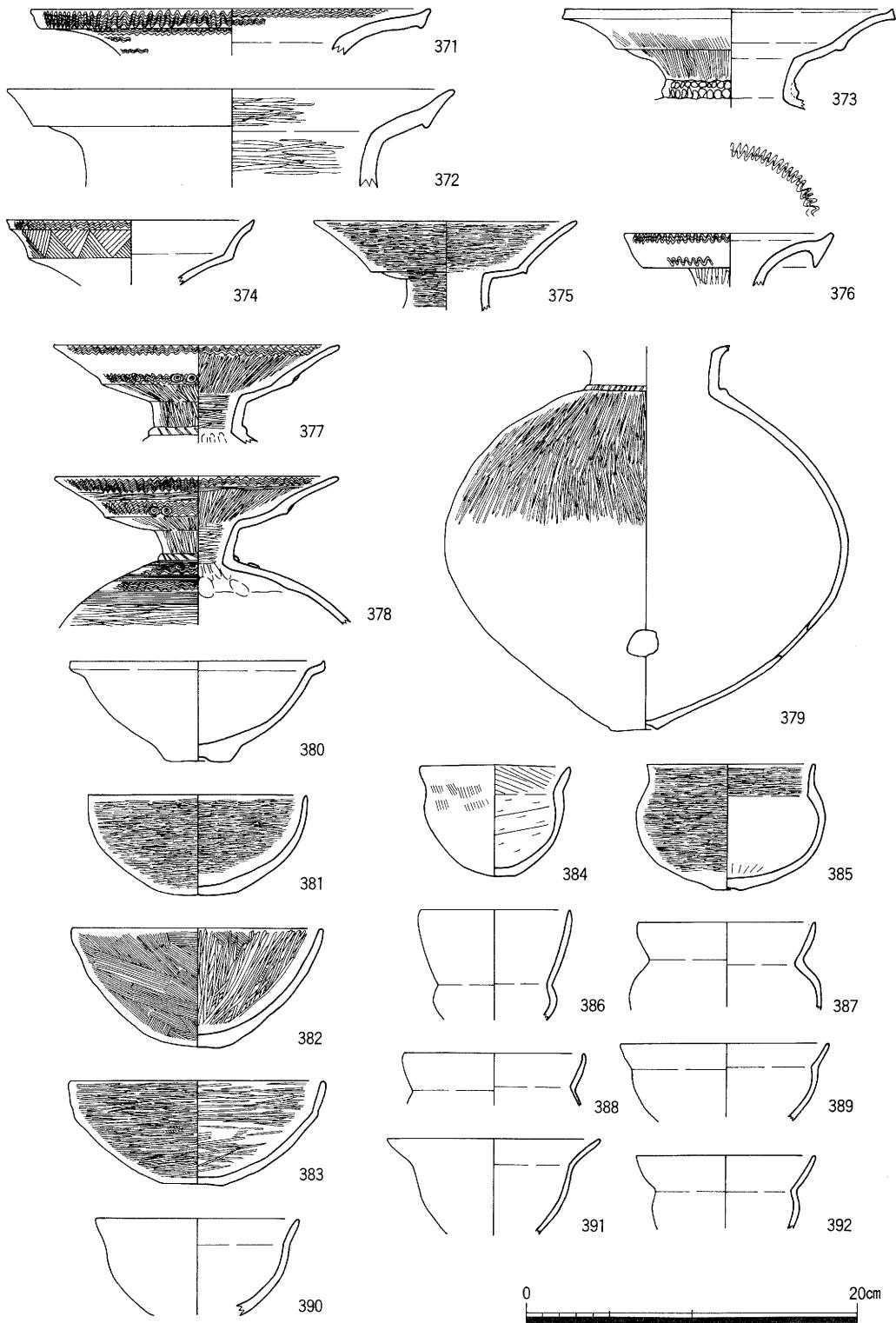
甕には畿内第V様式系・庄内式・他地域の甕の形態をもつものなどがある。畿内第V様式系の甕は底部の形態的特徴によって、突出する平底をもつもの(455~458・585)と突出しない小さな窪み底(又は平底)をもつもの(459~493)の2つに分けることができる。庄内式甕(504~781)は最大径を中位又は上位にもつ体部や底部は尖り底の形態をもつものでやや古相のものではないかと思われる。他地域の甕(782~792)は東部瀬戸内地方にみられる甕(793)や岡山県吉備地方の酒津式の形式をもつ甕(795~797)などがみられる。また、他器種にも他地域と思われる土器が含まれている(第54図~第75図)。



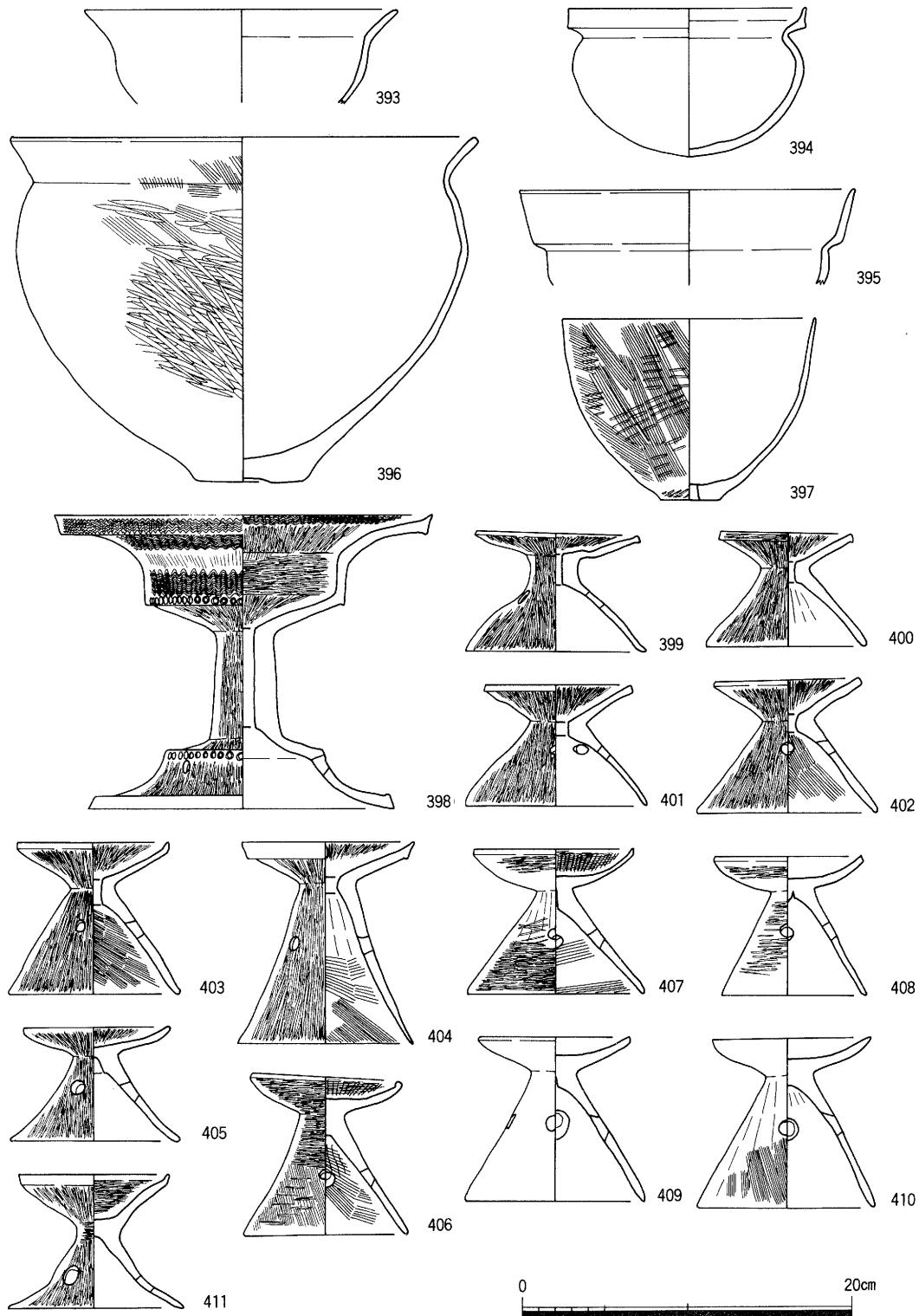
第53図 28n・o地区 S D 316土器平面図



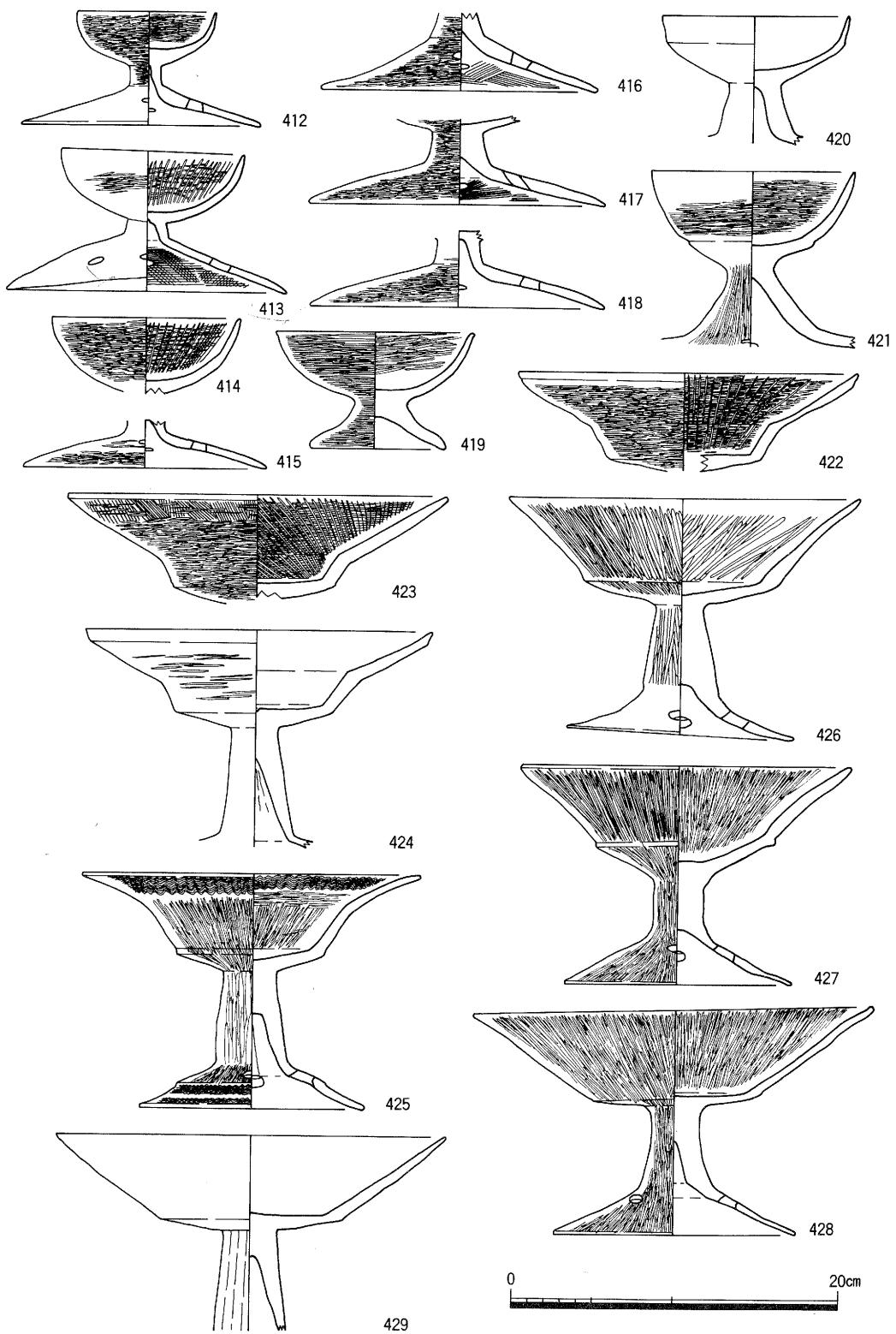
第54図 28n・o地区 S D316出土遺物実測図1



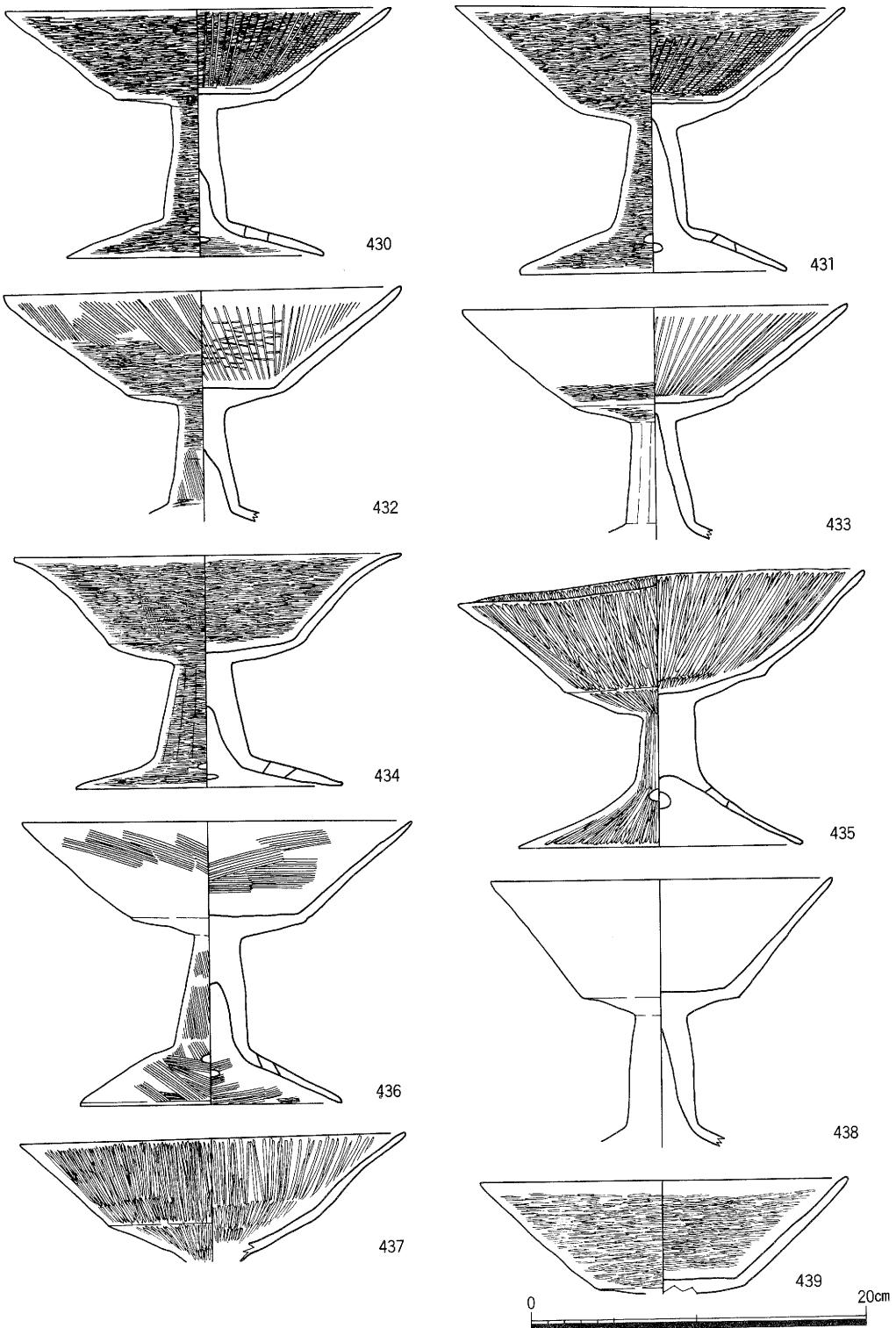
第55図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図2



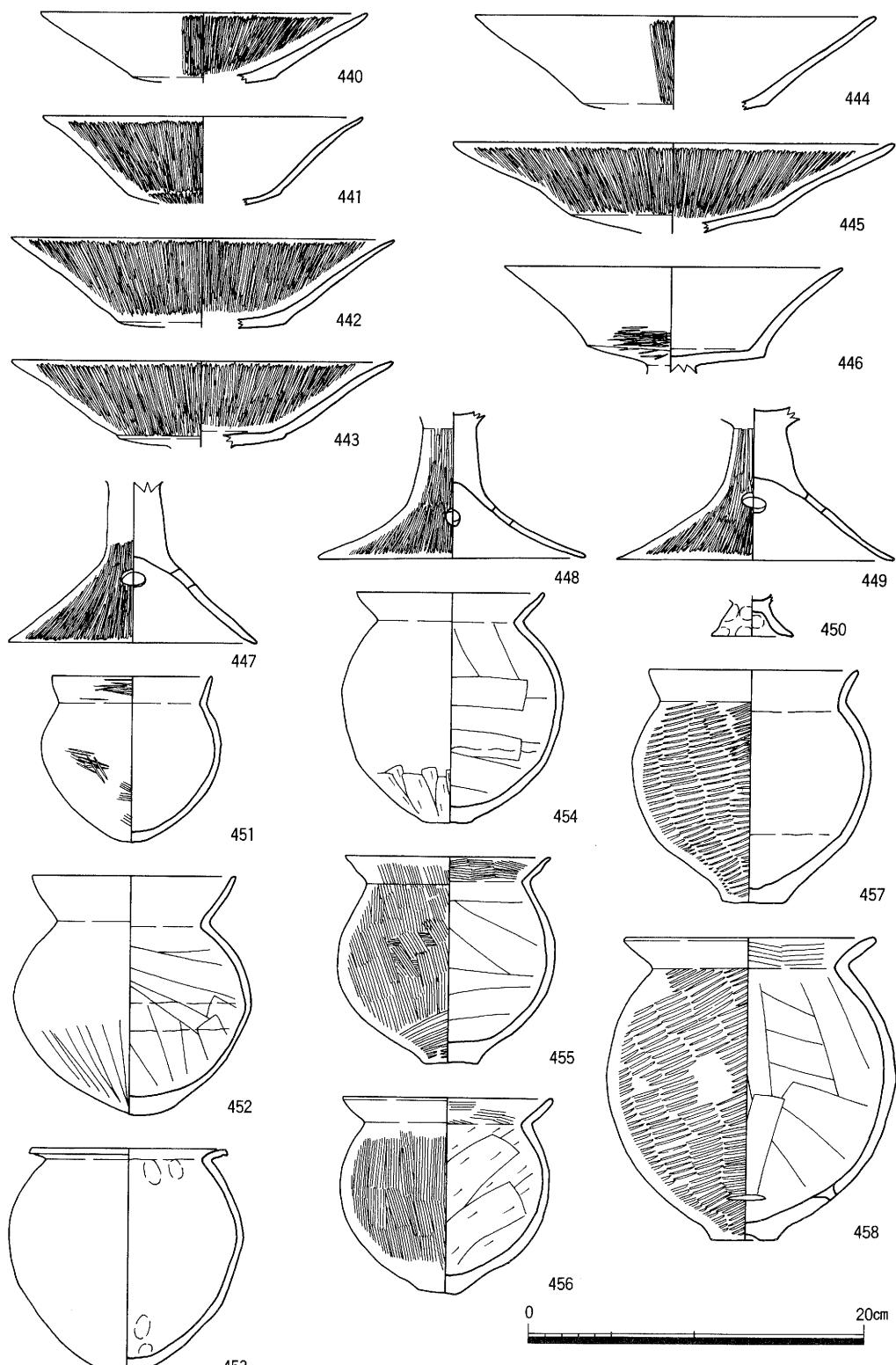
第56図 28 n・o地区 S D 316出土遺物実測図3



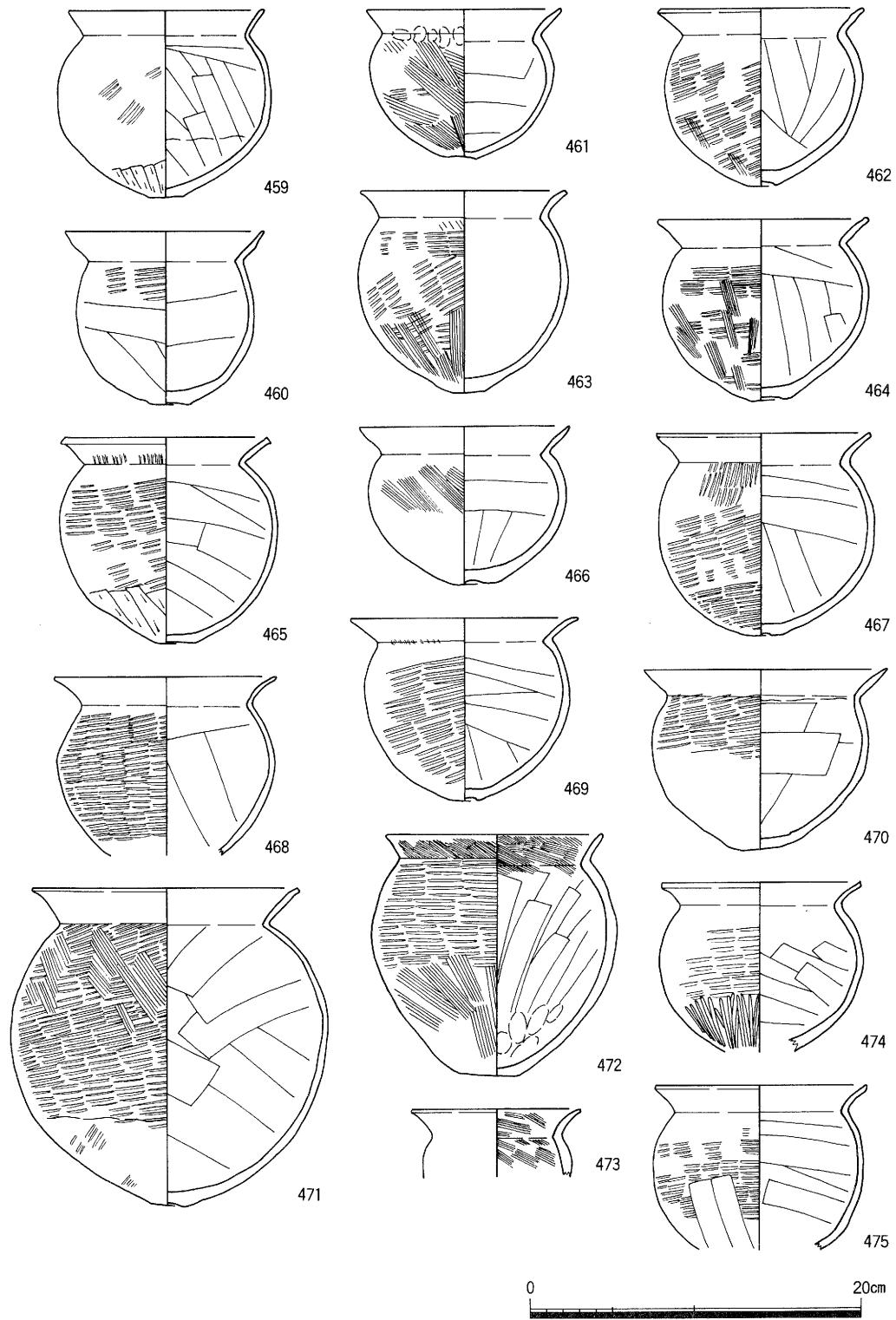
第57図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図4



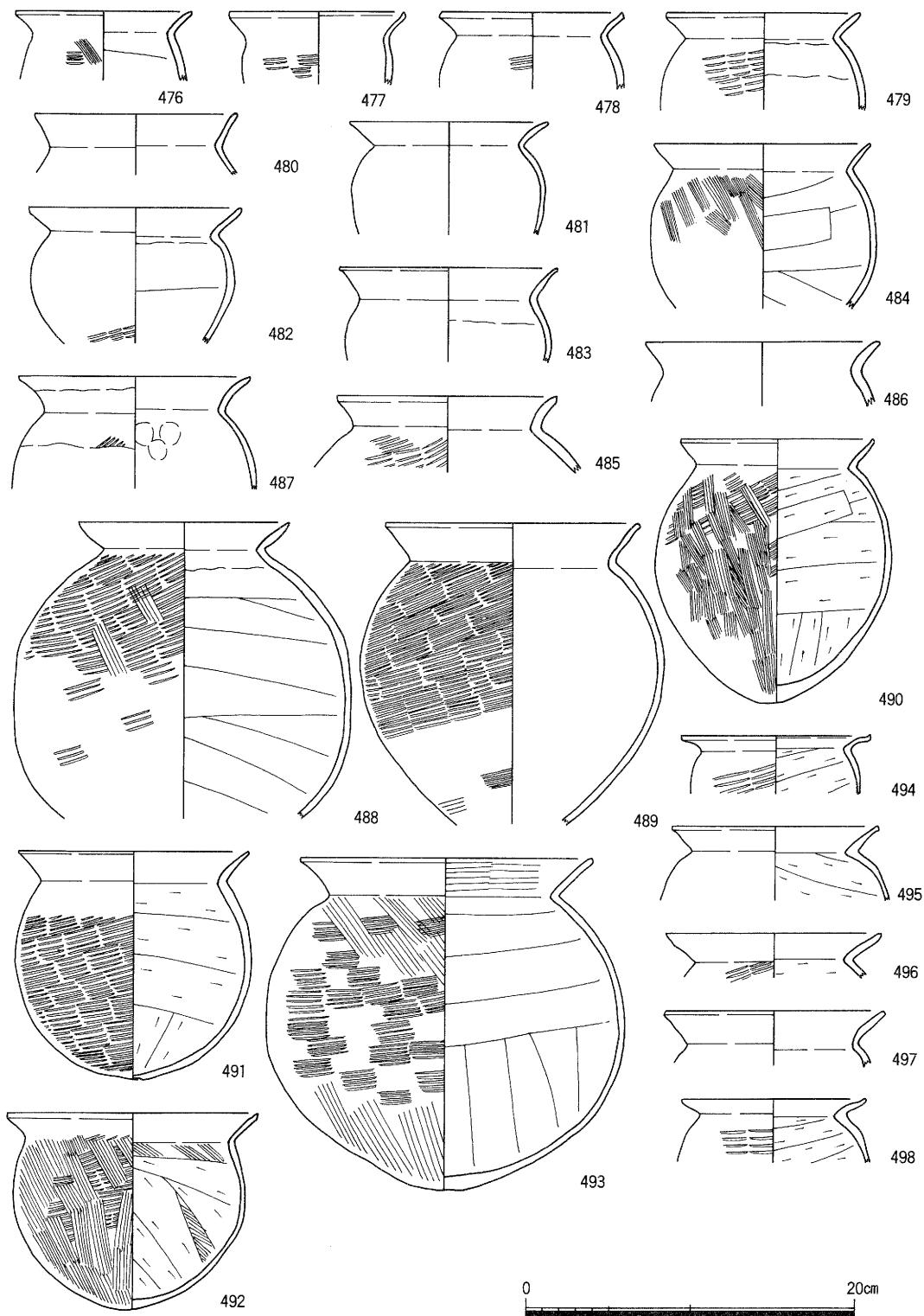
第58図 28n・o地区 S D316出土遺物実測図5



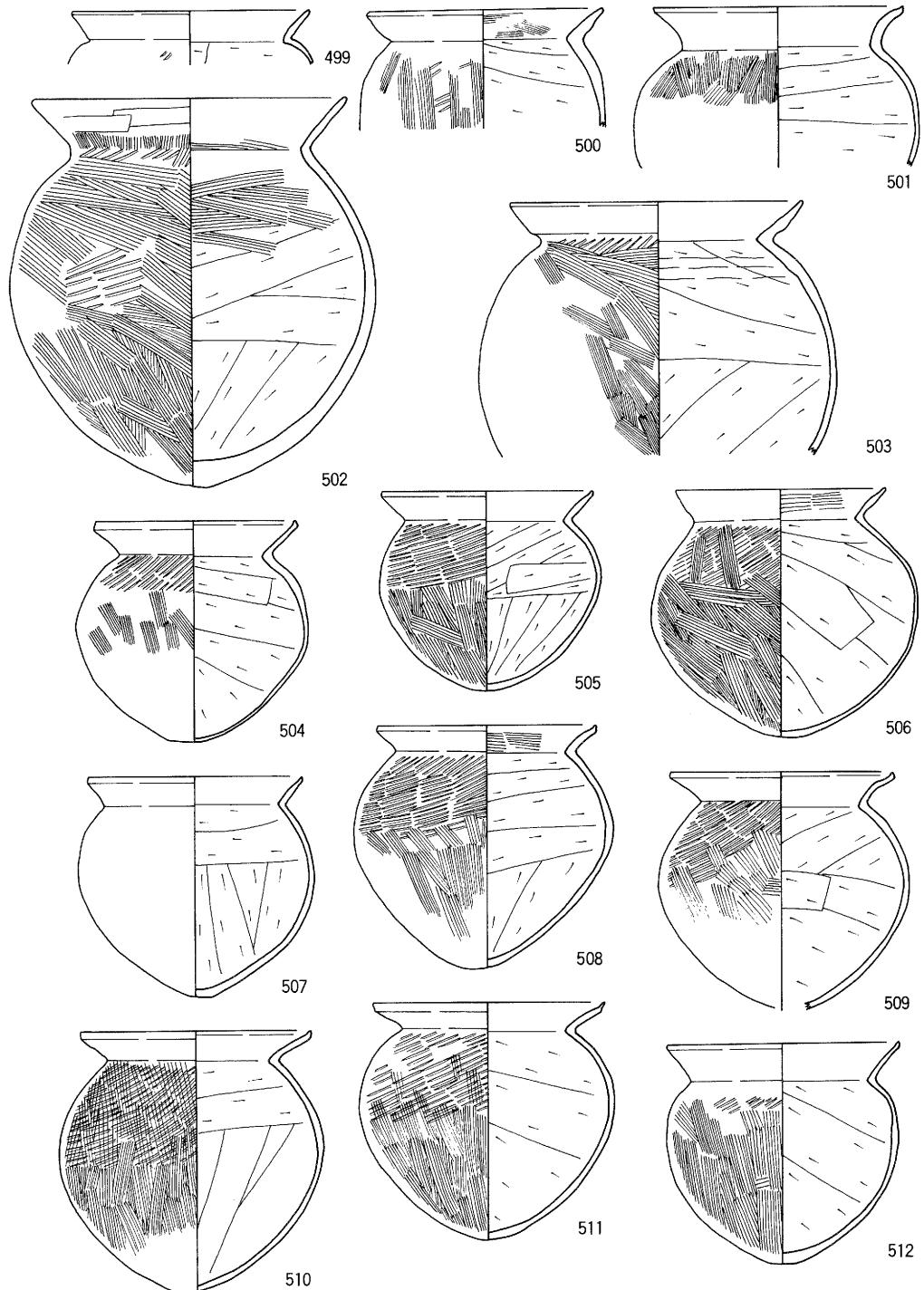
第59図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図6



第60図 28 n・o地区 S D316出土遺物実測図7

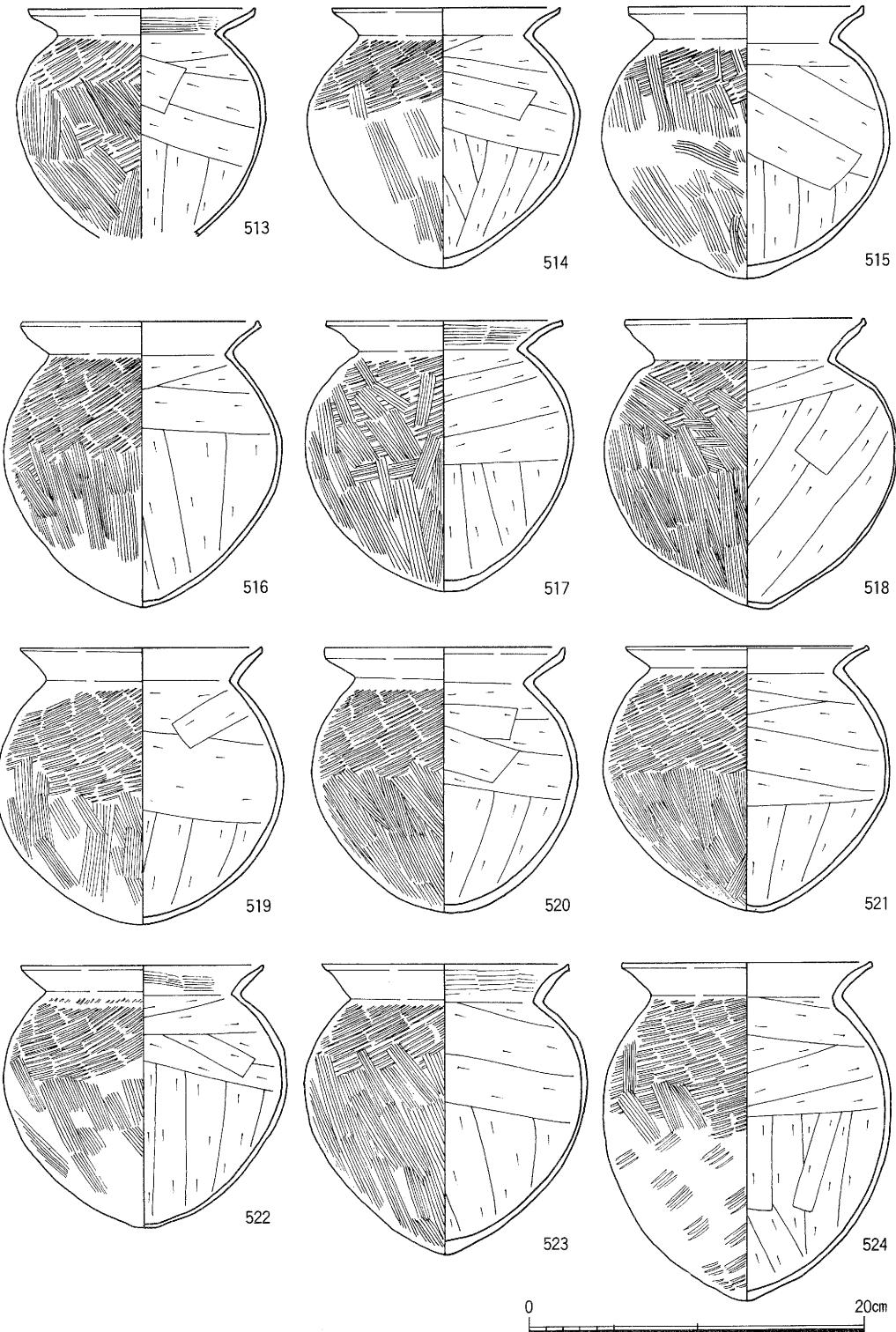


第61図 28n・o地区 S D316出土遺物実測図8

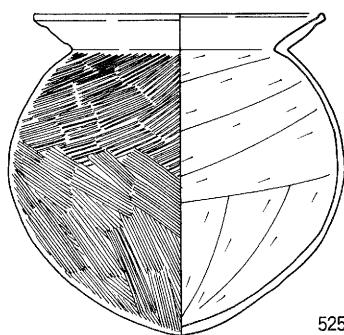


0 20cm

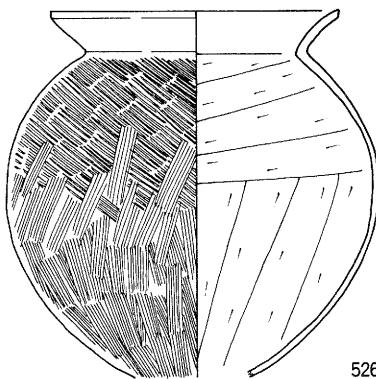
第62図 28n・o地区 S D316出土遺物実測図9



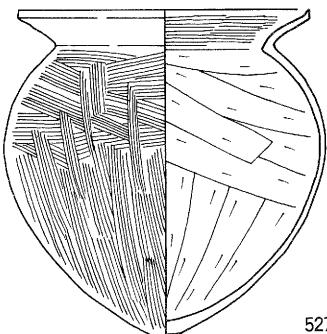
第63図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図10



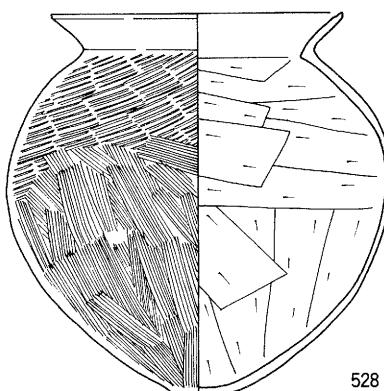
525



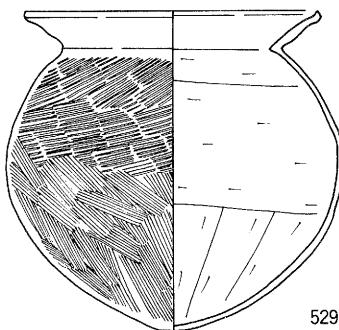
526



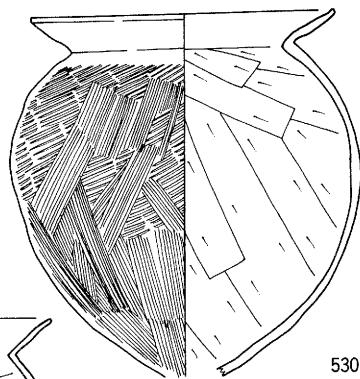
527



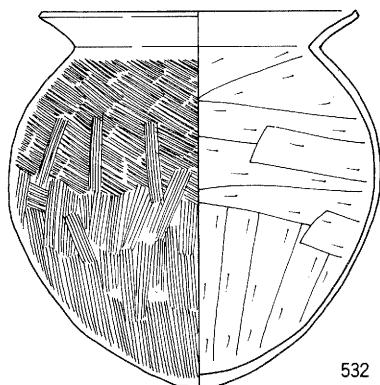
528



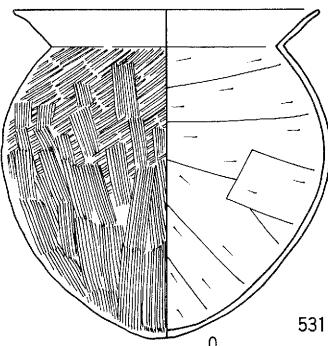
529



530



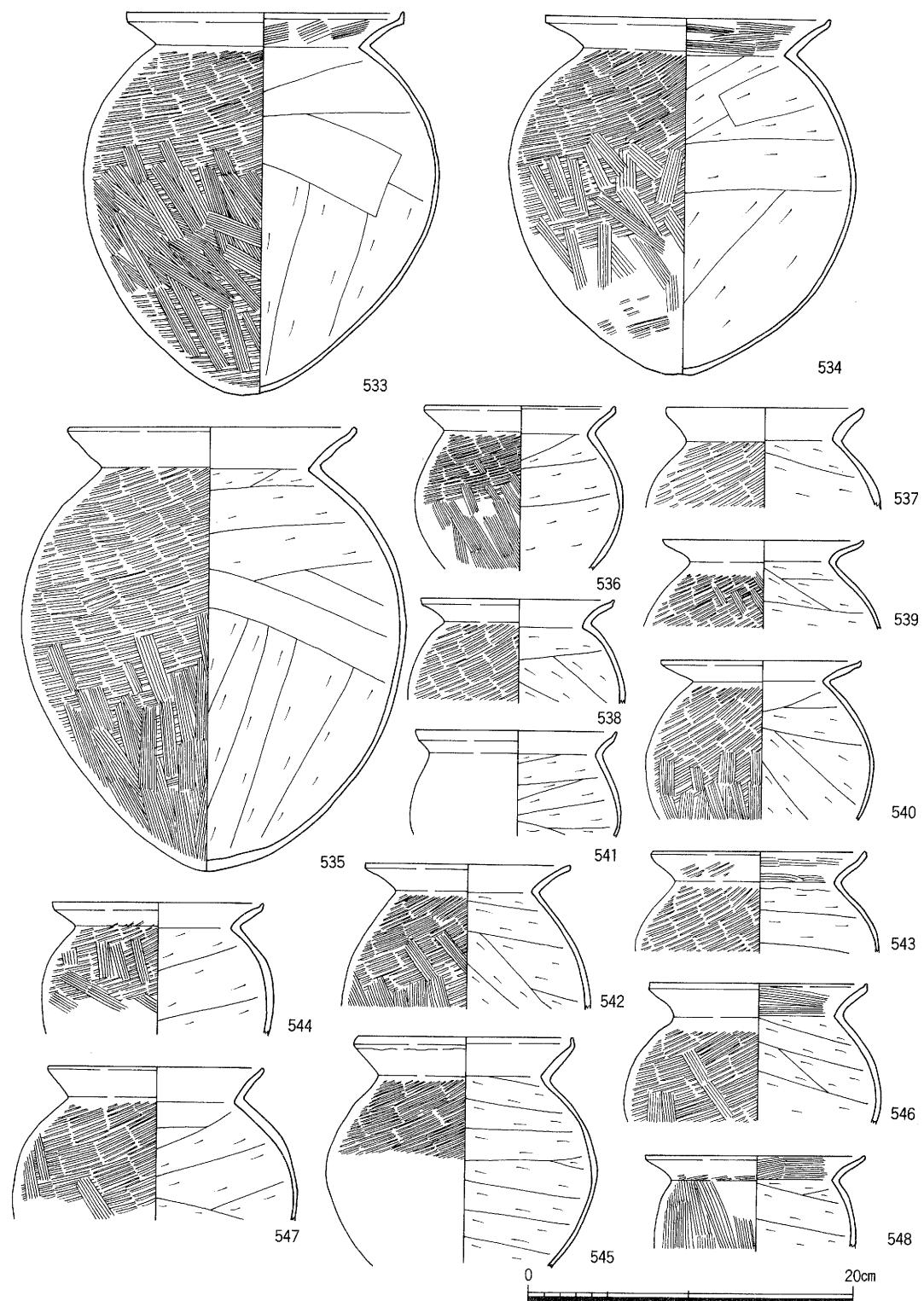
532



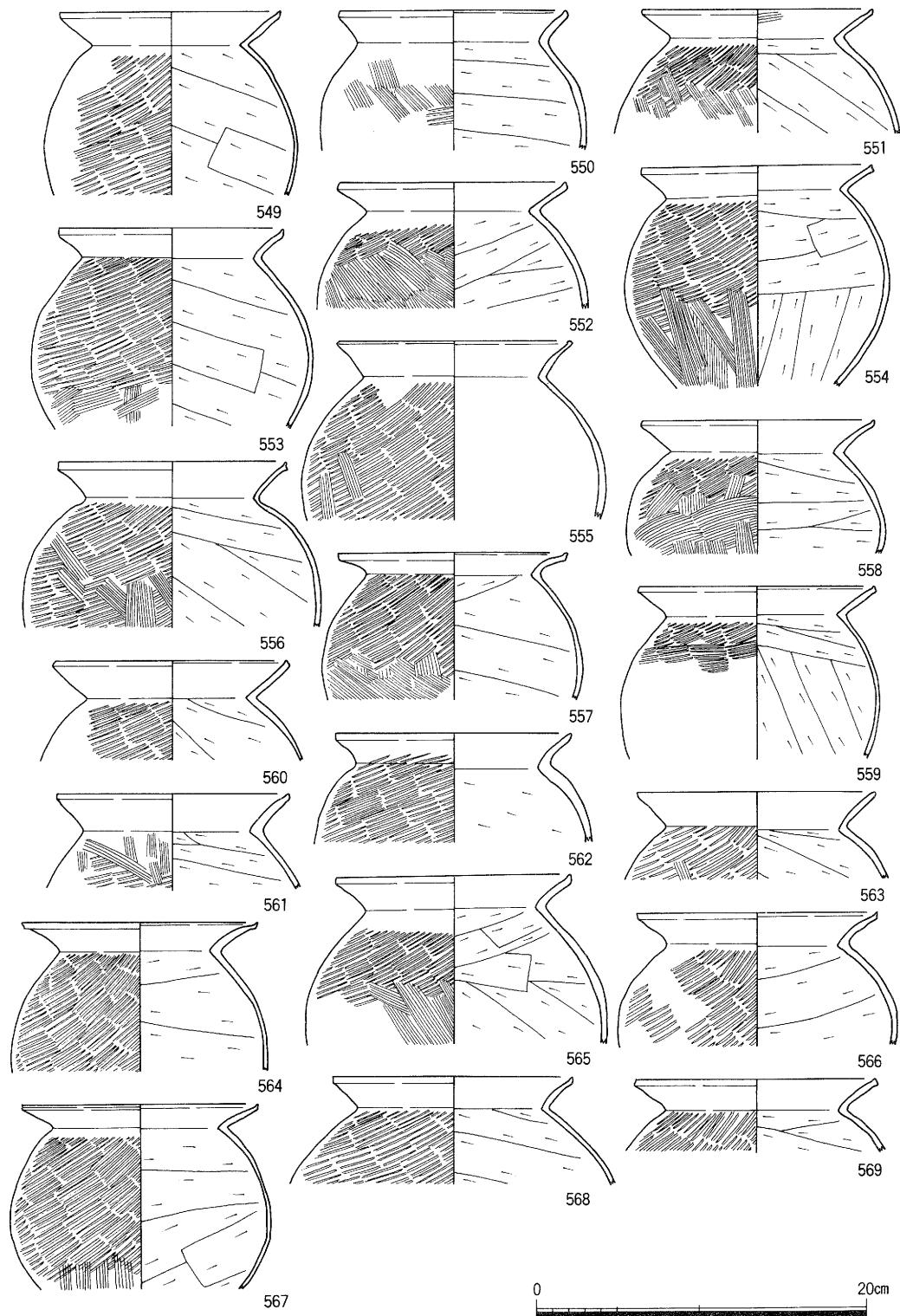
531

0 20cm

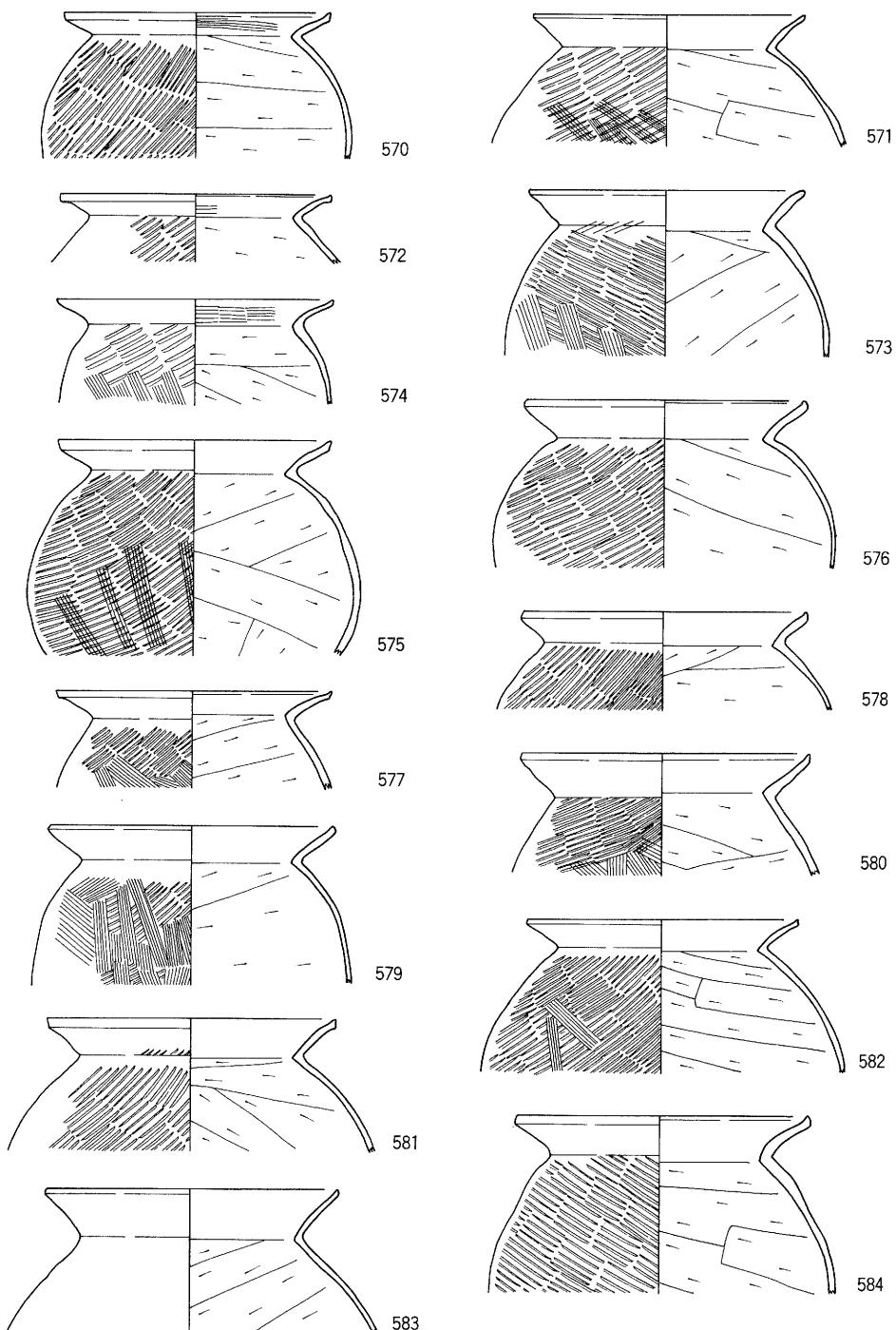
第64図 28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図11



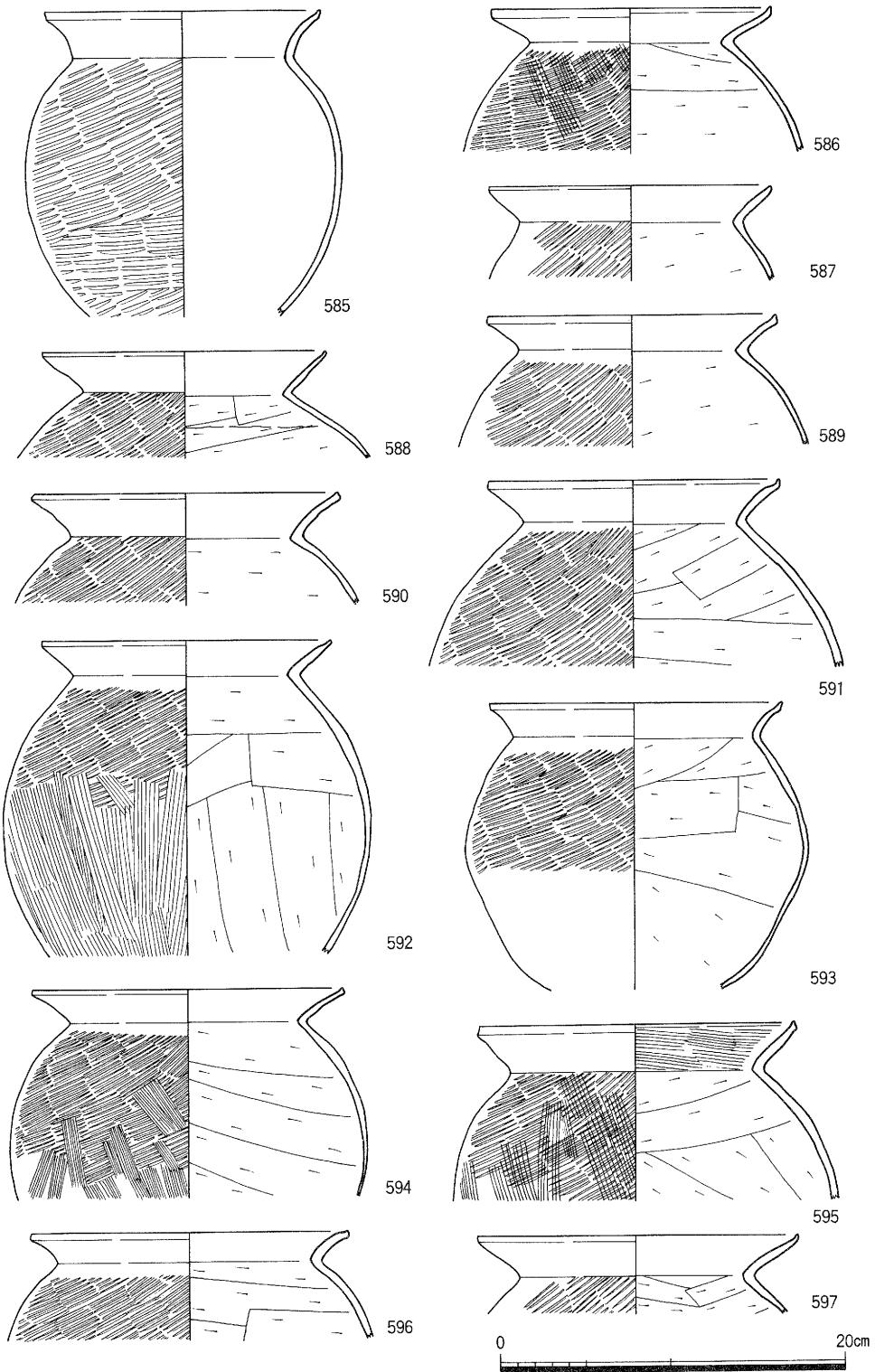
第65図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図12



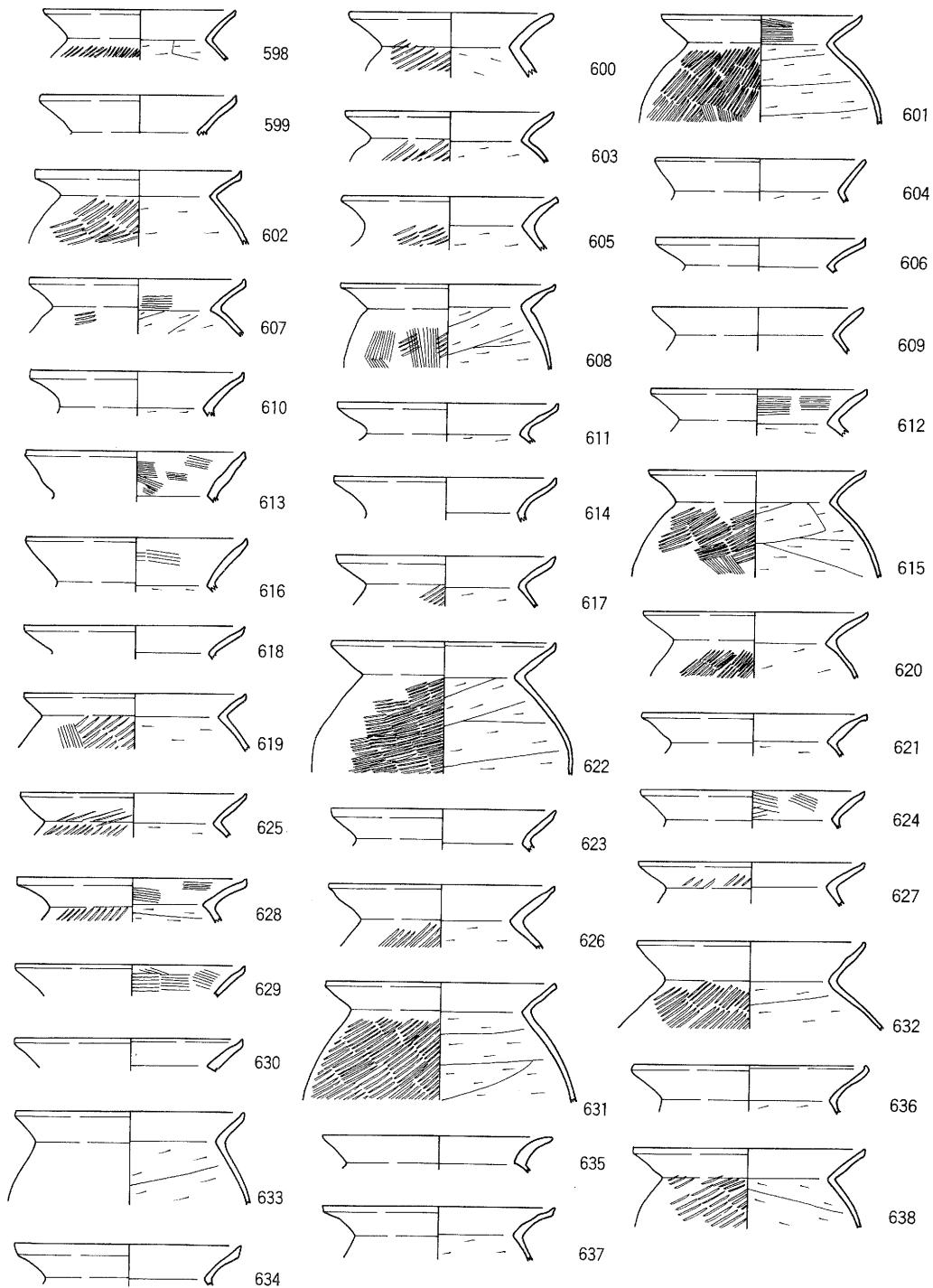
第66図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図13



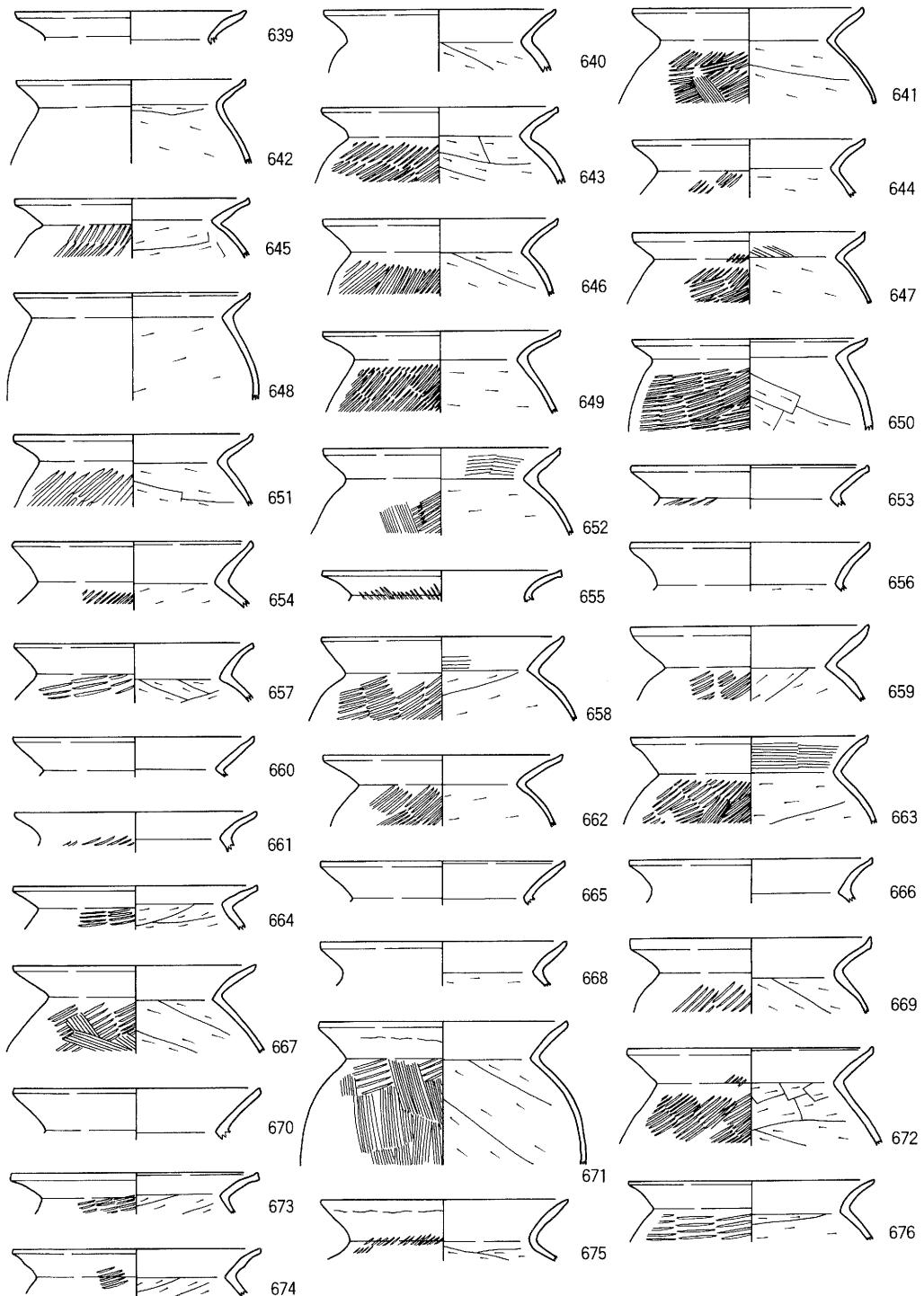
第67図 28 n・o 地区 S D 316出土遺物実測図14



第68図 28n・o地区 S D316出土遺物実測図15

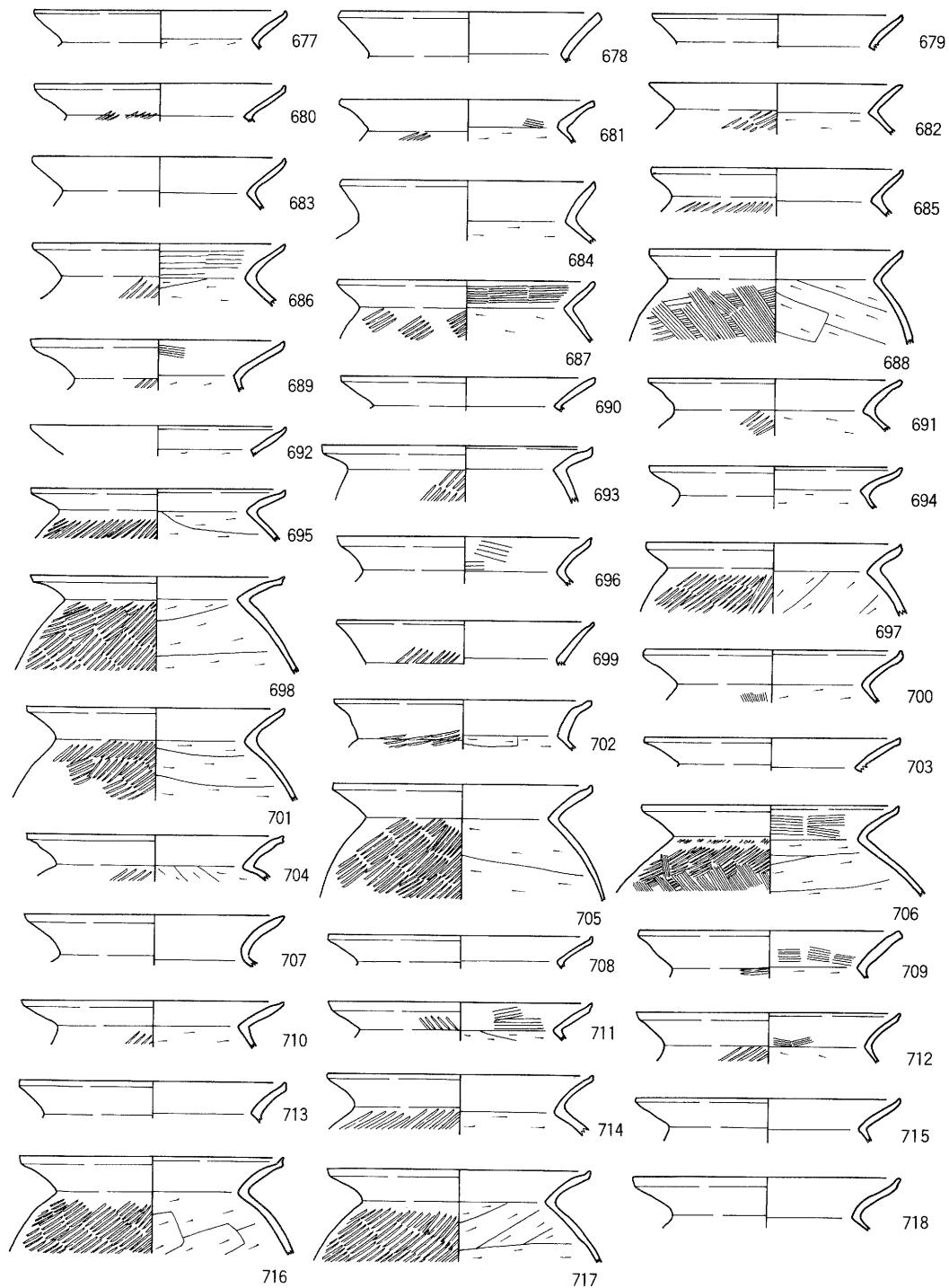


第69図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図16



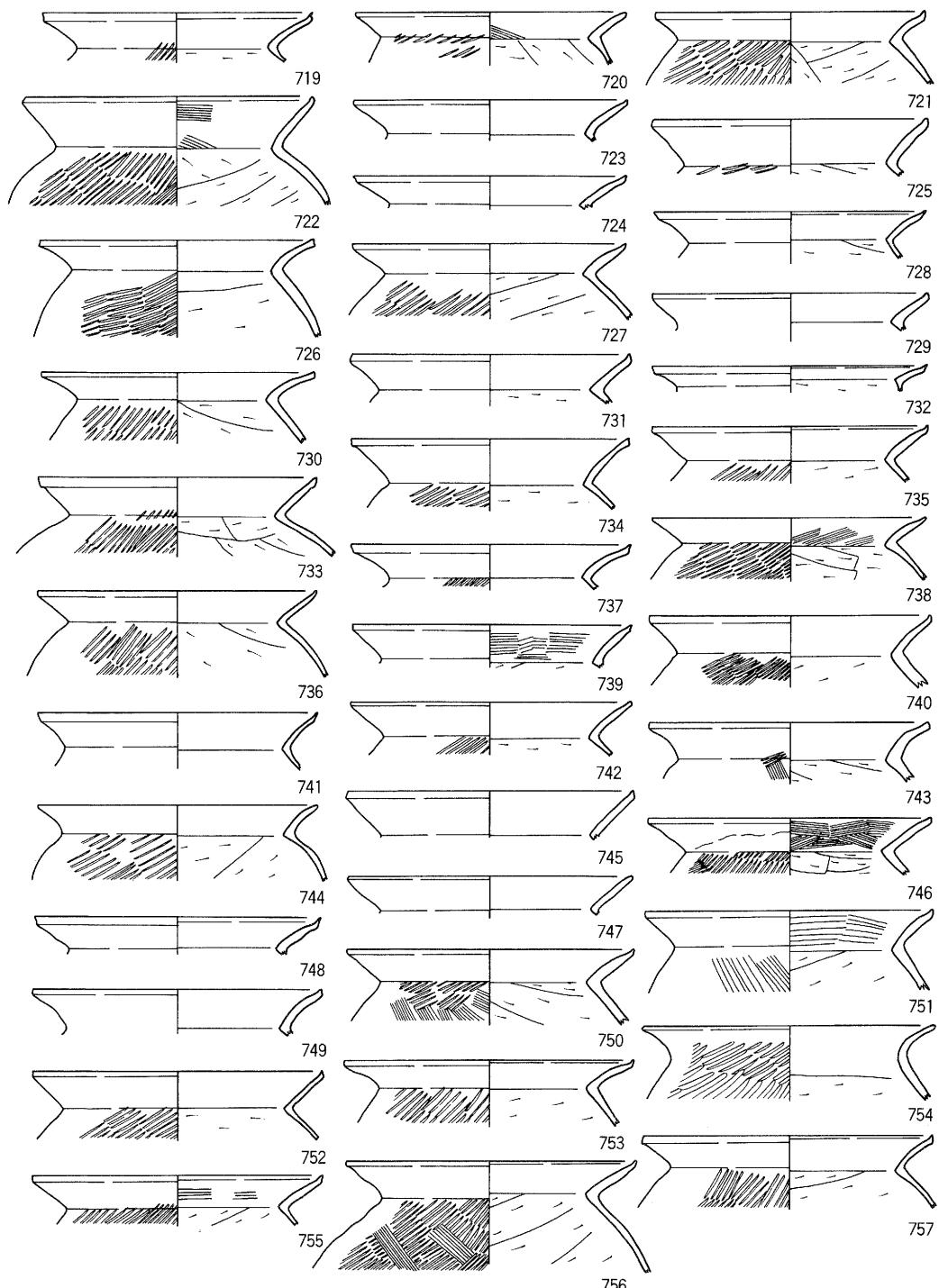
0 20cm

第70図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図17



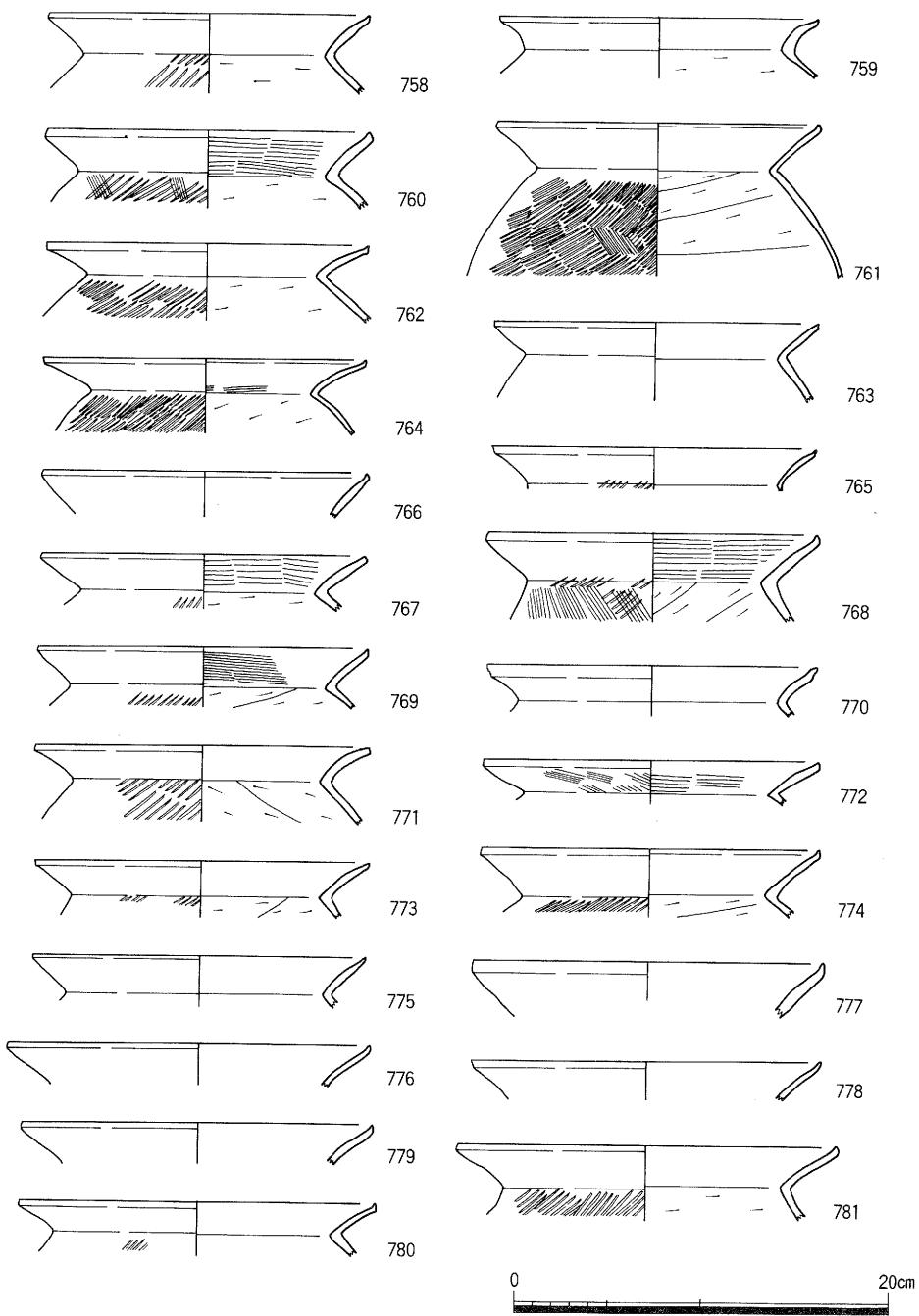
0 20cm

第71図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図18

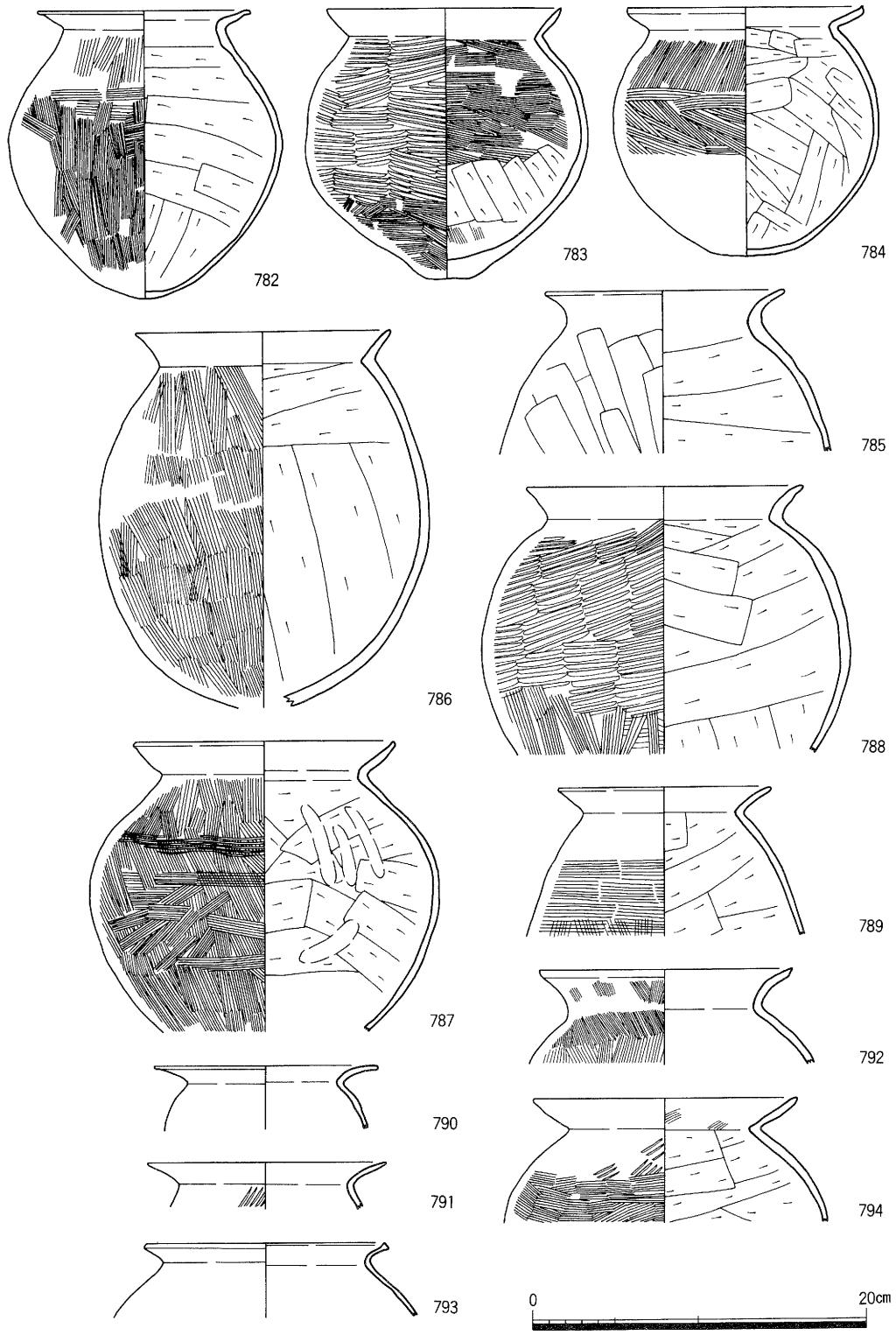


0 20cm

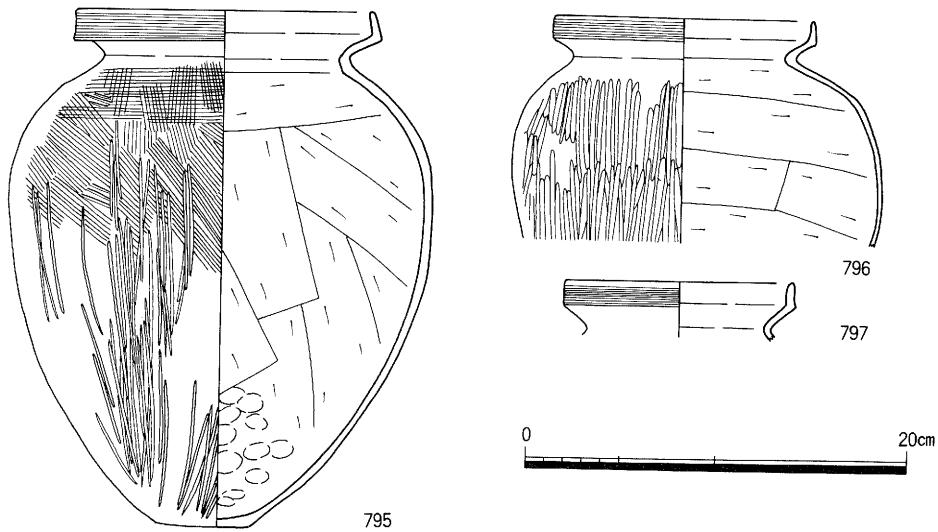
第72図 28 n・o地区 S D 316出土遺物実測図19



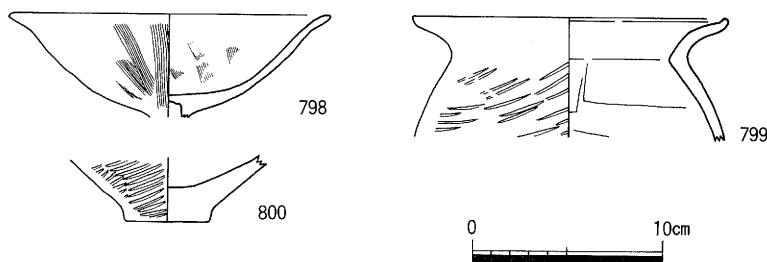
第73図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図20



第74図 28n・o地区 S D 316出土遺物実測図21



第75図 28 n · o 地区 S D 316出土遺物実測図22



第76図 24-1 o 地区 S D 318出土遺物実測図

S D 318

24-1 o 地区で検出した。検出部は幅1.1~1.5m、深さ0.2mを測る溝状遺構である。方向は、N-20°-E を指す。南北部は共に調査区外に至る。断面は浅い皿状形を成す。堆積土は暗茶灰褐色粘質シルトの単一層である。

遺物は高壺（798）・畿内第V様式系に類似する甕（799・800）等を少量出土した（第76図）。

S D 320

25 g 地区で検出した。検出部は幅1~1.2m、深さ0.3mを測る溝状遺構である。方向は東を主軸として E-25°-S を指し、東西部は共に調査区外に至る。断面は浅い皿状形を呈す。堆積土は黒茶色粘土の単一層である。

遺物は布留式古相に類似する土師器の細片をごく少量出土した。器種は壺・甕等である。

Ⅲ 古墳時代中期の遺構・遺物(第2調査面)

この時期の遺構は24-1地区・24-2地区・25地区・27地区・28地区で検出した。構築面はTP +8.1~8.2mを測る。遺構は第1次調査のA-Ⅲ地区で検出した自然堤防が連綿する微高地上とA-I地区・A-II地区で検出した弥生時代後期に埋没したと考えられる自然河川の堆積上に分かれる。前者は25地区・27地区で集落址に伴うと思われる土坑3基・落ち込み状遺構3箇所を検出した。後者は24-1地区・27地区・28地区で自然環境によって形成された落ち込み状遺構10箇所と古墳の周濠ではないかと考えられる溝1条を検出した。

以下、検出した遺構・遺物について概説する。

土坑

S K 41

27m地区で検出した。検出部は長径1m、短径0.4m、深さ0.1mを測る土坑である。平面は不定形を呈し、断面は皿状形を成す。堆積土は暗茶灰色砂混じり粘土の単一層である。

遺物は出土していない。

S K 42

27m地区で検出した。検出部は長径1.7m、短径0.7m、深さ0.15mを測る土坑である。平面は不定形を呈し、断面は皿状形を成す。堆積土は暗茶灰色砂混じり粘土の単一層である。

遺物は古墳時代中期に比定される高坏等の土器の細片をごく少量出土した。

S K 43

27n地区で検出した。検出部は長径1.4m、短径0.8m、深さ0.15mを測る土坑である。北部の一部はS P 99と落ち込み18によって切られる。平面は橢円形を呈し、断面は緩やかな逆台形を成す。堆積土は暗茶灰色砂混じり粘土の単一層である。

遺物は古墳時代中期に比定される土師器の細片をごく少量出土した。器種は壺・甕等である。

落ち込み状遺構

落ち込み13

24-1a~c地区で検出した。検出部は東西幅約17m、深さ0.3~0.6mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈し、基底面は緩やかな起伏がみられる。堆積土は淡黄褐色細砂混じり粘土・黄褐色粘土混じりシルトである。

遺物は出土していない。

落ち込み14

24-1b~e地区で検出した。検出部は東西幅約27m、深さ0.5~0.9mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈し、基底面は大きな起伏がみられる。堆積土は黄灰色シルト・乳黄灰色細砂・青灰色粘土混じりシルト・褐灰色粘土混

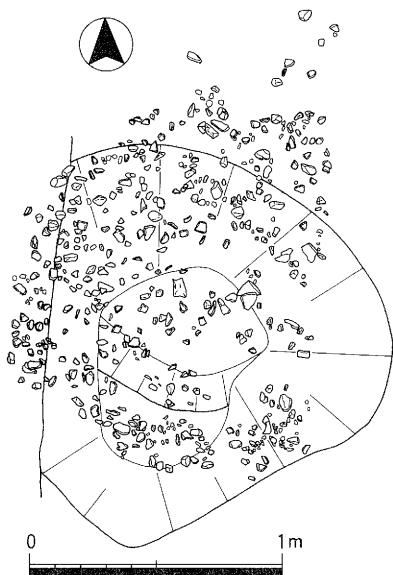
じりシルト・灰黄色シルト混じり粘土・青灰色粘土・青灰色シルト・青灰色シルト混じり粘土・
黄灰色細砂・乳灰色粗砂・暗黃褐色細砂である。遺物は出土していない。

落ち込み15

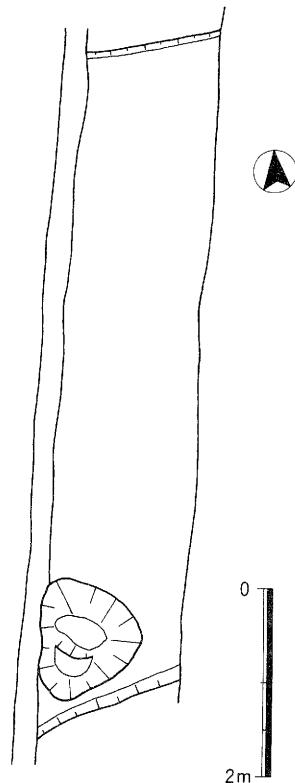
24-1 g ~ i 地区で検出した。検出部は東西幅約27m、深さ0.4~0.6mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈し、基底面は波状の起伏がみられる。堆積土は褐灰色粗砂混じり粘土・灰茶色粗砂混じり粘土・灰褐色シルト・褐灰色シルト粘土・暗灰茶色粘土・褐茶色粗砂・黄灰色粘土混じり粗砂・黄灰色シルト・褐黄色シルト・灰黄色シルト・乳灰色粗砂・青黄色粘土・青灰色粘土である。遺物は出土していない。

落ち込み16

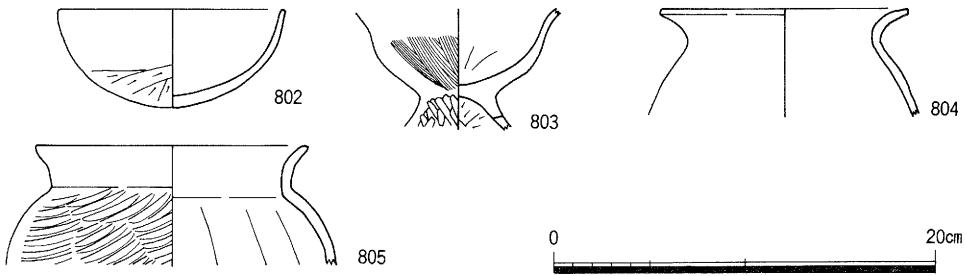
25 e・f 地区で検出した。検出部は南北幅約8.7m、深さ0.2mを測る落ち込み状遺構である。東西部は共に調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈し、基底面は平坦であるが、南部には径1.2~1.6m、深さ0.3mを測る土坑を検出した。平面はほぼ円形を呈し、断面は皿状形を成す。この土坑内は径1~4 cmを測る小石が山状に盛り上がり溢れた状態で堆積している。これは人為的に埋められたものと考える。この遺構の堆積土は暗茶灰色粘土の単一層で、北部の中層に炭が径0.9~1.1mを測る平面橢円形状に集積していた。また、中央部付近の基底面にはピット2個を検出した。ピットの規模はS P 127が径0.6m、深さ0.2m、S P 128が径0.3~0.4m、



第77図 25 f 地区落ち込み16小石集積土坑平面図

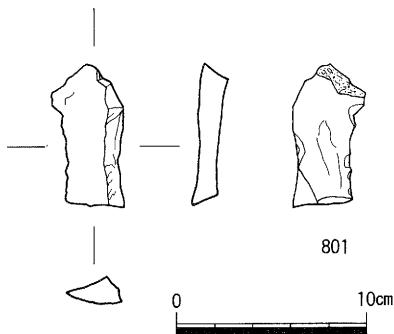


第78図 25 e・f 地区落ち込み16
平面図



第79図 25e・f 地区落ち込み16出土遺物実測図

深さ0.2mをそれぞれ測る。平面はほぼ円形を呈し、断面はU字形を成す。ピット内は茶灰色シルトの単一層を堆積している（第77図・第78図）。



第80図 25e・f 地区落ち込み16
出土サヌカイト剝片実測図

遺物は弥生時代後期～古墳時代中期にかけての土器の細片を少量出土した。器種は畿内第V様式系に類似する鉢（802）・高坏（803）・甕（804・805）等と古墳時代中期に比定される須恵器の蓋坏・甕等で、この遺構に伴う時期の遺物は図示できなかった。また、時期は明確にできないが石器に伴うサヌカイト剝片（801）1点出土している（第79図・第80図）。

落ち込み17

25j地区と27o地区で検出した。検出部は南北幅2m、東西幅2.5m以上、深さ0.2mを測る落ち込み状遺構である。東西部は共に調査区外に至り、平面形は明確にしない。断面は逆台形を呈し、基底面は平坦である。堆積土は暗茶灰色粘土混じり砂土の単一層である。

遺物は古墳時代中期に比定される土器の細片をごく少量出土した。器種は須恵器の坏蓋・土師器の壺・高坏等である。

落ち込み18

27n・o地区で検出した。検出部は東西幅3.2～4.8m、深さ0.2～0.4mを測る落ち込み状遺構である。東肩の一部はS P 101に切られ、西肩の一部はS P 100に切られ、S K 43を切る関係にある。南北部は共に調査区外に至り、平面形は明確にしない。断面は逆台形を呈し、基底面は若干緩やかな起伏がみられる。堆積土は黄褐色粘土の単一層である。

遺物は落ち込み17と同時期と考えられる土器の細片をごく少量出土した。器種は須恵器の甕、土師器の高坏・甕等である。

落ち込み19

28a～c地区で検出した。検出部は東西幅23m、深さ0.3～0.8mを測る落ち込み状遺構であ

る。南北部は共に調査区外に至る。断面は中央部に南西—北東の方向に延びる堤防状の高まりがある。皿状形を呈し、基底面は緩やかな起伏がみられる。そして東側の基底面には幅0.3~0.5m、深さ0.1mを測る南北

方向に延びる小溝が検出された。また、堤防状の高まりの規模は上部幅0.3m、下部幅0.8~1.2m、高さ0.5mを測る。断面は逆U字形を呈す。堆積土は灰褐色粘土・暗灰褐色粘土・褐灰色細砂混じり粘土・淡灰褐色細砂・褐灰色粗砂と粘土のサンド・灰色粘土・灰色粗砂・青灰色粗砂・灰褐色粘土混じり細砂である。堤防状の高まりの両端基底面付近には流れ込みと思われる自然木が検出された。

遺物は古墳時代中期に比定される土器の細片を少量出土した。器種は須恵器の蓋坏・土師器の壺・高坏(807・809)・円筒埴輪(808)等である。また、混入していたサヌカイト剥片(806)1点が出土している(第81図・第82図)。

落ち込み20

28d地区で検出した。検出部は東西幅1.8m、深さ0.5mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は緩やかな皿状形を呈す。堆積土は灰色粘土混じり細砂である。この遺構は北部に位置する27地区落ち込み25とつながる可能性があると思われる。

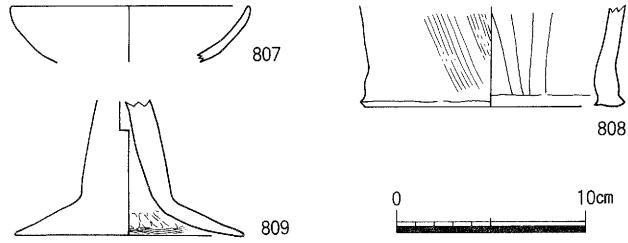
遺物は古墳時代中期に比定される土器の細片を少量出土した。器種は須恵器の蓋坏・甕・土師器の壺・甕等である。

落ち込み21

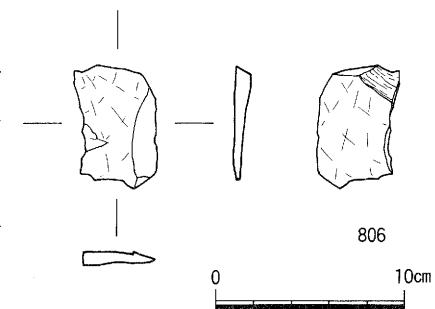
28e・f地区で検出した。検出部は東西幅4.1m、深さ0.2mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈し、北部で緩やかな高まりが見られる。堆積土は灰褐色微砂混じり粘土・青灰褐色粘土・暗褐灰色砂混じり粘土である。遺物は出土していない。

落ち込み22

28f地区で検出した。検出部は東西幅6.5m、深さ0.25mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈し、基底面は若干起伏している。堆積土は青灰褐色微砂・青灰色粘土・青灰色細砂混じり粘土である。遺物は出土していない。



第81図 28 a～c 地区落ち込み19出土遺物実測図



第82図 28 a～c 地区落ち込み19
出土サヌカイト剥片実測図

落ち込み23

28 i 地区で検出した。検出部は東西幅4.8m、深さ0.3mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈し、基底面は緩やかな凹凸がみられる。堆積土は灰褐色粗砂混じり粘土・褐灰色粘土・灰黄色微砂混じり粘土である。遺物は出土していない。

落ち込み24

28 j ~ m 地区で検出した。検出部は東西幅40m、深さ0.8mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈し、東側の基底面は S K 48~S K 50・S P 138~S P 140 が切り込まれている。堆積土は褐灰色粗砂・暗灰茶色粘土・茶灰褐色シルト混じり粘土・暗茶褐色シルト混じり粘土・茶褐色粘土・暗灰色粘土・灰色粘土・灰色シルト・暗灰色粘土・灰色細砂・暗茶褐色粘土・灰褐色粘土・淡灰黄色粘土・暗褐黄色砂混じり粘土・灰色シルト混じり粘土・灰白色粗砂である。

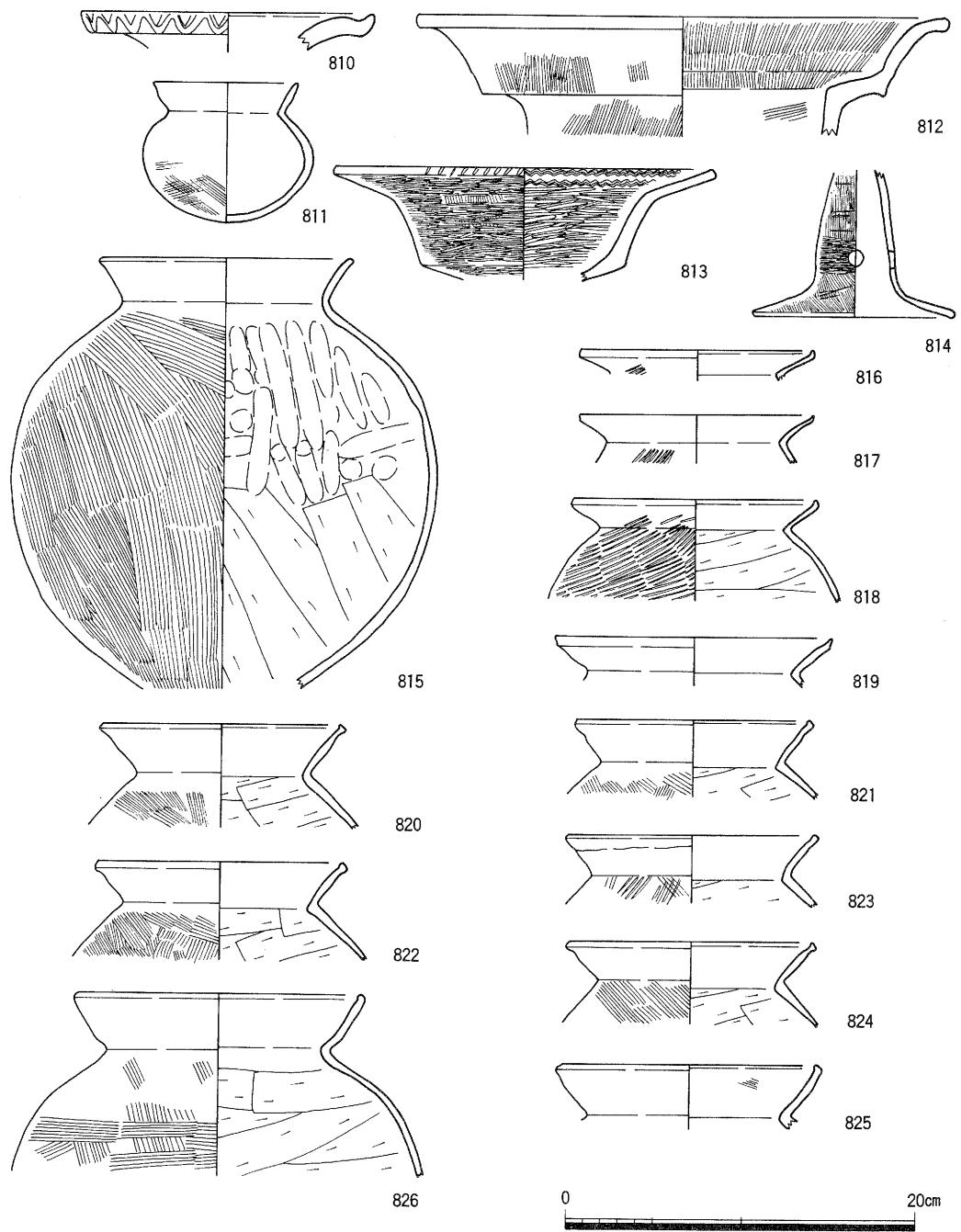
出土遺物

遺物は上層より古墳時代中期に類似する土器の細片を少量出土した。器種は須恵器の蓋坏・甕、土師器の高坏・甕等である。下層は古墳時代前期に類似する土器の細片を少量出土した。器種は土師器の壺（810・812）・小型丸底壺（811）・高坏（813・814）・甕（815~826）等である。甕には庄内式甕（816~824）・布留式甕（825・826）に分かれる（第83図）。

落ち込み25

27 c ~ d 地区で検出した。検出部は東西幅26m、深さ0.4~0.6mを測る落ち込み状遺構である。南北部は共に調査区外に至る。断面は西側の斜面で2段に屈曲して落ち込み、中位に平坦面を持つ。基底面は緩やかに起伏している。堆積土は暗茶褐色礫混じり粗砂・茶灰色粗砂混じり粘土・茶褐色粘土混じりシルト・茶褐色シルト・灰黄色粗砂で構成されている。

遺物は出土していないが、層位的にみて、24-1地区の落ち込み14・28地区の落ち込み21などとつながる可能性が考えられ、古墳時代中期に位置づけることができるであろう。



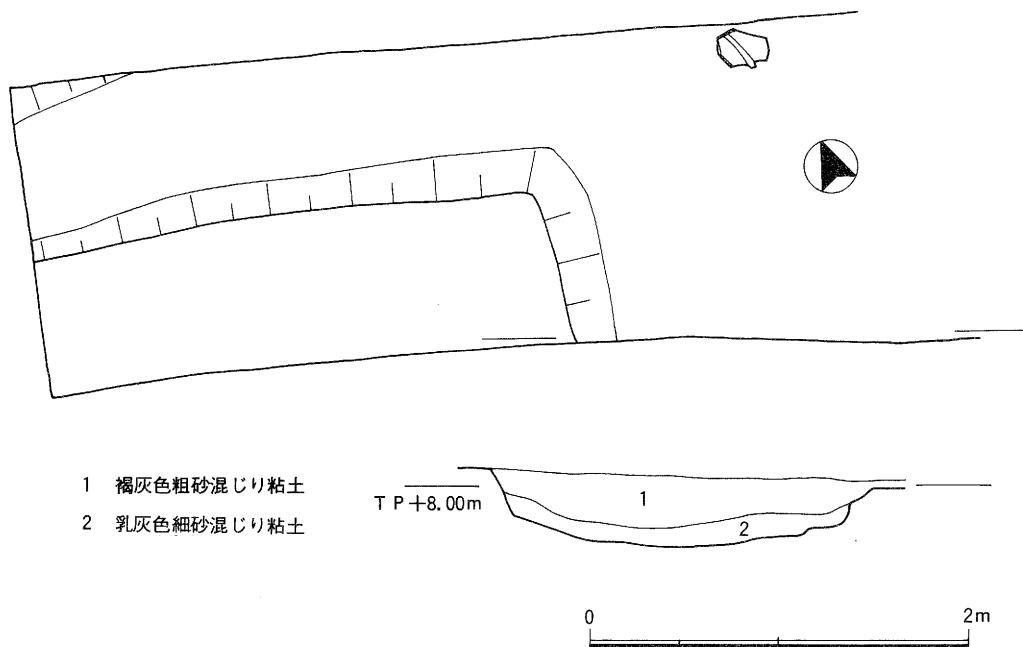
第83図 28j~m地区落ち込み24出土遺物実測図

溝

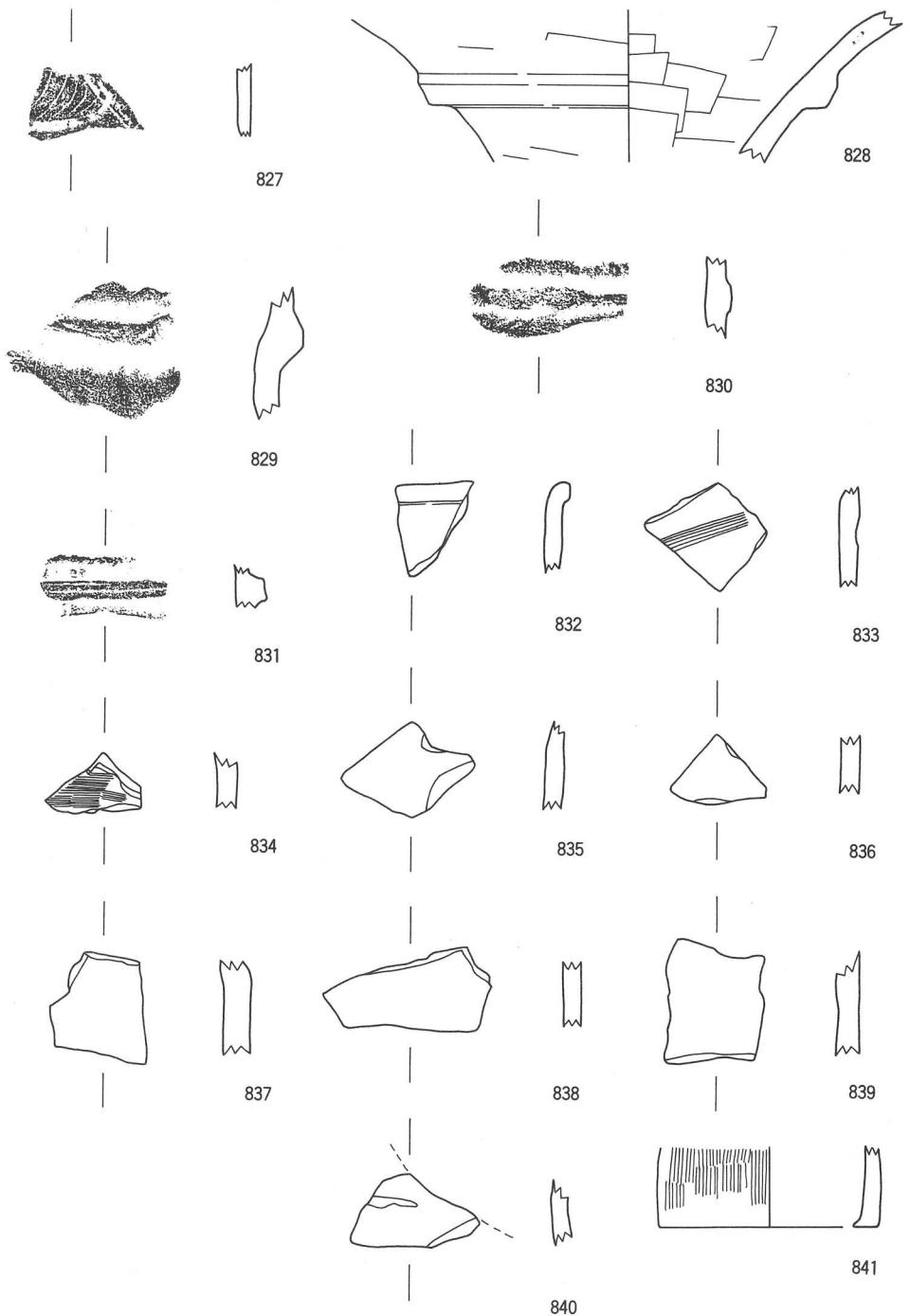
S D 303

24-2 a 地区で検出した。南部の溝肩が東側でほぼ 90° の角度で屈曲して南部の方向に至る。北部の溝肩は西側で下ばの一部を検出しただけで他は調査区外である。検出部は北溝の幅0.85m以上、深さ0.2~0.3m、東溝幅1.2m、深さ0.15~0.3mを測る。断面は皿状形を呈し、基底面は平坦である。堆積土は灰色細砂混じり粘土の单一層である。検出面はTP +7.9mを測る。灰褐色シルト上面より切り込まれている。この溝は堆積土内より埴輪片が多く出土していることから古墳の周濠の可能性が強いとすれば、溝に囲まれた南部はマウンド（墳丘）と考えられる。マウンドは高まりがなく後世の時期によって削平されている。また、東部はコーナー部があり平面方形を呈する方墳と考えられる。

遺物は古墳時代中期に比定される土器と埴輪の細片を少量出土した。器種は須恵器の蓋坏・甕、土師器の壺・高坏・甕、埴輪の形象埴輪（827）・朝顔型円筒埴輪（828）・円筒型埴輪（829~841）である（第84図・第85図）。



第84図 24-2 a 地区 S D 303 平断面図



0 20cm

第85図 24-2 a 地区 S D 303出土遺物実測図

IV 奈良時代～平安時代の遺構・遺物(第1・2調査面)

この時期の遺構はTP +8.4～8.6mを測る暗茶灰色粘質土(古墳時代前期の遺物包含層)より切り込まれていて、古墳時代中期の検出面(第2遺構面)とほぼ同レベルである。既往調査である第1次調査のA-I地区で検出した自然堤防の微高地上と連続する南部に位置する25g～m地区・27I～o地区・28I～p地区に集中した状態で検出した。検出した遺構は木枠を備えた奈良時代の井戸と曲物を備えた平安時代の井戸の2基・土坑2基・ピット列及びピット群66個・溝13条・自然河川1箇所である。

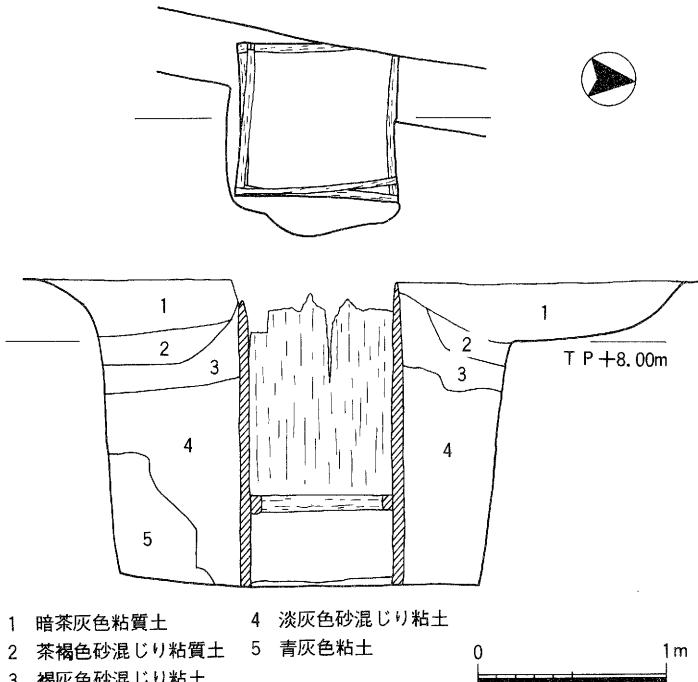
以下、これらの個々の遺構・遺物について概説する。

井戸

S E 10

25k地区の西壁で検出した。木枠を備えた井戸である。掘形はTP +8.4mを測る暗茶灰色粘質土上面より切り込まれている。西部の一部は調査区外に至る。検出部の規模は南北径3.6m、深さ1.65mを測り湧水層まで掘られている。平面は上面でほぼ円形を呈すると思われる。断面は検出面より約30cm下の北側に踊り場状になり、基底部まで逆台形で狭くなっている。基底面の径は1.3mを測り平面はほぼ円形を呈す。掘形内は上方から暗茶灰色粘質土・茶褐色砂混じり粘質土・褐灰色砂混じり粘土・淡灰色砂混じり粘土・青灰色粘土で埋め戻されている(第86図)。

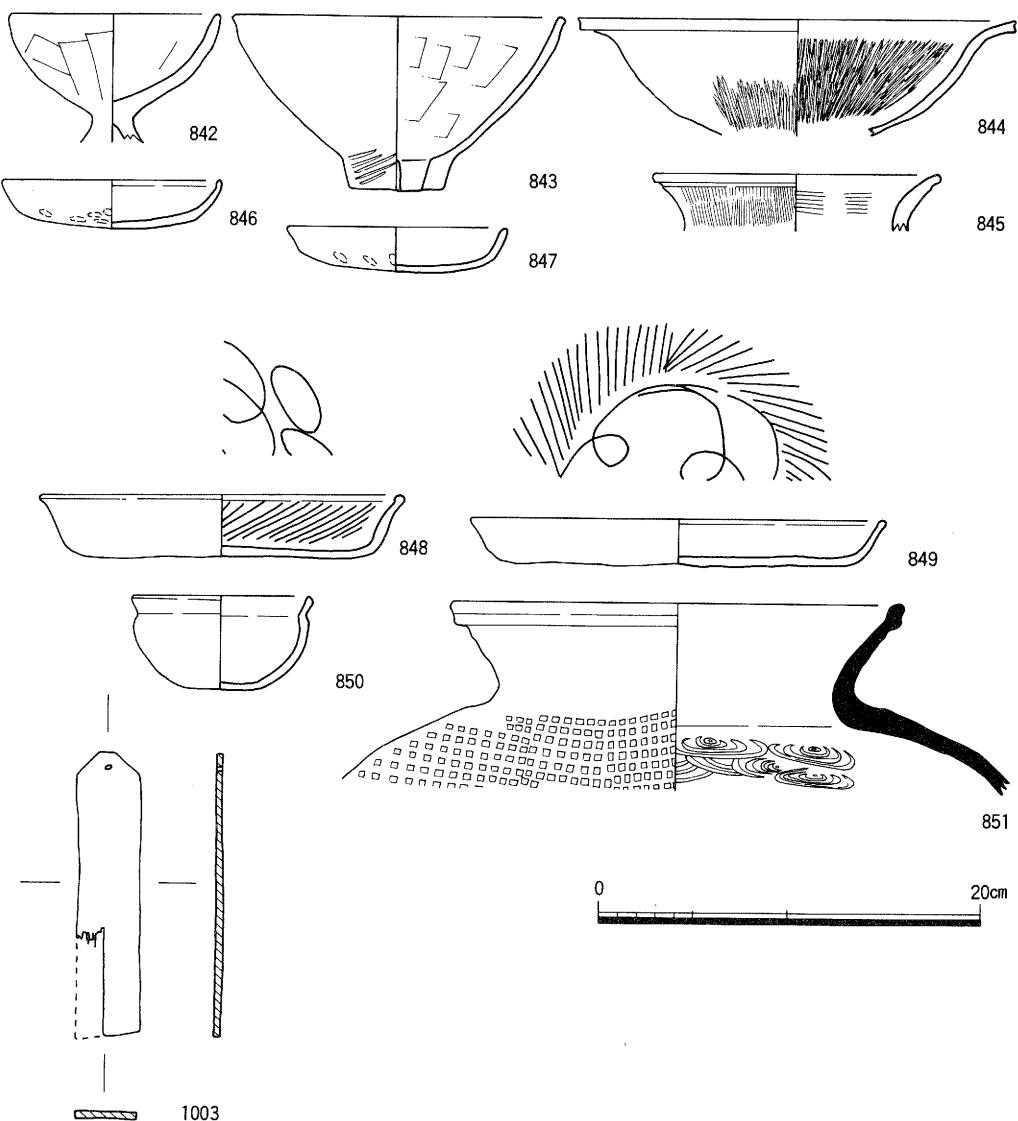
井戸枠は掘形の検出面より約0.1mを掘り下げた所で腐敗した井戸枠の上端部を検出した。井戸枠の平面は方形を呈し、1辺0.8～0.95mを測る。辺の方向は南北方向を指す。木枠の構造は縦160～170cm、横40～50cm、厚み5～7cmを測り、板状に加工した8枚の板を1辺2枚1組で方形に組み、内側に長さ80cm、縦8～10cm、横5～6cmを測る断面長方形の角材の両端を凹凸に加工した4本を組み合せ、凹凸部の合致した箇所に鉄釘を打ち込んで固定している。これを下部から40cmと80cmの所の2箇所に組み合せていたが、上部は検出した



第86図 25k地区S E 10平断面図

時点では下にずれ落ち、2本分しか検出しなかった。これは井戸として機能していた時に破損して取り扱ったと思われる。また木枠は外面の中位（下部から約70cm）で組み立てる段階に固定するために使用したものではないかと考えられる杉の皮が巻き付けられていた。なお、1枚の木枠（1014）に角材を組み合わせた下部に位置する部分に墨によるし線と下端部付近の右側に「×」の記号が墨書きされていた。井戸枠内は暗灰色粘土・暗灰色粘泥土の2層が堆積している。

遺物は掘形と井戸枠内に分かれる。掘形は弥生時代後期に類似する台付鉢（842）・有孔鉢（843）・鉢（844）・甕（845）等である。井戸枠内は奈良時代前期（平城宮Ⅰ）に類似する須



第87図 25k地区S E 10出土遺物実測図

恵器の甕 (851)・土師器の皿 (846~849)・鉢 (850)・把手付き甕等の土師片と長さ15.2cm、幅3.3cm、厚み0.4cmを測り、片端面のかどをカットし、三角形状にして中央部径0.2cmの穴が穿かれている木製の札である。文字や絵柄などは書かれていなかった。材質はスギである(第87図)。

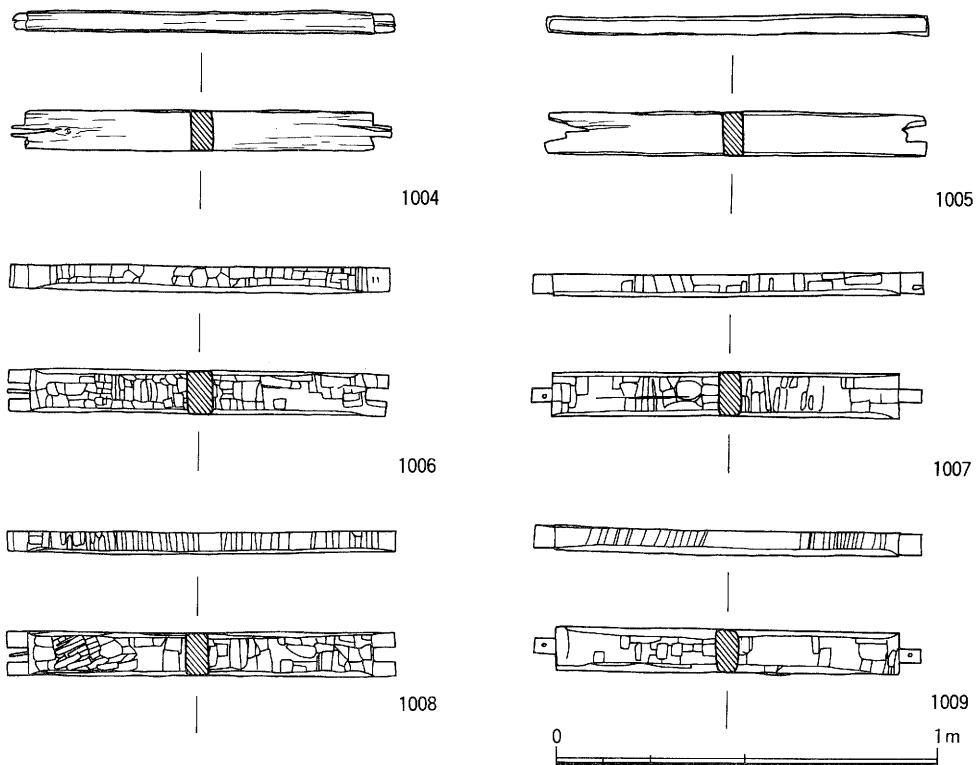
以下、個々の木枠の形態・法量等については第3表に表示した。

第3表 SE10木枠材観察表

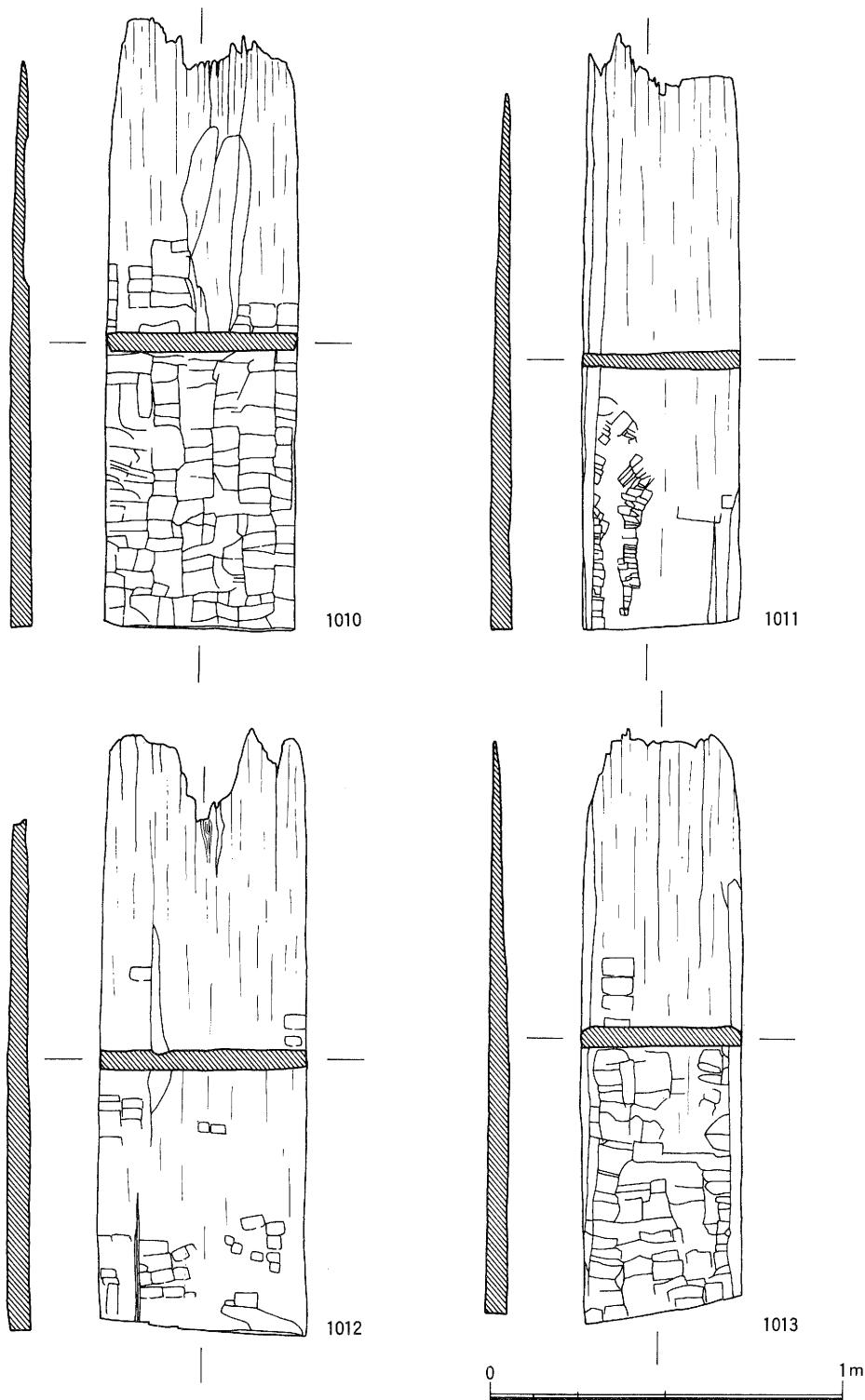
* 単位(cm)

遺物番号 図版番号	出土地点 遺構番号	(cm) 全長 幅 法量 厚さ(高さ)	形 態	技 法	備 考
1003	25 k SE 10	15.3 3.25 0.4	長方形状の薄い板状で、短辺の片辺は両肩をおとして台形を成し、直径0.3×0.25の楕円形の穿孔がある。他方の一角は欠損。	加工しているが、腐敗により不明である。	
1004	同 上	81.4 8.8 4.4	長方形状の板状で、短辺両端を凸状に削っている。 凸状(4.2×2.3・2.8×4.6)	加工痕は認められない。 凸状部が腐敗している。	
1005	同 上	81.2 9.3 3.9	長方形状の板状で、短辺両端を凹状に削っている。 凹状(4.6×3.2・4.1×3.4)	加工痕は認められない。 凹状部の一方が腐敗している。	
1006	同 上	81.4 9.4 5.6	長方形状の板状で、短辺両端を凹状に削っている。両短辺の凹状部分に一本ずつ方形状(1.0×1.2)の釘が残存する。 長辺の角二面を削っている。 凹状(4.4×2.6・4.6×3.2)	三面に工具による加工痕が認められる。	
1007	同 上	83.2 9.6 4.8	長方形状の板状で、短辺両端を凸状に削っている。凸状部両端に一個ずつ釘穴がある。 長辺の角二面を削っている。 凸状(4.4×3.0・4.7×2.9)	三面に工具による加工痕が認められる。	
1008	同 上	83.0 9.4 4.5	長方形状の板状で、短辺両端を凹状に削っている。一方の短辺の凹状部分に方形状(0.6×0.6)の釘が一本残存する。 長辺の角二面を削っている。 凹状(4.8×3.0・4.6×3.0)	三面に工具による加工痕が認められる。	
1009	同 上	82.2 9.2 5.3	長方形状の板状で、短辺両端を凸状に削っている。凸状部両端に一個ずつ釘穴がある。 長辺の角二面を削っている。 凸状(4.4×2.8×4.3×3.3)	三面に工具による加工痕が認められる。	
1010	同 上	70.8 22.3 2.4	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	下方に工具による明瞭な加工痕が認められる。	材質は杉
1011	同 上	68.7 18.5 2.4	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	下方に工具による明瞭な加工痕が認められる。	材質は杉
1012	同 上	70.2 24.3 2.6	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	下方に工具による加工痕が認められる。	材質は杉

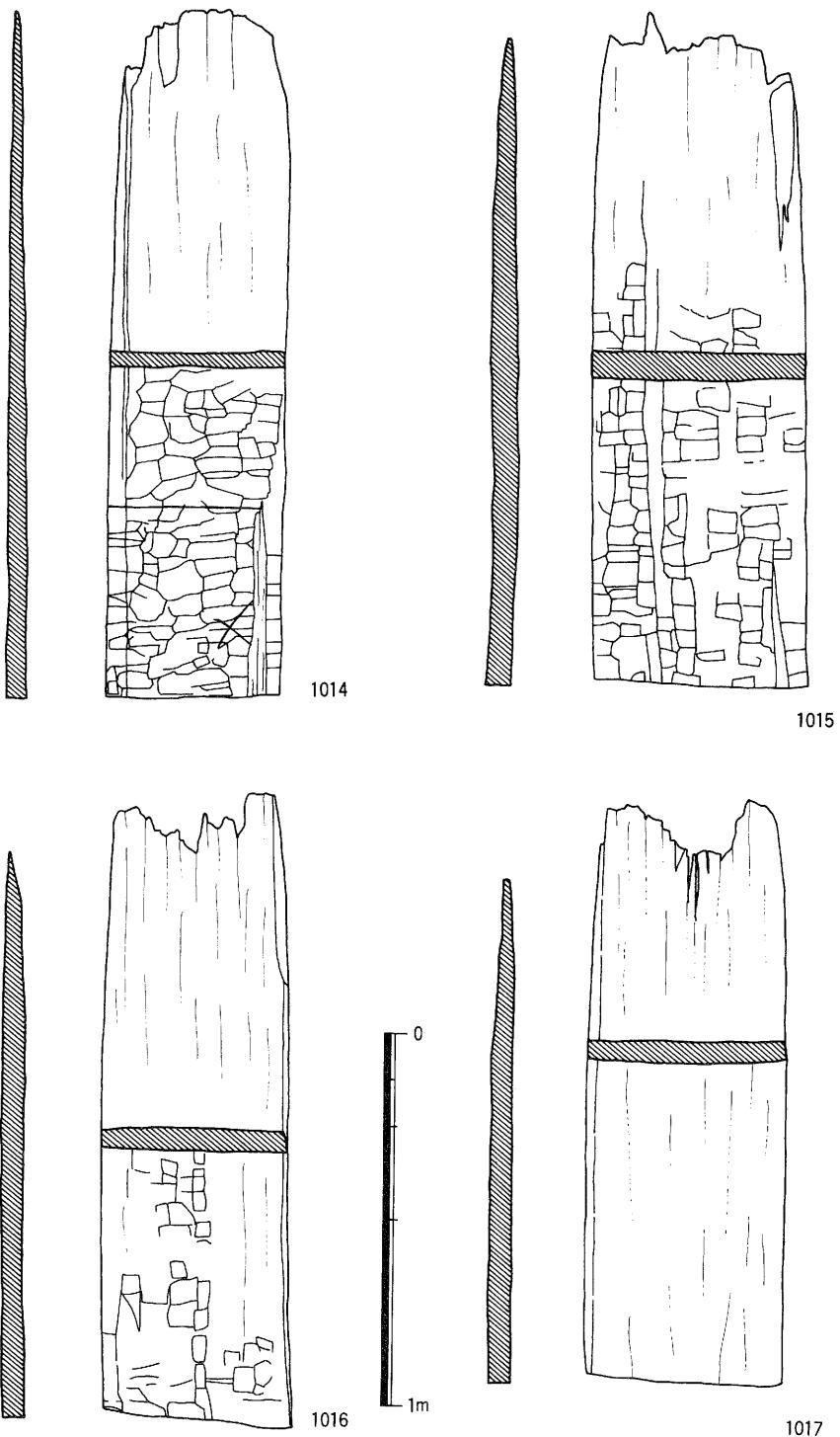
遺物番号 図版番号	出土地點 遺構番号	(cm) 全長 幅 法量 厚さ(高さ)	形 態	技 法	備 考
1013	I25 k S E10	68.7 18.8 2.4	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	下方に工具による明瞭な加工痕が認められる。	材質は杉
1014	同 上	75.1 19.4 2.2	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。 下方付近右に「×」の墨書による記号、中位よりやや下位に水平に一本の墨書の線がひかれている。(井戸棒内の組み合わせた角材の位置の印線である。)	下方に工具による明瞭な加工痕が認められる。	材質は杉
1015	同 上	73.6 23.3 3.1	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	下方に工具による明瞭な加工痕が認められる。	材質は杉
1016	同 上	69.4 20.6 2.6	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	下方に工具による明瞭な加工痕が認められる。	材質は杉
1017	同 上	64.8 21.8 2.4	長方形状に板状にしたもの。 上部欠損。	加工痕は認められない。	材質は杉



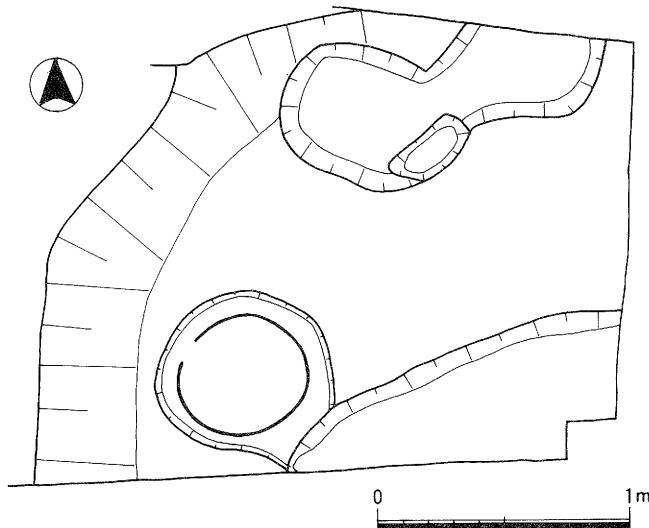
第88図 25k地区 S E10木枠実測図1



第89図 25 k 地区 S E 10木枠実測図2



第90図 25 k 地区 S E 10木枠実測図3

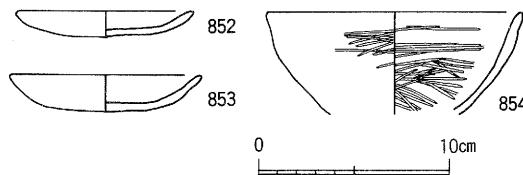


第91図 28p 地区 S E 9 平面図

S E 9

28p 地区で検出した。曲物を備えた井戸である。掘形の検出部は東西径2.5m以上、南北径2m以上、深さ0.5mを測り、東部・南北部は共に調査区外に至る。平断面形は不明であるが、検出した西側の肩部より緩やかに傾斜して基底部に至る。基底面では凹凸がみられ、西側寄りの位置に径0.6mを測る曲物を備えた井戸柱を検出した。

井戸柱を検出した。曲物は1段だけで高さ15cm、厚み0.5cmを測り、上端部は腐敗して欠損している。掘形の埋土は灰色粘土で、曲物内は暗灰褐色砂混じり粘土を堆積している。なお、この井戸は掘形が広い・深度が浅い・曲物が1段のみ残在等で井戸としてではなく土坑状の窪みの性格をもつ可能性を考えられ若干疑問を残すが、一応、井戸として取り扱った（第91図）。



第92図 28p 地区 S E 9 出土遺物実測図

遺物は平安時代中期～後期に比定される土器を掘形の埋土内よりごく少量出土した。器種は土師器の小皿（852・853）・瓦器碗（854）等である（第92図）。

土坑

S K 39

25k 地区の東壁で検出した。検出部は東西径0.6m以上、南北径1m、深さ0.2mを測る土坑と思われる。北部はS E 10の掘形に切られ、東半部は調査区外に至る。検出部の平面は方形を呈し、断面は逆台形を成す。堆積土は暗灰茶色粘土の単一層である。

遺物は古墳時代～奈良時代に至る土器の細片をごく少量出土した。器種は須恵器の壺・甕、土師器の壺・甕等である。

S K 40

25m 地区の東壁で検出した。検出部は東西径0.6m以上、南北径1.9m、深さ0.15mを測る土坑である。東半部は調査区外に至る。検出部の平面はほぼ方形を呈す。断面は逆台形を成し、平坦な基底面の中央部付近に径0.3m、深さ0.2mを測る平面円形のピットが認められた。これ

はこの遺構が柱穴跡である可能性が強いと思われる。堆積土は暗灰茶色粘土の単一層である。

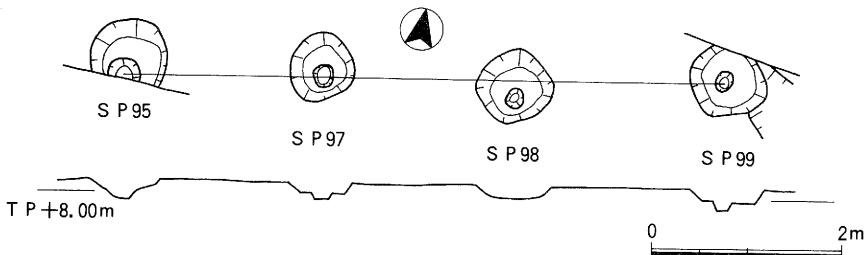
遺物は古墳時代～奈良時代に至る土器の細片をごく少量出土した。器種は須恵器の壺、土師器の壺・甕である。

ピット列及びピット群

ピット列1 (S P 95・S P 97～S P 99)

27m・n地区で検出した。検出部は東西3間6.2mを測るピット列である。間隔は西より2.1m・2.1m・2mを測る。方向は東を主軸としてE-12°-Nを指す。ピットの平面は隅丸方形を呈す。規模はS P 95—径0.8m、深さ0.2m、S P 97—径0.68m、深さ0.18m、S P 98—径0.74m、深さ0.2m、S P 99—径0.74m、深さ0.14mをそれぞれ測る。断面は逆台形を成し、中央部付近には径0.1～0.2mを測る平面円形の柱痕跡が認められる。ピットの掘形内は暗茶灰色砂粘土で埋められ、柱痕跡は暗灰褐色砂粘土である。このピット列は限られた調査区のために南北部は確認されていないが、第1次調査のA-III地区で検出した建物跡と同様の性格をもつ柱穴跡ではないかと推察する(第93図)。

遺物は土師器の細片をごく少量出土しただけで、時期を決定づけるものはないが、奈良時代になる可能性が強い。

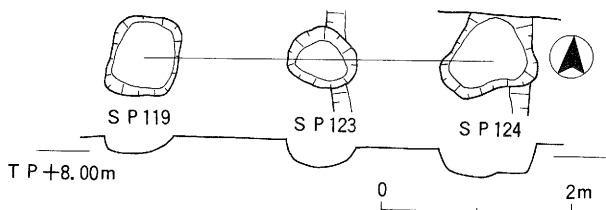


第93図 27m・n地区ピット列1平面図

ピット列2 (S P 119・S P 123・S P 124)

28o・p地区で検出した。検出部は東西2間3.7mを測るほぼ東西方向のピット列である。間隔は西より2m・1.7mを測る。ピットの平面はほぼ隅丸方形を呈す。規模はS P 119—東西径0.75m、南北径0.84m、深さ0.16m、S P 123—東西径0.74m、南北径0.63m、深さ0.36m、S P 124—東西径1.05m、南北径0.91m、深さ0.4mをそれぞれ測る。断面は緩やかな逆台形を成す。堆積土は暗茶灰褐色砂粘土の単一層で、柱痕跡は検出していない。S P 123とS P 124は中世以降の溝(S D 289)によって切られている。

このピット列2はピット列



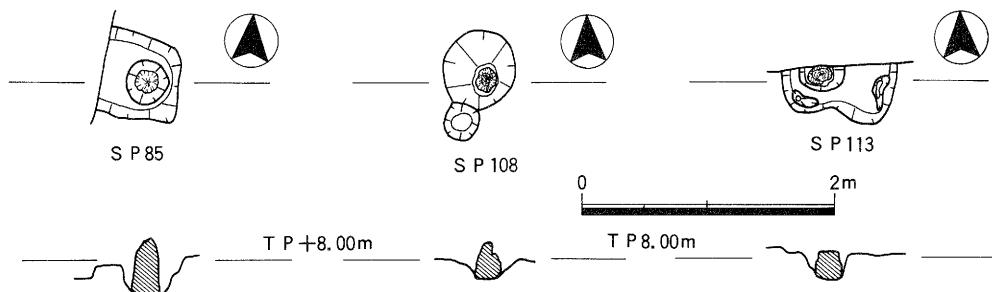
第94図 28o・p地区ピット列2平面図

1と同様に建物跡ではないかと考えられる。遺物は出土していないが、奈良時代～平安時代に比定されるであろう（第94図）。

ピット群

25 j～m地区・27 k～o地区・28 m～p地区に集中して検出した。ピットは59個を数える。規模は径0.1～0.4mを測る平面円形で小形のものと径0.5～1.1mを測る平面隅丸方形及び楕円形の大形のものに大別できる。断面はU字形ないし逆台形を成し、中には柱根や柱痕跡が残存していた。柱根はS P 85—長さ52cm、最大径24cm、S P 108—長さ28cm、最大径20cm、S P 113—長さ22cm、最大径20cmをそれぞれ測る丸い木が3箇所に残存していた（第95図）。また柱痕跡は径0.1～0.3mを測る平面円形及び楕円形で9個を検出した。ピット内は暗灰茶色砂粘土又は暗茶色シルト混じり粘土の单一層で、柱痕内に暗灰褐色砂混じり粘土が堆積している。これらのピットの大半は住居址に伴う柱穴跡と考えられる。しかし、調査区の範囲が限られているために規則性のある配列をもつものは、前記したピット列1とピット列2の2箇所だけを確認したのみである。そして、これらのピットは時期差も考えられる。

遺物は大半のピットからは出土していない。一部のピットで古墳時代～平安時代に至る土器の細片をごく少量出土した（第96図）。



第95図 25 k 地区 S P 85・28 n 地区 S P 108・S P 113 柱根平面断面図

以下、これらの個々のピットの形状・法量等については第4表に表示したので参照されたい。

第4表 古墳時代中期～奈良時代のピット一覧表

地 区	遺構番号	径 (cm)	深さ (cm)	平面形	断面形	堆 積 土	備 考
25 j	S P 67	17.0～40.0	10.8～13.4	不 定 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	土師片少量
25 j	S P 68	28.0～34.0	23.4	不 定 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 j	S P 69	33.0	29.3	円 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	土師片少量
25 j	S P 70	38.0～47.0	12.8～30.7	楕 圆 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	土師片少量
25 j	S P 71	26.0	28.3	円 形	U 字 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 j	S P 72	53.0～66.0	22.3～28.9	不 定 形	皿 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 j	S P 73	23.0	14.2	円 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 j	S P 74	14.0	9.9	円 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 j	S P 75	22.0	21.7	円 形	U 字 形	暗茶色シルト混じり粘土	

第4表 古墳時代中期～奈良時代のピット一覧表

地 区	遺構番号	径(cm)	深さ(cm)	平面形	断面形	堆 積 土	備 考
25 j	S P 76	26.0	12.5	円 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 j	S P 77	23.0	7.3	円 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 j	S P 78	9.0~22.0	7.5	不 定 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 j	S P 79	15.0~28.0	15.6	不 定 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 k	S P 80	30.0	8.5	円 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 k	S P 81	20.0~23.0	9.4	楕 圆 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 k	S P 82	46.0~56.0	23.8~25.1	長 方 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	土師片少量
25 l	S P 83	10.0~20.0	4.0	半 圆 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 l	S P 84	28.0~32.0	8.1~8.8	椭 圆 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 l	S P 85	61.0~68.0	12.7~16.2	隅 丸 方 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	柱根有り
25 l	S P 86	78.0~114.0	37.3~42.0	不 定 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	土師片少量
25 m	S P 87	48.0~62.0	13.7	半 圆 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	柱痕跡有り
25 m	S P 88	42.0~24.0	12.0~13.2	半 圆 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	柱痕跡有り
25 m	S P 89	30.0~40.0	10.9~12.2	椭 圆 形	皿 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	土師片少量
25 m	S P 90	19.0	9.4	円 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
25 m	S P 91	37.0	14.0	不 定 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
27 k	S P 92	24.0	11.8	円 形	皿 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
27 k	S P 93	23.0	7.5	円 形	皿 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
27 m	S P 94	30.0	18.2	円 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
27 m	S P 95	81.0	11.2~18.4	円 形	二段逆台形	暗茶灰色砂粘土	柱痕跡有りピット列1 土師片・須恵片少量
27 n	S P 96	64.0	29.6	不 定 形	逆 台 形	暗茶灰色砂粘土	
27 n	S P 97	68.0~76.0	9.3~18.1	隅 丸 方 形	二段逆台形	暗茶灰色砂粘土	柱痕跡有りピット列1
27 n	S P 98	74.0~81.0	12.3~20.1	隅 丸 方 形	二段逆台形	暗茶灰色砂粘土	柱痕跡有りピット列1
27 n	S P 99	74.0	12.7~13.8	円 形	二段逆台形	暗茶灰色砂粘土	柱痕跡有りピット列1
27 n	S P 100	72.0	10.6~13.4	円 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	土師片少量
27 o	S P 101	74.0	16.5~17.3	円 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	柱痕跡有り
28 m	S P 102	42.0	19.1~25.1	円 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
28 m	S P 103	41.0~52.0	10.1	不 定 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	
28 m	S P 104	34.0~40.0	8.1~12.1	隅 丸 方 形	U 字 形	暗茶色シルト混じり粘土	
28 m	S P 105	37.0	3.6	円 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	
28 m	S P 106	30.0~66.0	3.3~4.2	椭 圆 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	
28 m	S P 107	32.0~38.0	3.8~5.9	椭 圆 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
28 m	S P 108	59.0	16.0	円 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	柱根有り
28 m	S P 109	27.0	6.4~13.7	円 形	U 字 形	暗茶色シルト混じり粘土	
28 m	S P 110	17.0~23.0	9.5~9.9	椭 圆 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	
28 m	S P 111	28.0~77.0	5.6~9.7	不 定 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	
28 m	S P 112	69.0~87.0	6.7~8.2	隅 丸 方 形	逆 台 形	暗茶色シルト混じり粘土	
28 n	S P 113	45.0~87.0	4.4~7.8	不 定 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	柱根有り
28 n	S P 114	87.0~100.0	3.5~9.5	隅 丸 方 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	柱痕跡有り
28 n	S P 115	56.0	28.6~33.7	円 形	皿 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	土師片少量
28 n	S P 116	48.0	12.2~15.7	円 形	椀 状 形	暗茶色シルト混じり粘土	土師片少量

28o	S P117	71.0~90.0	9.3~15.5	隅丸方形	逆台形	暗茶色シルト混じり粘土	
28o	S P118	34.0~38.0	13.9~14.6	楕円形	椀状形	暗茶色シルト混じり粘土	
28o	S P119	75.0~84.0	13.9~16.5	隅丸方形	皿状形	暗茶灰褐色砂粘土	ピット列2
28o	S P120	22.0	17.5	円形	逆台形	暗茶色シルト混じり粘土	
28o	S P121	31.0	18.1~28.7	円形	二段逆台形	暗茶色シルト混じり粘土	柱痕跡有り
28o	S P122	65.0~75.0	28.0	不定形	椀状形	暗茶色シルト混じり粘土	
28o	S P123	63.0~74.0	23.6~36.0	楕円形	椀状形	暗茶灰褐色砂粘土	ピット列2
28o	S P124	91.0~105.0	33.0~40.0	不定形	ほぼ逆台形	暗茶灰褐色砂粘土	ピット列2
28o	S P125	42.0~54.0	0.3~4.9	楕円形	椀状形	暗茶色シルト混じり粘土	

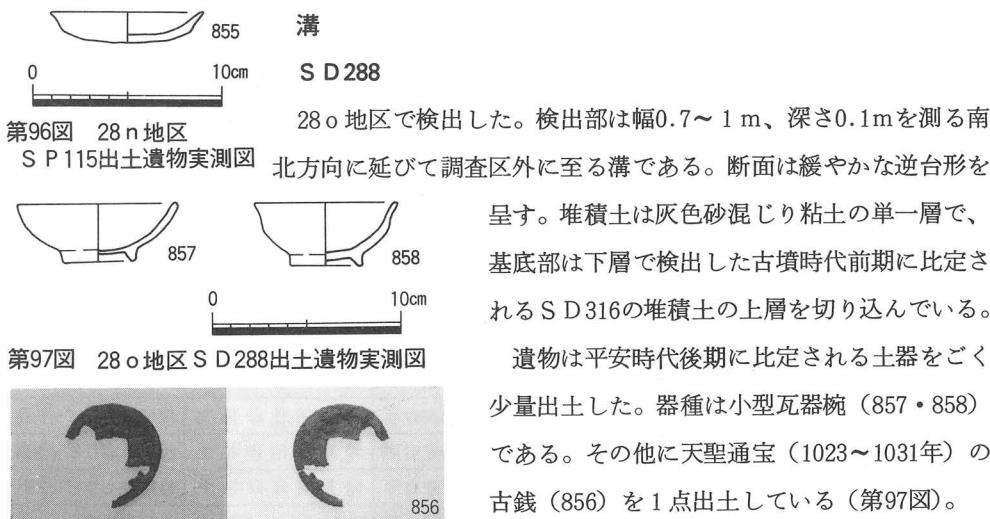


写真2 28n地区 S D 288古銭

S D 291

25g地区で検出した。検出部は幅4.5m、深さ0.5mを測る東西方向に延び調査区外に至る溝である。断面は南部斜面に段がみられる逆台形を呈し、基底面の一部に凹凸面がある。堆積土は暗灰茶色粘土の単一層である。遺物は出土していないが、層位的にみて平安時代であろう。

S D 292

25g地区で検出した。検出部は幅0.5~0.6m、深さ0.25mを測る東西方向に延び調査区外に至る溝である。断面は深めの皿状形を呈す。堆積土は暗灰茶色粘土の単一層である。

遺物は出土していない。

S D 293

25g・h地区で検出した。検出部は幅0.4~0.6m、深さ0.25mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-12°-Wを指す。北部はS D 292と切り合う関係にあり、南部は調査区外に至る。

断面は深めの皿状形を呈す。堆積土は暗灰茶色粘土の单一層である。遺物は出土していない。

S D 294

25 i 地区で検出した。検出部は幅0.6m、深さ0.3mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-12°-Wで、S D 293と同一方向を指す。南東部は調査区内で途切れ、北西部は調査区外に至る。断面はU字形を呈す。堆積土は暗灰茶色粘土の单一層である。遺物は出土していない。

S D 295

25 i 地区で検出した。検出部は幅0.4~0.5m、深さ0.1mを測る東西方向に延び調査区外に至る。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗灰茶色粘土の单一層でS D 291等と同一層である。

遺物は出土していない。

S D 296

25 l 地区で検出した。検出部は幅0.3~0.4m、深さ0.1mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-40°-Eを指し、調査区外に至る。東側はS D 297と切り合う関係にある。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトの单一層である。遺物は出土していない。

S D 297

25 l 地区で検出した。検出部は幅0.2~0.25m、深さ0.08mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-20°-Wを指す。北西部はS D 295と交わり、南東部はS D 298と交わって調査区外に至る。またS P 86によって切られている。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトである。遺物は検出していない。

S D 298

25 l 地区で検出した。検出部は幅0.4m、深さ0.1mを測る東西方向に延びる溝である。東部はS D 297と交わる関係にあり、東西部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトの单一層である。遺物は出土していない。

S D 299

27 k • l 地区で検出した。検出部は幅0.2~0.3m、深さ0.1mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-72°-Eを指す。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトの单一層である。遺物は出土していない。

S D 300

27m地区で検出した。検出部は幅0.2~0.25m、深さ0.07mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-60°-Eを指す。南西部は調査区内で途切れ、北東部は調査区外に至る。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトの单一層である。遺物は出土していない。

S D 301

27m • n 地区で検出した。検出部は幅0.2~0.35m、深さ0.1mを測る溝である。方向は北を

主軸としてN-70°-Eを指し、南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトの単一層である。遺物は出土していない。

S D 302

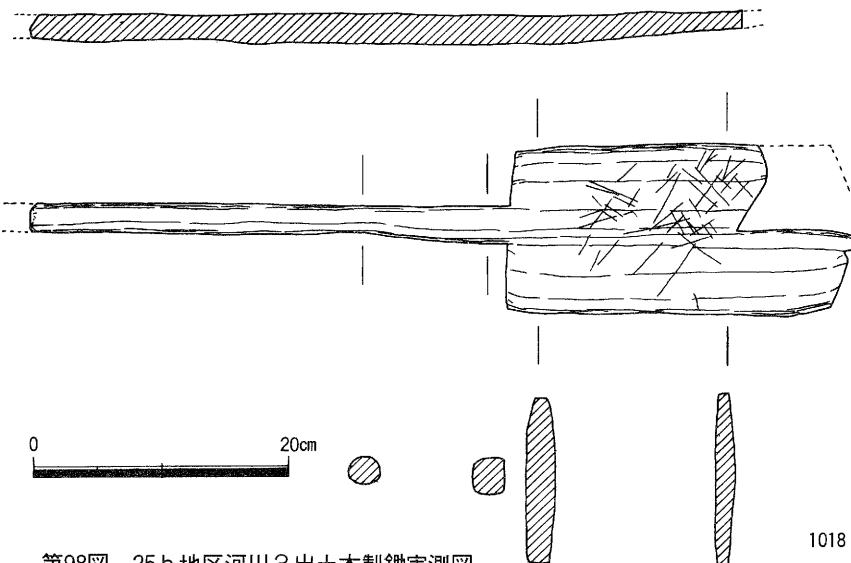
27m地区で検出した。検出部は幅0.2m、深さ0.07mを測る溝である。方向は北を主軸としてN-70°-Eを指し、南北部は共に調査区外に至る。断面は皿状形を呈す。堆積土は暗茶灰色粘質シルトの単一層である。遺物は出土していない。

自然河川

河川 3

220地区と25b地区で検出した。検出部は幅8m、深さ0.7mを測る河川跡で、西肩のみを検出した。既にこの河川跡は北部に位置するA-IV地区で検出されている。河川の方向は北西流に蛇行すると思われる。河川内は砂粒を基調として褐灰色細砂・灰褐色粗砂・灰褐色粗砂混じり粘土・黄褐色粗砂・乳黃灰色粗砂・乳黃灰色細砂・青灰色シルト・青灰色粘土・灰褐色粗砂混じり粘土等が乱雑に堆積している。

遺物は弥生時代後期～奈良時代にかけての土器が細片化してローリングを受けた状態で少量出土した。器種は畿内第V様式の甕、土師器の壺・甕、須恵器の甕等である。また、25b地区の下層からは古墳時代中期～奈良時代に比定される木製の鋤が1点出土した。鋤（1018）は長さ66cm、柄部の長さ38.4cm、柄部径2.8cm、身部の長さ27.6cm、幅14cm、厚み1.2～2.4cmを測る。柄部は丸く加工する。身部は長方形を呈し、先端部は丸みを持ち、薄くなっている。身部面は平坦に加工している。片面に鋭い刃物のようなもので乱雑な傷跡が見受けられる。柄部の先端部は欠損している。この鋤の材質は未鑑定である（第98図）。



第98図 25b地区河川3出土木製鋤実測図

V 鎌倉時代～近世に至る遺構・遺物(第1調査面)

この時期の遺構は、調査区の全体で検出した。検出面は T P +8.3～8.5m を測る暗灰褐色砂混じり粘土の上面で農耕に関連する遺構が検出した。遺構は井戸 4基・土坑 1基・落ち込み状遺構 1箇所・ピット 7個・溝 170条を検出した。遺物は遺構に伴う遺物はほとんどなく、上層(床土と考えられる土層)よりローリングを受けて細片化した土器・瓦類等が少量出土した。

以下、これらの遺構・遺物について概説する。

井戸

S E 5

23b 地区の西壁で検出した。検出部は径 1m、深さ 0.7m を測る素掘り井戸である。平面は円形を呈すると思われる。東部は S E 6 と少し切り合い、西半部は調査区外に至る。断面は長方形を成す。堆積土は暗茶灰色砂粘土・暗茶青色砂粘土の 2 層に分けられる。遺物は出土していないが、耕土下より切り込まれていることから近世の時期と考えられ、農耕の灌漑用水に使用される井戸ではないかと思われる。

S E 6

23b 地区で検出した。検出部は径 1m、深さ 0.7m を測る素掘り井戸である。平面は円形を呈す。西部の一部は S E 5 と切り合う。断面は長方形を成し、基底部まで垂直に掘られている。堆積土は暗茶灰色砂粘土・暗灰青色砂粘土である。遺物は出土していないが、S E 5 と若干の時期差はあると考えられる。この井戸も農耕の灌漑用水と思われる。

S E 7

23d 地区の西壁で検出した。検出部は径 1m、深さ 0.7m を測る木枠のある井戸である。掘形はほとんど木枠と一緒に掘られている。木枠は平面円形の桶の作りである。断面は長方形を成し、基底部に円形の底板(1枚板)がある。桶内は茶灰色粘土・茶褐色細砂・灰茶褐色粘質土・青灰色砂粘土を堆積している。遺物は出土していないが、耕土下よりの切り込みで近世の時期に比定される。この井戸は農耕の灌漑用貯水井戸ではないかと思われる。

S E 8

23d 地区で検出した。検出部は径 1m、深さ 0.7m を測る素掘り井戸である。東部の一部は調査区外に至るが、平面は円形を呈す。断面は長方形を成し、基底部まで垂直に切り込んでいる。堆積土は暗茶灰色砂粘土、暗灰青色砂粘土である。遺物は出土していない。時期は S E 5 等とほぼ同一時期であろう。

S E 11

25k・l 地区の西壁で検出した井戸枠を備えた井戸である。掘形は耕土下より切り込み南北径 5.3m を測る。西半部は調査区外に至る。断面は上部で垂直に掘られている。埋土は茶灰色粘

質土・黄茶灰色粘質土である。井戸枠は掘形のほぼ中央付近に上部より瓦・木枠・桶を組み合わせたものであると考えられるが、調査区幅が狭く、地層の軟弱で崩れる恐れがあり人命に係わる為、調査を断念した。

遺物は出土していない。時期は明治初期ごろであろう。

土坑

S K 38

24-1 h 地区の北壁で検出した。検出部は東西径2.9m、南北径1.4m以上、深さ0.15mを測る土坑である。北部の一部は調査区外に至る。平面は不定形を呈す。断面は皿状形を成し、基底面は緩やかな起伏がみられる。堆積土は褐灰色粗砂混じり粘土の単一層である。

遺物は出土していない。時期は中世以降であろう。

落ち込み状遺構

落ち込み12

24-2 a ~ b 地区で検出した。検出部は東西幅6.6m、深さ0.7mを測る落ち込み状遺構である。東部は河川1を切り、南北部は共に調査区外に至る。断面は緩やかな逆台形を呈す。堆積土は褐灰色粗砂混じり粘質土・灰茶色粗砂・灰茶褐色細砂混じり粘土・茶褐色粘質土・淡茶色細砂混じり粘土・暗灰茶色砂混じり粘土・灰茶色細砂・淡灰褐色礫混じり粗砂・乳灰色細砂・青灰色粘土で砂層を基調としている。

遺物は古墳時代～鎌倉時代にかけての土器片をごく少量出土した。器種は土師器の壺・甕、須恵器の甕・瓦器碗等である。また、用途不明の木片1点も出土した。

ピット

S P 60～S P 66

24-1 g 地区・25 f・m地区で検出した。検出部は径0.2～0.3m、深さ0.1～0.2mを測る。平面はほぼ円形を呈す。断面はU字形を成す。堆積土は灰褐色砂粘土又は暗灰色粘土の単一層である。遺物は出土していないが、時期は中世以降であろう。これらのピットは住居址に伴うものとは考えにくく、農耕作によってできた杭跡ではないかと推測する（第5表）。

溝

S D 120～S D 148・S D 150～290

全調査区で検出した。検出面はほとんどが第3層上面で確認されている。規模は大きいもので幅0.6～2m、小さいもので幅0.1～0.5mを測る。深さは0.05～0.2mでほとんど浅い。断面は逆台形か浅い皿状形を呈す。方向は現在の土地区画された農耕地の方向とほぼ同じ方向を指す。堆積土は第2層（床土）と同一層である（第6表）。

遺物は細片化した土師器・須恵器・陶磁器・瓦等をごく少量出土した。

第5表 中世以降のピット一覧表

地 区	遺構番号	径 (cm)	深さ (cm)	平面形	断面形	堆 積 土	備 考
24-1g	S P 60	21.0~28.0	27.4	隅丸方形	逆台形	暗灰褐色砂混じり粘土	
25f	S P 61	30.0~35.0	7.4	不定形	椀状形	暗灰褐色砂混じり粘土	
25j	S P 62	40.0~45.0	8.8	楕円形	椀状形	暗灰褐色砂混じり粘土	
25m	S P 63	27.0	8.2	円 形	椀状形	暗灰褐色砂混じり粘土	
25m	S P 64	25.0	4.3	円 形	椀状形	暗灰褐色砂混じり粘土	
25m	S P 65	18.0	7.6	円 形	椀状形	暗灰褐色砂混じり粘土	
25m	S P 66	18.0	7.5	円 形	椀状形	暗灰褐色砂混じり粘土	

第6表 中世～近世の溝一覧表

地 区	遺構番号	方 向	幅 (cm)	深さ(cm)	断面形	堆 積 土	備 考
22o	S D120	南西～北東	50～85	7.0～9.0	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22o・p	S D121	南西～北東	70～115	4.2～11.5	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p	S D122	南西～北東	32～70	3.5～12.1	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p・q	S D123	東 西	30～50	4.8～19.3	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p・q	S D124	東 西	22～35	3.8	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p・q	S D125	東 西	20	8.0	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p・q	S D126	東 西	30	5.1	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p・q	S D127	東 西	10～15	5.5	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22p・q	S D128	東 西	60以上	5.1	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
22q	S D129	?	40	3.7～6.9	皿状形	灰茶色砂混じり粘土	
23a	S D130	南 北	30～35	2.1～3.6	逆台形	灰茶色粘質土	
23a	S D131	東 西	75～80	2.0～3.1	皿状形	灰茶色粘質土	
23a	S D132	東 西	110	6.3～8.9	逆台形	灰茶色粘質土	
23a	S D133	東 西	30～40	5.7～9.1	皿状形	灰茶色粘質土	
23a	S D134	東 西	40	8.8～12.8	皿状形	灰茶色粘質土	
23a	S D135	東 西	30	2.3～6.0	皿状形	灰茶色粘質土	
23a	S D136	東 西	70	6.7～7.5	逆台形	灰茶色粘質土	
23b・c	S D137	ほぼ南北	40～50	7.3～12.7	逆台形	灰茶色粘質土	
23b	S D138	ほぼ南北	10～20	6.9～9.6	皿状形	灰茶色粘質土	
23b	S D139	ほぼ南北	12～28	8.9～9.9	皿状形	灰茶色粘質土	
23c	S D140	ほぼ南北	15～20	6.0～7.7	皿状形	灰茶色粘質土	
23c	S D141	ほぼ南北	20	5.5	皿状形	灰茶色粘質土	
23c	S D142	東 西	60	3.9～4.2	皿状形	灰茶色粘質土	
23c	S D143	東 西	20	2.4～13.0	皿状形	灰茶色粘質土	
23c・d	S D144	東 西	130～140	13.2～15.4	逆台形	灰茶色粘質土	
23d	S D145	南 北	25～40	7.3～19.8	皿状形	灰茶色粘質土	

地 区	遺構番号	方 向	幅 (cm)	深さ(cm)	断面形	堆 積 土	備 考
23d	S D 146	南 北	20~30	7.2~7.7	逆台形	灰茶色粘質土	
23d	S D 147	東 西	10	4.8	椀状形	灰茶色粘質土	
23d	S D 148	東 西	10	8.4	椀状形	灰茶色粘質土	
24-1a~b	S D 150	東 西	10~20	3.3~7.2	椀状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-2d~ 24-1a~e	S D 151	東 西	200以上	15.1	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1e~h	S D 152	東 西	80~140以上	11~29.9	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1g	S D 153	東 西	60	9.1~10.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1h	S D 154	南 北	570		逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1h	S D 155	南 北	35	8.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1i	S D 156	南 北	40	5.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1i	S D 157	東 西	160以上	7.2	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-i~j	S D 158	東 西	30~80	12.1~13.3	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-i~j	S D 159	東 西	15~25	5.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	S D 160	南 北	30	7.3~10.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	S D 161	南 北	35~65	16.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	S D 162	南 北	15	8.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	S D 163	南 北	10~15	3.4~5.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	S D 164	南 北	35~60	6.3~19.3	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	S D 165	南西~北東	18	6.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	S D 166	南西~北東	10~15	9.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j·k	S D 167	東 西	15~25	2.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	S D 168	東 西	18~25	4.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j·k	S D 169	東 西	25~30	6.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j·k	S D 170	東 西	15~40	2.3~8.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1j	S D 171	南西~北東	30~35	9.4	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1k~m	S D 172	東 西	20以上	1.7~3.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1k~m	S D 173	東 西	22~25	2.8~3.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1k~m	S D 174	東 西	25~30	4.1~9.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1k·l	S D 175	東 西	10以上	3.8	——	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-11	S D 176	東 西	15~20	2.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-11·m	S D 178	東 西	15	3.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-1m~o 25e	S D 179	東 西	60	10.3~17.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-2a·b	S D 180	東 西	200以上	4.8~8.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
24-2c	S D 181	東 西	150	13.1~24.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25b	S D 182	南東~北西	20~30	6.4~7.5	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25b	S D 183	南東~北西	50	9.6~15.9	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25b	S D 184	東 西	20~25	4.7~5.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25c	S D 185	東 西	30~45	3.7~5.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25c	S D 186	東 西	20~25	3.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	

地 区	遺構番号	方 向	幅 (cm)	深さ (cm)	断面形	堆 積 土	備 考
25c	S D187	東 西	30~38	5.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25c	S D188	東 西	25~30	18.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25c	S D189	東 西	155	11.9~13.4	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25c·d	S D190	東 西	70~80	10.5~14.4	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25d	S D191	東 西	190~200	9.2~15.0	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25e	S D192	東 西	20	5.8~7.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25e	S D193	東 西	75~95	12.5~16.2	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25e	S D194	東 西	85	5.7~7.6	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25f	S D195	東 西	35~55	2.2~5.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25f	S D196	東 西	30~40	1.2~4.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25f	S D197	東 西	80	7.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25f	S D198	東 西	230	12.7~18.3	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25f·g	S D199	東 西	450	22.7~27.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25n	S D200	東 西	30~35	14.3	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25n	S D201	東 西	45~55	12.4~15.2	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25n	S D202	東 西	26~40	14.9~17.8	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25n	S D203	東 西	55	15.3~22.2	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25n	S D204	東 西	45	10.2~14.1	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25i	S D205	南東－北西	25~30	4.8~5.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25i	S D206	南東－北西	30~80	5.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25j	S D207	南東－北西	20	2.2~3.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25j	S D208	南東－北西	60	3.0~5.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
25j·k	S D209	南東－北西	12~20	2.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	SD210と合流
25j·k	S D210	南東－北西	14~30	2.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	SD209と合流
25k	S D211	南東－北西	100	4.7~7.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26a	S D212	南東－北西	22~32	9.3~11.3	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26a	S D213	南東－北西	20	11.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26a	S D214	南 北	20~40	5.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26a~e	S D215	南 北	20~50	7.8~11.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26a~g	S D216	南 北	150	11.0~12.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26g·h	S D217	南 北	20	4.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
26h	S D218	南 北	30以上	1.2~5.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27a	S D219	南 北	20~25	4.8~5.4	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27a	S D220	南 北	20	3.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27a	S D221	南 北	20	3.5~4.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27a·b	S D222	南 北	350	2.9~6.3	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27b	S D223	南 北	40	6.0~8.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27b	S D224	南 北	20~30	2.2~7.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27b	S D225	南 北	18	4.2~7.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	

地 区	遺構番号	方 向	幅 (cm)	深さ(cm)	断面形	堆 積 土	備 考
27b	S D226	南 北	20	4.9~6.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 b	S D227	南 北	17~20	3.9~6.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 b	S D228	南 北	20	2.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 b	S D229	南 北	16	3.4	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 b	S D230	南 北	14	3.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 b	S D231	南 北	240	4.7~7.5	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 b	S D232	南 北	35~50	4.4~7.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 c	S D233	南 北	20	1.4~4.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 c	S D234	南 北	22	4.9~7.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 c	S D235	南 北	28~40	2.5~6.3	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 c	S D236	南 北	80~120	2.5~2.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 c	S D237	南 北	20	2.3~3.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 c	S D238	南 北	20	3.1~4.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 d	S D239	南 北	20~30	9.2~10.2	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D240	南 北	40	5.2~6.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D241	南 北	30~50	5.5~8.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D242	南 北	40~60	9.6~14.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D243	南 北	20	3.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D244	南 北	25	3.9~8.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D245	南 北	45	5.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D246	南 北	30	4.7~6.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D247	南 北	25	4.3~13.3	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D248	南 北	20	6.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D249	南 北	60	7.7~14.1	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D250	南 北	20~45	3.0~5.6	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D251	南 北	25	9.8	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 e	S D252	南 北	40	11.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 f	S D253	南 北	90~100	5.4~8.1	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 f	S D254	南 北	30	5.1~9.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 f	S D255	南 北	150	8.0~11.7	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 g	S D256	南 北	140~150	8.8~11.1	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D257	南 北	80~90	6.5~7.5	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D258	南 北	25~35	6.5~7.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D259	南 北	30	1.5~6.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D260	南 北	35	6.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D261	南 北	70	4.5~7.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D262	南 北	38	6.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D263	南 北	20	4.5~6.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 k	S D264	南 北	20~30	5.5~7.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	

地 区	遺構番号	方 向	幅 (cm)	深さ (cm)	断面形	堆 積 土	備 考
27 k	S D 265	N-20°-W	40~50	10.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 m	S D 266	N-20°-W	20	6.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 m	S D 267	N-20°-W	20~45	0.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 m	S D 268	N-20°-W	80	9.5	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 m	S D 269	N-20°-W	95~110	12.0	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 m	S D 270	N-20°-W	15~25	7.5	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
27 m	S D 271	N-20°-W	90~130	11.8	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 a	S D 272	南 北	30	9.7~12.0	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 a	S D 273	南 北	18	1.4~2.6	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 a	S D 274	南 北	95~125	3.7~7.5	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 a	S D 275	南 北	160	13.1	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 a	S D 276	南 北	60	3.6	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 b	S D 277	南 北	90	7.5~14.3	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 b	S D 278	南 北	20~35	6.0~6.3	椀状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 b	S D 289	南 北	90	2.9~8.7	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 b	S D 280	南 北	35~40	7.5~8.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 b	S D 281	南 北	220~230	9.9~16.3	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 b	S D 282	南 北	45	15.0	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 c	S D 283	南 北	60~70	10.3~10.7	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 c	S D 284	南 北	25	7.9~8.9	椀状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 c	S D 285	南 北	440	7.2~13.6	逆台形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 d	S D 286	南 北	48	3.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 m	S D 287	南 北	110~250	15.4~25.9	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 o	S D 288	南 北	80	10.0	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 p	S D 289	南 北	210	8.1~14.4	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	
28 p	S D 290	南 北	30~40	5.4~7.7	皿状形	灰褐色粗砂混じり粘土	

VI 遺物包含層出土遺物

第3次調査の調査に於いて遺構に伴わない各土層より検出した遺物は弥生時代後期から現在に及ぶ時期のものが出土している。これらの遺物の出土状況は「第2節基本層序」で述べているが、各土層で出土した遺物については第1次調査と同様に大雑把ではあるが時期区分をすることができる。第2層は中世から近世に至る時期。第3層は中世の時期。第4層は古墳時代から平安時代に至る時期。第5層・第6層は弥生時代後期から古墳時代前期に至る時期がそれぞれに想定できる。これらの土層より出土した遺物はコンテナ箱に約10箱分を数える。なお、調査による壁面や掘削による掘り過ぎで出土したものには遺構に伴っている遺物も含まれていると思われるが、これらの出土遺物も含めて遺物包含層の出土遺物として取り扱っている。

以下、出土した遺物から実測できるものをピックアップして、図化して表した。これらの遺物について各地区ごとに概説してみる。なお、各調査区で出土した石器類（サヌカイト剝片）については別枠にして第7表に記載した（第99図～第101図）。

22o～q 地区

この地区は第2層から第5層の土層より出土している。出土量はコンテナ箱に約1箱分である。第2層は近世の時期の土層で古墳時代から近世に至る遺物（須恵器・土師器・瓦器・瓦等）の細片をごく少量出土した。第3層は古墳時代から平安時代に至る土層で古墳時代前期からの遺物（土師器・須恵器）の細片をごく少量出土した。第5層は弥生時代後期から古墳時代前期に至る時期で弥生時代後期から古墳時代前期の遺物（畿内第V様式系土器・庄内式土器）の細片をごく少量出土した。実測できたものは第5層で出土した弥生時代後期から古墳時代前期に至る壺（877）・鉢（878）・畿内第V様式系甕（879～883）である（第102図）。

23a～d 地区

この地区は第2層から第3層で古墳時代から近世に至る遺物で、土師器（羽釜等）・瓦器・瓦等の細片をごく少量出土した。出土量は細片を91点数える。実測できるものはない。

23n～p 地区

この地区は第5層から第6層で弥生時代後期から古墳時代前期の土器の細片をごく少量出土した。出土量は細片を53点数える。実測できるものはない。

24-1 地区

この地区は第2～6層の土層から出土している。出土量はコンテナ箱にして約3箱分を数える。第2層は中世から近世に至る遺物。第3層は古墳時代から中世に至る遺物。第4層は古墳時代から平安時代に至る遺物。第6層は弥生時代後期から古墳時代前期に至る遺物で、それぞれ出土している。実測できたものは第6層より出土した弥生時代後期から古墳時代前期の時期の遺物で、長頸壺（884）・壺（885・886・889・890）・二重口縁壺（887）・脚台付壺（888）・平

底の鉢（891）・鉢（892～894）・高坏（895～901）・畿内第V様式系甕（902～908）・酒津式甕（909）・庄内式甕（910）・布留式甕（911）と第4層より出土した古墳時代中期以降はI型式3～5段階に類似する蓋坏（須恵器）の坏蓋（912）・坏身（913）と円筒型埴輪のタガの部分と思われる細片（914～918）。第2層より出土した奈良時代の遺物はIII型式1～3段階に類似する須恵器の高台付壺（919）、IV型式1～3段階に類似する台付鉢（920）・中世の時期と思われる土師質皿（921）・土管（922）、近世以降の遺物としては巴瓦（923・924）である（第102図～第104図）。

24-2地区

この地区は第2層と第4層から少量出土した。出土量はコンテナ箱にして約半分の量を数える。第2層は古墳時代から鎌倉時代の時期の遺物で土師器（壺・高坏・羽釜・甕等）・須恵器・瓦器・青磁器等の細片をごく小量出土した。第4層は弥生時代後期から古墳時代中期の建物で土師器（壺・甕等）・埴輪の細片をごく少量出土している。実測できた遺物は、古墳時代前期（布留式古相）に位置付けられる複合口縁壺の口縁部片（925）、近世以降の陶磁器（926～928）である（第105図）。

25b～m地区

この地区は第2層から第6層で出土している。出土量はコンテナ箱にして約2箱分を数える。第3層は中世から近世に至る遺物で土師器（壺・羽釜・甕等）・須恵器・瓦器・陶磁器等の細片を少量出土した。第5・6層で出土した弥生時代後期から古墳時代前期は二重口縁壺（929）・壺（930）・鉢（931～935）・土堆（936）・高坏（937）・畿内第V様式系甕（938）・甕（939～942）である。第3・4層で出土した古墳時代中期から鎌倉時代の時期は、奈良時代の須恵器の甕（943）・II型式1～3段階に類似する蓋坏（944）・坏身（945・946）、IV型式1～3段階の蓋（947）・高台付壺（948）、平安時代の土師皿（951）・鎌倉時代の瓦器椀（949）・土師小皿（950）である（第105図・第106図）。

26地区

この地区は第2層から第3層で出土している。出土量はコンテナ箱にして約1箱分を数える。第3層は古墳時代前期から中世に至る遺物で土師器（壺・器台・高坏・甕等）・須恵器・埴輪・瓦器・瓦等の細片を小量出土している。実測できたものは古墳時代前期（布留式古相）に類似する器台（952）、古墳時代中期頃の円筒埴輪片（953・954）、近世の時期と思われる陶磁器（955・956）である（第106図）。

27地区

この地区は第3層から第5層で出土している。出土量はコンテナ箱にして約3箱分を数える。第3層は古墳時代から近世に至る遺物で土師器（壺・高坏・羽釜・甕等）・須恵器（蓋坏・甕等）。

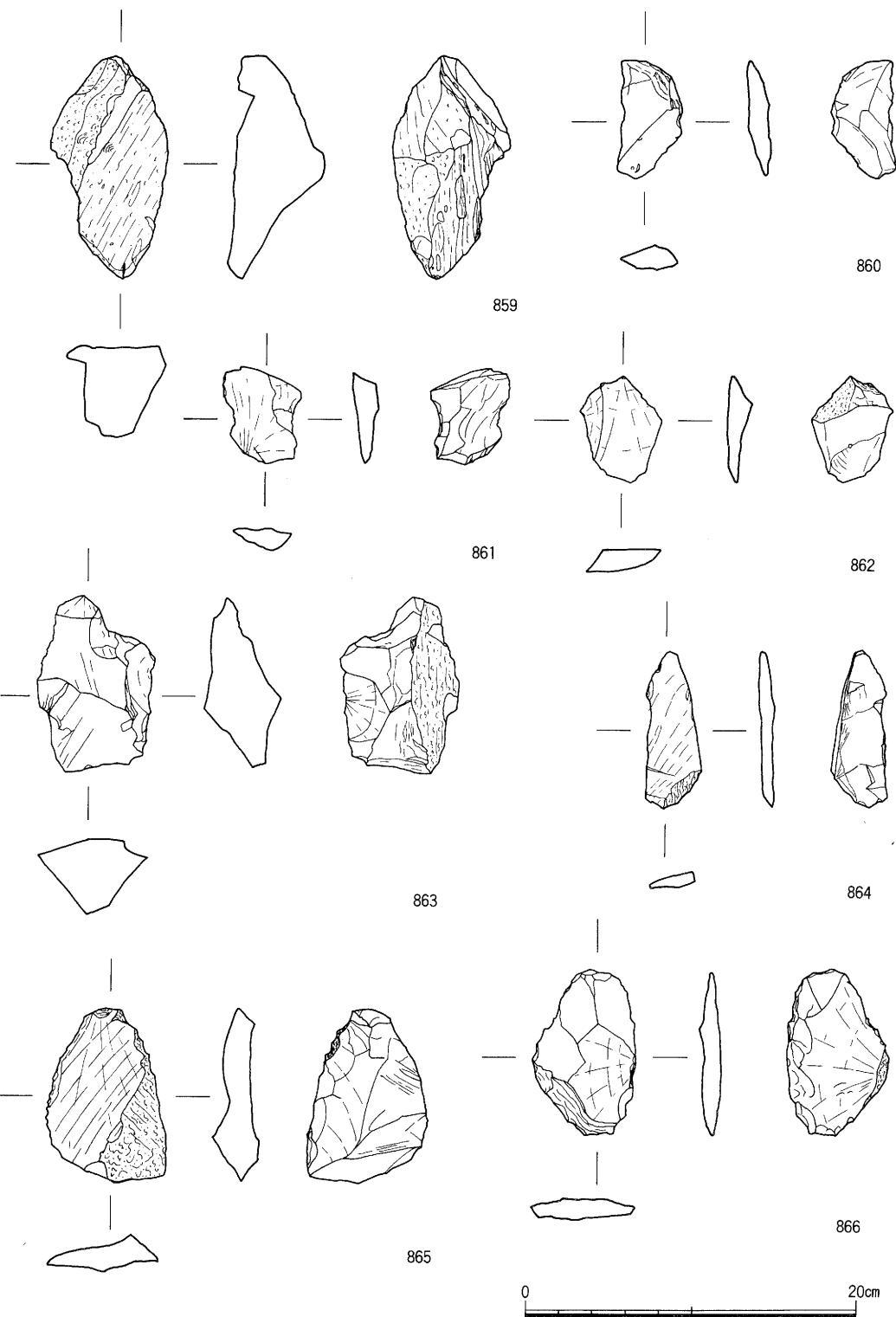
瓦器・陶磁器・瓦等である。第4層は古墳時代前期から中世に至る遺物で土師器（壺・高坏・羽釜・甕等）・須恵器（蓋坏・甕等）・瓦器・青磁器・瓦等である。第5層は弥生時代後期から古墳時代前期の遺物で土師器（壺・鉢・甕等）の細片を少量出土した。実測できたものは弥生時代後期から古墳時代前期に類似する小型丸底壺（957・959）・有孔鉢（958）・畿内第V様式系甕（960）・庄内式甕（961）、古墳時代中期はI型式3～4段階の須恵器坏身（962）、中世ごろと思われる甕型土器（963）である（第106図）。

28地区

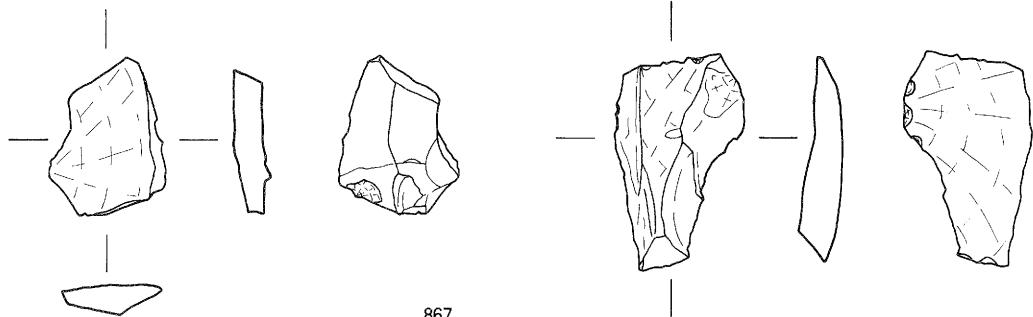
この地区は第2層から第6層で出土している。出土量はコンテナ箱にして約3箱分を数える。第2層・第3層は古墳時代から近世に至る遺物で土師器（壺・高坏・羽釜・甕等）・須恵器（蓋坏・甕等）・瓦器・陶磁器・瓦等の細片を少量出土している。第4層は古墳時代前期から古墳時代中期に至る遺物で土師器（壺・高坏・甕等）・須恵器（蓋坏・甕等）の細片を少量出土している。第5層は弥生時代後期から古墳時代前期に至る遺物で土師器（壺・鉢・器台・高坏・甕等）の細片を少量出土している。第6層は弥生時代後期の遺物で鉢・甕等の細片をごく少量出土している。実測できたものは弥生時代後期から古墳時代前期は壺（964）、器台（965・966）・畿内第V様式系甕（967・968）・庄内式甕（969）、古墳時代中期ごろと思われる円筒埴輪片（970）、古墳時代後期はIII型式1～3段階に類似する杯身（971）、平安時代から鎌倉時代の土師小皿（972～977）である（第107図）。

第7表 サヌカイト剥片一覧表

遺物番号	種類	石材	大きさ(cm)			重量(g)	図版番号	備考
			長さ	幅	厚さ			
859	石核	サヌカイト	6.8	3.6	2.7	54	77	22地区
860	剥片	サヌカイト	3.6	1.8	0.6	4	77	24-1a地区
861	剥片	サヌカイト	3.0	2.4	0.7	2	77	24-1o地区
862	剥片	サヌカイト	3.2	2.5	0.7	2	77	24-1f地区
863	石核	サヌカイト	5.4	3.7	2.3	39	77	24-1k地区
864	剥片	サヌカイト	4.8	1.6	0.5	2	77	25地区
865	剥片	サヌカイト	5.3	3.7	1.5	21	77	24-2地区
866	剥片	サヌカイト	5.1	3.1	0.6	12	77	251地区
867	剥片	サヌカイト	4.3	3.2	0.8	6	77	25地区
868	剥片	サヌカイト	5.5	3.7	1	14	78	25地区
869	剥片	サヌカイト	7.5	2.6	0.8	15	78	25地区
870	剥片	サヌカイト	4.7	4.7	0.9	18	78	25地区
871	石核	サヌカイト	3.8	3.5	1.2	21	78	27k地区
872	剥片	サヌカイト	5.8	2.1	1.2	15	78	281地区
873	石核	サヌカイト	5.0	4.5	1.3	33	78	28m地区
874	剥片	サヌカイト	3.4	1.9	0.5	2	78	28p地区
875	剥片	サヌカイト	6.3	3.9	0.9	30	78	28o地区
876	剥片	サヌカイト	5.2	3.5	0.9	13	78	28o地区

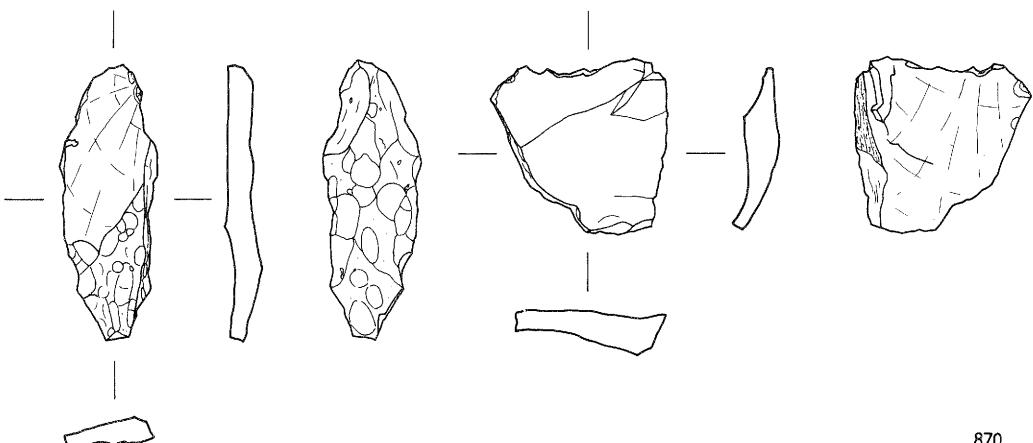


第99図 24-1地区・25地区遺物包含層出土サヌカイト剥片実測図



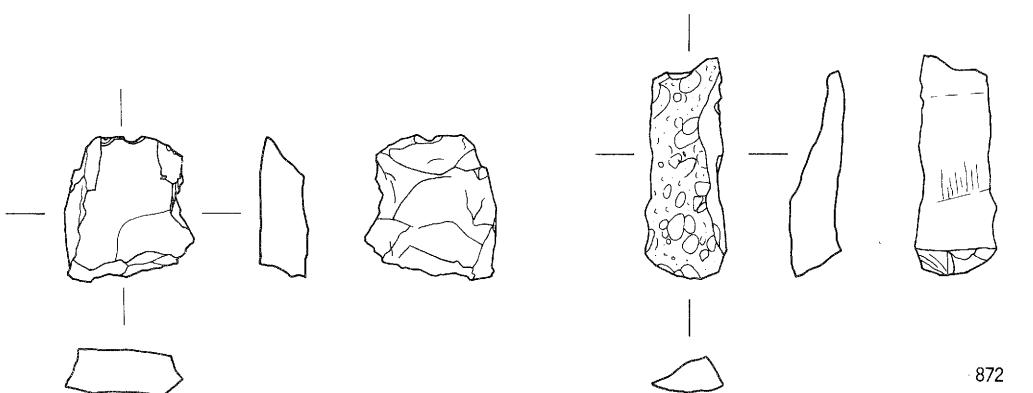
867

868



869

870

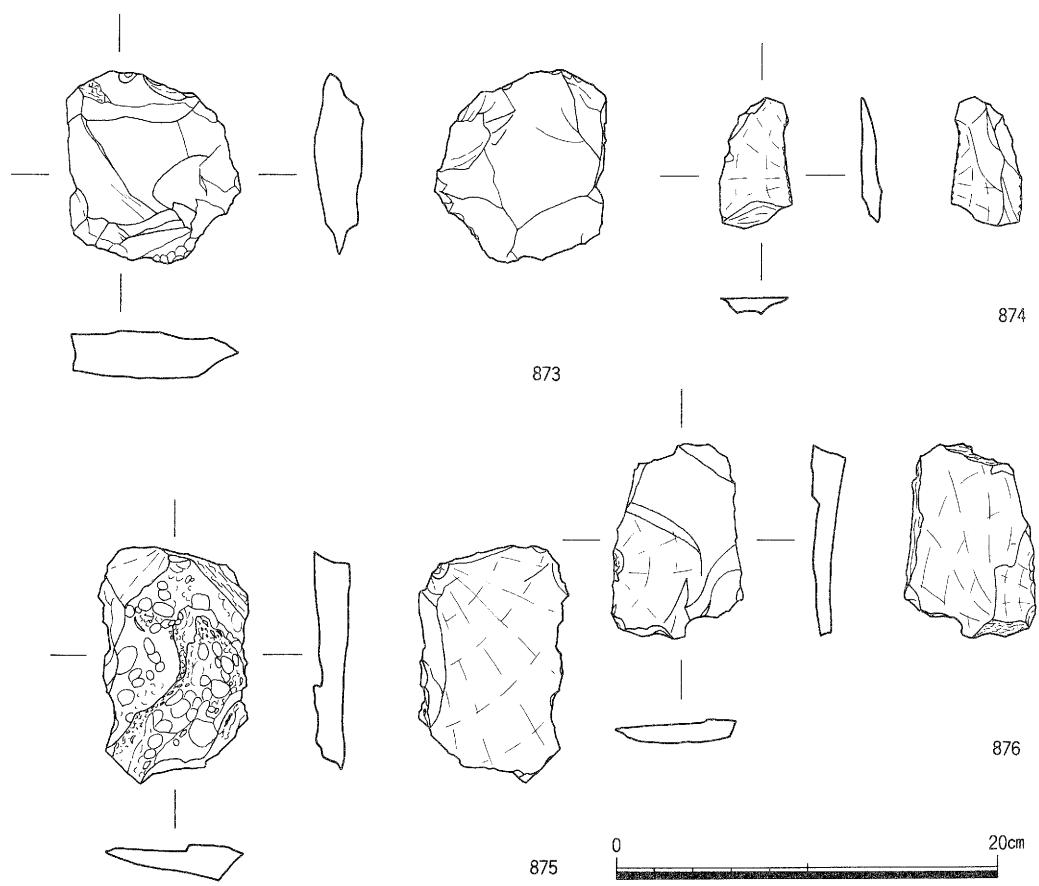


871

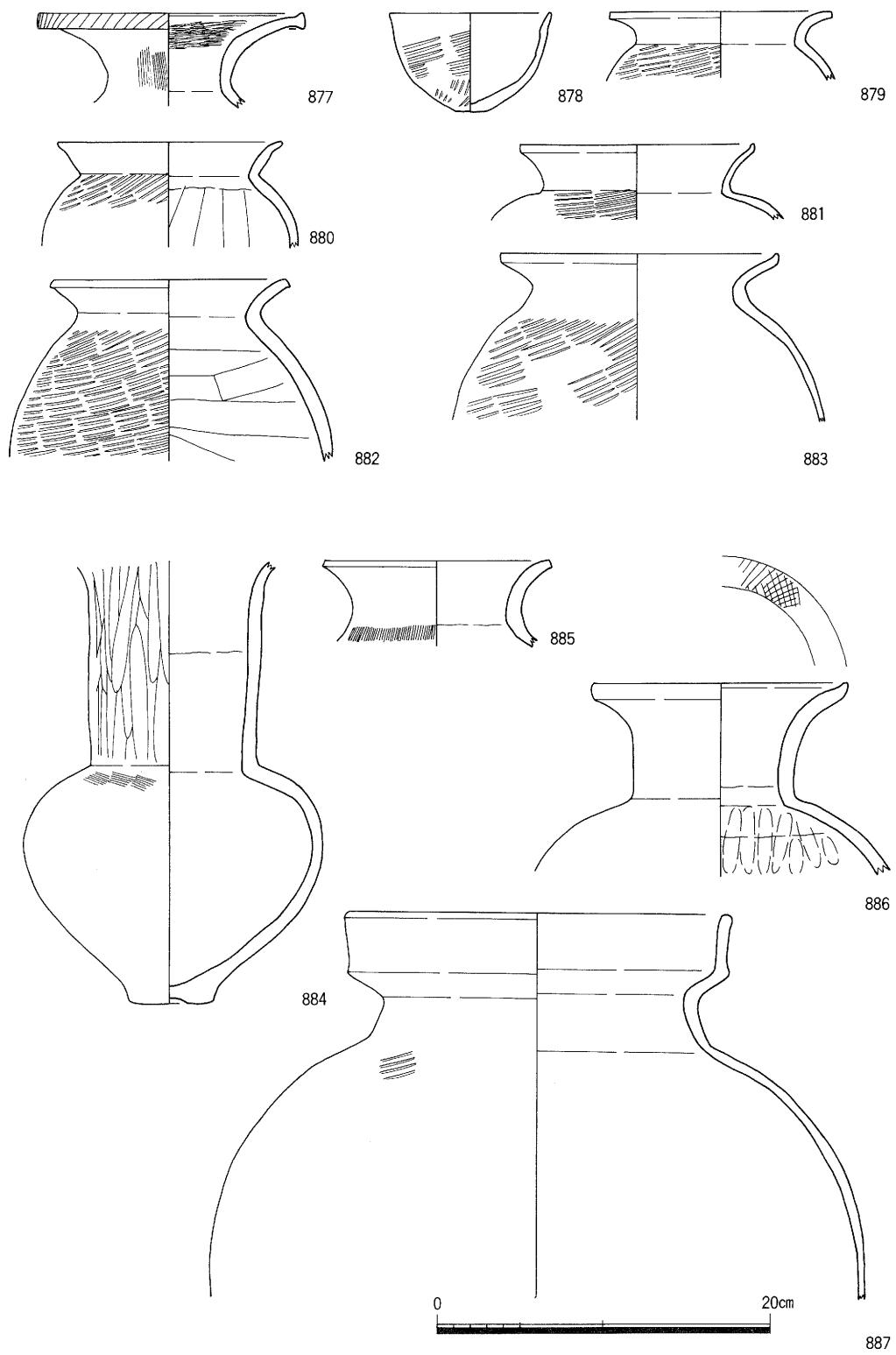
872



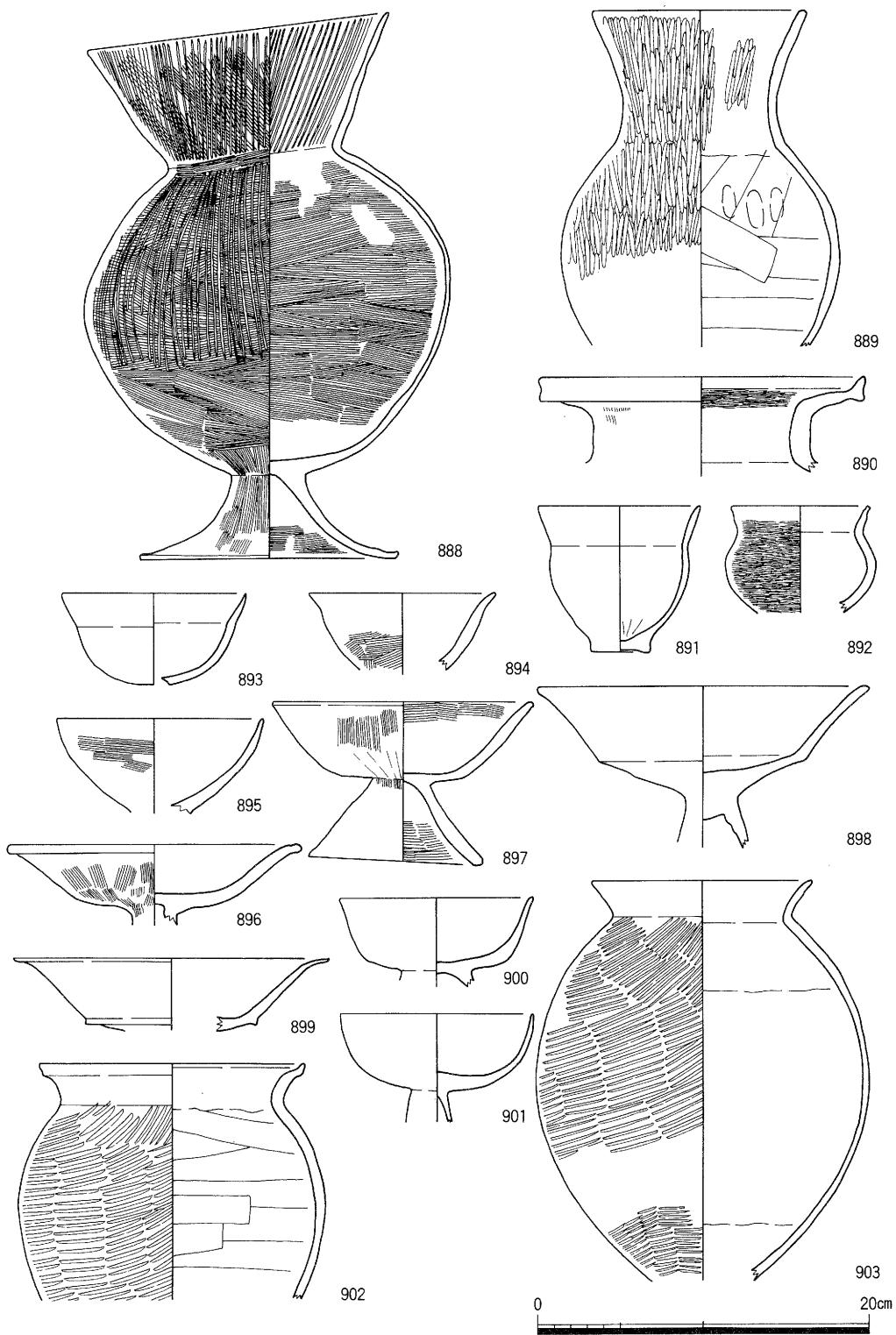
第100図 25地区・27地区遺物包含層出土サヌカイト剥片実測図



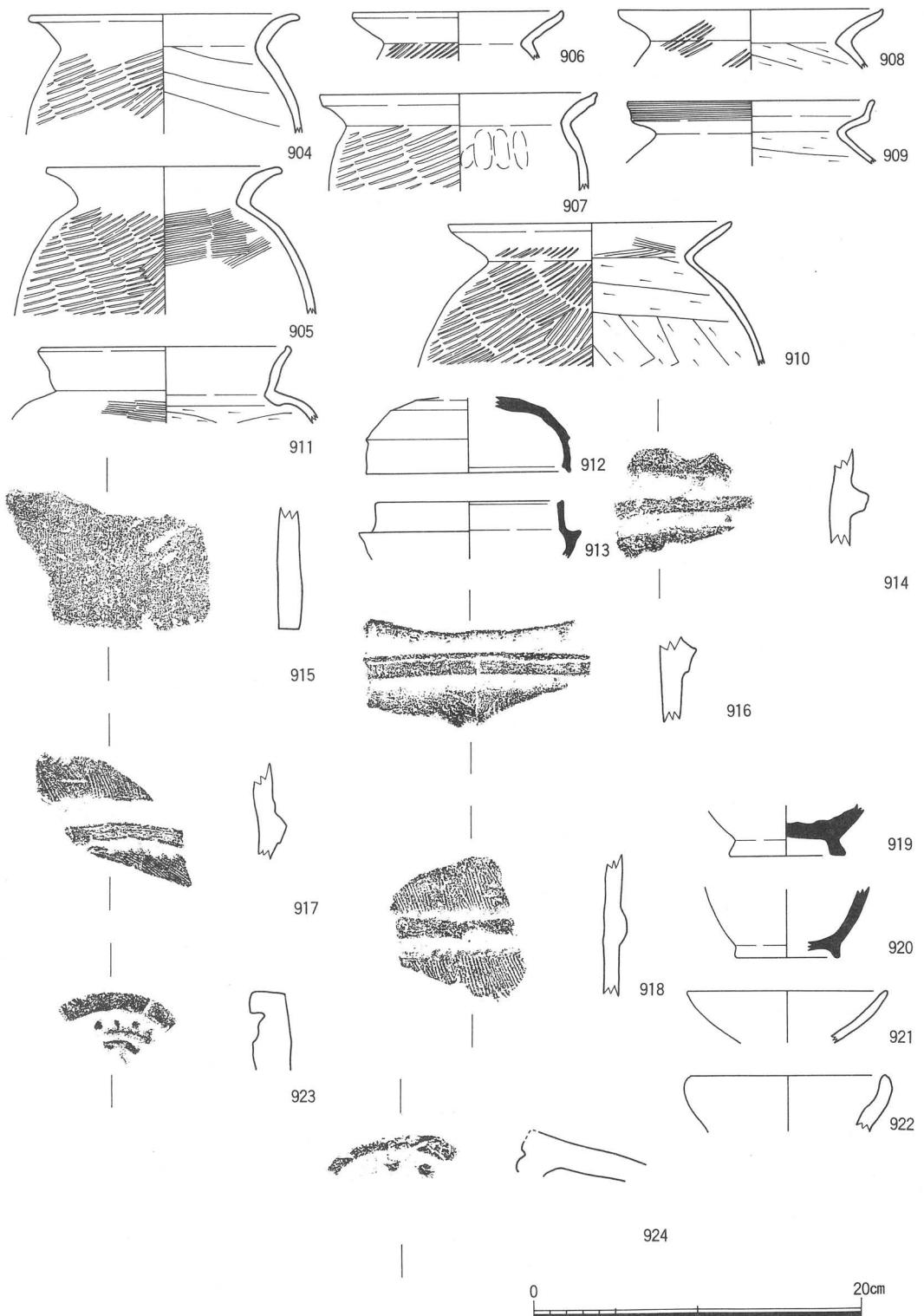
第101図 28地区遺物包含層出土サヌカイト剝片実測図



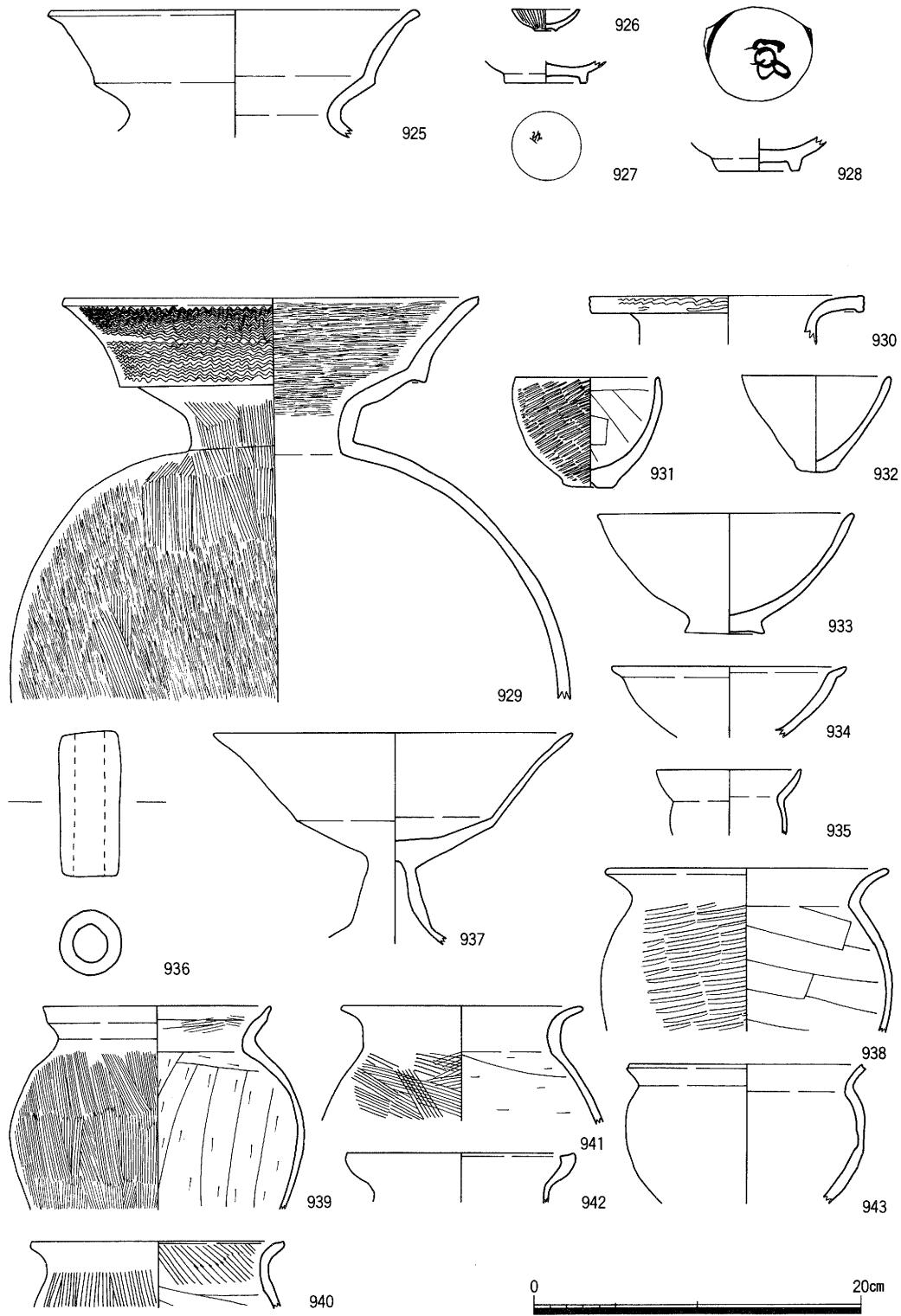
第102図 22地区・24-1地区遺物包含層出土遺物実測図



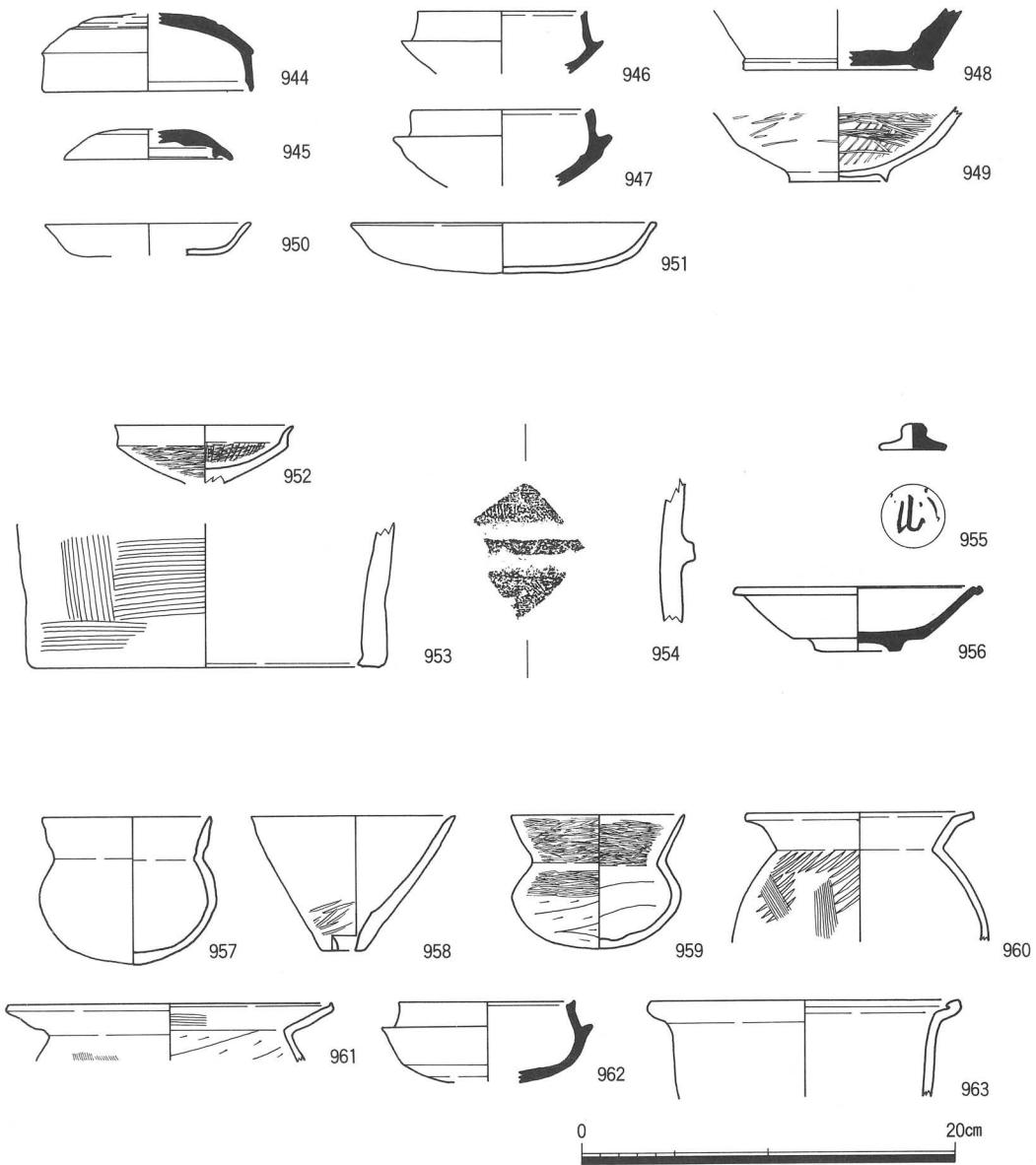
第103図 24-1 地区遺物包含層出土遺物実測図 1



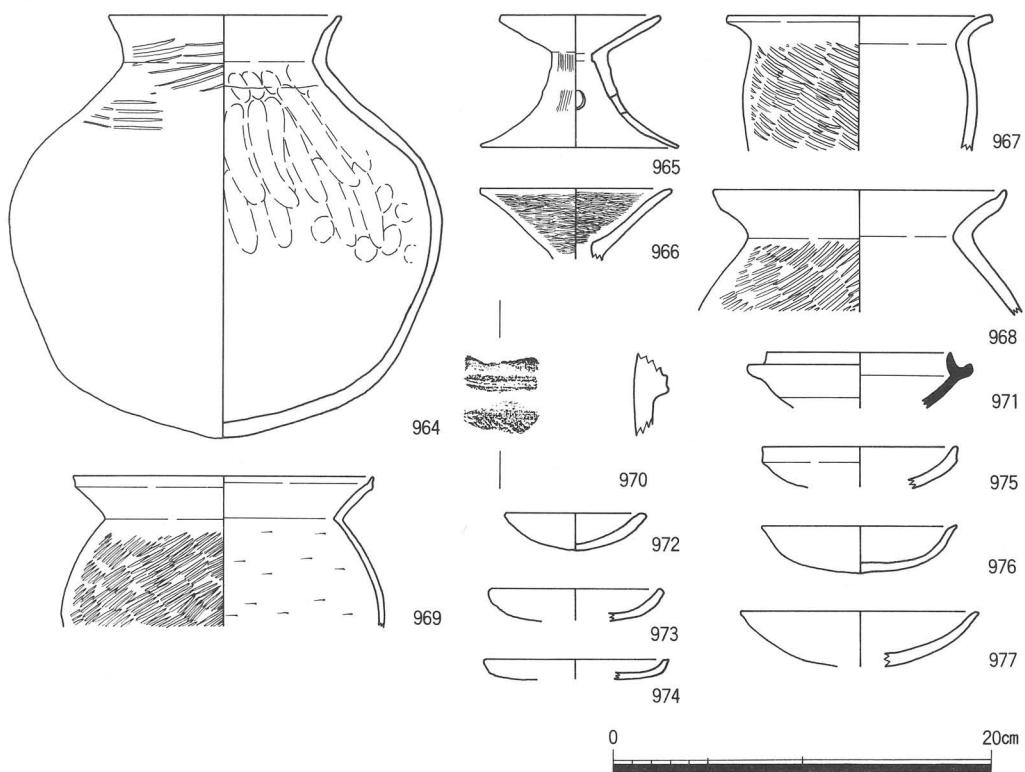
第104図 24-1地区遺物包含層出土遺物実測図2



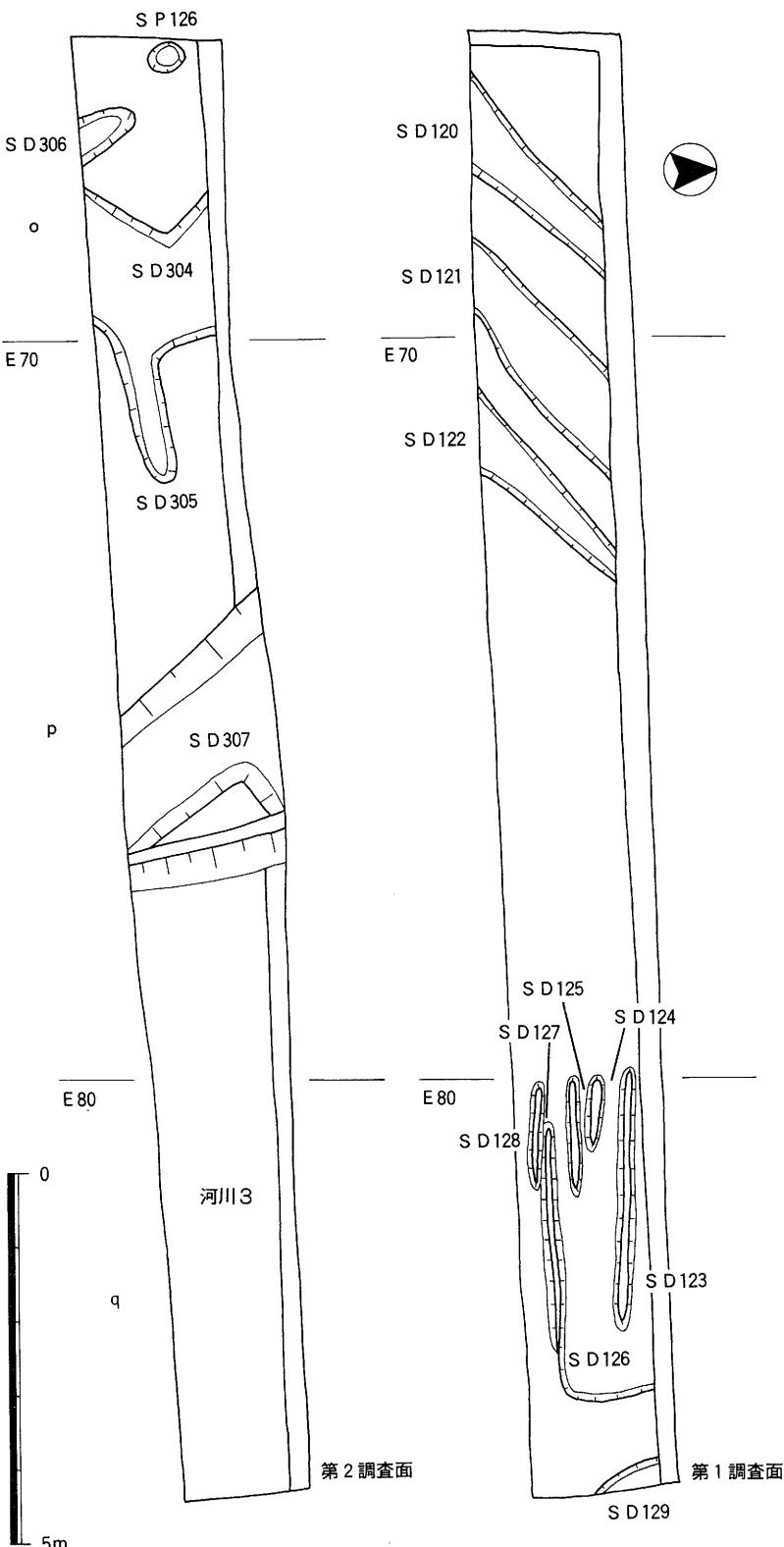
第105図 24—2地区・25地区遺物包含層出土遺物実測図



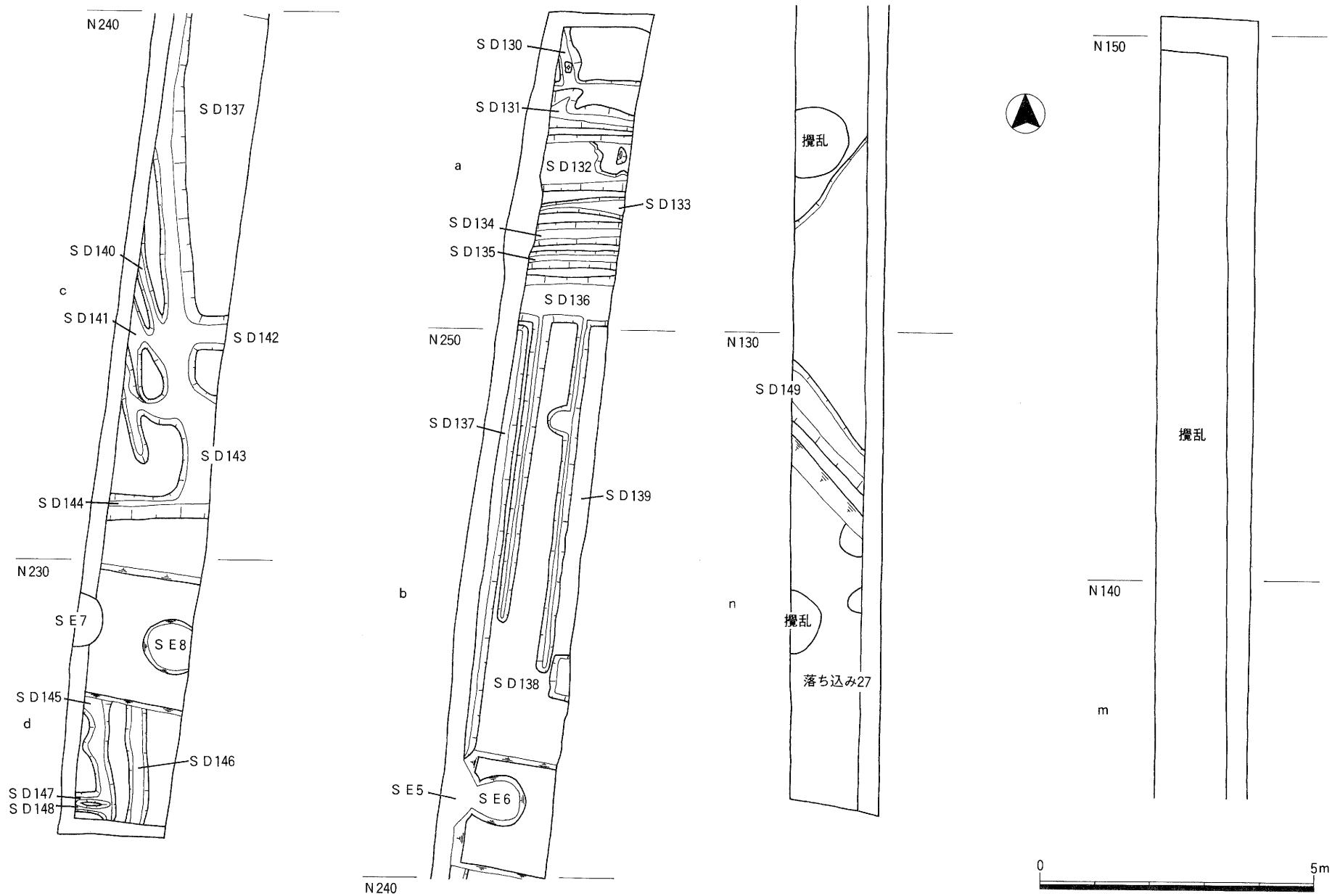
第106図 25地区・26地区・27地区遺物包含層出土遺物実測図



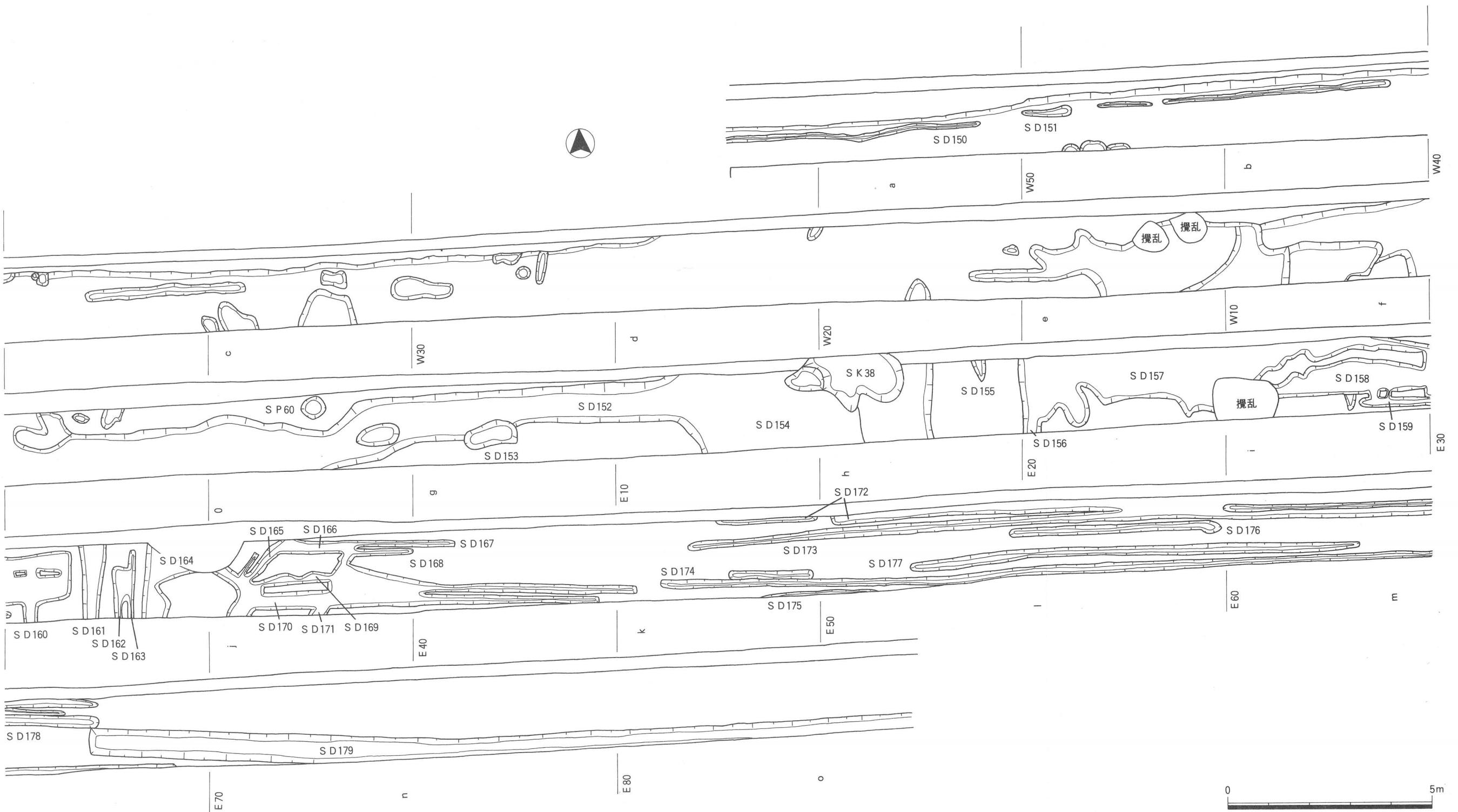
第107図 28地区遺物包含層出土遺物実測図



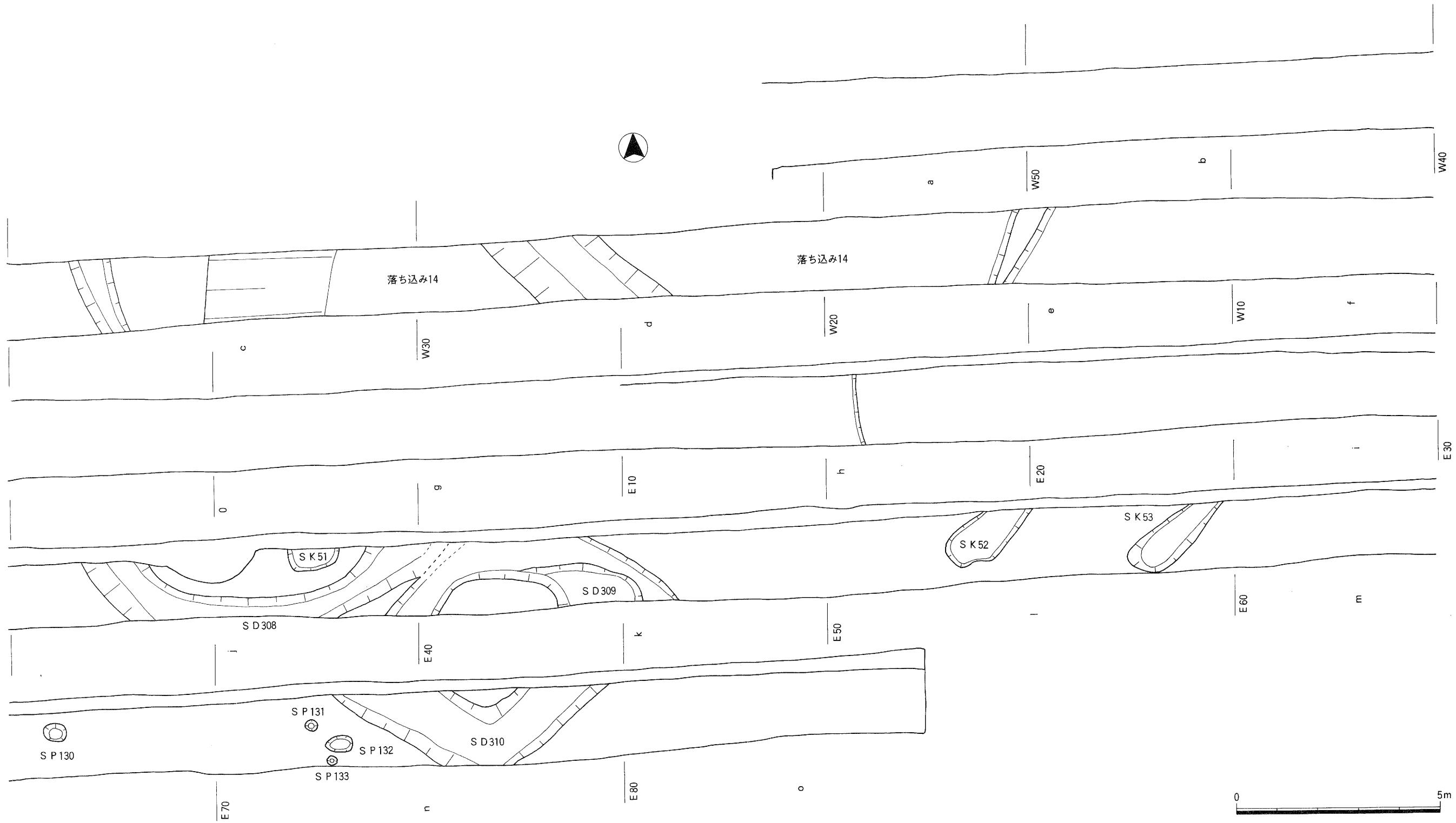
第108図 220~q地区遺構平面図



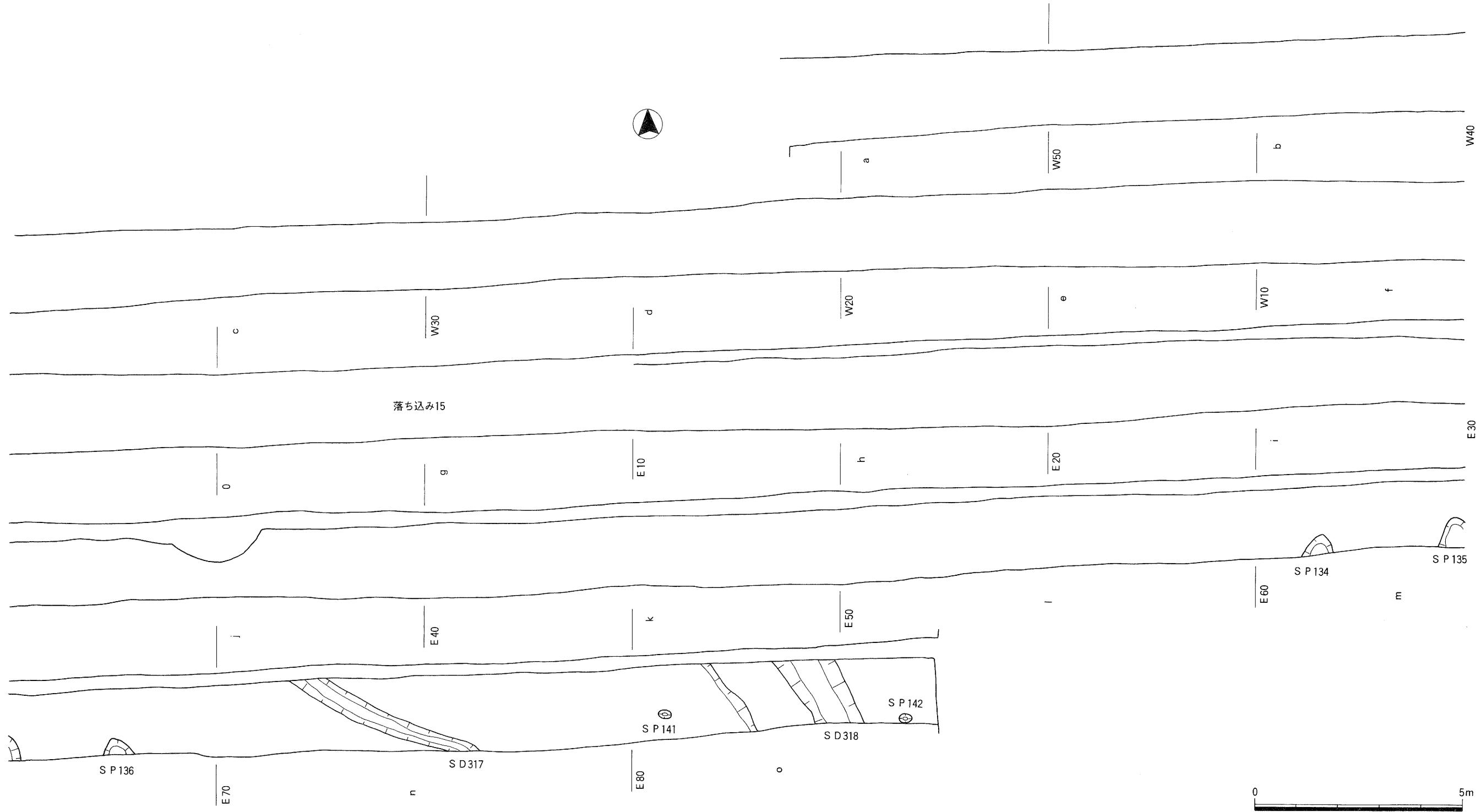
第109図 23 a ~ d • l ~ n 地区第1調査面遺構平面図



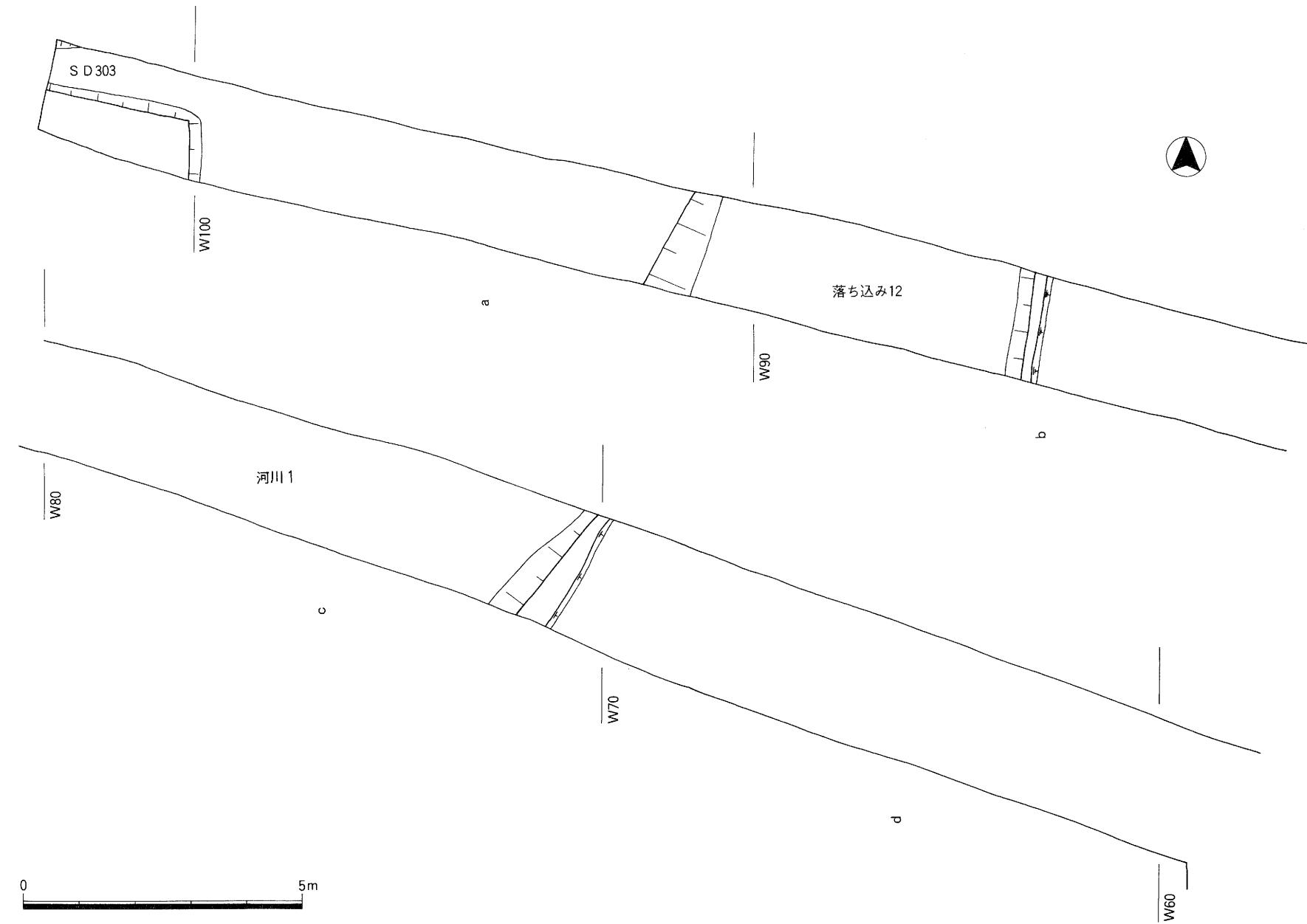
第110図 24-1地区第1調査面遺構平面図



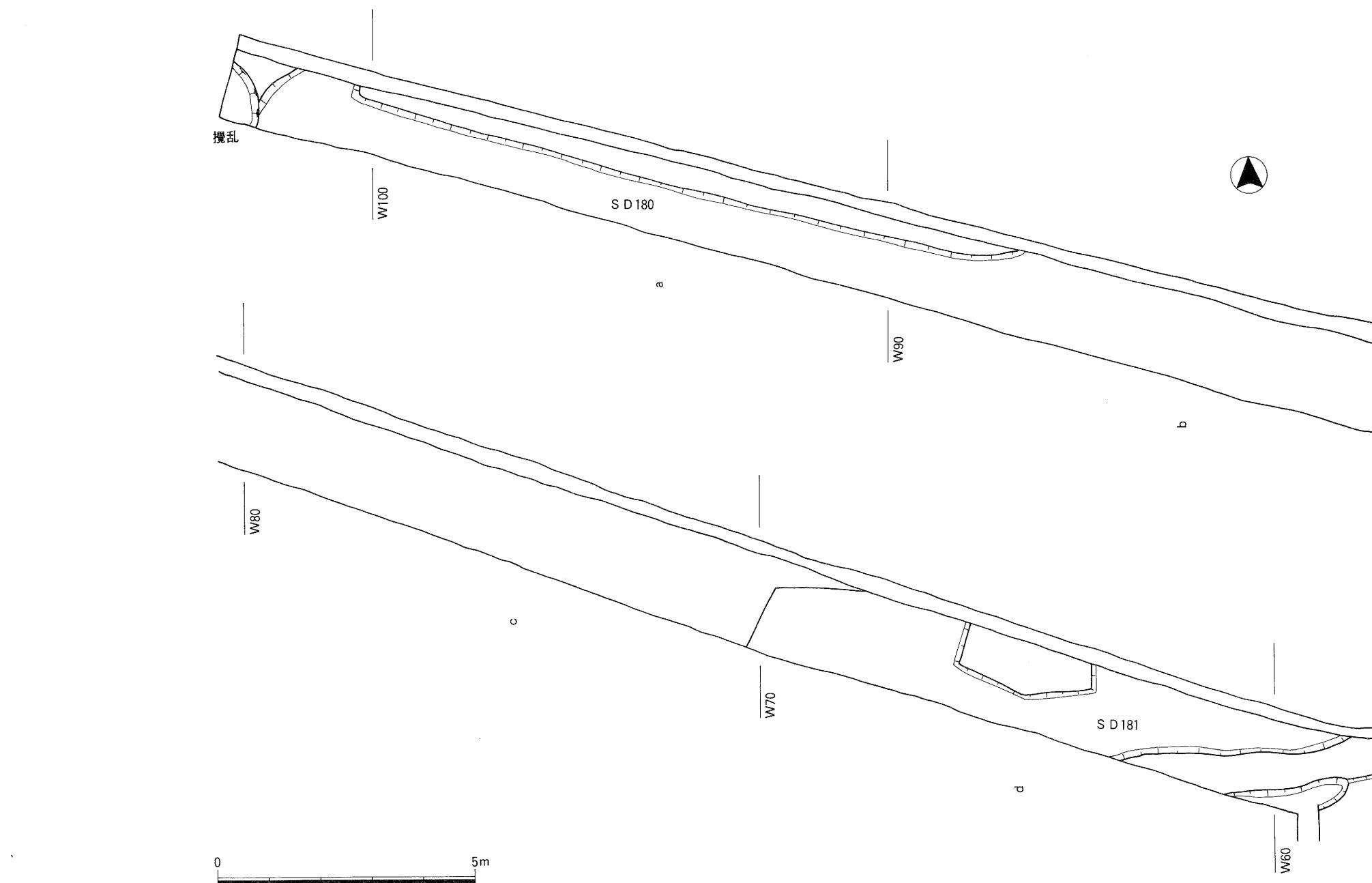
第111図 24-1地区第2調査面遺構平面図



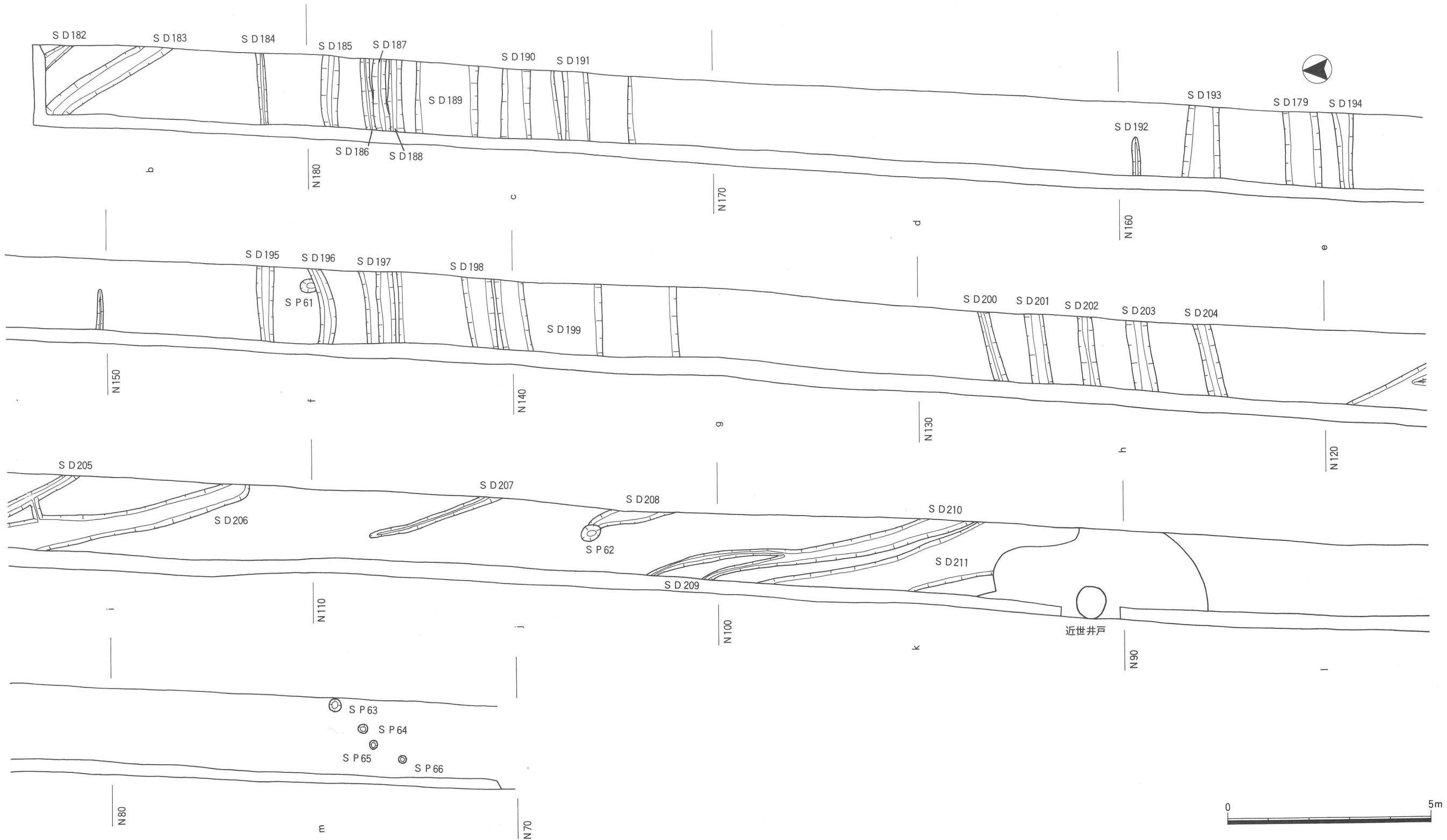
第112図 24-1地区第3調査面遺構平面図



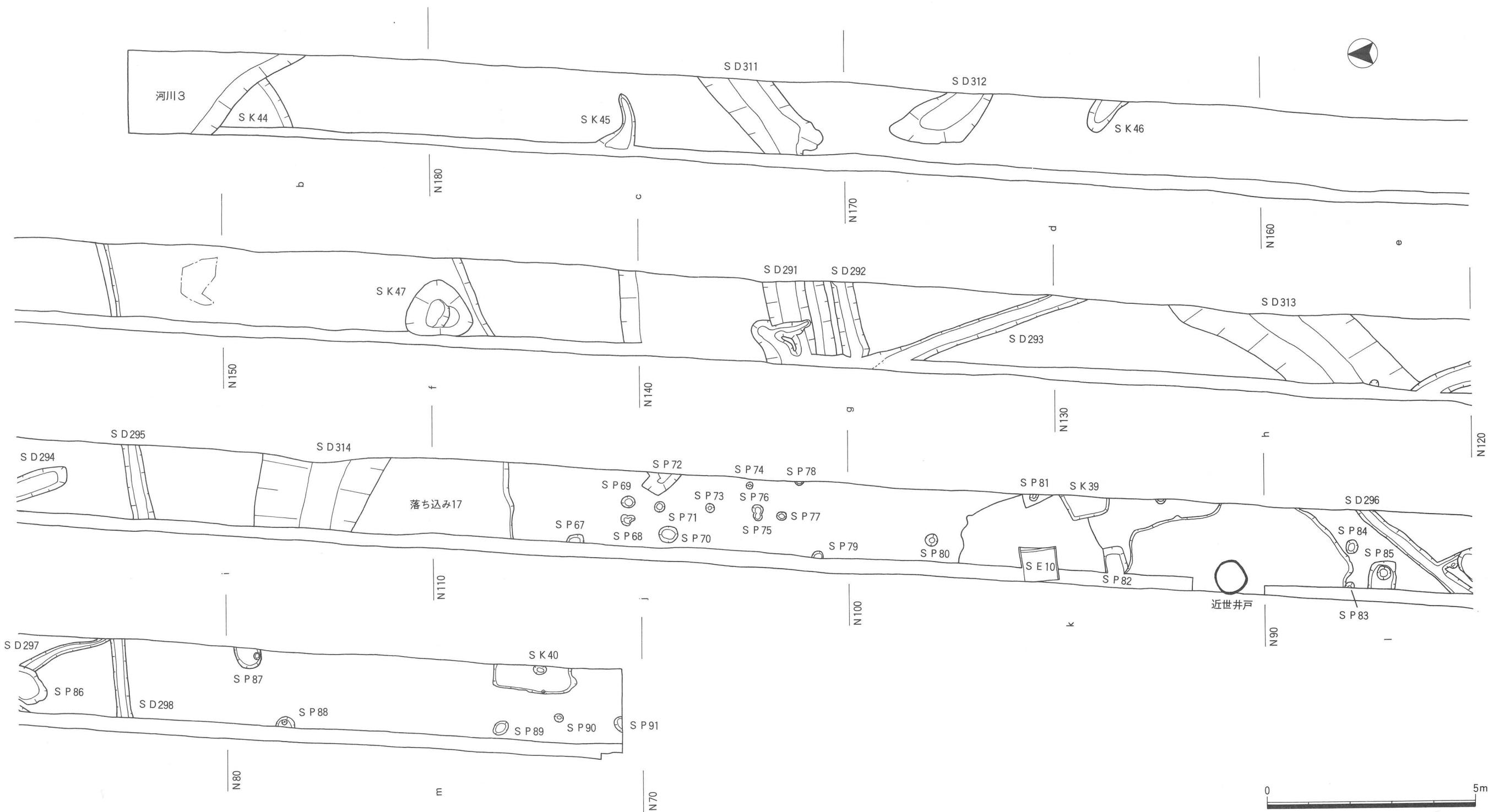
第113図 24-2地区第1調査面遺構平面図



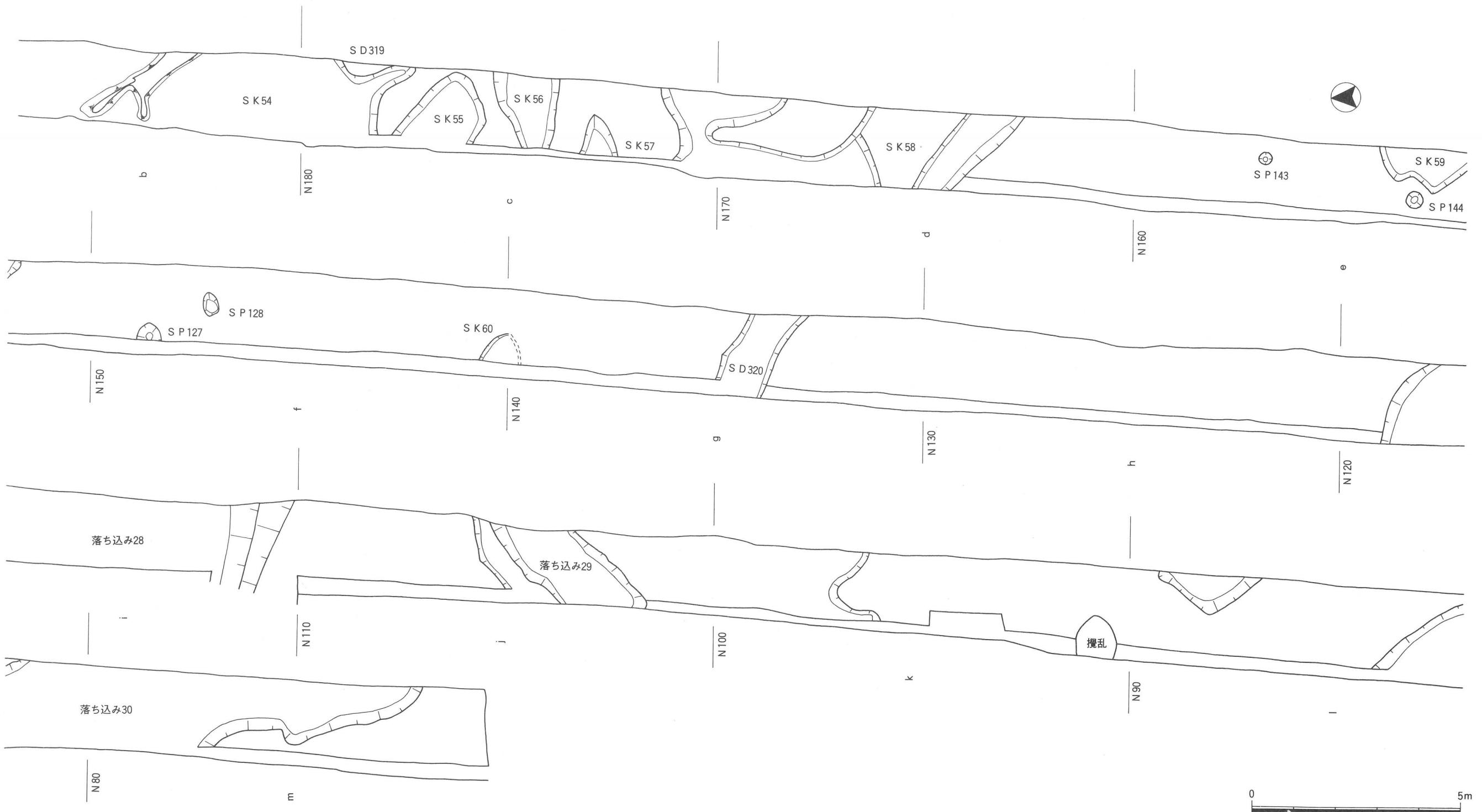
第114図 24-2地区第2調査面遺構平面図



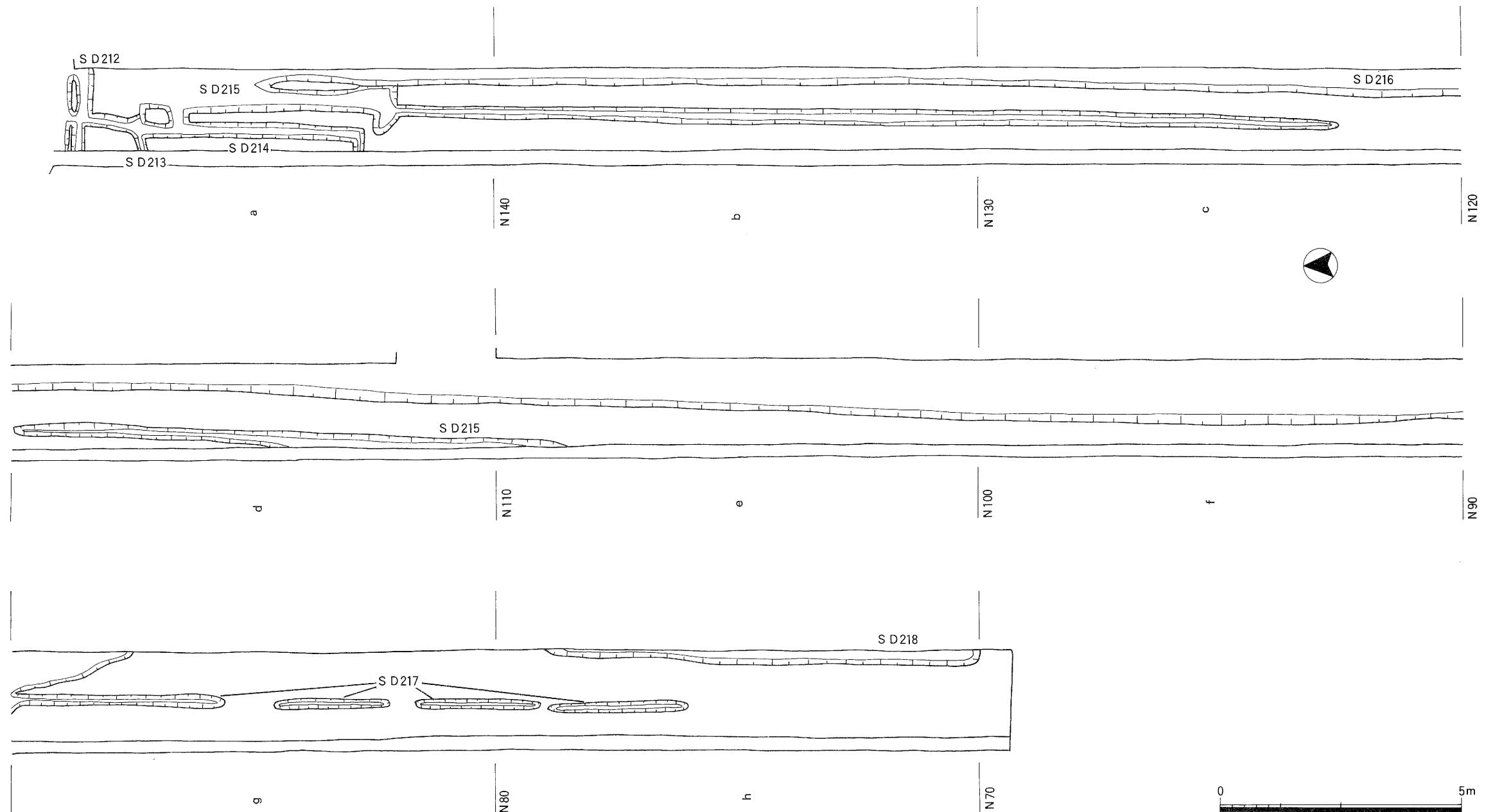
第115図 25b～m地区第1調査面遺構平面図



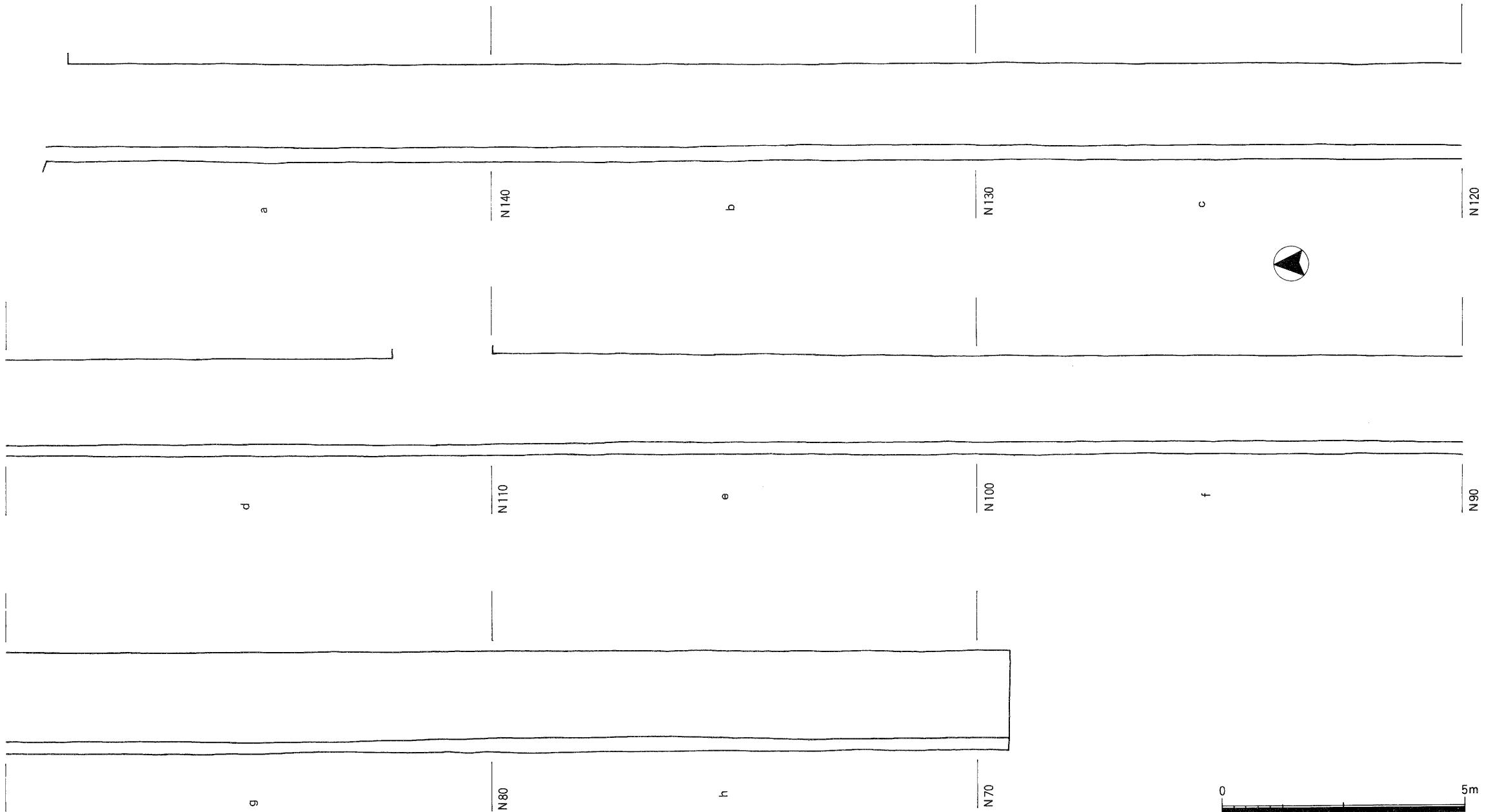
第116図 25 b ~ m地区第2調査面遺構平面図



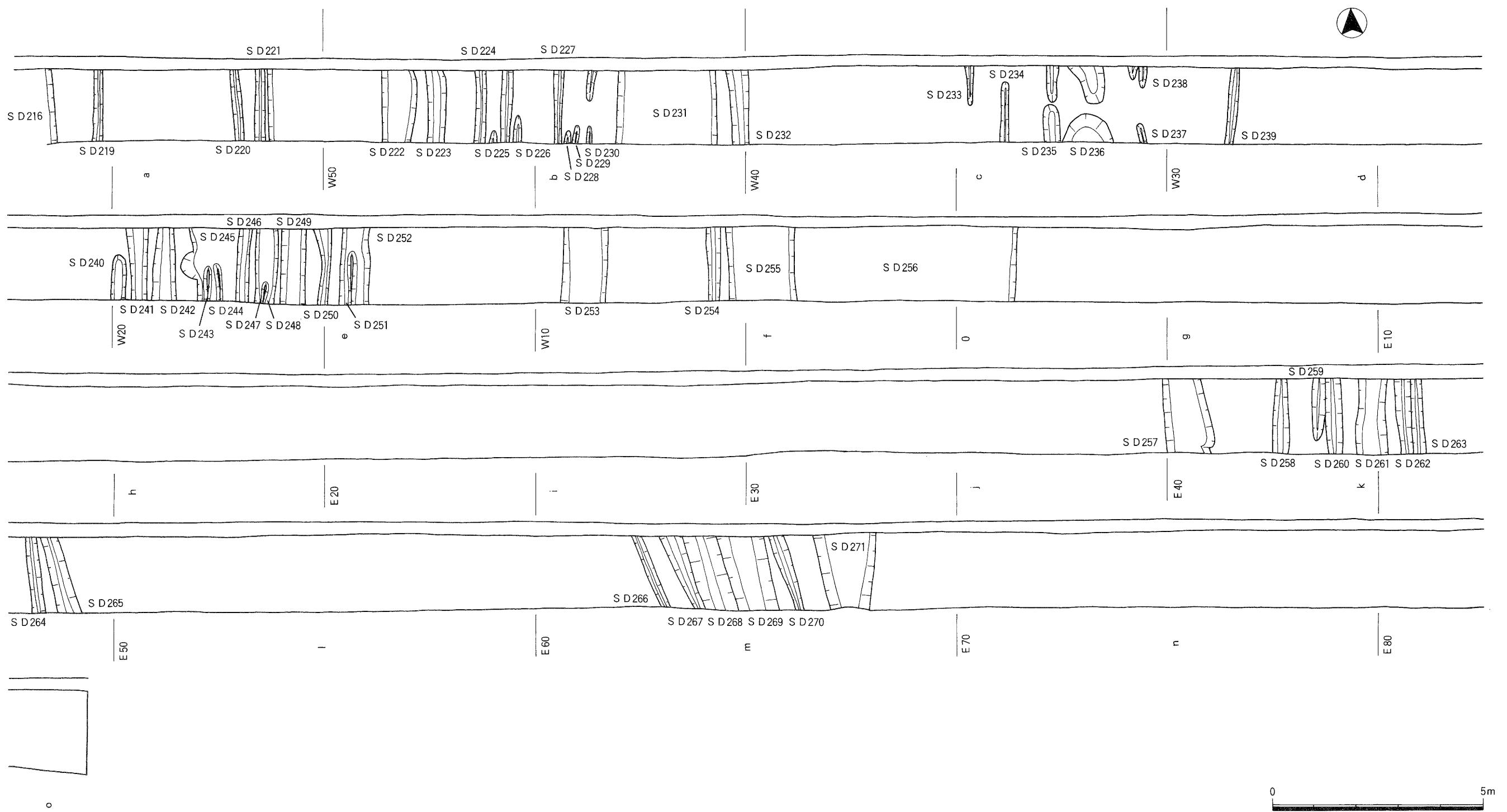
第117図 25b~m地区第3調査面遺構平面図



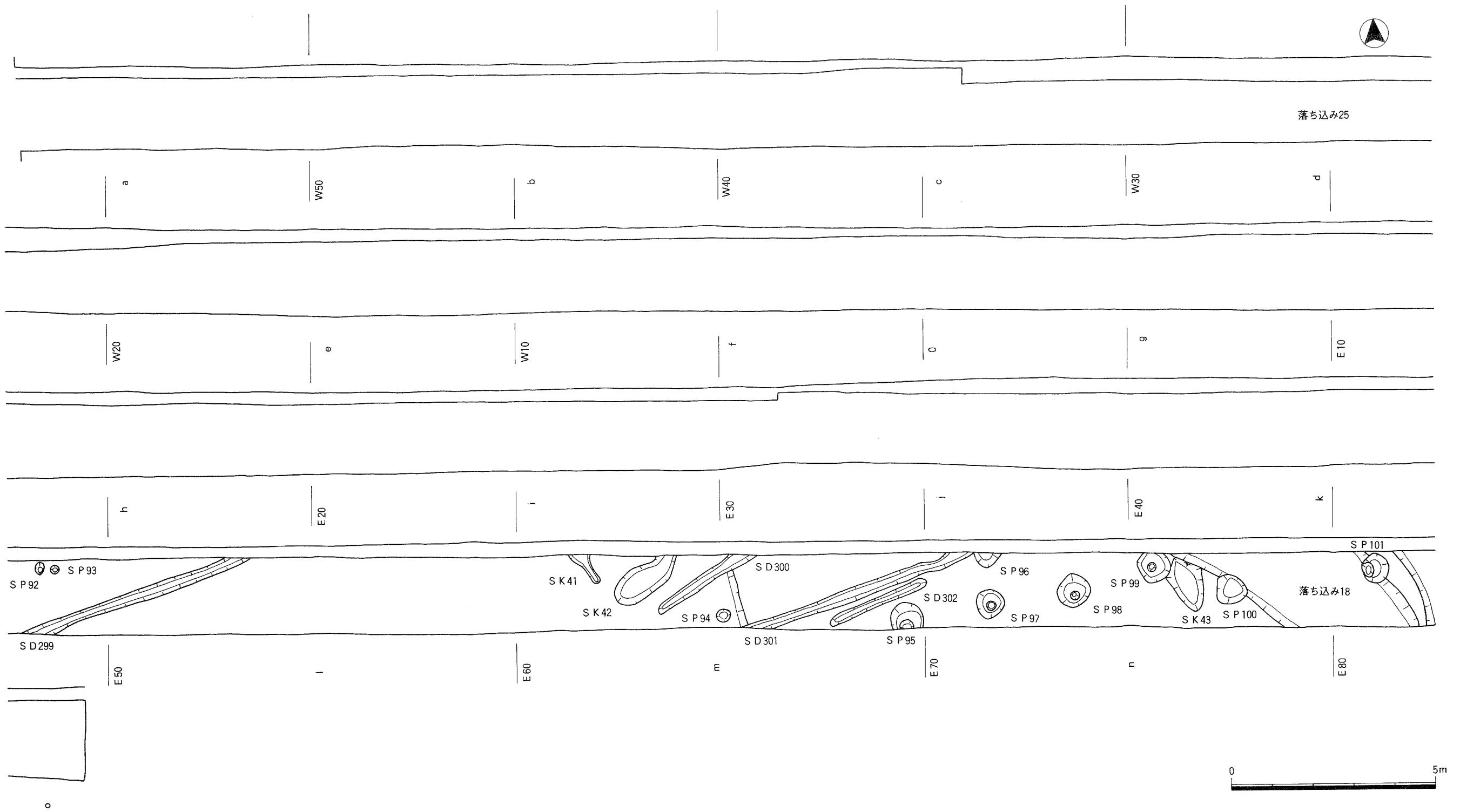
第118図 26地区第1調査面遺構平面図



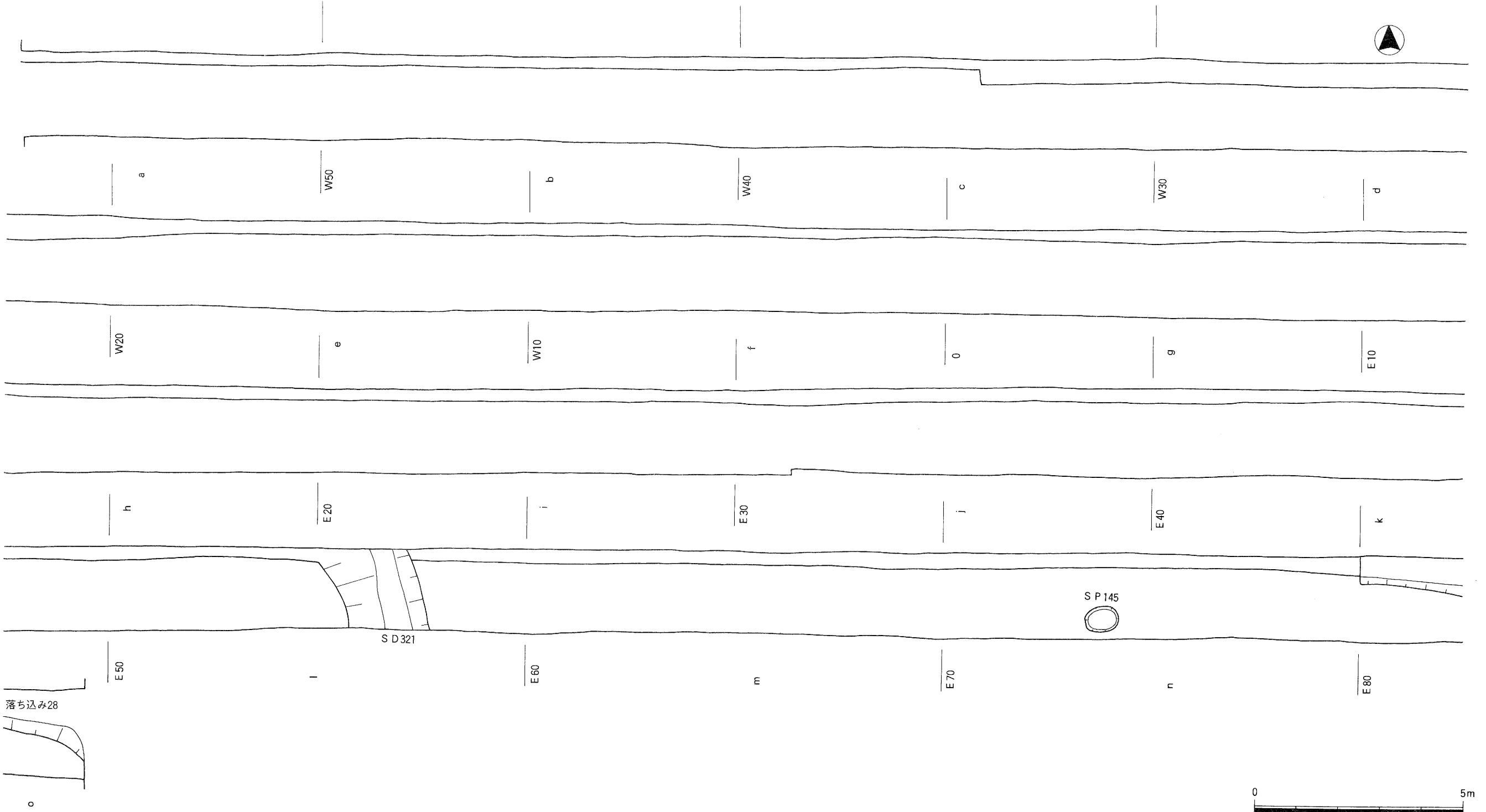
第119図 26地区第2調査面遺構平面図



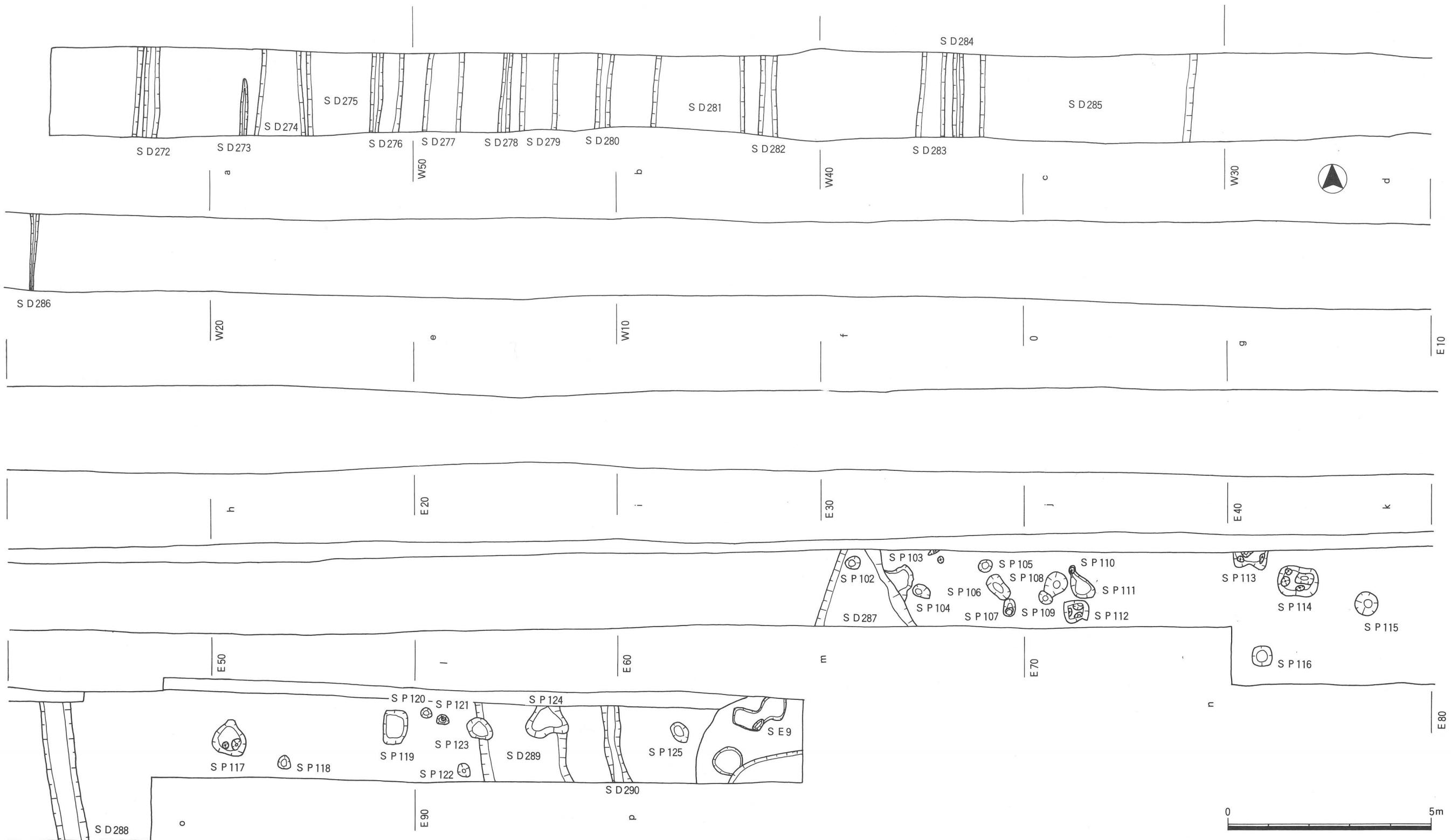
第120図 27地区第1調査面遺構平面図



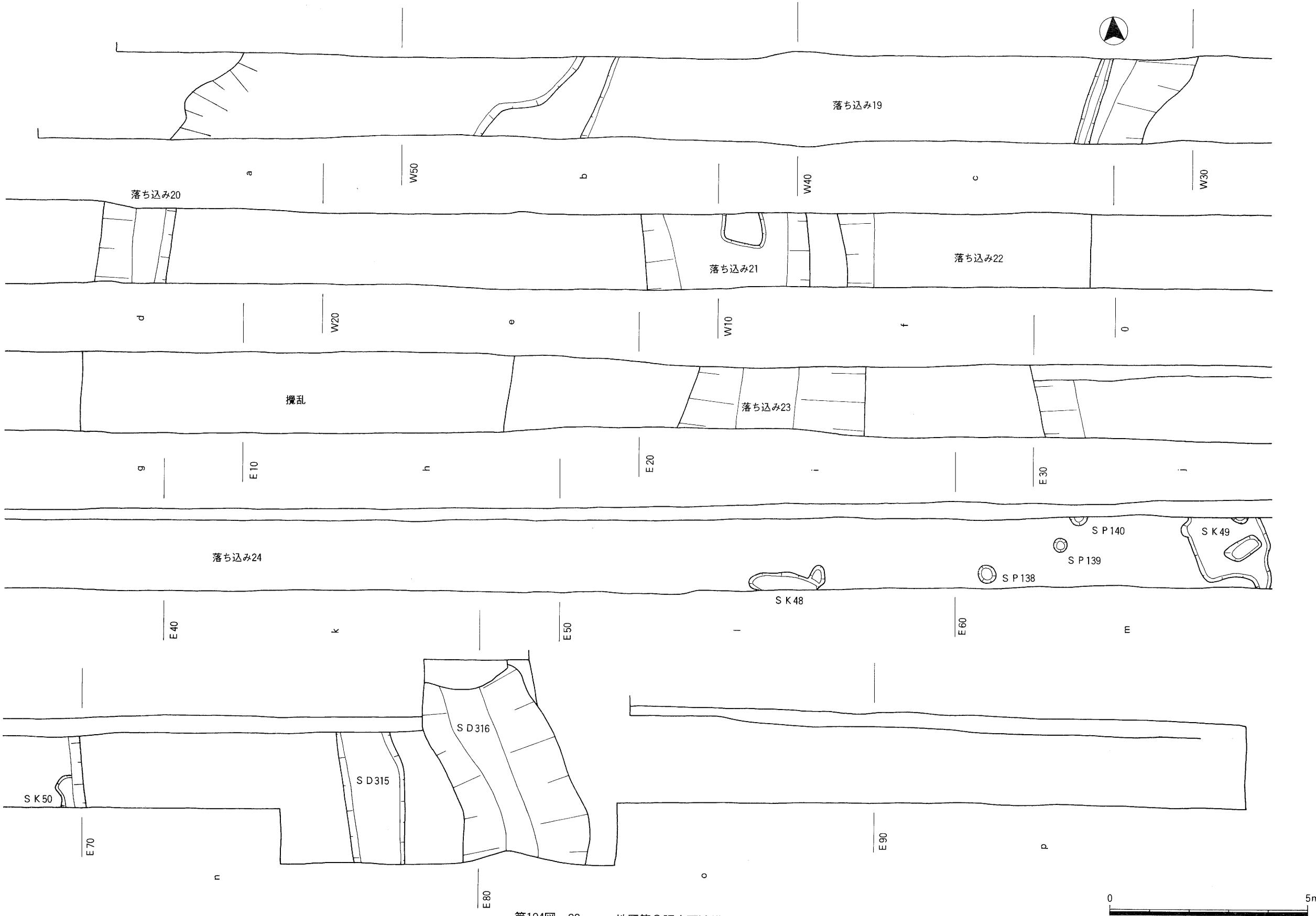
第121図 27地区第2調査面遺構平面図



第122図 27地区第3調査面遺構平面図



第123図 28 a ~ p 地区第1調査面遺構平面図



第124図 28a～p 地区第2調査面遺構平面図

第5章 出土遺物觀察表

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
1	鉢 SK54	底径 2.7	口縁部・体部は欠損。底部は突出する浅い上げ底。 体部外面ナデ、内面ヘラナデ、底部外面ナデ。	灰茶色	長石・石英 雲母等の微砂粒を含む	良好	
2	壺 SK54	口径 8.6	上内方に伸びる体部から丸く屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ。	淡茶灰色	3mm以下の 雲母・角閃石・長石・ 石英等の砂粒を少量含む	良好	
3	同上 SK54	口径 15.8	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラケズリ。	外 茶灰色 内 茶色	長石・雲母等の細砂粒を多量に含む	良好	煤付着
4	同上 SK54	底径 3.7	口縁部・体部は欠損。底部は突出気味の平底。 体部外面タタキ(3本)、内面ナデ、底部ナデ。	茶灰色	3mm以下の砂粒を含む	良好	煤付着
5	同上 SK54	底径 4.8	口縁部・体部は欠損。底部は突出気味の平底。 体部外面タタキ(3本)、内面不明、底部ナデ。	外 茶灰色 内 黒灰色	長石・石英 ・チャート等の細砂粒を含む	良好	煤付着
6	同上 SK54	底径 4.2	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	外 茶灰色 内 黒灰色	雲母・角閃石等の細砂粒を多量に含む	良好	
7	壺 SK56	口径 11.4	体部から丸く屈曲し、斜上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)。	外 茶灰色 内 灰茶色	長石・石英等の細砂粒を含む	良好	
8	壺 SK56	口径 16.4	口縁部は上外方に伸び、端部は外上方につまみ出す。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 乳褐色 内 乳灰色	3mm以下の 長石・石英等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
9 SK56	甕	底径 4.3	口縁部・体部は欠損。底部は突出しない小さいくぼみ底。 体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	長石・石英 赤褐色酸化粒等細砂粒を多量に含む	良好	
10 落ち込み27	壺	口径 15.5	直上する頸部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)。	淡茶灰色	長石等の微砂粒を含む	良好	
11 落ち込み27	甕	底径 3.0	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ、底部ナデ。	茶灰色	4mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
12 落ち込み27	同上	口径 13.2	上内方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	外 内 灰茶色 暗灰褐色	5mm以下の角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
13 落ち込み27	同上	底径 4.3	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ、底部ナデ。	外 内 暗褐灰色 茶灰色	5mm以下の石英・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
14 落ち込み27	同上	底径 4.0	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外面タタキ(4本)、ナデ、内面不明、底部ヘラナデ。	外 内 茶灰色 暗灰褐色	長石・石英等の細砂粒を多量に含む	良好	
15 落ち込み27	同上	底径 3.8	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外面タタキ(5本)、内面ヘラナデ、底部ナデ。	茶灰色	5mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	
16 落ち込み28	壺	口径 13.4	直上して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に短く伸びる口縁部に至る。端部は上下に肥厚し、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ナデ。	暗灰褐色	4.5mm以下の角閃石・長石等の砂粒を多量に含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
17	壺 落ち込み28	口径 12.0	口縁部は上外方に伸びた後斜上方に伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	淡茶灰色	4mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
18	同上 落ち込み28	口径 14.2	内上方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びた後外傾する口縁部に至る。端部は上につまみあげて尖る。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	淡茶色	3.5mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
19	同上 落ち込み28	口径 21.0	口縁部は外上方に伸び、端部は上下に肥厚し、外に面をもつ。体部は欠損。外端面にヘラ先による一条の波状文を施す。 口縁部外面ヨコナデ、端部内面ヨコナデ、内面暗文・ヘラミガキ。	乳灰色	3mm以下の砂粒を含む	良好	
20	同上 落ち込み28	口径 13.2	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びた後外上方に短く伸びる口縁部に至る。端部は外に浅い凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	3.5mm以下の砂粒を多量に含む	良好	
21	同上 落ち込み28	口径 11.0	口縁部は外上方に外反気味に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
22	同上 落ち込み28	口径 12.75	球形と思われる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びた後外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面不明、体部外面不明、内面ハケナデ(不明)後ヘラナデ。	外 茶灰色 内 灰色	3mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
四十	甕 落ち込み28	口径 11.6 器高 14.8 底 径 4.85	球形に近い体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。底部は突出する浅いくぼみ底。体部上位外面に一本、内面に三本の接合痕を有す。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヘラナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	淡赤褐色	3mm以下の長石・石英・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	完形
24	同上 落ち込み28	口径 12.4 器高 11.9 底 径 4.4	球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味のくぼみ底。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	茶灰色	2mm以下の長石・石英・チャート・角閃石等の砂粒を含む		

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
25	甕	口径 13.1 器高 10.7 底径 3.6	肩部に最大径をもつ球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出する平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラナデ。	暗灰茶色	3mm以下の角閃石・雲母・長石・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	煤付着
四十	落ち込み28						
26	同上	口径 14.6 器高 13.4 底径 3.7	肩部に張りのある球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味のくぼみ底。体部内面上位に二本の接合痕を有す。 口縁部内外面ハケナデ後ヨコナデ、体部外面タタキ(上6本、下3本)、内面ヘラナデ。	赤褐色	2mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
四十	落ち込み28						
27	同上	口径 10.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	暗灰褐色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
	落ち込み28						
28	同上	口径 12.2	上内方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ナデ、内面ナデ。	外 暗茶色 内 暗灰褐色	2mm以下の角閃石等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み28						
29	同上	口径 13.6	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
	落ち込み28						
30	同上	口径 16.0 器高 24.9	最大径を胴中位より上にもつ橢円形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は突出しない小さい平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)、中位ハケナデ(5本)、下位タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
四十	落ち込み28						
31	同上	口径 14.6	内上方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ナデ、内面ナデ。	茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み28						
32	同上	口径 15.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ナデ、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	3mm以下の長石・角閃石・雲母・石英等の砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み28						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
33	甕	口径 17.4	球形と思われる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は欠損。体部内面上位に四本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(上5本、下4本)、内面ナデ。	茶灰色	5mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
四十	落ち込み28						
34	同上	口径 15.8	上内方に内彎氣味に伸びる体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	6mm以下の長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
	落ち込み28						
35	同上	口径 16.0	内上方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ナデ、内面ナデ。	暗茶灰色	4mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
	落ち込み28						
36	同上	口径 17.6	口縁部は上外方に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ハケナデ。	茶灰色	3mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み28						
37	同上	口径 19.8	内上方に内彎する体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	乳茶灰色	2mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を含む	良好	煤付着
	落ち込み28						
38	壺	口径 15.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方した後直上して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(10本)	淡茶褐色	6mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
四十一	落ち込み29						
39	土壙	長さ 6.6 最大径 2.9 管状径 1.1	管状形。 内外面ナデ。	淡褐灰色	3mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を少量含む	良好	完形
四十一	落ち込み29						
40	甕	口径 13.9 器高 14.9 底径 4.4	最大形を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しないくぼみ底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラナデ。	外 茶灰色 内 茶灰褐色	2mm以下の角閃石等の砂粒を含む	良好	完形
四十一	落ち込み29						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
41	甕	口径 15.0 器高 18.6 底径 4.0	楕円形の体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は突出する平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3~4本)、内面ナデ、底部ナデ。	外 暗茶灰色 内 黒灰色	3mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
四十一	落ち込み29						
42	同上	口径 16.2 器高 22.0 底径 4.4	最大形を胴中位より上にもつ楕円形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味のくぼみ底。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(3~4本)、内面ヘラナデ。	暗茶灰色	5mm以下の長石・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	完形
四十一	落ち込み29						
43	同上	口径 11.8	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ナデ。	淡赤茶色	4mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	
	落ち込み29						
44	同上	口径 14.4	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	外 茶灰色 内 淡茶灰色	長石・石英・雲母等の微砂粒を含む	良好	煤付着
	落ち込み29						
45	同上	底径 3.2	口縁部・体部は欠損。底部は突出気味のくぼみ底。 体部外面タタキ(5本)、内面ヘラナデ。	暗茶灰色	3mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み29						
46	同上	底径 3.0	口縁部・体部は欠損。底部は突出気味の平底。 体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	7.5mm以下のチャート・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	黒斑有
	落ち込み29						
47	同上	底径 4.2	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	暗茶灰色	3mm以下の長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み29						
48	鉢	口径 14.2	上外方に伸びる体部から斜上方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は欠損。 内外面ヘラナデ。	外 暗灰褐色 内 淡茶灰色	4mm以下の砂粒を含む	良好	
	落ち込み30						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
49	土壙	長さ 8.5 最大径 3.6 管状径 1.2	管状形。 内外面ナデ。	灰茶色	長石・石英 ・雲母・チャート等の 細砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
四十一	落ち込み30						
50	甕	底径 4.6	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底。 体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	暗褐色	3mm以下の 長石・雲母 ・石英・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	
	落ち込み30						
51	甕 SP 135	口径 11.4 器高 27.4 底径 4.3	肩部に張りをもつ体部から丸く屈曲し、上 外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は 若干つまむ。底部は突出気味の平底。 口縁部内外面ハケナデ後ヨコナデ、体部外 面ハケナデ(9本)、内面上位指ナデ、下位ハ ケナデ、底部ナデ。	外 淡灰褐色 内 淡灰色	4.5mm以下の 長石等の 細砂粒を含む	良好	
52	同上 SP 135	口径 14.4	内上方に内彎して伸びる体部から屈曲し、 斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は 若干外方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ 後タタキ(4本)、内面ナデ。	淡褐灰色	3mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	
53 ⁹	同上 SP 135	口径 14.6	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、 上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端 部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3 本)、内面ヘラナデ後ハケナデ。	淡茶色	6.5mm以下の 長石・雲 母・石英等 の砂粒を含む	良好	煤付着
54	同上 SP 135	口径 14.25 器高 17.5 底径 3.6	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部か ら屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に 至る。端部はつまみ上げる。底部は突出する 平底。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナ デ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(10本)、 内面ハケナデ(10本)。	淡灰茶色	石英・長石 ・チャート等の 細砂粒を含む	良好	完形
四十一	SP 135						
55	同上 SP 135	口径 15.3	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、 斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。体部 は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位タタ キ(4本)、下位ハケナデ、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	5mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	煤付着
56	同上 SP 135	口径 15.7	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、 外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾す る面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3 本)後ハケナデ、内面ナデ。	淡褐灰色	3mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	
四十一	SP 135						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
57	小型丸底壺 四十二 S D 321	口径 15.9 器高 13.3	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸味をもつ。 口縁部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面ナデ後ヘラミガキ、体部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	乳灰褐色	細砂粒～微砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
58	壺 S D 321	口径 13.2	口縁部は外上方に伸びた後屈曲し、斜上方に外反して伸びる。屈曲部は垂下する。端部は丸い。体部は欠損。 口縁端部内外面ヨコナデ、口縁部内外面ヘラミガキ。	淡茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
59	同上 S D 321	口径 13.4	口縁部は斜上方に外反して伸びる。端部は外傾する浅い凹面をもつ。体部は欠損。 口縁端部外面ヨコナデ、口縁部外面タタキ(4本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ。	淡茶灰色	2mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	
60	同上 S D 321	口径 15.6	口縁部は上外方に外反する。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後ヘラミガキ、内面ナデ。	外 乳赤褐色 内 灰褐色	4mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	
61	同上 S D 321	口径 14.9	体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部はわずかに垂下し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後ヘラミガキ、内面不明。	外 茶灰色 内 淡褐色	5mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
62	同上 S D 321	口径 17.6	口縁部は斜上方に外反気味に伸びる。端部はわずかに垂下し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ、内面ヨコナデ。	淡茶色	4mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
63	同上 S D 321	口径 18.2	口縁部は斜上方に伸びる。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・ナデ、内面ヘラミガキ。	淡灰茶色	2mm以下の砂粒を含む	良好	
64	同上 S D 321	口径 18.2	口縁部は上外方に外反して伸びる。端部は外に面をもち、二条の沈線を廻らす。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(2本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ。	灰褐色	4mm以下の雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高 底径	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
65	壺 S D 321	口径 14.2	口縁部は外上方に伸びた後屈曲し、上外方に伸びる。屈曲部は垂下する。端部は丸い。体部は欠損。口縁部外面に一条(3本)、内面に一条(5本)の波状文を施す。 口縁部内外面ナデ。	茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
66	同上 S D 321	口径 15.4	口縁部は二段に屈曲して外反して外上方に伸びる。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヘラミガキ。	灰茶色	長石・石英・雲母等の微砂粒を含む	良好	
67	同上 S D 321	口径 16.3	体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外に凹面をもち、つまみあげる。端部にヘラキザミを施す。体部は欠損。頸部外面に刺突文を有す。内面に一本の接合痕を有す。 口縁端部内外面ヨコナデ、口縁部外面ハケナデ(12本)、内面ヘラミガキ、体部外面ハケナデ、内面ナデ。	茶灰色	3mm以下の雲母・長石・角閃石・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	煤付着
四十二	S D 321	口径 15.6	口縁部は外上方した後上外方に外反して伸びる。端部は垂下し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・ナデ、内面ヨコナデ。	淡茶灰色	2mm以下の長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	黒斑有
68	同上 S D 321	口径 14.0	最大形を胴中位にもつ球形と思われる体部から屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は欠損。体部内面上位に二本の接合痕を有す。 口縁端部内外面ヨコナデ、口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面上位ナデ、下位ハケナデ(9本)。	淡灰褐色	5mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を含む	良好	煤付着
四十二	S D 321	口径 14.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ後指頭痕。	乳灰茶色	5mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	
四十二	S D 321	口径 12.4 器高 24.9 底径 4.0	球形の体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外に面をもつ。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	外 乳灰茶色 内 暗灰茶色	2mm以下の砂粒を含む	良好	煤付着
71	同上 S D 321	口径 13.4 器高 30.2 底径 5.9	橢円形の体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出する平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	乳茶灰色	3.5mm以下のチャート・石英・長石等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
72	同上 S D 321	口径 13.4 器高 30.2 底径 5.9	橢円形の体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出する平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	乳茶灰色	3.5mm以下のチャート・石英・長石等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
73	壺	口径 14.0	球形と思われる体部から屈曲し、直上した後外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干肥厚し、外に面をもつ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	茶灰色	2mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	
四十二	S D 321						
74	同上	底径 4.9	そろばん球形の体部から丸く屈曲し、上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底部は突出気味の平底。 口縁部内外面不明、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	7mm以下の長石・雲母・石英・チャートの砂粒を多量に含む	良好	黒斑有
四十三	S D 321						
75	鉢	口径 9.8 器高 5.9 底径 3.2	楕円形の体部から内彎気味に上方方に伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。底部は突出気味の小さいくぼみ底。底部外面に一本の接合痕を有す。 体部外面ナデ、内面ヘラナデ。	淡褐色	2mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
四十三	S D 321						
76	同上	口径 8.5 器高 7.5 底径 3.3	上方方に内彎して伸びる体部から口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 体部外面ナデ後ハケナデ(5本)、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	4mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	黒斑有
四十三	S D 321						
77	同上	口径 9.7 器高 7.7 底径 3.6	上方方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出する浅い上げ底。 口縁部、体部外面ナデ、内面ヘラナデ、底部外面指頭痕。	淡灰褐色	5mm以下の雲母・角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
四十三	S D 321						
78	同上	口径 8.1 器高 8.05 底径 2.5	球形の体部から丸く屈曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ハケナデ後ヨコナデ、頸部内面ハケナデ、体部外面ハケナデ後ヘラミガキ内面ナデ。	淡灰褐色	雲母・長石・角閃石・石英等の微妙粒を含む	良好	
四十三	S D 321						
79	同上	口径 13.2	半球形と思われる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	淡茶灰色	5mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
	S D 321						
80	同上	口径 14.0	上方方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	茶灰色	3mm以下の石英・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
	S D 321						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
81	鉢 S D 321	口径 13.6	上外方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
82	同上 S D 321	口径 15.2	上外方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラミガキ、体部外面不明、内面ヘラミガキ。	淡灰褐色	6mm以下の雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
83	同上 S D 321	口径 14.7	上外方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ナデ。体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	灰褐色	2mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着
84	同上 S D 321	口径 20.2	上外方に内彎して伸びる体部から外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下のチャート・長石・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	黒斑有
85	同上 S D 321	口径 17.2	上外方に内彎して伸びる体部から斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ヘラミガキ、体部内外面ヘラミガキ。	外 茶褐色 内 暗茶褐色	雲母・角閃石・長石等の砂礫を含む	良好	黒斑有
86	同上 S D 321	口径 16.2	外上方に伸びた後上方する体部から屈曲し、外上方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は欠損。 内外面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の砂粒を少量含む	良好	黒斑有
87	同上 S D 321	口径 20.0 器高 7.6	楕円形の体部から上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 内外面不明。	淡茶褐色	長石・石英・赤褐色酸化粒等の微砂粒を多量に含む	良好	黒斑有
88	同上 S D 321	口径 19.0	上外方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラミガキ。	淡黄色	3mm以下の雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
89	鉢 S D 321	口径 24.4	直上する体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、ヘラキザミを施す。体部は欠損。口縁部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面タタキ(2~4本)、内面ナデ、体部内外面ナデ。	淡灰褐色	4mm以下の長石・雲母・角閃石・石英等の砂粒を含む	良好	
90	同上 S D 321	口径 23.4	上内方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、直上に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	茶褐色	3.5mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	
91	有孔鉢 S D 321	口径 14.0 器高 7.9 底径 3.7	上外方に内彎気味に伸びる体部から口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は突出気味の平底。底部に穿孔を有す。 体部外面タタキ(4本)、内面不明、底部ヘラナデ。	茶灰色	4mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	完形
92	台付き鉢 S D 321	底径 8.6	体部は欠損。裾部は外下方に伸びる。端部は外傾する面をもつ。 内外面ナデ。	灰褐色	3mm以下の石英・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
93	高坏 四十三 S D 321	口径 12.0 器高 9.9 底径 14.1	平坦な坏底部から屈曲した後上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は鋭く尖る。裾部は柱状部から外下方に外反気味に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 坏部外面不明、内面ヘラナデ、脚部外面不明、内面上位ヘラナデ、下位不明。	暗灰褐色	3.5mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
94	同上 四十三 S D 321	口径 14.0 器高 10.8 底径 17.1	楕形の坏部から上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外に凸面をもち、鈍く尖る。中空の柱状部は下外方へ伸びた後屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 口縁端部外面ヨコナデ、坏部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
95	同上 四十三 S D 321	口径 13.3 器高 11.0 底径 18.0	楕形の坏部から直上に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方に外反気味に伸びた後丸く屈曲し、外下方に伸び、坏部の径を凌ぐ裾部に至る。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(8本)、坏部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ、裾端部内面ヨコナデ。	茶灰色	雲母・長石・石英等の細砂粒~微砂粒を含む	良好	
96	同上 S D 321	口径 22.8	坏部は外上方した後屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 坏部外面ヘラミガキ、内面不明、坏底部外面ナデ。	茶褐色	3.5mm以下の長石・石英・角閃石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
97	高 坯 S D 321	底 径 16.0	坯部は欠損。柱状部は直下した後屈曲し、外下方に伸びる裾部に至る。裾端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 脚部外面不明、内面上位ヘラナデ、下位ハケナデ(6本)。	茶灰色	6mm以下の長石・角閃石・石英・雲母等を多量に含む	良好	黒斑有
98	土 垂 四十四 S D 321	長さ 5.6 最大径 2.8 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ。	灰色	2.5mm以下の雲母・角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形
99	同 上 四十四 S D 321	長さ 6.2 最大径 2.9 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	3.5mm以下の雲母・長石・石英・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	完形
100	同 上 四十四 S D 321	長さ 4.6 最大径 3.3 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の雲母・長石・石英・角閃石等の砂粒を含む	良好	完形
101	同 上 四十四 S D 321	長さ 5.9 最大径 3.25 管状径 1.05	管状形。 外面ナデ・指頭痕。	淡茶灰色	2mm以下の長石・角閃石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	完形
102	同 上 四十四 S D 321	長さ 6.5 最大径 3.1 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	3.5mm以下の雲母・長石・角閃石等の砂粒を含む	良好	完形
103	同 上 四十四 S D 321	長さ 6.9 最大径 3.1 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	3mm以下の長石・角閃石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	完形
104	同 上 四十四 S D 321	長さ 7.7 最大径 2.9 管状径 1.15	管状形。 外面ナデ・指頭痕。	淡灰褐色	2.5mm以下の長石・雲母・石英・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
105 四十四	土 垂	長さ 6.5 最大径 3.3 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	乳褐色	4mm以下の 長石・雲母 角閃石・石 英等の砂粒 を含む	良好	完形
106 四十四	同 上	長さ 6.3 管状径 3.3 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ。	暗灰色	2mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	完形
107 四十四	同 上	長さ 6.6 最大径 2.85 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	3mm以下の 長石・雲母 等の砂粒を 含む	良好	完形
108 四十四	同 上	長さ 7.05 最大径 3.1 管状径 1.1	管状形。接合痕を有す。 外面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	完形
109 四十四	同 上	長さ 6.8 最大径 3.0 管状径 1.3	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	5mm以下の 長石・石英 ・角閃石等 の砂粒を含 む	良好	完形
110 四十四	同 上	長さ 6.6 最大径 3.2 管状径 1.25	管状形。 外面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形
111 四十四	同 上	長さ 6.85 最大径 3.2 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	完形
112 四十四	同 上	長さ 5.75 最大径 3.3 管状径 0.95	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含 む	良好	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
113 四十四	土 垂 S D 321	長さ 6.75 最大径 3.2 管状径 0.7	管状形。 外面ナデ・指頭痕。	暗灰色	9mm以下の 雲母・角閃 石・長石等の 砂粒を含む	良好	完形
114 四十四	同 上 S D 321	長さ 6.3 最大径 3.1 管状径 1.0	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	3mm以下の 雲母・長石 ・石英等の 砂粒を含む	良好	完形
115 四十四	同 上 S D 321	長さ 7.7 最大径 3.0 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	3mm以下の 長石・角閃 石・雲母等の 砂粒を少 量含む	良好	完形
116 四十四	同 上 S D 321	長さ 6.1 最大径 2.85 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	1mm以下の 長石・雲母 角閃石・石 英等の砂粒 を含む	良好	完形
117 四十四	同 上 S D 321	長さ 6.25 最大径 2.85 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	3mm以下の 雲母・角閃 石・長石等の 砂粒を含む	良好	完形
118 四十四	同 上 S D 321	長さ 6.1 最大径 3.2 管状径 1.4	管状形。 外面指頭痕。	灰黒色	7mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等の 砂粒を少 量含む	良好	完形
119 四十四	同 上 S D 321	長さ 7.0 最大径 3.3 管状径 0.8	管状形。 外面ナデ。	黒褐色	6mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等の 砂粒を少 量含む	良好	完形
120 四十四	同 上 S D 321	長さ 5.65 最大径 3.1 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	淡灰色	2mm以下の 雲母・長石 ・角閃石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
121 四十四	土 壤 S D 321	長さ 5.7 最大径 2.95 管状径 0.7	管状形。 外面ナデ・指頭痕。	灰色	3mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含む	良好	完形
122 四十四	同 上 S D 321	長さ 7.85 最大径 3.0 管状径 1.3	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	3.5mm以下の 長石・雲母 ・石英等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
123 四十四	同 上 S D 321	長さ 7.3 最大径 3.55 管状径 1.4	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	3mm以下の 長石・雲母 ・石英・赤 褐色酸化粒 等の砂粒を 含む	良好	完形
124 四十四	同 上 S D 321	長さ 7.5 最大径 3.15 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ・指頭痕。	淡灰褐色	2mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
125 四十四	同 上 S D 321	長さ 7.0 最大径 3.0 管状径 1.05	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	長石・石英 ・雲母・角 閃石等の微 砂粒を含む	良好	完形
126 四十四	同 上 S D 321	長さ 5.8 最大径 3.1 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	3mm以下の 雲母・角閃 石・長石等 の砂粒を含 む	良好	完形
127 四十四	同 上 S D 321	長さ 8.6 最大径 3.15 管状径 0.8	管状形。 外面ナデ・指頭痕。	淡灰茶色	2mm以下の 長石・雲母 ・赤褐色酸 化粒・石英 等の砂粒を 含む	良好	完形
128 四十四	同 上 S D 321	長さ 8.3 最大径 3.35 管状径 1.65	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	3mm以下の 砂粒を少量 含む	良好	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
129 四十四	土 塙 SD 321	長さ 9.0 最大径 3.65 管状径 1.35	管状形。 外面ナデ。	暗灰色	2mm以下の 雲母・長石 ・石英・角 閃石等の砂 粒を少量含 む	良形	
130 四十五	同 上 SD 321	長さ 8.2 最大径 3.55 管状径 2.15	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	4mm以下の 雲母・角閃 石・チャート等の砂粒 を少量含む	良形	完形
131 四十五	同 上 SD 321	長さ 8.55 最大径 3.05 管状径 1.4	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	2mm以下の 雲母・長石 等の砂粒を 少量含む	良形	完形
132 四十五	同 上 SD 321	長さ 8.6 最大径 3.7 管状径 1.55	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	2.5mm以下 の長石・石 英・角閃石 ・雲母等の 砂粒を含む	良形	完形
133 四十五	同 上 SD 321	長さ 6.65 最大径 3.1 管状径 1.0	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	3mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含 む	良形	完形
134 四十五	同 上 SD 321	長さ 6.55 最大径 2.7 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石・ 石英等の砂 粒を含む	良形	完形
135 四十五	同 上 SD 321	長さ 7.1 最大径 2.8 管状径 1.4	管状形。 外面ナデ。	灰黒色	1mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良形	完形
136 四十五	同 上 SD 321	長さ 7.4 最大径 3.0 管状径 1.4	管状形。 外面ナデ。	灰褐色	1mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良形	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
137	土 垂 S D 321	長さ 6.4 最大径 3.1 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	1mm以下の 雲母・長石 ・角閃石等 の砂粒を含む	良好	完形
138	同 上 S D 321	長さ 7.85 最大径 3.2 管状径 0.75	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	3.5mm以下の 雲母・長石 ・角閃石等 の砂粒を含む	良好	完形
139	同 上 S D 321	長さ 6.3 最大径 3.25 管状径 1.5	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	1mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
140	同 上 S D 321	長さ 8.2 最大径 2.9 管状径 1.05	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	3.5mm以下の 長石・石 英等の砂粒 を多量に含む	良好	完形 黒斑有
141	同 上 S D 321	長さ 7.85 最大径 2.95 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	4.5mm以下の 雲母・長 石・石英 ・角閃石等 の砂粒を多量 に含む	良好	
142	同 上 S D 321	長さ 7.9 最大径 3.15 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2.5mm以下の 長石・石 英・角閃石 等の砂粒を 少量含む	良好	完形
143	同 上 S D 321	長さ 7.25 最大径 3.55 管状径 1.85	管状形。 外面ナデ。	淡灰色	3mm以下の 砂粒を少量 含む	良好	
144	同 上 S D 321	長さ 6.95 最大径 3.25 管状径 1.05	管状形。 外面ナデ・指頭痕。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
145 四十五	土 垂	長さ 7.45 最大径 3.0 管状径 1.45	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母・角 閃石等の砂 粒を含む	良好	完形
146 四十五	同 上	長さ 6.05 最大径 2.7 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含 む	良好	完形
147 四十五	同 上	長さ 6.3 最大径 3.0 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	5mm以下の 長石・雲母 ・石英・チ ャート等の 砂粒を含む	良好	完形
148 四十五	同 上	長さ 6.9 最大径 3.0 管状径 1.05	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	6mm以下の 長石・角閃 石・石英・ 雲母等の砂 粒を含む	良好	完形 黒斑有
149 四十五	同 上	長さ 6.3 最大径 3.0 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・角閃 石・雲母・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形
150 四十五	同 上	長さ 7.45 最大径 2.95 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	3mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
151 四十五	同 上	長さ 5.65 最大径 3.1 管状径 0.95	管状形。 外面ナデ・指頭痕。	灰褐色	4mm以下の 長石・雲母 ・石英・角閃 石等の砂粒 を多量に含 む	良好	完形
152 四十五	同 上	長さ 6.3 最大径 3.2 管状径 0.9	管状形。 外面ナデ・指頭痕。	淡灰茶色	2.5mm以下 の砂粒を含 む	良好	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
153	土 垂	長さ 最大径 管状径 7.2 3.4 1.0	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	3mm以下の 長石・雲母 ・角閃石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形
四十五	S D 321						
154	同 上	長さ 最大径 管状径 7.3 2.75 1.0	管状形。 外面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母・赤 褐色酸化粒 等の砂粒を 含む	良好	完形
四十五	S D 321						
155	同 上	長さ 最大径 管状径 6.0 2.65 1.0	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	完形 煤付着
四十五	S D 321						
156	同 上	長さ 最大径 管状径 6.9 3.6 1.8	管状形。 外面ナデ。	淡褐灰色	1.5mm以下 の長石・雲 母・角閃石 等の砂粒を 少量含む	良好	完形
四十五	S D 321						
157	同 上	長さ 最大径 管状径 6.6 3.1 1.1	管状形。 外面ナデ。	淡褐灰色	7mm以下の 長石・角閃 石・雲母等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
四十五	S D 321						
158	同 上	長さ 最大径 管状径 7.0 3.1 0.95	管状形。 外面ナデ。	灰褐色	2.5mm以下 の長石・雲 母・角閃石 等の砂粒を 含む	良好	完形 黒斑有
四十五	S D 321						
159	同 上	長さ 最大径 管状径 6.2 3.0 1.1	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含 む	良好	完形
四十五	S D 321						
160	同 上	長さ 最大径 管状径 6.8 2.9 0.9	管状形。 外面ナデ・指頭痕。	淡茶灰色	4mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含 む	良好	完形
四十五	S D 321						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
161 四十五	土 垂 S D 321	長さ 6.5 最大径 2.8 管状径 0.85	管状形。 外面ナデ。	淡灰色	2.5mm以下の雲母・角 閃石・石英等の砂粒を 含む	良好	完形
162 四十六	同 上 S D 321	長さ 6.5 最大径 3.0 管状径 1.15	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	
163 四十六	同 上 S D 321	長さ 5.65 最大径 3.2 管状径 1.05	管状形。 外面ナデ。	淡灰茶色	3.5mm以下の 雲母・角 閃石・長石 石英等の砂 粒を含む	良好	完形
164 四十六	同 上 S D 321	長さ 6.0 最大径 2.8 管状径 1.0	管状形。 外面ナデ・指頭痕。	淡灰色	2mm以下の 砂粒を含む	良好	完形
165 四十六	同 上 S D 321	長さ 5.9 最大径 3.4 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含 む	良好	完形
166 四十六	同 上 S D 321	長さ 7.3 最大径 3.2 管状径 1.3	管状形。 外面ナデ。	淡灰色	6mm以下の 長石・雲母 等の砂粒を 含む	良好	完形
167 四十六	同 上 S D 321	長さ 8.35 最大径 3.4 管状径 1.0	管状形。 外面ナデ。	淡灰茶色	3.5mm以下の 長石・雲 母等の砂粒 を含む	良好	完形
168 四十六	同 上 S D 321	長さ 8.7 最大径 3.1 管状径 1.4	管状形。 外面ナデ。	淡褐灰色	2mm以下の 砂粒を含む	良好	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
169 四十六	土 垒 S D 321	長さ 9.3 最大径 3.15 管状径 1.3	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	2.5mm以下の雲母・角 閃石・長石等の砂粒を 少量含む	良好	完形
170 四十六	同 上 S D 321	長さ 6.7 最大径 3.0 管状径 1.0	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	完形
171 四十六	同 上 S D 321	長さ 8.65 最大径 3.35 管状径 1.5	管状形。 外面ナデ。	淡褐灰色	2.5mm以下の 長石・雲 母・石英等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
172 四十六	同 上 S D 321	長さ 8.4 最大径 3.4 管状径 0.95	管状形。 外面ナデ。	淡灰茶色	2.5mm以下の 長石・石 英・雲母等 の砂粒を含 む	良好	完形
173 四十六	同 上 S D 321	最大径 3.4 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	灰褐色	2.5mm以下の 長石・石 英・雲母等 の砂粒を含 む	良好	
174 四十六	同 上 S D 321	長さ 6.5 最大径 3.0 管状径 1.2	管状形。 外面ナデ。	淡灰褐色	1.5mm以下の 雲母・角 閃石・長石等 の砂粒を少 量含む	良好	完形
175 四十六	同 上 S D 321	長さ 5.9 最大径 3.4 管状径 1.1	管状形。 外面ナデ。	暗灰褐色	2mm以下の 長石・雲母 ・角閃石等 の砂粒を含 む	良好	完形
176 四十六	壺 S D 321	口 径 10.0 器 高 11.2 底 径 4.3	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部か ら屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端 部は丸い。底部は突出する平底。口縁部外面 に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3 本)後ナデ、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	4.5mm以下の 雲母・角 閃石・長石 ・石英等の 砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高 底径	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
177	壺	口径 11.6 器高 14.0 底径 3.8	楕円形に近い体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出する平底。体部中位内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	茶褐色	5mm以下の長石・石英・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
四十六	S D 321						
178	同上	口径 13.7 器高 11.5 底径 3.5	肩部の張る球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は突出する平底。体部内面中位に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(2~3本)、下位ハケナデ(8本)後ヘラケズリ、内面上位ヘラケズリ後ハケナデ、下位ヘラナデ。	淡灰茶色	4mm以下の長石・雲母・角閃石・石英等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
四十六	S D 321						
179	同上	口径 12.8 器高 21.0 底径 3.9	楕円形の体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は突出気味のくぼみ底。底部外面に葉の痕跡を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	乳灰茶色	4mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
四十六	S D 321						
180	同上	口径 13.9 器高 17.4 底径 3.8	球形の体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は突出気味の上げ底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラナデ、底部ナデ。	淡灰褐色	6mm以下の雲母・長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を若干含む	良好	煤付着
四十七	S D 321						
181	同上	口径 14.6 器高 21.0 底径 3.5	肩部に張りのある楕円形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は突出しない平底。底部に葉の痕跡を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ後ヘラナデ、下位タタキ(2本)、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	4.5mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
四十七	S D 321						
182	同上	口径 16.8 器高 23.8 底径 4.9	楕円形の体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出する平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	乳灰褐色	6mm以下の長石・チャート・石英等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着 炭化物付着
四十七	S D 321						
183	同上	口径 14.2 器高 22.9 底径 4.0	楕円形の体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は突出気味の平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(2~3本)後一部ヘラナデ、内面タタキ?	茶灰色	3mm以下の長石・石英・チャート・雲母等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
四十七	S D 321						
184	同上	口径 18.4 器高 22.7 底径 4.0	球形に近い体部から屈曲し、上外方に伸びた後外上方する口縁部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。底部は突出気味の平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3~4本)後一部ハケナデ(6本)、内面ナデ。	淡茶灰色	3mm以下の長石・チャート等の砂粒を含む	良好	
四十七	S D 321						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高 底径	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
185	甕	口径 15.0 器高 23.1 底径 5.0	楕円形の体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外方に肥厚する。底部は突出する平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後へラ先によるナデ、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	6mm以下の 雲母・石英 ・長石等の 砂粒を含む	良好	煤付着
四十七	S D 321						
186	同上	口径 16.1 器高 25.3 底径 4.5	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は突出気味の平底。頸部内面に二本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)後一部へラナデ、下位タタキ後ナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の 雲母・長石 ・石英等の 砂粒を多量 に含む	良好	完形 煤付着
四十八	S D 321						
187	同上	口径 10.4	内上方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ。	淡灰色	5mm以下の 長石・雲母 ・チャート 等の砂粒を 少量含む	良好	
	S D 321						
188	同上	口径 11.2	口縁部は斜上方に伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡赤茶色	2mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を多量 に含む	良好	
	S D 321						
189	同上	口径 10.6	上内方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面不明。	外 淡茶灰色 内 暗灰茶色	雲母等の微 砂粒を含む	良好	
	S D 321						
190	同上	口径 12.6	上内方に内彎して伸びる端部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は長くつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	茶灰色	3mm以下の 長石・チャート ・石英等の砂粒を 多量に含む	良好	
	S D 321						
191	同上	口径 12.2	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	7mm以下の 長石・石英等の砂粒を 少量含む	良好	
	S D 321						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
192	甕 S D 321	口径 12.6	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反氣味に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ。	淡茶灰色	5mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	
193	同上 S D 321	口径 12.4	体部から屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(4本)後ヨコナデ、内面摩滅の為不明、体部外面タタキ(2本)、内面摩滅の為不明。	淡茶褐色	4mm以下の砂粒を多量に含む	良好	
194	同上 S D 321	口径 13.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	茶灰色	4mm以下の砂粒を多量に含む	良好	
195	同上 S D 321	口径 14.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	3mm以下の雲母・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
196	同上 S D 321	口径 14.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後タタキ(4本)、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ	茶灰色	3mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
197	同上 S D 321	口径 14.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
198	同上 S D 321	口径 14.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	褐灰色	2mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着
199	同上 S D 321	口径 14.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみあげ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(上3本、下6本)、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	2mm以下の長石・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
200	甕 S D 321	口径 15.4	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	淡褐灰色	4mm以下の長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
201 四十八	同 上 S D 321	口径 15.4	最大径を胴中位にもつ球形と思われる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	淡褐灰色	5mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	煤付着
202 四十八	同 上 S D 321	口径 15.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ。	茶灰色	2mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
203 四十八	同 上 S D 321	口径 15.4	球形に近い体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は下位欠損。体部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	6mm以下の長石・石英・チャート・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
204 四十八	同 上 S D 321	口径 15.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ後ハケナデ(10本)。	淡灰茶色	3mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	煤付着
205 四十八	同 上 S D 321	口径 15.8	体部から屈曲し、外上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	淡灰茶色	3.5mm以下の雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
206 四十八	同 上 S D 321	口径 16.0	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	2mm以下の長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
207 四十八	同 上 S D 321	口径 15.0	肩部の張る体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外に凹面をもつ。体部は下位欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラナデ。	淡褐色	6mm以下の長石・雲母・石英・角閃石等の砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
208	甕 S D 321	口径 15.8	上内方に伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は垂下し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後タタキ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ナデ。	淡茶灰色	4mm以下の 雲母・長石 ・石英等の 砂粒を少量 含む	良好	煤付着
209	同上 S D 321	口径 16.4	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(3本)、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	黒褐色	3mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 砂粒を少量 含む	良好	
210	同上 S D 321	口径 16.2	内上方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干外方に肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ハケナデ(11本)後ヘラナデ	淡灰褐色	5mm以下の 長石・角閃 石・雲母・ 石英等の砂 粒を含む	良好	煤付着
四十八	同上 S D 321	口径 16.3	球形と思われる体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)後ハケナデ(10本)、内面ナデ。	淡茶黄色	3mm以下の 長石・石英 ・赤褐色酸 化粒等の砂 粒を含む	良好	煤付着
四十八	同上 S D 321	口径 16.4	内上方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	淡茶灰色	2.5mm以下の 長石・石英・ 赤褐色酸化 粒等の砂粒 を含む	良好	
213	同上 S D 321	口径 16.6	体部から屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ。	外 暗褐灰色 内 淡褐灰色	4mm以下の 砂粒を少量 含む	良好	煤付着
214	同上 S D 321	口径 17.8	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ナデ、内面ナデ。	外 茶色 内 暗茶褐色	7mm以下の 砂粒を多量 に含む	良好	
215	同上 S D 321	口径 17.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	茶灰色	7mm以下の 角閃石・雲 母・長石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	煤付着
四十八	同上 S D 321						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
216	壺 S D 321	口径 10.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ナデ。	淡茶灰色	4mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
217	同上 S D 321	口径 10.9	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	茶灰色	3.5mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
218	同上 S D 321	口径 11.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・指頭痕、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	外 淡褐色 内 淡茶灰色	7mm以下の砂粒を含む	良好	
219	同上 S D 321	口径 12.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ。	暗黄褐色	4mm以下の砂粒を含む	良好	
220	同上 S D 321	口径 11.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	茶灰色	4mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
221	同上 S D 321	口径 12.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	暗灰茶色	2mm以下の長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
222	同上 S D 321	口径 12.6	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ナデ。	茶灰色	5mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
223	同上 S D 321	口径 13.0	体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	暗灰茶色	2mm以下の長石・雲母・石英・角閃石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
224	甕 S D 321	口 径 13.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ナデ。	淡灰褐色	6mm以下の 雲母・角閃石・長石・ 石英等の砂粒を多量に 含む	良好	
225	同 上 S D 321	口 径 13.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	外 淡茶灰色 内 淡灰茶色	長石等の細 砂粒を含む	良好	
226	同 上 S D 321	口 径 14.2	体部から屈曲し、上方方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面不明。	茶灰色	砂礫を含む	良好	
227	同 上 S D 321	口 径 14.0	内彎して直上する体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	暗茶灰色	2mm以下の 長石・雲母・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	煤付着
228	同 上 S D 321	口 径 14.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外方に若干肥厚する。体部は欠損。体部内面上位に一本の接合痕を有す。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ・指頭痕。	淡褐灰色	4mm以下の 雲母・長石・ 石英等の 砂粒を含む	良好	煤付着
229	同 上 S D 321	口 径 15.2	口縁部は外上方に伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)。	茶灰色	4mm以下の 長石・石英・ 雲母等の 砂粒を多量に 含む	良好	
230	同 上 四十九 S D 321	口 径 14.4	球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外につまむ。底部は欠損。体部外面中位・頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)、下位タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	黒褐色	2mm以下の 角閃石・雲母・長石・ 石英等の砂粒を含む	良好	
231	同 上 S D 321	口 径 14.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。体部は欠損。 口縁部内外面不明、体部外面タタキ(6本)、内面不明。	茶灰色	3mm以下の 長石・石英・ 赤褐色酸化粒等の砂粒を多量に 含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
232	甕	口径 15.8 S D 321	体部から屈曲し、外上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ナデ。	褐灰色	3mm以下の長石・赤褐色酸化粒等の砂粒を多量に含む	良好	
233	同上	口径 15.2 S D 321	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面不明。	茶灰色	8mm以下の砂粒を多量に含む	良好	
234	同上	口径 17.4 S D 321	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	淡灰茶色	4mm以下の長石・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	
235	同上	口径 15.0 S D 321	口縁部は上外方に伸びる。端部は斜上方に伸び、つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ。	乳茶灰色	3.5mm以下の長石・チャート等の砂粒を含む	良好	煤付着
236	同上	口径 16.2 S D 321	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(6本)、内面不明、体部外面タタキ(4本)、内面不明。	茶灰色	4mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を多量に含む	良好	
237	同上	口径 21.5 S D 321	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。体部は欠損。口縁部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ヨコナデ。	茶灰色	2.5mm以下の長石・雲母・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	
238	同上	口径 15.6 S D 321	内上方に内彎する体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	7mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
239	同上	口径 17.0 S D 321	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ。	赤褐色	2mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
240	壺	最大径 21.6	肩部の張る胴長の体部から屈曲し、外上方に伸びる。口縁部・底部は欠損。 体部外面上位ハケナデ(10本)、下位ハケナデ後へラミガキ、内面上位ナデ・指頭痕・一部ハケナデ、下位ヘラケズリ。	茶褐色	1mm以下の角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
四十九	S D 321						
243	壺	口径 13.0	扁平な球形の体部から屈曲し、上外方に直線的に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外側ハケナデ(11本)、内面指頭痕・ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
四十九	落ち込み26						
244	同上	口径 10.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(7本)、体部外側ヘラミガキ、内面ヘラケズリ。	乳灰色	2.5mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						
245	同上	口径 5.6	球形に近い体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底部は突出するくぼみ底。 口縁部外面ヨコナデ、体部内外面ハケナデ(8本)。	淡赤茶色	3mm以下の石英・長石・角閃石等の砂粒を多量に含む	良好	
四十九	落ち込み26						
246	同上	口径 13.2	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面不明、内面ナデ、体部外側不明、内面ナデ・指頭痕。	淡茶灰色	1.5mm以下の砂粒を多量に含む	良好	
	落ち込み26						
247	同上	口径 17.2	口縁部は上外方に伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡茶灰色	2mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						
248	同上	口径 15.8	口縁部は外上方した後屈曲し、上外方に外反気味に伸びる。屈曲部は垂下する。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面不明。	淡茶灰色	3mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	
	落ち込み26						
249	同上	口径 17.8	口縁部は上外方に外反して伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面不明。	茶灰色	5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を多量に含む	良好	
	落ち込み26						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
250	壺	口径 21.6	体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。頸部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ハケナデ(7本)後ヨコナデ、内面ハケナデ後ヨコナデ、指頭痕。	淡茶灰色	4.5mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を少量含む	良好	
四十九	落ち込み26						
251	同 上	口径 14.0	口縁部は複合口縁である。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	茶灰色	2mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						
252	同 上	口径 16.0	口縁部は複合口縁である。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡褐灰色	2mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						
253	同 上	口径 22.4	口縁部は上外方に外反して伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面不明。	外 白灰色 内 茶灰褐色	8mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						
254	同 上	口径 24.0	口縁部は複合口縁である。端部は若干つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後ヘラミガキ、内面ヨコナデ。	淡灰茶色	3mm以下の石英・角閃石・長石等の砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み26						
255	同 上	口径 21.0	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面不明。	淡黄茶色	3mm以下の長石・赤褐色酸化粒等の砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み26						
256	同 上	口径 10.4	体部から丸く屈曲し、上外方に伸びた後屈曲して直上する口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面不明、内面ヨコナデ、頸部内面ハケナデ。	外 淡黄茶色 内 淡灰褐色	1.5mm以下の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						
257	同 上	口径 16.7	口縁部は斜上方に外反して伸びた後屈曲して直上する。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、頸部外面ナデ、内面不明。	淡赤茶色	2mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
	落ち込み26						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
258	壺	口径 14.8	球形に近いと思われる体部から丸く屈曲し、上外方に外反気味に伸びた後屈曲して直上する口縁部に至る。端部は内傾する凹面をもつ。体部は下位欠損。体部内面上位に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面指頭痕・ヘラケズリ。	淡灰褐色	3mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
四十九	落ち込み26						
259	小型丸底壺	口径 10.8 器高 8.0	球形に近い体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヘラミガキ、体部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡赤茶色	2mm以下の長石・雲母等の砂粒を含む	良好	完形
五十	落ち込み26						
260	同上	口径 11.6	極めて偏平な球形の体部から屈曲し、上外方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。 口縁部内外面ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡茶灰色	1.5mm以下の長石等の砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み26						
261	同上		極めて偏平な球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、内面ナデ。	淡灰茶色	3mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						
262	同上	口径 8.8 器高 8.0	偏平な球形の体部から屈曲し、上外方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む	良好	完形
五十	落ち込み26						
263	鉢	口径 14.4	口縁部は内彎気味に直上した後上外方に外反して伸びる。端部は尖る。体部は欠損。 口縁部外面不明、内面ハケナデ(10本)。	淡茶灰色	1.5mm以下の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
	落ち込み26						
264	同上	口径 14.6 器高 4.7	浅い椀形の体部から斜上方に二段に屈曲して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(10本)、体部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面ハケナデ後暗文。	赤茶色	1.5mm以下の雲母・長石・チャート等の砂粒を含む	良好	完形
五十	落ち込み26						
265	同上	口径 14.0 器高 4.4	皿形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。口縁部外面に表が見られる。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラミガキ。	乳灰茶色	2.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
266	鉢 落ち込み26	口径 20.0 器高 4.5	皿形の体部から斜上方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ、内面ナデ後暗文。	赤茶色	2.5mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	黒斑有
267	同上 落ち込み26	口径 17.4	浅い椀形と思われる体部から直上に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。 内外面不明。	灰茶色	3mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	
268	大型鉢 五十 落ち込み26	口径 43.4	肩部の張る体部から屈曲し、斜上方に伸びた後屈曲して直上する口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部上位タタキ(2本)、下位ヘラミガキ、内面ナデ。	淡茶灰色	1.2mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	
269	器台 五十 落ち込み26	口径 8.6 器高 11.6 底径 6.7	受部は外上方に伸びる。端部は尖る。脚部は受部から外下方に伸びる。端部は尖る。受部と脚部は貫通する。 内外面不明。	淡赤茶色	3.5mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	完形
270	同上 落ち込み26	口径 9.5 器高 8.5 底径 10.2	浅い椀形の受部から内彎して外上方に伸びた後直上する口縁部に至る。端部は丸い。脚部は受部から下外方に直線的に伸びる。端部は尖る。脚部中位に四方孔を有す。 口縁部外面ヨコナデ、受部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面上位くりぬき後ナデ・下位ハケナデ(8本)。	茶灰色	雲母・長石・角閃石・赤褐色酸化粒等の細砂粒～微砂粒を含む	良好	完形
271	同上 落ち込み26	口径 9.5 器高 8.5 底径 10.2	浅い椀形の受部から内彎して外上方に伸びた後内傾する口縁部に至る。端部は鈍く尖る。脚部は受部から下外方に直線的に伸びる。端部は尖る。脚部中位に三方孔を有す。 内外面不明。	淡茶色	1.5mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
272	高坏 五十 落ち込み26	口径 16.2 器高 12.1 底径 12.2	坏部は外上方に伸びた後上外方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。柱状部は下外方へ直線的に伸びた後屈曲して、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。 坏部外面ヨコナデ、内面ナデ、坏底部外面ヘラミナデ、柱状部外面ヘラケズリ、内面しづりめ、裾部外面ヨコナデ、内面不明。	淡灰褐色	2.5mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
273	同上 落ち込み26	口径 18.0	坏部は外上方に伸びた後屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。脚部は欠損。 坏部内外面ヘラミガキ。	淡赤茶色	1mm以下の長石・石英・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
274	高坏	底 径 12.0 落ち込み26	坏部は欠損。柱状部から外反して外下方に伸びる裙部に至る。端部は丸い。 柱状部外面ヘラケズリ、内面くりぬき・ハケナデ、裙部外面不明、内面ヨコナデ。	乳灰褐色	雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
275	黒色土器	口 径 11.8 落ち込み26	楕円形の坏部から内彎して上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する小さい面をもつ。脚部は欠損。 坏部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	黒色	長石・石英等の微砂粒を含む	良好	
276	小型甕	口 径 12.6 器 高 9.3 落ち込み26	扁平な球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ、底部内面指頭痕。	茶灰色	3mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
277	同 上	口 径 12.4 器 高 10.7 落ち込み26	極めて扁平な球形の体部から屈曲し、内彎気味に上外方に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ハケナデ(8本)、底部内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	1mm以下の石英・長石等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
五十							
278	甕	口 径 14.8 落ち込み26	口縁部は上外方に伸びる。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	3mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	
279	同 上	口 径 16.0 落ち込み26	口縁部は斜上方に伸びる。端部はつまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	灰茶色	2mm以下の雲母・石英・長石・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
五十一							
280	同 上	口 径 12.4 落ち込み26	最大径を中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、内面ハケナデ、底部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	8mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形
281	同 上	口 径 14.8 落ち込み26	体部から丸く屈曲し、外反気味に上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部内面ナデ。	淡茶灰色	4mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を多量に含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
282	甕 落ち込み26	口径 10.8	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	茶褐色	長石・石英等の微砂粒を少量含む	良好	
283	同上 落ち込み26	口径 10.6	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 淡灰茶色 内 淡茶灰色	1mm以下の砂粒を含む	良好	
284	同上 落ち込み26	口径 13.6	上内方に伸びる体部から屈曲し、外方に伸びる口縁部に至る。端部は外方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の石英・長石等の砂粒を少量含む	良好	
285	同上 落ち込み26	口径 14.0	体部から丸く屈曲し、外反して上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ナデ。	灰褐色	2mm以下の雲母等の砂粒を含む	良好	
286	同上 落ち込み26	口径 14.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラケズリ。	淡褐灰色	2mm以下の石英・長石・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	煤付着
287 五十一	同上 落ち込み26	口径 13.4	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の砂粒を少量含む	良好	完形
288	同上 落ち込み26	口径 12.2	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラケズリ。	淡茶褐色	1.5mm以下の雲母・長石・石英・角閃石等の砂粒を多量に含む	良好	
289	同上 落ち込み26	口径 13.2	上内方に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	4mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
290	甕	口径 13.6	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	3mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
	落ち込み26						
291	同上	口径 16.0 器高 25.0	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	3mm以下の石英・長石・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	完形 煤付着
五十一	落ち込み26						
292	同上	口径 14.8	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						
293	同上	口径 14.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方に若干肥厚し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	3mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を多量に含む	良好	黒斑有
	落ち込み26						
294	同上	口径 13.6	上内方に伸びる体部から屈曲し、外方に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	3mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を多量に含む	良好	
	落ち込み26						
295	同上	口径 14.0	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ナデ。	淡灰茶色	長石・雲母等の微砂粒を多量に含む	良好	
	落ち込み26						
296	同上	口径 15.0	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	2mm以下の長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
	落ち込み26						
297	同上	口径 15.0	上内方に伸びる体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干外方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	2mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み26						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
298	壺	口径 15.4 落ち込み26	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラケズリ。	淡乳灰色	1.5mm以下の砂粒を含む	良好	煤付着
299	同上	口径 15.4 落ち込み26	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	長石・石英等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着
300	同上	口径 17.2 落ち込み26	口縁部は上外方に伸びる。端部は内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	茶灰色	3mm以下の角閃石・石英・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
301	同上	口径 16.4 落ち込み26	口縁部は上外方に伸びる。端部は内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	角閃石・雲母・長石・石英等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着
302	同上	口径 15.6 器高 22.0 五十一 落ち込み26	橢円形の体部から屈曲し、斜上方に伸びた後屈曲して直上し、櫛描文を施す。端部は丸い。底部は丸底。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラケズリ。	外 暗茶灰色 内 黒灰色	3mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
303	須恵壺	口径 10.2 五十一 落ち込み26	口縁部は稜をもち、上内方に立ち上がる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面回転ナデ。	暗灰褐色	1.5mm以下の長石等の砂粒を少量含む	良好	ロクロ
304	大型器台 (須恵器)	口径 27.6 五十一 落ち込み26	口縁部は上外方に伸び、途中二条の凸線を巡らす。端部は外上方につまみだす。外面全体に波状文を施す。体部は欠損。 口縁部内外面回転ナデ。	灰青色	2mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	ロクロ(左方向)
306	壺	底径 5.3 S W 1	口縁部・体部は欠損。底部は突出しない平底。 体部外面ハケナデ(11本)、内面ヘラケズリ、底部外面ナデ。	外 淡褐色 内 淡茶色	3.5mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
307	有孔鉢 SW 1	底径 4.0	口縁部・体部は欠損。底部は突出しない平底。底部に穿孔を一つ有す。 体部外面タタキ(4本)、内面ナデ、底部外 面ナデ。	淡灰色	2.5mm以下の長石・チャート・雲母等の砂粒を含む	良好	黒斑有
308	壺 SW 1	口径 12.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラナデ。	暗茶灰色	5.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
309	同上 SW 1	口径 16.2	上内方に内彎気味に伸びる体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(5本)、内面ヘラナデ。	暗灰褐色	9.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂礫粒を含む	良好	
310	同上 SW 1	口径 16.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外につまみだす、体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後ハケナデ(6本)、内 面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナ デ。	淡灰茶色	3mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
五十一	SW 1						
311	同上 SW 1	口径 16.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ハケナデ(5本)。	淡褐茶色	2.5mm以下のチャート・長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
五十一	SW 1						
312	同上 SW 1	口径 21.4	体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ。	淡茶色	4mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を含む	良好	
313	同上 SW 1	口径 14.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(7本)、内面ハケナデ。	茶色	雲母・角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
314	同上 SW 1	口径 16.4	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)後ハケナデ(9本)、内面ハケナデ。	暗茶灰色	2mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を少量含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
315	甕 SW1	口径 12.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗褐色	2mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を多量に含む	良好	
316	同上 SW1	口径 13.6	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(8本)、内面ナデ?	暗灰褐色	5mm以下の角閃石・石英・長石等の砂粒を多量に含む	良好	
317	同上 SW1	口径 15.4	内上方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
318	同上 SW1	口径 14.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4~5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	外 淡褐色 内 灰褐色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
319	同上 SW1	口径 15.3	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	2.5mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を多量に含む	良好	
320	同上 SW1	口径 15.0	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外方に肥厚する。体部は欠損。体部内面上位に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	2mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	
五十二							
321	同上 SW1	口径 15.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
322	同上 SW1	口径 15.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗褐灰色	2.5mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
五十二							

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
323 五十二	甕 SW1	口径 15.4	楕円形と思われる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	外 暗茶灰色 内 茶灰褐色	雲母等の砂礫を含む。	良好	煤付着
324 SW1	同上	口径 17.0	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	2mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を少量含む。	良好	煤付着
325 SW1	同上	口径 16.6	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
326 SW1	同上	口径 16.8	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	外 茶褐色 内 黒灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
327 SW1	同上	口径 17.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本)、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
328 五十二	同上 SW1	口径 16.8 器高 15.3 底径 3.0	球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は突出しない平底と思われる。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	外 淡褐色 内 淡灰褐色	4mm以下の角閃石等の砂粒を含む	良好	煤付着
329 五十二	形象埴輪 SD309		家形もしくは鞠形と思われる埴輪の小片。外側ハケナデ後ヘラ先による直弧文が見られる。	褐色	細砂粒を含む	良好	
330 五十二	壺 SD310	口径 18.5 器高 37.9	胴中位より上に最大径をもつ楕円形の体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラケズリ、底部内面指ナデ。	褐灰色	6mm以下の砂粒を多量に含む	良好	完形 煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
331	壺	最大径 16.2	口縁部は欠損。体部は胴中位に張りのある扁平な球形である。底部は尖り気味底。体部内面中位に一本の接合痕を有す。 体部外面上位ハケナデ(7本)、他ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面上位ナデ、下位ハケナデ。	淡茶灰色	長石・石英・チャート等の微砂粒を少量含む	良好	
五十三	S D314						
332	同上	口径 12.8 器高 22.8	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ後ハケナデ(4本)、体部外側タタキ(3本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ後ハケナデ(4本)。	外 暗茶灰色 内 茶灰色	雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	完形 煤付着
五十三	S D314						
333	同上	口径 15.6	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。体部内面上位・中位・下位に一本ずつ三本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヘラミガキ、体部外側タタキ(3本)後ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	灰褐色	8mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	完形 煤付着
五十三	S D314						
334	同上	口径 15.0	口縁部は上外方に伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヘラミガキ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・雲母・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	
	S D314						
335	同上	口径 13.8 器高 29.4 底径 3.8	球形の体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味の小さい平底。体部外側中位・下位に一本ずつ二本の接合痕を有す。 口縁部内外面ハケナデ後ヨコナデ、体部外側面ハケナデ(8本)後ヘラミガキ、中位ハケナデ後ナデ、下位ヘラケズリ、内面ハケナデ。	淡灰茶色	3mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
五十三	S D314						
336	同上	口径 20.0 器高 37.35	最大径を胴中位にもつ張りのある球形の体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ハケナデ後ヨコナデ、体部外側面ハケナデ(9本)、内面ヘラナデ。	外 乳黃褐色 内 灰黑色	3mm以下の石英等の微砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
五十三	S D314						
337	同上	口径 18.8 器高 34.9	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は丸底。 口縁部内外面ハケナデ後ヨコナデ、体部外側面ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	乳茶灰色	4mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
五十三	S D314						
338	同上	口径 16.0 器高 26.6	球形の体部から丸く屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は上下に肥厚し、受口状で外に面をもち、棒状浮文・内面にヘラによる羽状の文様を施す。底部は浅く突出する平底と思われる。体部内面上位に三本の接合痕を有す。東海地方の特徴をもつ。 口縁部外側面ハケナデ、内面ナデ、体部外側面ハケナデ(6本)後ヘラミガキ、内面ハケナデ後ナデ。	灰褐色	長石・赤褐色酸化粒・角閃石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	赤色顔料有り
五十四	S D314						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
339	鉢 S D314	口径 17.8	上外方に内彎して伸びる体部から二段に屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ヘラミガキ。	乳灰茶色	長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む	良好	
340 五十四	鼓型器台 S D314	口径 16.0 器高 10.65 底径 18.2	山陰地方の特徴をもつ鼓形の器台である。両端部は丸い。頸部上下に各一条の稜が見られる。 外面ヨコナデ、内面不明。	淡灰茶色	2mm以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒等の砂粒を多量に含む	良好	完形
341 S D314	甕	口径 14.8	楕円形と思われる体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は下位欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	外茶灰色 内淡灰茶色	4mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	
342 S D314	同上	口径 16.4	体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	乳灰褐色	長石・石英・雲母等の細砂粒～微砂粒を含む	良好	煤付着
343 S D314	同上	口径 13.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ後ナデ、内面ヘラナデ。	灰褐色	雲母・長石・石英・角閃石等の微砂粒を少量含む	良好	
344 S D314	同上	口径 16.6	体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(5本)後ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)。	茶灰色	3mm以下の長石・雲母・角閃石・石英等の砂粒を含む	良好	
345 S D314	同上	口径 18.7	内上方に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本)後ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)、内面ヘラケズリ。	褐灰色	3mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
346 S D314	同上	口径 16.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚し、面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面不明、内面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	長石・石英等の微砂粒を多量に含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地點	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考	
347	壺 S D315	口径 12.8	体部から屈曲し、上外方に直線的に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナデ(外5本、内7本)後ヨコナデ、体部内面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を少量含む	良好		
348	同上 S D315	口径 17.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干垂下し、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナデ後ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、内面ハケナデ後指ナデ。	淡茶灰色	4mm以下の長石・石英等の砂粒を少量含む	良好		
349	同上 S D315	口径 14.2	上内方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。体部内面上位に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ後ハケナデ(10本)。	茶灰褐色	8mm以下のチャート・長石・石英・角閃石等の砂粒を含む	良好		
五十四	S D315	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。体部中位に直径1.5×1.1cmの焼成後の穿孔を一つ有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(6本)、下位ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	外灰褐色 内茶灰色	2mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	完形 黒斑有		
350	同上 S D315	口径 13.6 器高 27.4	上外方に内彎気味に伸びる体部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味の平底。底部に穿孔を一つ有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラナデ、内面ナデ。	灰茶色	雲母・角閃石・石英・長石等の砂粒を多量に含む	良好	完形	
五十四	S D315	有孔鉢	口径 15.6 器高 8.25 底径 4.2	最大径を胴上位にもつ球形に近い体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しないくぼみ気味底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヘラケズリ、下位タタキ(4本)後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	茶灰色	4mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を多量に含む	良好	
352	甕 S D315	口径 13.5 器高 14.35 底径 3.5	最大径を胴上位にもつ球形に近い体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しないくぼみ気味底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヘラケズリ、下位タタキ(4本)後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	茶灰色	4mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を多量に含む	良好		
五十四	S D315	口径 12.0	体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	茶灰色	3mm以下の雲母・長石・角閃石等の砂粒を少量含む	良好		
354	同上 S D315	口径 13.0	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の長石・石英・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好		

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
355	甕 SD 315	口径 14.4	体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
356	同上 SD 315	口径 15.6	内上方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ。	暗灰茶色	5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
357	同上 SD 315	口径 16.0	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
358	同上 SD 315	口径 17.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
359 五十四	壺 SD 316	最大径 15.0	最大径を胴中位より下にもつ偏平な球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底部は小さい平底。体部内面上位に二本、下位に一本の接合痕を有す。胴中位に直径 1.7×0.85の焼成後の穿孔を有す。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	外 茶灰色 内 灰茶色	4mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
360 五十五	同上 SD 316	最大径 15.0	体部は最大径を胴中位にもつ偏平な球形。底部は小さい上げ底。体部内外面中位に一本ずつの接合痕を有す。口縁部は欠損。 体部内外面不明。	淡赤褐色	2mm以下の長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
361 五十五	同上 SD 316	口径 9.5	口縁部は上外方に伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	茶褐灰色	1mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	
362 五十五	同上 SD 316	口径 14.0	内上方に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラミガキ、内面不明。体部内面指頭痕。	淡茶灰色	5mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	品種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
363	壺 SD 316	口径 13.0	口縁部は上外方に伸びる。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	茶灰色	長石・石英・角閃石等の粗砂粒を含む	良好	
364	同上 SD 316	口径 14.2	体部から丸く屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内面にヘラ記号を有す。 口縁部内外面ハケナデ(9本)後ヨコナデ。	外 内 乳茶色 茶灰色	3mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
365	同上 SD 316	口径 14.5	球形と思われる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 頸部・体部中位内面に一本ずつの接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ後ハケナデ、体部外面ハケナデ(5本)、内面ヘラナデ。	外 内 淡黒褐色 黑灰褐色	雲母等の微砂粒を含む	良好	
五十五							
366	同上 SD 316	口径 13.0 器高 29.1 底径 5.6	球形の体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出する平底。体部内面に九本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ後ヨコナデ、体部外面ハケナデ(5本)後ヘラミガキ内面ナデ。	淡灰褐色	3mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着 黒斑有
五十五							
367	同上 SD 316	口径 16.6	上内方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 体部は下位欠損。頸部・体部中位内面に一本ずつの接合痕を有す。 口縁部内外面不明、体部外面上位不明、下位タタキ、内面不明。	淡茶色	4mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	
五十五							
368	同上 SD 316	口径 13.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、直上して伸びた後屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外方に肥厚する。体部は欠損。 頸部外面に一本、体部上位内面に二本の接合痕を有す。 口縁部内外面ハケナデ(6本)後ヨコナデ。体部外面タタキ(3本)後ナデ、内面ハケナデ後ナデ。	茶灰色	3mm以下の長石・角閃石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	黒斑有
五十五							
369	同上 SD 316	口径 11.4	内上方に伸びる体部から丸く屈曲し、直上して伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面指頭痕・ヘラケズリ。	淡茶灰色	長石・石英等の微砂粒を含む	良好	
370	同上 SD 316	口径 18.6	口縁部は外上方に外反して伸びる。端部は垂下し、面をもつ。体部は欠損。 口縁端部内外面ヨコナデ、口縁部内外面ハケナデ(5本)後ヨコナデ。	乳灰茶色	3mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
371	壺 SD 316	口径 24.0	口縁部は外上方に外反気味に伸びる。端部は垂下し、面をもつ。内外面全体に波状文を施す。体部は欠損。 口縁部内外面ナデ。	外 淡灰茶 色 内 茶灰色	4mm以下の 長石等の砂 粒を含む	良好	煤付着
372	同上 SD 316	口径 27.0	口縁部は外上方に外反して伸びる。端部は垂下し、面をもつ。体部は欠損。 口縁端部外面ヨコナデ、内面ヘラミガキ、 口縁部内外面ヘラミガキ。	茶灰色	長石・石英 ・雲母等の 微砂粒を含 む	良好	
373	同上 SD 316	口径 9.9	口縁部は外上方に外反して二段に屈曲して伸びる。端部は外傾する浅い凹面をもつ。屈曲部に鈍い稜をもつ。体部は欠損。頸部外面にヘラ先によるキザミ目を有す。屈曲部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ後ハケナデ(6本)、内面ヨコナデ。	灰褐色	8mm以下の 角閃石・雲 母・長石等の 砂粒を含む	良好	黒斑有
374	同上 SD 316	口径 15.0	口縁部は二段に屈曲し、上外方に伸びる。端部はつまみ、面をもつ。体部は欠損。口縁端部外面に波状文、口縁部外面にヘラによるヘラ模様を施す。 口縁部内外面ヘラミガキ。	茶灰色	2mm以下の 長石・雲母 ・石英等の 砂粒を含む	良好	
五十五							
375	同上 SD 316	口径 15.8	直上する頸部より屈曲し、外上方に伸びた後、さらに屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、頸部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 少量含む	良好	
五十五							
376	同上 SD 316	口径 12.6	口縁部は外上方に外反して伸びる。端部は上下に肥厚し、面をもつ。下部ははりつけ。内外面に波状文を施す。体部は欠損。 口縁部内外面ナデ、ヘラミガキ。	褐灰色	2mm以下の チャート・ 石英・長石 ・雲母等の 砂粒を含む	良好	
五十六							
377	同上 SD 316	口径 17.4	375と同形態で口縁の屈曲はおだやかである。屈曲部に鈍い稜をもち、上に波状文(10本)後円形浮文(2個/単位を10単位)を施す。端部付近内外面に波状文(10本ずつ)、頸部にはりつけ突帯のキザミ目を施す。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面タテヘラミガキ 頸部外面タテヘラミガキ、内面ヨコヘラミガキ、指頭痕。	淡褐色	長石・雲母 ・角閃石・ 赤褐色酸化 粒等の微砂 粒を含む	良好	
五十六							
378	同上 SD 316	口径 17.2	377と同形態で、屈曲部に鈍い稜をもち、上に波状文(12本)、後円形浮文(2個/単位を10単位)を施す。端部付近内外面に波状文(12本ずつ)、頸部にはりつけ突帯のキザミ目、肩部に横描直線文(3条)、波状文(2条)を(12本ずつ)交互施し、その後頸部付近に円形浮文(2個/単位を5単位)を施す。体部内面上位一本の接合痕を有す。体部は下位欠損。 外面口縁部ヨコヘラミガキ、頸部タテヘラ ミガキ。内面白縁部タテヘラミガキ、頸部タテ ヘラミガキ、体部しばりめ・ナデ・指頭痕。	淡褐色	長石・雲母 ・角閃石等の 微砂粒を 含む	良好	
五十六							

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
379 五十六	壺 S D 316	底 径 2.85	体部は胴中位に最大径をもつ球形に近い。口縁部は欠損。底部は小さい上げ底。頸部外面にはりつけ突帯のキザミ目を施す。体部下位に直径1.9×1.15cmの焼成後の穿孔を有す。頸部内面に二本の接合痕を有す。 頸部外面ヘラミガキ、内面ナデ、体部外面上位ヘラミガキ、下位不明、内面上位指頭痕、他不明。	褐色	3mm以下の雲母・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
380 五十六	鉢 S D 316	口径 15.4 器高 5.9 底 径 4.0	楕形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は突出するくぼみ底。 内外面ナデ。	灰茶色	5mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	完形
381 五十六	同 上 S D 316	口径 13.2 器高 6.1	楕形の体部から直上して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は突出しない平底。 内外面ヘラミガキ。	茶灰色	2.5mm以下の長石・雲母・石英等の微砂粒を含む	良好	完形
382 五十六	同 上 S D 316	口径 15.0 器高 7.2	深い楕形の体部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない小さい平底。外面の一部に赤色顔料を施す。 外面ハケナデ(12本)、内面ハケナデ後ヘラミガキ。	淡褐色	2mm以下の長石・雲母・角閃石・石英等の砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
383 五十六	同 上 S D 316	口径 15.6 器高 6.4	楕形の体部からわずかに屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 内外面ハケナデ(6本)後ヘラミガキ。	淡褐色	雲母・長石・赤褐色酸化粒・石英・角閃石等の微砂粒を少量含む	良好	完形 黒斑有
384 五十七	同 上 S D 316	口径 8.9 器高 5.9	球形に近い体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ハケナデ後ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラケズリ。	外 淡褐色 内 茶灰色	2mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	完形
385 S D 316	同 上	口径 10.8 器高 7.75 底 径 1.6	偏平な半球形の体部から外反気味に直上して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は突出気味の上げ底。 口縁部内外面ヘラミガキ、体部外面上位ヘラミガキ、下位不明、内面ナデ、底部内面ヘラナデ。	茶灰色	3mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を少量含む	良好	
386 S D 316	同 上	口径 9.0	内彎して上内方に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 内外面不明。	淡茶灰色	2.5mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
387	鉢 SD 316	口径 10.8	内彎して上内方に伸びる体部から屈曲し、上外方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面不明。	茶灰色	3mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
388	同上 SD 316	口径 11.0	体部から屈曲し、上外方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗灰茶色	角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
389	同上 SD 316	口径 12.8	内彎して上外方に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	茶灰色	2mm以下の長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
390	同上 SD 316	口径 18.9	半球形と思われる体部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面不明。	褐灰色	3.5mm以下の長石・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	
391	同上 SD 316	口径 13.0	半球形と思われる体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	茶灰色	2mm以下の長石・チャート等の砂粒を少量含む	良好	
392	同上 SD 316	口径 11.0	直上に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面不明。	茶灰色	3mm以下の長石・雲母・角閃石・石英等の砂粒を含む	良好	
393	同上 SD 316	口径 18.9	上外方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ナデ。	外 暗灰褐色 内 褐灰色	3.5mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	
394	同上 SD 316	口径 1414 器高 9.1	深い半球形の体部から丸く屈曲し、外上方に伸びた後屈曲して直上する口縁部に至る。端部は上に長くつまみ、外に面をもつ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	茶灰色	6mm以下の石英・長石・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
395	鉢 S D 316	口径 20.4	直上して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びた後短く屈曲して上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
396 五十七	同上 S D 316	口径 28.2 器高 21.3 底径 6.4	肩部に張りのある球形に近い体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味のくぼみ底。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)後ヘラミガキ、内面ハケナデ後ナデ。	淡灰茶色	石英・長石・チャート・赤褐色酸化粒等の細砂粒を多量に含む	良好	完形
397 五十七	有孔鉢 S D 316	口径 15.4 器高 11.2 底径 3.6	内弯して上外方に伸びる体部から口縁部に至る。端部は鋭く尖る。底部は突出気味の平底。底部に穿孔を一つ有す。 体部外面タタキ(3本)後ハケナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	6mm以下の砂粒を多量に含む	良好	完形
398 五十七	器台 S D 316	口径 23.0 器高 18.1 底径 18.5	受部は二段に屈曲し、外反して外上方に伸びる。端部は上下に肥厚し、外に面をもつ。 屈曲部は稜をもち、上に円形竹管文、その上に波状文(15本)を施す。端部付近外面(15本、7本)に二条、内面(12本)、端部面(6本)に波状文を施す。脚部は長い桂状部より二段に屈曲し、外反して外下方に伸びる裾部に至る。 裾端部は上に肥厚し、面をもつ。屈曲部を鈍い稜をもち、下に円形竹管文を施し、その下に三方孔を有す。受部と脚部は貫通する。 口縁端部ヨコナデ、口縁部外面ハケナデ、内面ヘラミガキ、桂状部・脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ後ヨコナデ、裾端部ヨコナデ。	淡茶褐色	2mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を含む	良好	
399 五十七	同上 S D 316	口径 9.8 器高 7.25 底径 11.0	受部は浅く、内弯気味に外上方して伸びる口縁部に至る。端部は内方に若干肥厚し、外傾する面をもつ。桂状部は直接的に伸びた後内弯して下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。裾部上位に三方孔を有す。受部と脚部は貫通する。 受部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	褐灰色～赤褐色	長石・雲母・角閃石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を少量含む	良好	完形
400 五十七	同上 S D 316	口径 8.0 器高 7.0 底径 11.0	受部は外上方に伸びる口縁部に至る。端部は垂下し、面をもつ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。受部と脚部は貫通する。 受部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	茶灰色	3mm以下の角閃・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	完形
401 五十七	同上 S D 316	口径 8.8 器高 7.5 底径 11.0	受部は外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。受部と脚部は貫通する。 脚部上位に四方孔を有す。 受部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	完形
402 五十七	同上 S D 316	口径 8.7 器高 8.2 底径 10.85	受部は外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。受部と脚部は貫通する。 脚部上位に四方孔を有す。 受部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ、裾端部内面ヨコナデ。	乳褐色	2mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
403 五十八	器台 SD 316	口径 9.3 器高 9.4 底径 10.3	受部は上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。受部と脚部は貫通する。脚部上位に三方孔を有す。裾端部内面に一本の接合痕を有す。 受部外面ヘラナデ後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(8本)。	茶褐色	5mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	完形
404 五十八	同上 SD 316	口径 10.6 器高 12.4 底径 10.8	受部は外上方に伸びる口縁部に至る。端部は垂下し、面をもつ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は鈍く尖る。受部と脚部は貫通する。脚部中位に三方孔を有す。 受部外面ヨコナデ。受部内外面ハケナデ後ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面上位ナデ、下位ハケナデ(5本)。	外 淡茶灰色 内 淡灰茶色	石英等の微砂粒を含む	良好	完形
405 五十八	同上 SD 316	口径 8.85 器高 7.05 底径 10.15	受部は内彎気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は受部から外反気味に下外方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に三方孔を有す。 受部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ。	黒褐色～暗乳灰褐色	3mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形
406 五十八	同上 SD 316	口径 8.9 器高 9.6 底径 9.9	受部は内彎気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまむ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 受部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文、脚部上位ヘラケズリ後ヘラミガキ、下位ヘラミガキ後ハケナデ(10本)、内面しづりめ・ハケナデ。	淡茶灰色	2mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を少量含む	良好	完形
407 五十八	同上 SD 316	口径 10.0 器高 9.0 底径 10.8	受部は内彎して外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。脚部は下外方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 受部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文、脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ。	淡茶灰色	長石・石英・角閃石等の微砂粒を少量含む	良好	完形
408 五十八	同上 SD 316	口径 9.0 器高 8.6 底径 8.9	受部は内彎して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 受部外面ヨコナデ、受部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ、脚端部内外面ヨコナデ。	茶灰褐色	長石・石英等の微砂粒を含む	良好	完形
409 五十八	同上 SD 316	口径 9.1 器高 10.1 底径 10.8	受部は内彎気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまむ。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 受部外面ヘラミガキ、内面不明、脚部外面不明、内面上位ヘラナデ、下位不明。	淡茶灰色	長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	完形
410 五十八	同上 SD 316	口径 9.7 器高 10.4 底径 10.7	受部は内彎して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は受部から下外方に伸びる。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 受部内外面不明、脚部外面ハケナデ(9本)、内面ナデ。	乳褐色～乳赤褐色	2mm以下の雲母・長石等の砂粒を含む	良好	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
411	器台 S D 316	口径 9.2 器高 8.0 底径 10.6	受部は斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあける。脚部は受部から外反気味に外下方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に三方孔を有す。 受端部外面ヨコナデ、受部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ、脚端部内面ヨコナデ。	茶灰色	1mm以下の 石英・角閃 石・長石・ 雲母等の砂 粒を含む	良好	完形
412	高坏 S D 316	口径 8.5 器高 7.05 底径 14.8	楕形の坏部から上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。裾部は短い柱状部から外下方に口径を凌ぐ大きさに伸びる。端部は丸い。裾部中位に四方孔を有す。 坏部内外面ヘラミガキ、柱状部外面ヘラミガキ、裾部外面不明、内面ナデ。	茶灰色	長石・石英 ・角閃石等 の微砂粒を 少量含む	良好	完形
五十九	同上 S D 316	口径 11.3 器高 8.7 底径 17.4	楕形の坏部から上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。裾部は短い柱状部から外下方に口径を凌ぐ大きさに伸びる。端部は丸い。裾部中位に四方孔を有す。 口縁部外面ヨコナデ、坏部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文、裾部外面不明、内面ハケナデ(6本)。	淡茶褐色	長石・雲母 ・石英等の 微砂粒を含 む	良好	完形
414	同上 S D 316	口径 11.7	楕形の坏部から上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 坏部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文。	淡灰茶色	長石・石英 等の微砂粒 を少量含む	良好	完形
415	同上 S D 316	底径 15.0	坏部は欠損。裾部は外上方に内彎気味に伸び、端部は丸い。裾部中位に四方孔を有す。 裾部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	茶灰色	微砂粒を多 量に含む	良好	
416	同上 S D 316	底径 17.0	坏部は欠損。裾部は柱状部から外下方に伸び、端部は丸い。裾部中位に四方孔を有す。 裾部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(6本)。	茶灰色	長石・石英 ・角閃石・ 雲母等の微 砂粒を少量 含む	良好	
417	同上 S D 316	底径 18.1	坏部は欠損。裾部は短い柱状部から外下方に伸び、端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 坏部外面ヘラミガキ、内面ナデ、脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(6本)。	外 茶灰色 内 淡茶色	5mm以下の 砂粒を多量 に含む	良好	
418	同上 S D 316	底径 18.2	坏部は欠損。裾部は短い柱状部から外下方に内彎気味に伸び、端部は丸い。裾部中位に四方孔を有す。 柱状部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、裾部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 長石・石英 等の砂粒を 含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高 底 径	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
419	高 坯	口 径 12.2 器 高 14.6 底 径 8.2	楕形の坏部から上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 坏部外面ヘラミガキ、内面ナデ後ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	褐灰色	2mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	完形
五十九	S D 316						
420	同 上	口 径 11.4	楕形の坏部から途中鈍い稜をもち、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。柱状部は下外方に伸びる。裾部は欠損。 内外面不明。	暗茶灰褐色	4mm以下の長石等の砂粒を多量に含む	良好	
五十九	S D 316						
421	同 上	口 径 12.35	深い楕形の坏部から坏底部に鈍い段をもち、上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は坏部から外反して下外方に伸びる。端部は欠損。脚部下位に四方孔を有す。 坏端部内外面ヨコナデ、坏部外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡茶灰色	長石等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着 赤色顔料有り、(坏部内面)
五十九	S D 316						
422	同 上	口 径 21.0	坏部は平らに近い坏底部から上外方した後屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまむ。脚部は欠損。 坏部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文。	淡赤茶色	2mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
	S D 316						
423	同 上	口 径 23.4	坏部は平らに近い坏底部から上外方した後屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外に小さい面をもつ。脚部は欠損。 坏部外面ハケナデ(7本)後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文。	赤茶色	長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
	S D 316						
424	同 上	口 径 21.4	坏部は平らに近い坏底部から上外方した後屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外に面をもつ。柱状部は下外方に長く伸びる。裾部は欠損。 坏部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ後ヘラミガキ、柱状部外面不明、内面しづり目。	淡茶灰色	2.5mm以下の雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
	S D 316						
425	同 上	口 径 20.8 器 高 14.6 底 径 14.0	坏部は平らに近い坏底部から屈曲し、外上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。端部附近内外面に波状文(22本ずつ)を施す。裾部は下外方に長く伸びる柱状部から屈曲して外下方に伸び、途中鈍い稜をもつ。端部は丸い。裾部外面に波状文(11本・7本)を二条施す。脚部上位に四方孔を有す。 坏部内外面ヘラミガキ、柱状部外面ヘラミガキ、内面くりぬき、脚部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ。	茶褐色	長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	
五十九	S D 316						
426	同 上	口 径 21.4 器 高 14.7 底 径 13.5	坏部は平らに近い坏底部から屈曲し、斜上方に外反氣味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。裾部は下外方する柱状部から外反して外下方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 坏部内外面ヘラミガキ、柱状部外面ヘラミガキ、脚部外面ヨコナデ、内面ナデ。	黄褐色～茶褐色	長石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を少量含む	良好	
五十九	S D 316						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高 底径	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
427 五十九	高坏 S D316	口径 22.6 器高 13.5 底径 14.0	环部は外上方する环底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。屈曲部に鈍い稜をもつ。端部は丸い。脚部は柱状部から外下方に外反して伸び裾部に至る。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 环部外面ヘラミガキ、柱状部外面ヘラミガキ、脚部外面ハケナデ(9本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	外 茶灰色 内 暗灰褐色	3mm以下の 雲母等の砂粒を含む。	良好	完形
428 六十	同上 S D316	口径 24.4 器高 14.0 底径 14.8	环部は平らな环底部から外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は柱状部から外上方に外反気味に伸び裾部に至る。端部は丸い。脚部上位に三方孔を有す。 环部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面上位ヘラナデ、下位ヨコナデ。	暗褐茶色	3mm以下の 長石・石英等の砂粒を含む	良好	
429 六十	同上 S D316	口径 24.0	环部は平らな环底部から屈曲して斜上方に伸びる。端部は鈍く尖る。柱状部は下外方する。裾部は欠損。 环部内外面不明、柱状部外面不明、内面くりぬき。	淡茶灰色	長石・角閃石・石英・チャート等の微砂粒を少量含む	良好	完形
430 六十	同上 S D316	口径 23.2 器高 15.0 底径 15.5	环部は平らな环底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。裾部は下外方に伸びる柱状部から屈曲して下外方に伸びる。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 环部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文、柱状部外面ヘラミガキ、内面くりぬき、脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(9本)。	茶灰色	長石・石英・角閃石・雲母等の微砂粒を含む	良好	完形
431 六十	同上 S D316	口径 23.1 器高 15.7 底径 16.0	环部は平らに近い环底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。裾部は下外方に伸びる柱状部から屈曲して外下方に内彎気味に伸びる。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 环部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文、柱状部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面しづりめ、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	茶灰色	長石・角閃石・雲母・石英等の微砂粒を少量含む	良好	完形
432 六十	同上 S D316	口径 23.8	环部は平らな环底部から屈曲して、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。柱状部は下外方に伸びる。裾部は欠損。 环部外面ハケナデ(6本)後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文、柱状部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ後ハケナデ、内面くりぬき。	茶灰色	長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	黒斑有
433 六十	同上 S D316	口径 23.0	环部は平らに近い环底部から屈曲して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。柱状部は下外方に伸びる。裾部は欠損。 环部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文、柱状部外面不明、内面しづりめ。	茶灰色	3mm以下の 長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
434 六十	同上 S D316	口径 23.3 器高 14.15 底径 16.0	环部は平らな环底部から屈曲して斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。裾部は下外方に伸びる柱状部から屈曲し、外下方に伸びる柱状部から屈曲して外下方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 环部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	外 淡灰茶色 内 茶灰色	3mm以下の 長石等の微砂粒を含む	良好	煤付着 赤色顔料有り

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
435	高坏	口径 24.6 器高 16.4 底径 17.2	坏部は平らに近い坏底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。裾部は柱状部から外反して外下方に伸びる。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 坏部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	褐灰色	長石・チャート・雲母・角閃石等の微砂粒を含む	良好	完形 赤色顔料有 (坏部内面)
六十一	S D316						
436	同上	口径 23.4 器高 17.0 底径 15.8	坏部は平らに近い坏底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。裾部は下外方に伸びる柱状部から屈曲して外下方に伸びる。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。 内外面ハケナデ(9本)。	淡茶色	微砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
六十一	S D316						
437	同上	口径 23.25	坏部は小さい坏底部から屈曲して外上方した後上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 坏部内外面ヘラミガキ。	外茶灰色 内压茶色	5mm以下の長石・チャート等の砂粒を含む	良好	黒斑有
六十一	S D316						
438	同上	口径 20.4	坏部は平らに近い小さい坏底部から屈曲して上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。柱状部は直下する。脚部は欠損。 内外面不明。	淡茶灰色	3mm以下の長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
	S D316						
439	同上	口径 22.0	坏部は平らな坏底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 坏部内外面ヘラミガキ。	淡茶灰色	長石・雲母・角閃石等の微砂粒を少量含む	良好	
六十一	S D316						
440	同上	口径 19.6	坏部は平らな坏底部から屈曲して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 坏部内外面ヘラミガキ。	淡茶灰色	長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	
	S D316						
441	同上	口径 19.2	坏部は平らな坏底部から屈曲して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。脚部は欠損。 坏部外面ヘラミガキ、内面不明。	淡茶灰色	5mm以下の長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
	S D316						
442	同上	口径 23.0	坏部は平らな坏底部から屈曲して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。脚部は欠損。 坏部内外面ヘラミガキ。	淡茶灰色	4mm以下の石英・チャート・長石等の砂粒を含む	良好	
	S D316						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
443	高杯 S D 316	口径 23.0°	環部は平らな環底部から屈曲して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。環部内外面ヘラミガキ。	茶灰色～暗灰褐色	3.5mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	
444	同上 S D 316	口径 23.8	環部は環底部から屈曲して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。環部外面ヘラミガキ、内面不明。	淡茶灰色	5mm以下の石英・長石・チャート等の砂粒を少量含む	良好	
445	同上 S D 316	口径 26.4	環部は平らに近い環底部から屈曲して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。環部内外面ヘラミガキ。	淡茶黄色	3mm以下の長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
446	同上 S D 316	口径 20.15	環部は平らに近い環底部から屈曲して斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。環部外面ヘラミガキ、内面不明。	外 乳茶褐色 内 乳灰茶褐色	2mm以下の砂粒を含む	良好	
447	同上 S D 316	底径 15.0	環部は欠損。脚部は直下する柱状部から屈曲して外下方して伸び、裾部に至る。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	茶灰色	4mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
448	同上 S D 316	底径 15.75	環部は欠損。脚部は柱状部から外反して外下方に伸び、裾部に至る。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。脚部上面に一本の接合痕を有す。脚部外面ヘラミガキ、内面上位ナデ、下位ヨコナデ。	淡茶灰色	3mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を少量含む	良好	
449	同上 S D 316	底径 16.6	環部は欠損。脚部は柱状部から外反気味に外下方して伸び、裾部に至る。端部は丸い。脚部上位に四方孔を有す。脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ、裾部外面ヨコナデ。	淡茶灰色	3mm以下のチャート・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
450	製塩土器 S D 316	底径 4.8	体部は欠損。脚部は外下方に外反気味に伸びる。端部は丸い。内外面ナデ・指頭痕。	外 赤褐色～淡褐灰色 内 赤褐色 黑灰色	微砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
451 六十一	甕 S D316	口径 9.6 器高 10.1	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は尖り気味底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面不明、体部外面上位ヘラミガキ、下位ハケナデ、内面不明。	乳茶褐色	長石・石英・角閃石等の微砂粒を少量含む	良好	完形
452 六十一	同上 S D316	口径 12.2 器高 14.5	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、上外方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。体部内面中位に二本の接合痕を有す。 口縁部外面不明、内面ヨコナデ、体部外面上位不明、下位ヘラナデ、内面ヘラナデ。	外 淡茶褐色 内 淡茶灰褐色	5mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
453 六十一	同上 S D316	口径 12.0 器高 13.6 底径 1.9	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に短く伸びる口縁部に至る。端部は外方にわずかに肥厚する。底部は突出しない小さい平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヨコナデ、下位ナデ、内面ナデ、一部指頭痕。	淡褐灰色	長石・雲母・石英等の微砂粒を含む	良好	黒斑有
454 六十一	同上 S D316	口径 11.2 器高 13.95 底径 2.8	球形に近い体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味の平底。体部内面下位に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ナデ、下位ヘラケズリ、内面ヘラナデ。	淡褐茶色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
455 六十二	同上 S D316	口径 12.3 器高 12.6 底径 3.3	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出する平底。 口縁部内外面ハケナデ(7本)、体部外面上・中位タタキ(8本)後ハケナデ、下位タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	淡灰褐色	2.5mm以下の長石・雲母・角閃石・石英等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着 黒斑有
456 六十二	同上 S D316	口径 12.4 器高 11.8 底径 2.2	球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味の平底。体部内面下位に一本の接合痕有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上・中位ハケナデ(8本)、下位不明、内面ヘラケズリ。	茶褐色	3mm以下の石英・長石・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	完形
457 六十二	同上 S D316	口径 12.4 器高 14.0 底径 3.7	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味の平底。頸部・体部内面下位に一本ずつ接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上タタキ(3本)、内面ナデ。	茶褐色	5mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
458 六十二	同上 S D316	口径 14.8 器高 18.4 底径 3.9	球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味のくぼみ底。体部下位に0.4×2.3の横に長い焼成後の穿孔を有す。体部内外面下位に一本ずつ接合痕を有す。 口縁部内外面ハケナデ後ヨコナデ、体部外面上タタキ(4本)、内面ヘラナデ、底部ナデ。	外 灰茶褐色 内 茶色	長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高 底径	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
459 六十二	甕 S D316	口径 11.8 器高 11.6 底径 2.1	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。体部内面下位に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上・中位ナデ、下位ヘラケズリ、内面ヘラナデ。	茶灰色	5mm以下の 角閃石・長 石・石英・ 雲母等の砂 粒を多量に 含む	良好	完形 黒斑有
460 六十二	同上 S D316	口径 12.2 器高 10.7 底径 2.4	球形の体部から屈曲し、内輪気味に上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味の平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上タタキ(3本)後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 角閃石・長 石・雲母等の 砂粒を含む	良好	完形 煤付着
461 六十三	同上 S D316	口径 11.6 器高 9.1 底径 1.2	最大径を胴上位にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部外面指頭痕、 体部外面上タタキ後ハケナデ(6本)、内面ヘラ ケズリ、底部外面ナデ。	外 乳茶褐色 内 暗灰褐色	4mm以下の 雲母・長石・ 角閃石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形 煤付着
462 六十三	同上 S D316	口径 12.15 器高 10.95 底径 1.7	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は突出しない上げ底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上タタキ(4本)後ハケナデ、内面ヘラナデ、底部外面ナデ。	茶褐色	1mm以下の 長石・石英・ 雲母等の砂 粒を含む	良好	完形
463 六十三	同上 S D316	口径 12.3 器高 12.4 底径 1.9	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)後ナデ、下位タタキ後ハケナデ(9本)、内面ヘラナデ、底部外面ナデ。	茶褐色	2mm以下の 雲母・長石・ 石英等の砂 粒を含む	良好	完形
464 六十三	同上 S D316	口径 12.6 器高 11.2 底径 1.6	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しないくぼみ底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラナデ。	茶灰色	3mm以下の 雲母・長石・ 角閃石・ 石英等の砂 粒を少量含 む	良好	完形 黒斑有
465 六十三	同上 S D316	口径 12.4 器高 12.7 底径 2.4	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は内外方に肥厚し、面をもつ。底部は突出しない平底。 口縁部外面上タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)後ナデ、下位ヘラケズリ、内面ヘラナデ。	乳灰褐色	5mm以下の 角閃石・長 石・石英・ 雲母等の砂 粒を含む	良好	完形 煤付着
466 六十三	同上 S D316	口径 12.7 器高 9.7 底径 2.6	最大径を胴上位にもつ扁平な球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は突出しないくぼみ底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ、下位不明、内面ヘラナデ。	外 暗茶褐色 内 茶褐色	3mm以下の 角閃石等の 砂粒を含む	良好	完形 煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
467	甕	口径 12.8 器高 12.55	球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は突出しない小さいくぼみ底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	淡褐茶色	2.5mm以下の長石・雲母・角閃石等の砂粒を多量に含む	良好	完形 煤付着
六十四	S D 316						
468	同上	口径 13.6	最大径を胴上位にもつ球形と思われる体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	暗茶灰色	2mm以下の雲母・長石・角閃石等の砂粒を含む	良好	煤付着
六十四	S D 316						
469	同上	口径 13.8 器高 11.25	最大径を胴上位にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外につまむ。底部は突出しない小さいくぼみ底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラナデ。	淡褐茶色	2mm以下の長石・角閃石・石英・雲母等の砂粒を少量含む	良好	完形 煤付着
六十四	S D 316						
470	同上	口径 14.7 器高 11.1	最大径を胴上位にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は突出しない小さい平底。 頸部(体部内面下位)に一本ずつ接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(3本)、下位不明、内面ヘラナデ。	茶褐色	5mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
六十四	S D 316						
471	同上	口径 16.1 器高 19.5 底径 1.9	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない小さい上げ底。 体部外面下位に二本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラナデ。	茶褐色～暗灰褐色	6mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
六十四	S D 316						
472	同上	口径 13.0 器高 14.9 底径 3.6	最大径を胴中位より上にもつ楕円形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ハケナデ(8本)、体部外面上位タタキ(3本)、下位ハケナデ、内面ヘラナデ、底部内面指頭痕。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
六十四	S D 316						
473	同上	口径 10.3	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する小さい面をもつ。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本)、体部外面不明、内面ハケナデ。	茶褐色	3mm以下の長石・チャート・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
	S D 316						
474	同上	口径 12.0	球形と思われる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、一条の沈線をもつ。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(2本)、下位ヘラミガキ、内面上位ナデ、下位ヘラナデ。	暗灰茶色	角閃石・雲母・石英等の微砂粒を含む	良好	煤付着
	S D 316						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
475	甕	口径 12.8	球形と思われる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ナデ、内面ヘラナデ。	淡褐茶色	2.5mm以下の長石、石英等の砂粒を少量含む	良好	黒斑有
六十五	S D 316						
476	同 上	口径 10.8	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(8本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラナデ。	茶灰色	3.5mm以下の雲母・長石・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	
	S D 316						
477	同 上	口径 10.8	内彎気味に直上する体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ナデ、内面ナデ。	淡茶灰色	長石・角閃石・チャート等の微砂粒を少量含む	良好	
	S D 316						
478	同 上	口径 11.0	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上下に肥厚し、面をもつ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ナデ、内面ナデ。	暗灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
	S D 316						
479	同 上	口径 11.8	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。頸部・体部内面上位に一本ずつ接合痕を有す。 口縁部内外面ナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	茶褐灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
六十五	S D 316						
480	同 上	口径 12.4	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	灰茶色	5mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着
	S D 316						
481	同 上	口径 12.2	内彎して直上する体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	茶灰色	3mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を少量含む	良好	
	S D 316						
482	同 上	口径 13.0	内彎して直上する体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。頸部・体部内面上位に一本ずつ接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	4mm以下の雲母・角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着
六十五	S D 316						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
483	甕 S D316	口径 13.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反気味に上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。体部内面上位に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ヘラナデ。	淡茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を少量含む	良好	
484	同上 S D316	口径 13.2	直上に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ、中位不明、内面ヘラナデ。	茶灰色	4mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
六十五	S D316	口径 13.6	内上方に伸びる体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ナデ、内面ナデ。	淡茶灰色	6mm以下のチャート・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着
485	同上 S D316	口径 13.6	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ナデ。	茶灰色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
486	同上 S D316	口径 14.4	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ナデ。	茶灰色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
487	同上 S D316	口径 14.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は下位欠損。口縁部・体部外面上位に一本ずつの接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ・指頭痕。	外 暗灰褐色 内 赤褐色～黒灰色	微砂粒を含む	良好	
六十五	S D316	口径 12.8	球形と思われる体部から屈曲し、内彎気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)後ハケナデ(8本)、下位タタキ後ナデ、内面ヘラナデ。	外 茶灰色 内 暗灰褐色	5mm以下の角閃石等の砂粒を含む	良好	
489	同上 S D316	口径 15.6	最大径を胴中位より上にもつ橢円形と思われる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(8本)、内面ヘラナデ。	灰褐色～淡茶灰色	3mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
六十五	S D316	口径 11.8 器高 16.3 底径 1.5	最大径を胴中位より上にもつ橢円形の体部から屈曲し、上外方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は突出しない小さい平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(10本)、内面ヘラケズリ。	褐茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	完形 煤付着
六十六	S D316						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
491	甕	口径 14.0 器高 14.1	球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は突出しない小さいくぼみ底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	褐灰色	5mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	黒斑有
六十六	S D316						
492	同上	口径 15.4 器高 12.1	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(5本)、内面ハケナデ後ヘラケズリ。	茶灰色	4mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を多量に含む	良好	完形 煤付着
六十六	S D316						
493	同上	口径 17.8 器高 20.6	胴中位に張りのある球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する小さい面をもつ。底部は突出しない小さい平底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(4本)、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(4本)、内面ヘラナデ。	茶灰色	3mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	完形 煤付着
六十六	S D316						
494	同上	口径 11.6	直上に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ナデ、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
	S D316						
495	同上	口径 12.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外方に若干肥厚する。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
	S D316						
496	同上	口径 13.3	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(9本)、内面ヘラケズリ。	灰茶	石英・長石等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着
	S D316						
497	同上	口径 13.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
	S D316						
498	同上	口径 11.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	外 暗灰茶色 内 淡茶灰色	角閃石等の微砂粒を含む	良好	
	S D316						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
499	甕 S D 316	口径 13.8	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	角閃石・石英・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
500	同上 六十六 S D 316	口径 13.7	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗褐色	4mm以下の雲母・角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
501	同上 六十六 S D 316	口径 14.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	4mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着
502	同上 六十七 S D 316	口径 18.0 器高 22.85	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ(一部ヘラケズリ)、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(6本)、内面上位ナデ後ハケナデ、下位ヘラケズリ。	外 暗茶灰色 内 暗灰褐色	5mm以下の砂粒を多量に含む	良好	煤付着 黒斑有
503	同上 六十七 S D 316	口径 17.0	球形と思われる体部から屈曲し、段をもつて上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。頸部内面に三本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	外 暗灰茶色 内 茶灰色	5mm以下の角閃石等の砂粒を含む	良好	
504	同上 六十七 S D 316	口径 11.6 器高 13.1	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)、中位ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	完形
505	同上 六十七 S D 316	口径 12.4 器高 11.8	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)、下位ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	外 淡灰褐色 内 灰色	長石・石英・雲母等の細砂粒を含む	良好	完形 黒斑有
506	同上 六十七 S D 316	口径 12.3 器高 14.6	球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	上 灰色 下 茶褐色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
507 六十七	甕 S D316	口径 12.5 器高 12.95	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は小さい平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラケズリ。	茶褐色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	完形
508 六十八	同上 S D316	口径 12.8 器高 14.3	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・雲母・長石・石英等の微砂粒を含む	良好	完形 煤付着
509 六十八	同上 S D316	口径 13.0	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は欠損。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、下位ハケナデ後ナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶褐色	4mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	やや良	煤付着
510 六十八	同上 S D316	口径 13.4 器高 15.3	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は尖り氣味底。 口縁部外面ヨコナデ、体部上位タタキ(5本)後ハケナデ(5本)、下位ナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	1.5mm以下の角閃石・雲母・石英・長石等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
511 六十八	同上 S D316	口径 13.6 器高 13.9	最大径を上位にもつ球形に近い体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみます。底部は尖り氣味底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、下位ハケナデ、内面ヘラケズリ。	乳灰褐色	雲母・角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	完形 煤付着
512 六十八	同上 S D316	口径 13.6 器高 13.0	最大径を上位にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
513 六十八	同上 S D316	口径 13.6	最大径を上位にもつ球形と思われる体部から屈曲し、外上方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
514 六十九	同上 S D316	口径 13.8 器高 15.8	最大径を中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗褐灰茶色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
515 六十九	甕 S D316	口径 14.2 器高 16.6	球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、下位ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	微砂粒を含む	良好	
516 六十九	同上 S D316	口径 14.2 器高 17.25	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は尖り氣味底。 口縁部外面ヨコナデ、頸部内面指頭痕、体部外面上位タタキ(10本)、下位タタキ後ハケナデ(9本)、内面ヘラケズリ。	外 暗茶灰色 内 黒褐色	3mm以下の角閃石等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
517 六十九	同上 S D316	口径 14.2 器高 16.4	最大径を上位にもつ球形に近い体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	3mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
518 六十九	同上 S D316	口径 14.4 器高 17.5	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は尖り氣味底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の砂粒を含む	良好	完形 煤付着 炭化物付着
519 六十九	同上 S D316	口径 14.5 器高 16.8	球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	乳茶褐色	4mm以上の長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形
520 七十	同上 S D316	口径 14.5 器高 16.1	最大径を胴中位よりやや上にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
521 七十	同上 S D316	口径 14.6 器高 16.1	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は尖り氣味底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)、下位ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	茶褐色	4mm以下の微砂粒を含む	良好	完形
522 七十	同上 S D316	口径 14.6 器高 15.9	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は小さい平底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面上位タタキ(6本)、下位ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を少量含む	良好	完形 煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
523 七十	甕 S D316	口径 14.95 器高 17.6	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は尖り気味底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	完形
524 七十	同上 S D316	口径 15.0 器高 20.5	楕円形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は尖り気味底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(7本)後ハケナデ(6本)、下位タタキ後ナデ、内面ヘラケズリ。	灰茶色	5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
525 七十	同上 S D316	口径 15.2 器高 17.1	球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
526 七十	同上 S D316	口径 15.2	球形と思われる体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(8本)後ナデ、内面ヘラケズリ。	灰茶色	角閃石・雲母・長石・石英等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着
527 七十一	同上 S D316	口径 15.4 器高 17.3	最大径を胴上位にもつ体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は突出しない小さい平底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	煤付着 炭化物付着
528 七十一	同上 S D316	口径 15.4 器高 20.35	最大径を胴中位より上にもつ体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ、一条の沈線を施す。底部は突出しない小さい平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ、底部外面タタキ。	暗茶灰色	角閃石・雲母・長石等の細砂粒を少量含む	良好	完形 煤付着 黒斑有
529 七十一	同上 S D316	口径 15.5 器高 17.0	球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は尖り気味底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(6本)、下位タタキ後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	茶褐色	砂粒を含む	良好	完形
530 七十一	同上 S D316	口径 16.05	最大径を胴中位より上にもつ球形に近い体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰褐色	長石・雲母等の細砂粒を多量に含む	良好	煤付着 炭化物付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
531 七十一	甕 S D316	口径 16.2 器高 17.4	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は尖り気味底。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着
532 七十一	同上 S D316	口径 16.6 器高 20.05	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は突出しない小さい平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(7本)後ナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	完形 煤付着
533 七十一	同上 S D316	口径 17.2 器高 23.9	最大径を胴中位より上にもつ楕円形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	完形 煤付着
534 七十二	同上 S D316	口径 17.6 器高 22.5	最大径を胴中位より上にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着 黒斑有
535 七十二	同上 S D316	口径 17.8 器高 27.7	楕円形の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	茶褐色	砂粒を含む	良好	完形 煤付着 炭化物付着
536 七十二	同上 S D316	口径 11.8	球形と思われる体部から屈曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(8本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
537 七十二	同上 S D316	口径 12.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
538 七十二	同上 S D316	口径 12.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上方方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗褐色	4mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
539	甕 S D316	口径 12.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	4mm以下の角閃石・長石等の砂粒を多量に含む	良好	
540	同上 S D316	口径 12.4	球形と思われる体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部下位、底部は欠損。口縁部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
541	同上 S D316	口径 12.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
542	同上 S D316	口径 12.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を多量に含む	良好	
543	同上 S D316	口径 13.05	体部から屈曲し、内彎気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面タタキ(4本)後ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)後ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
544	同上 S D316	口径 13.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
545 七十二	同上 S D316	口径 13.3	球形と思われる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみあげる。底部は欠損。口縁部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)、下位不明、内面ヘラケズリ。	外 赤褐色 内 暗褐灰色	3.5mm以下の砂粒を含む	良好	煤付着
546 七十二	同上 S D316	口径 13.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	灰褐色	角閃石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
547	甕 S D 316	口径 13.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	外 灰褐色 内 灰色	9mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
548	同 上 S D 316	口径 13.6	上内方に内彎する体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(5本)後ヨコナデ、内面ハケナデ(8本)、体部外面ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	角閃石・赤褐色酸化粒・長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	
549	同 上 S D 316	口径 13.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	灰色	5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
550	同 上 S D 316	口径 13.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ(9本)後ヨコナデ、中位タタキ(4本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	乳白茶色	4mm以下の長石・雲母・角閃石等の砂粒を少量含む	良好	
551	同 上 S D 316	口径 13.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(9本)、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	2mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
552	同 上 S D 316	口径 13.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(10本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	外 暗褐灰色 内 灰褐色	角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む	良好	煤付着
553	同 上 S D 316	口径 13.8	球形に近いと思われる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(10本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗褐灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着
554	同 上 S D 316	口径 14.0	球形に近いと思われる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部外面タタキ(5本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	3mm以下の雲母・角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
555	甕 S D316	口径 14.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみあげる。体部下は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	5mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
556	同上 七十三 S D316	口径 14.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	4mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
557	同上 S D316	口径 14.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(8本)、体部タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	乳褐色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	煤付着
558	同上 七十三 S D316	口径 14.1	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	外 淡灰茶色 内 淡灰色	2mm以下の角閃石等の砂粒を含む	良好	煤付着
559	同上 S D316	口径 14.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(7本)、中位ナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
560	同上 S D316	口径 14.2	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、内彎気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3.5mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
561	同上 S D316	口径 14.3	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	茶褐色	雲母・角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
562	同上 S D316	口径 14.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(4本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
563	甕 S D316	口径 14.5	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着
564	同上 S D316	口径 14.55	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方する口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
565	同上 S D316	口径 14.35	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	褐色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
566	同上 S D316	口径 14.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
567	同上 S D316	口径 14.6	球形と思われる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後一部ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
568	同上 S D316	口径 14.7	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	淡灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
569	同上 S D316	口径 14.6	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
570	同上 S D316	口径 14.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	3mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
571	甕 S D316	口径 15.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
572	同上 S D316	口径 15.0	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
573	同上 S D316	口径 15.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	煤付着
574	同上 S D316	口径 15.25	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰色	6mm以下の角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
575	同上 S D316	口径 15.2	球形に近いと思われる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
576	同上 S D316	口径 15.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
577	同上 S D316	口径 15.35	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	乳灰褐色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
578	同上 S D316	口径 15.65	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
579	甕 S D316	口径 15.7	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、内彎気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡灰色	雲母・長石・角閃石等の微砂粒を含む	良好	煤付着
580	同上 S D316	口径 16.0	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等を含む	良好	煤付着
581	同上 S D316	口径 16.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	長石・角閃石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
582	同上 七十三 S D316	口径 16.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の細砂粒を少量含む	良好	
583	同上 S D316	口径 16.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラケズリ。	茶灰色	5mm以下の長石・角閃石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
584	同上 七十三 S D316	口径 16.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	茶褐色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
585	同上 七十三 S D316	口径 16.2	楕円形と思われる体部から屈曲し、上外方に外反に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
586	同上 S D316	口径 16.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	1.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地點	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
587	甕 S D 316	口径 16.4	上内方に内彎氣味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
588	同上 S D 316	口径 16.6	内上方に内彎氣味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。体部上位内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	2.5mm以下の角閃石・石英・長石等の砂粒を多量に含む	良好	
589	同上 S D 316	口径 16.9	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反氣味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	2mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
590	同上 S D 316	口径 17.6	上内方に内彎に伸びる体部から屈曲し、外反氣味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	外 淡茶灰色 内 灰茶色	角閃石・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
591	同上 S D 316	口径 17.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後一部ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	6mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
592	同上 S D 316	口径 17.0	最大径を胴中位にもつ楕円形と思われる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	角閃石・長石・雲母等の細砂粒を含む	良好	煤付着
七十三							
593	同上 S D 316	口径 17.1	球形と思われる体部から屈曲し、外反して上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)、下位ナデ、内面ヘラケズリ。	外 淡茶灰色 内 黒灰褐色	4.5mm以下の砂粒を含む	良好	煤付着
594	同上 S D 316	口径 18.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)体部外面タタキ後(4本)ハケナデ、内面ヘラケズリ。	灰茶色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
595	甕	口径 18.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	暗灰茶色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
七十四	S D 316						
596	同 上	口径 18.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	淡茶灰色	2.5mm以下の赤褐色酸化粒・石灰等の砂粒を多量に含む	良好	
	S D 316						
597	同 上	口径 18.8	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
	S D 316						
598	同 上	口径 11.2	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
	S D 316						
599	同 上	口径 11.4	口縁部は外上方に伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	茶灰色	2mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
	S D 316						
600	同 上	口径 11.6	体部から屈曲し、外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗褐灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着
	S D 316						
601	同 上	口径 11.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラケズリ。	灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
	S D 316						
602	同 上	口径 12.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	外 暗茶灰色 内 灰茶色	微砂粒を含む	良好	煤付着
	S D 316						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
603	甕 S D316	口径 12.2	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
604	同 上 S D316	口径 12.3	口縁部は上外方に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の長石・チャート・石灰等の砂粒を少量含む	良好	
605	同 上 S D316	口径 12.3	体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ヨコナデ、内面ヘラケズリ。	灰茶色	2mm以下の砂粒を少量含む	良好	
606	同 上 S D316	口径 12.4	口縁部は外上方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 暗灰褐色 内 茶灰色	3mm以下の角閃石等の砂粒を含む	良好	
607	同 上 S D316	口径 12.5	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
608	同 上 S D316	口径 12.4	上内方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
609	同 上 S D316	口径 12.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	灰茶色	2mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
610	同 上 S D316	口径 12.5	口縁部は外反気味に斜上方に伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヘラケズリ、体部内面ヘラケズリ。	灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
611	甕 SD 316	口径 12.8	口縁部は外上方に伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
612	同上 SD 316	口径 12.8	口縁部は斜上方に伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本) 体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	2mm以下の角閃石等の砂粒を少量含む	良好	
613	同上 SD 316	口径 12.8	口縁部は上外方に伸び、端部は若干つまみ、外傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
614	同上 SD 316	口径 13.0	口縁部は外反気味に斜上方へ伸び、端部はつまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本)。	茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
615	同上 SD 316	口径 12.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反気味に斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(8本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡赤茶色	5mm以下の長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
616	同上 SD 316	口径 13.0	口縁部は上外方に伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を多量に含む	良好	
617	同上 SD 316	口径 12.8	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(8本)、内面ヘラケズリ	茶灰色	3mm以下の雲母・角閃石・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
618	同上 SD 316	口径 13.0	口縁部は外上方に伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	1.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 品高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
619	甕 SD 316	口径 13.0	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	4mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
620	同上 SD 316	口径 13.2	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(8本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
621	同上 SD 316	口径 13.15	口縁部は斜上方に伸び、端部は外方に若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	1mm以下の角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
622	同上 SD 316	口径 13.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(9本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	5mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
623	同上 SD 316	口径 13.2	口縁部は斜上方に伸び、端部は上につまみだす。体部は欠損。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	4mm以下の長石・雲母・石英・角閃石等の砂粒を多量に含む	良好	
624	同上 SD 316	口径 13.2	口縁部は斜上方に外反気味に伸び、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	2.5mm以下の長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	
625	同上 SD 316	口径 13.3	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	角閃石・雲母・長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を少量含む	良好	
626	同上 SD 316	口径 13.2	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡灰色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地點	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
627	甕 SD 316	口径 13.4	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(4本)、内面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
628	同 上 SD 316	口径 13.4	体部から屈曲し、外反気味に外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	微砂粒を含む	良好	
629	同 上 SD 316	口径 13.4	口縁部は斜上方に伸び、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ。	灰茶色	雲母・角閃石等の微砂粒を少量含む	良好	
630	同 上 S I 316	口径 13.4	口縁部は斜上方に伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
631	同 上 SD 316	口径 13.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	5mm以下の石英・長石・角閃石等の砂粒を多量に含む	良好	
632	同 上 SD 316	口径 13.4	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	2mm以下の雲母・長石・石英等の微砂粒を含む	良好	
633	同 上 SD 316	口径 13.4	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラケズリ。	乳白茶色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	煤付着
634	同 上 SD 316	口径 13.3	口縁部は外反気味に外上方に伸び、端部は上につまみだす。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラケズリ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	4mm以下の長石・雲母・石英・角閃石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
635	鹽 SD316	口径 13.5	口縁部は斜上方に外反して伸び、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	黒斑有
636	同上 SD316	口径 13.6	体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
637	同上 SD316	口径 13.6	体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
638	同上 SD316	口径 13.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	外 暗灰茶色 内 淡灰茶色	角閃石等の微砂粒を含む	良好	
639	同上 SD316	口径 13.6	口縁部は外上方に伸び、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	微砂粒を含む	良好	
640	同上 SD316	口径 13.6	638と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ。内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	4mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
641	同上 SD316	口径 13.6	638と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	雲母・角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
642	同上 SD316	口径 13.55	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラケズリ。	淡茶色	長石・雲母・角閃石等の微砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
643	甕 SD316	口径 13.8	642と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	煤付着
644	同上	口径 13.8	642と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
645	同上	口径 13.8	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	煤付着
646	同上	口径 13.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反氣味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
647	同上	口径 13.8	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ後ヨコナデ、体部外面タタキ、内面ヘラケズリ。	灰色	1mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
648	同上	口径 13.8	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	長石等の微砂粒を含む	良好	
649	同上	口径 14.0	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の雲母・角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
650	同上	口径 14.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面上位ナデ、中位ヘラケズリ。	茶褐色	2mm以下の雲母・石英・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
651	甕 SD 316	口径 14.0	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
652	同 上 SD 316	口径 14.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
653	同 上 SD 316	口径 14.0	口縁部は斜上方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	1mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
654	同 上 SD 316	口径 14.0	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	雲母・角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
655	同 上 SD 316	口径 14.0	口縁部は外反気味に外上方へ伸び、端部は上につまみ、外に凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(4本)、内面ヨコナデ。	灰茶色	角閃石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
656	同 上 SD 316	口径 14.0	口縁部は外反気味に上外方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
657	同 上 SD 316	口径 14.0	体部から屈曲し、外反気味に斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	外 暗茶灰色 内 灰茶色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	煤付着
658	同 上 SD 316	口径 14.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
659	甕 SD 316	口径 14.2	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ。	淡茶灰色	角閃石・長石・雲母等の細砂粒を含む	良好	
660	同上 SD 316	口径 14.2	口縁部は斜上方に伸び、端部は上につまむ。 体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗灰茶色	角閃石・雲母・長石・石英等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着
661	同上 SD 316	口径 14.2	口縁部は斜上方に外反気味に伸びる、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	雲母・角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
662	同上 SD 316	口径 14.2	上内方に内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・石英・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
663	同上 SD 316	口径 14.2	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(9本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
664	同上 SD 316	口径 14.4	体部から屈曲し、口縁部は外上方し、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	外 黒灰茶色 内 暗灰茶色	角閃石等の微砂粒を含む	良好	煤付着
665	同上 SD 316	口径 14.4	口縁部は斜上方に伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 淡灰褐色 内 暗灰色	2mm以下の雲母等の砂粒を含む	良好	
666	同上 SD 316	口径 14.4	口縁部は斜上方に外反し、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	外 暗灰茶色 内 茶灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
667	甕 SD316	口 径 14.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
668	同 上 SD316	口 径 14.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	外 暗灰茶色 内 暗茶灰色	3mm以下の砂粒を含む	良好	
669	同 上 SD316	口 径 14.3	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	淡褐色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	煤付着
670	同 上 SD316	口 径 14.6	口縁部は上外方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰茶色	角閃石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	
671	同 上 SD316	口 径 14.6	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。口縁部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
672	同 上 SD316	口 径 14.6	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
673	同 上 SD316	口 径 14.6	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着
674	同 上 SD316	口 径 14.6	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
675	甕 S D 316	口径 14.6	体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。体部は欠損。口縁部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等を含む	良好	煤付着
676	同 上 S D 316	口径 14.6	内彌気味の体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	外 暗茶灰色 内 茶灰色	角閃石・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
677	内 上 S D 316	口径 14.7	口縁部は斜上方に伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着
678	同 上 S D 316	口径 14.8	口縁部は外反気味に斜上方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	煤付着
679	同 上 S D 316	口径 14.8	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	灰褐色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
680	同 上 S D 316	口径 14.8	口縁部は外上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(6本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	外 淡灰茶色 内 茶灰色	4.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
681	同 上 S D 316	口径 14.8	体部から屈曲し、外反気味に外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。口縁部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(8本)、内面ヘラケズリ。	茶灰褐色	1.5mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
682	同 上 S D 316	口径 14.8	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	6mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地點	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
683	甌 SD 316	口径 14.8	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
684	同上 SD 316	口径 14.8	体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	1.5mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
685	同上 SD 316	口径 14.8	体部から屈曲し、伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
686	同上 SD 316	口径 15.0	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
687	同上 SD 316	口径 15.0	体部から屈曲し、斜外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	角閃石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む	良好	
688	同上 SD 316	口径 15.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜外方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	
689	同上 SD 316	口径 15.0	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	3mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
690	同上 SD 316	口径 15.0	口縁部は外上方に伸び、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・石英・長石等の砂粒を少量含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
691	甕 SD 316	口径 15.0	体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	煤付着
692	同上 SD 316	口径 15.0	口縁部は外上方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	1mm以下の角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着
693	同上 SD 316	口径 15.0	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。体部欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着
694	同上 SD 316	口径 15.0	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	2.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
695	同上 SD 316	口径 15.0	693と同様 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	外 暗灰茶色 内 淡灰茶色	角閃石等の細砂粒を含む	良好	煤付着
696	同上 SD 316	口径 15.0	体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部内面ヘラケズリ。	茶褐色	3mm以下の石英・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
697	同上 SD 316	口径 15.0	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む	良好	煤付着
698	同上 SD 316	口径 15.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげ、外に面ももつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	1mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地點	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
699	甕 S D316	口径 15.1	口縁部は上外方に伸び、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(4本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ。	暗灰茶色	角閃石・雲母・長石等の細砂粒を多量に含む	良好	
700	同上 S D316	口径 15.1	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
701	同上 S D316	口径 15.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	外灰茶色 内茶灰色	3.5mm以下の角閃石等の砂粒を多量に含む	良好	
702	同上 S D316	口径 15.2	体部から屈曲し、上外方した後外上方に屈曲して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
703	同上 S D316	口径 15.2	口縁部は外上方に伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
704	同上 S D316	口径 15.2	体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
705	同上 S D316	口径 15.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部は内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・石英等の微砂粒を含む	良好	
706	同上 S D316	口径 15.2	内上方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(8本)、体部タタキ(8本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
707	甕 S D 316	口径 15.3	体部から丸く屈曲し、斜上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着
708	同上 S D 316	口径 15.6	口縁部は外上方に伸び、端部はつまみあげ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
709	同上 S D 316	口径 15.4	口縁部は斜上方に伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本)、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
710	同上 S D 316	口径 15.5	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
711	同上 S D 316	口径 15.6	口縁部は外上方に伸び、端部は上につまみだす。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(4本)後ヨコナデ、内面ハケナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	2mm以下の長石・雲母・石英・角閃石等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
712	同上 S D 316	口径 15.6	体部から屈曲し、斜上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
713	同上 S D 316	口径 15.6	口縁部は外反気味に斜上方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
714	同上 S D 316	口径 15.6	体部から屈曲し、斜上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	5mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
715	甕 SD316	口径 15.6	口縁部は外上方へ伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
716	同上 SD316	口径 15.6	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	灰白色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
717	同上 SD316	口径 15.6	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
718	同上 SD316	口径 15.8	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまみだす。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石等の細砂粒を含む	良好	
719	同上 SD316	口径 15.8	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
720	同上 SD316	口径 15.8	内彎気味の体部から屈曲し、口縁部は外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
721	同上 SD316	口径 15.8	体部から屈曲し、斜上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
722	同上 SD316	口径 15.8	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	3.5mm以下の雲母・角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	焼付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
723	甕 SD316	口径 16.0	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
724	同上 SD316	口径 16.0	口縁部は外上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ。	暗灰茶色	4mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
725	同上 SD316	口径 16.0	口縁部は外上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	外 暗茶色 内 暗灰茶色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
726	同上 SD316	口径 16.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方へ外反する口縁部に至る。端部は外傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡褐茶色	4mm以下の石英・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
727	同上 SD316	口径 16.0	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	角閃石・雲母・石英・長石等の微砂粒を含む	良好	
728	同上 SD316	口径 16.0	体部から屈曲し、外反気味に外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまみだす。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	1.5mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
729	同上 SD316	口径 16.1	口縁部は外上方に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
730	同上 SD316	口径 16.1	上内方に伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
731	甕 S D 316	口径 16.2	体部から屈曲し、外反気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	5mm以下の角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
732	同上 S D 316	口径 16.2	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	1.5mm以下の角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
733	同上 S D 316	口径 16.2	内上方へ内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡灰色	雲母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
734	同上 S D 316	口径 16.2	体部から屈曲し、外反気味に上上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ、外傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	2.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
735	同上 S D 316	口径 16.2	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	外 淡茶灰色 内 茶灰色	2mm以下の角閃等の砂粒を含む	良好	
736	同上 S D 316	口径 16.3	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	3mm以下の角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
737	同上 S D 316	口径 16.3	体部から屈曲し、外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
738	同上 S D 316	口径 16.2	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	茶灰褐色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
739	甕 SD316	口径 16.4	口縁部は上外方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部内面ヘラケズリ。	淡灰色	4mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
740	同上 SD316	口径 16.4	口縁部は上外方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
741	同上 SD316	口径 16.4	口縁部は外反気味に上外方へ伸び、端部は上につまみだし、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	2.5mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着
742	同上 SD316	口径 16.4	体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	4mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
743	同上 SD316	口径 16.4	体部から屈曲し、斜上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ後ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
744	同上 SD316	口径 16.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみあげる。体部欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	
745	同上 SD316	口径 16.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部は若干つまみあげ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	茶灰色	4mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	
746	同上 SD316	口径 16.6	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は欠損。口縁部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地點	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
747	甕 SD316	口径 16.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	2mm以下の 角閃石・雲母・長石等 の砂粒を含む	良好	煤付着
748	同上 SD316	口径 16.8	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみあげ、 外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	灰茶色	雲母・角閃石・長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む	良好	
749	同上 SD316	口径 16.8	口縁部は外反気味に上外方へ伸び、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰茶色	角閃石・雲母・長石・石英等の微砂粒を含む	良好	煤付着
750	同上 SD316	口径 16.8	上内方へ伸びる体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ、内面ヘラケズリ。	灰茶色	3mm以下の 雲母・角閃石・長石等 の砂粒を含む	良好	煤付着
751	同上 SD316	口径 16.9	上内方へ伸びる体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、 体部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石等の微砂粒を含む	良好	
752	同上 SD316	口径 17.0	上内方へ伸びる体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	角閃石・長石・石英等の微砂粒を含む	良好	
753	同上 SD316	口径 17.0	上内方へ伸びる体部から屈曲し、外反気味に斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3.5mm以下の 角閃石・長石・石英等の砂粒を含む	良好	
754	同上 SD316	口径 17.0	上内方へ伸びる体部から丸く屈曲し、外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(3本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	3mm以下の 長石・赤褐色酸化粒・雲母等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
755	甕 SD316	口径 17.0	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	煤付着
756	同上 SD316	口径 17.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を少量含む	良好	
757	同上 SD316	口径 17.1	上内方に伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	1mm以下の角閃石・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	
758	同上 SD316	口径 17.2	体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む。	良好	
759	同上 SD316	口径 17.2	体部から屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	角閃石・長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む	良好	
760	同上 SD316	口径 17.2	内上方へ伸びる体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡黒灰色	粗砂粒を含む	良好	
761	同上 SD316	口径 17.2	上内方へ伸びる体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗灰褐色	5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	煤付着
762	同上 SD316	口径 17.3	内上方へ伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
763	甕 S D316	口径 17.4	上内方へ伸びる体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	暗灰茶色	2.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
764	同上 S D316	口径 17.4	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあける。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(7本)、内面ヘラケズリ。	灰茶色	2.5mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
765	同上 S D316	口径 17.4	口縁部は外上方に伸び、端部はつまみあげ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面不明、内面ナデ。	外 暗褐色 内 晴灰色～暗茶灰色	6mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
766	同上 S D316	口径 17.4	口縁部は斜上方に伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂粒を含む。	良好	
767	同上 S D316	口径 17.4	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
768	同上 S D316	口径 17.7	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を少量含む	良好	
769	同上 S D316	口径 17.7	体部から屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部タタキ(4本)、内面ヘラケズリ。	淡灰色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
770	同上 S D316	口径 17.7	体部から屈曲し、外反気味に斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は軽くつまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	茶灰色	角閃石・石英・長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
771	甕 S D 316	口径 17.9	内上方に伸びる体部から屈曲し、外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
772	同上 S D 316	口径 18.0	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナデ(7本)。	淡灰茶色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
773	同上 S D 316	口径 18.0	体部から屈曲し、外反気味に外方に伸びる口縁部に至る。端部は外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ後ハケナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	1.5mm以下の砂粒を含む	良好	
774	同上 S D 316	口径 18.2	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を多量に含む	良好	
775	同上 S D 316	口径 18.0	口縁部は斜上方へ伸び、端部は外に小さい面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
776	同上 S D 316	口径 18.6	口縁部は外上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
777	同上 S D 316	口径 18.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	角閃石・長石・石英等の細砂粒を含む	良好	
778	同上 S D 316	口径 19.0	口縁部は外上方へ伸び、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 暗茶色 内 暗茶灰色	3mm以下の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地點	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
779	甕 S D316	口径 19.0	口縁部は外上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
780	同上 S D316	口径 19.2	体部から屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗灰色	角閃石・長石・石英・雲母等の微砂粒を含む	良好	
781	同上 S D316	口径 20.4	779と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	外 茶灰色 内 暗褐色	5mm以下の角閃石・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
782	同上 S D316	口径 12.7 器高 17.55	最大径を胴中位よりやや上にもつ椿円形に近い体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8~11本)、内面ヘラケズリ。	乳褐色	6mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を多量に含む	良好	
七十四	S D316	同上	最大径を胴中位にもつ球形に近い体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味の平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)、下位ハケナデ(8本)、内面上位ハケナデ、下位ヘラケズリ。	茶灰色	5mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
七十四	S D316	同上	最大径を胴中位にもつ球形の体部から屈曲し、外上方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ(6本)、下位ナデ、内面ヘラケズリ。	乳茶褐色	6mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	煤付着
七十四	S D316	同上	最大径を胴中位にもつ球形の体部から屈曲し、斜上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	3mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着
786	同上 S D316	口径 15.4	椿円形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ヘラケズリ。	乳灰色	6mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着 黒斑有

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
787	甕 S D316	口径 15.6	最大径を胴中位より上にもつ球形と思われる体部から屈曲し、内彎気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は下位欠損。体部外面上位に5本の沈線を施す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラケズリ。	外 乳灰褐色 内 増乳褐色	石英等の微砂粒を含む	良好	煤付着
788	同上 S D316	口径 16.6	球形と思われる体部から屈曲し、外反気味に上外方に伸びる口縁部に至る。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	外 淡茶灰色 内 灰茶色	長石・赤褐色酸化粧等の細砂粒を少量含む	良好	煤付着
789	同上 S D316	口径 12.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外反気味に外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	乳灰茶色	7mm以下のチャート・長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
790	同上 S D316	口径 13.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部から屈曲し、外反して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	外 淡茶灰色 内 淡灰褐色～淡黒灰色	微砂粒を含む	良好	
791	同上 S D316	口径 14.5	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	茶灰色	長石等の微砂粒を少量含む	良好	
792	同上 S D316	口径 15.2	内上方へ内彎気味に伸びる体部から丸く屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(7本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部内外面ハケナデ。	外 乳灰茶色 内 乳茶灰色	5mm以下の砂粒を含む	良好	
793	同上 S D316	口径 14.4	内上方へ伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ナデ。	淡褐灰色	長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
794	同上 S D316	口径 16.0	上内方へ内彎して伸びる体部から屈曲し、内彎気味に外上方して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラケズリ。	乳灰白色	3mm以下の石英・長石・チャート等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
795 七十四	甕 S D316	口 径 15.6 器 高 27.5 底 径 4.9	最大径を胴上位にもつ楕円形の体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上内方に拡張して丸い。外端面に櫛描き文を施す。底部は突出しない平底。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(4本)後ハケナデ(6本)後ヘラ先によるナデ、下位ヘラ先によるナデ、内面ヘラケズリ、底部外面ナデ、内面指頭痕。	灰褐色～暗茶褐色	2mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を少量含む	良好 砂粒	完形 焼付着
796	同 上 S D316	口 径 13.3	内彎して上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上内方に拡張して丸い。外端面に櫛描き文を施す。体部は下位欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側ハケナデ(12本)後ヘラミガキ、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	2.5mm以下の微砂粒を多量に含む	良好	焼付着
797	同 上 S D316	口 径 12.0	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は直上に拡張して丸い。外端面に櫛描き文を施す。体部は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側ヘラケズリ。	淡灰茶色	角閃石・長石・石英等の微砂粒を少量含む	良好	
798	高 坯 S D318	口 径 16.4	浅い楕円形の壺部から外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 壺部内外面ハケナデ(8本)。	外 褐灰色 内 茶褐色	4mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	黒斑有
799	甕 S D318	口 径 16.4	上内方に内彎氣味に伸びる体部から屈曲し、外上方に外反氣味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外側タタキ(2本)、内面ヘラナデ。	灰褐色	4mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
800	同 上 S D318	底 径 4.4	口縁部・体部は欠損。底部は突出する平底で、外間に木の葉の痕跡がみられる。 体部外側タタキ(4本)、内面ナデ。	淡灰茶色	長石・石英等の微砂粒を含む	良好	
802	鉢 落ち込み16	口 径 11.6 器 高 5.3	半球形の体部から上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 体部外面上位ナデ、下位ヘラケズリ、内面ナデ。	乳灰茶色	6mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	完形
803	高 坯 落ち込み16		深い楕円形の壺部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は欠損。脚部は下外方に伸びる。脚部は下位欠損。脚部上位に三方孔を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、壺部外側ハケナデ、内面ヘラナデ、脚部外側ヘラナデ、内面ヘラケズリ。	茶色	6mm以下の長石等の砂粒を少量含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
804	甕	口径 13.0	上内方に内彎気味に伸びる体部から丸く屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。体部は下位欠損。 内外面剥離のため不明。	外 灰茶色 内 茶色	4.5mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み16						
805	同上	口径 14.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	外 淡灰茶色 内 茶灰色	4mm以下の雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
	落ち込み16						
807	高壺	口径 12.4	壺部は上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。壺底部・脚部は欠損。 内外面不明。	淡茶灰色	2mm以下の砂粒を含む	良好	
	落ち込み19						
808	円筒形埴輪		体部上位は欠損。下位は若干外に開く。端部は下面をもつ。 外面ハケナデ(9本)後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	乳茶灰色	長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
	落ち込み19						
809	高壺	口径 12.0	壺部は欠損。脚部は下外方に伸びる柱状部から屈曲して外下方に伸び裾部に至る。端部は丸い。 脚部外面不明、柱状部内面くりぬき、裾部内面ハケナデ後指頭痕。	淡灰茶色	長石・雲母・角閃石等の微砂粒を含む	良好	
	落ち込み19						
810	壺	口径 16.6	口縁部は外上方に外反して伸び、端部はつまみあげる。端部外面に波状文を施す。体部は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ。	淡灰茶色	3mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み24						
811	小型丸底壺	口径 8.1 器高 8.15	最大径を胴中位より上にもつ扁平な球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ナデ、下位ハケナデ(8本)、内面ナデ。	外 淡灰茶色 内 灰茶色	3mm以下の砂粒を多量に含む	良好	完形
	落ち込み24						
812	壺	口径 30.2	口縁部は二重口縁で、上外方に外反気味に伸びる。屈曲部は垂下し、端部はつまみ出す。体部は欠損。 口縁端部内外面ヨコナデ、口縁部外面ハケナデ(8本)後ナデ、内面ハケナデ。	外 茶灰色 内 暗灰褐色	3mm以下の雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
	落ち込み24						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
813	高坏	口径 21.5 落ち込み24	环部は上外方に伸びた後外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、外面にキザミ、内面に波状文を施す。脚部は欠損。 环部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ。	乳灰色	長石・石英等の微砂粒を少量含む	良好	
814	同上	底径 11.6 落ち込み24	坏部は欠損。脚部は中空で下外方に伸びる柱状部から屈曲して外下方に伸びる裾部に至る。端部は丸い。柱状部下位に二方孔を有す。 脚部外面ハケナデ(11本)後ヘラミガキ、内面ナデ・指頭痕、端部外面ヨコナデ。	外 茶色 内 灰茶色	5mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
815	甕	口径 14.0 落ち込み24	球形と思われる体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面上位指ナデ・指頭痕、下位ヘラケズリ。	外 淡灰茶色～茶色 内 灰黑色	4mm以下の砂粒を含む	良好	
816	甕	口径 13.2 落ち込み24	口縁部は外上方に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(8本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ。	暗褐色	雲母・角閃石・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
817	同上	口径 13.6 落ち込み24	体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ヨコナデ、内面ヘラケズリ。	外 暗茶灰色 内 茶灰色	微砂粒を含む	良好	
818	同上	口径 13.8 落ち込み24	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、内彎気味に斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(5本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	茶灰色	4mm以下の長石・石英・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
819	同上	口径 15.8 落ち込み24	口縁部は斜上方に伸び、端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラケズリ。	暗茶灰色	2.5mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着
820	同上	口径 13.7 落ち込み24	上内方に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は内方につまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	灰褐色	4mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
821	甕	口径 13.4	820と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	褐灰色	長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み24						
822	同上	口径 14.0	820と同様。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)後ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰褐色	1.5mm以下の長石・雲母・石英・角閃石等の砂粒を含む	良好	煤付着
	落ち込み24						
823	同上	口径 14.1	上内方に伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タキ(4本)後ハケナデ、内面ヘラケズリ。	淡茶灰色	3.5mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	
	落ち込み24						
824	同上	口径 14.7	上内方に伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は内方につまり上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面ヘラケズリ。	外 茶色 内 灰茶色	長石・雲母・石英・角閃石等の微砂粒を含む	良好	煤付着
	落ち込み24						
825	同上	口径 14.7	口縁部は内彎して上外方に伸び、端部は内方につまり上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部内面ナデ。	乳灰茶色	2.5mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を少量含む	良好	
	落ち込み24						
826	同上	口径 16.1	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、内彎気味に上外方に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)後ヨコナデ、内面ヘラケズリ。	乳灰褐色～茶灰色	6.5mm以下の長石・石英等の微砂粒を多量に含む	良好	煤付着 黒斑有
	落ち込み24						
827	形象埴輪		ヘラ先での模様を施す。 内外面ナデ。	淡茶灰色	長石等の細砂粒を少量含む	良好	
七十五	S D 303						
828	朝顔形埴輪		ラッパ状の部分で、端部は欠損。タガ断面は台形をなし、側面は平らな面をもつ。器壁は厚い。 タガ外面ナデ、内外面ヘラナデ。	灰褐色	長石・チャート・石英・雲母等の細砂粒を少量含む	良好	
七十五	S D 303						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
829 七十五	円筒形埴輪 S D 303		タガ断面は台形をなし、側面は平らな面をもつ。 外面ヨコナデ、内面ナデ。	灰茶色	長石・石英等の細砂粒を含む	良好	
830 七十五	同上 S D 303		タガ断面は台形をなし、側面は平らな面をもつ。 内外面不明。	乳茶色	長石・石英等の細砂粒を含む	良好	
831 七十五	同上 S D 303		タガ断面は扁平な台形をなし、側面は凹面をもつ。 内外面不明。	淡黄茶色	チャート・長石等の細砂粒を含む	良好	
832 七十五	同上 S D 303		タガ断面は低く、ゆるやかな台形をなし、側面は平らな面をもつ。 内外面ナデ。	乳灰茶色	長石・チャート等の細砂粒を多量に含む	良好	
833 七十五	同上 S D 303		小片のみ。 外面ハケナデ、内面ナデ。	乳灰茶色	長石・赤褐色化粧粒等の細砂粒を含む	良好	
834 七十五	同上 S D 303		小片のみ。 外面ハケナデ、内面ナデ。	淡茶灰色	長石・雲母・チャート等の細砂粒を含む	良好	
835 七十五	同上 S D 303		小片のみ。 外面指頭痕、内面不明。	淡茶灰色	2mm以下の長石等の砂粒を多量に含む	良好	
836 七十五	同上 S D 303		小片のみ。 内外面ナデ。	淡灰茶色	石英・長石等の微砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
837 七十五	円筒形埴輪 SD 303		小片のみ。 外面ハケナデ、内面ナデ。	乳茶色	長石・石英 ・チャート等の微砂粒を含む	良好	
838 七十五	同上 SD 303		小片のみ。 内外面ナデ。	乳灰茶色	2.5mm以下の長石・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	
839 七十五	同上 SD 303		小片のみ。 内外面ナデ。	淡茶灰色	6mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
840 七十五	同上 SD 303		円形のスカシが認められる。 外面不明、内面ハケナデ。	淡茶灰色	2mm以下の長石・チャート・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
841 七十五	同上 SD 303	底径 12.2	体部は直下し、端部は下に面をもち、若干肥厚する。 外面ハケナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	
842 SE 10	台付き鉢	口径 10.8	楕形の体部から内彎して上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ヘラナデ、脚部内外面ナデ。	淡灰褐色	3mm以下の長石・チャート・雲母等の微砂粒を含む	良好	
843 SE 10	有孔鉢	口径 17.3 器高 9.2 底径 4.8	半球形の体部から口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は突出する平底。底部に穿孔を一つ有す。 体部外面ナデ、内面ヘラナデ、底部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	淡褐灰色	4mm以下の雲母・長石・角閃石・石英等の砂粒を含む	良好	
844 SE 10	高坏	口径 23.0	浅い半球形と思われる体部から外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外に凹面をもつ。脚部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、坏部内外面ヘラミガキ。	淡茶色	3mmの長石・石英・雲母・角閃石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
845	甕 七十六 S E 10	口径 14.7	口縁部は上外方に外反気味に伸び、端部は丸く、沈線をもつ。端部直下に稜をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、口縁部内外面ハケナデ(9本)後ヨコナデ。	淡灰褐色	2.5mm以下の雲母・角閃石・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
846 七十六	皿 S E 10	口径 11.6 器高 2.6	平らに近い底部から上外方に短く伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚する。 口縁部内外面ヨコナデ、底部外面ナデ・指頭痕、内面ヨコナデ。	乳灰褐色	精良	良好	完形
847 七十六	同上 S E 10	口径 11.6 器高 2.4	平らに近い底部から上外方に短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、底部外面ナデ・指頭痕、内面ヨコナデ。	乳灰褐色	精良	良好	完形
848 七十六	同上 S E 10	口径 19.1 器高 3.4	広く平らな底部から上外方に短く外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚する。内面に放射線状・螺旋状の暗文を施す。 口縁部内外面ヨコナデ、底部外面ヘラナデ後指頭痕、内面ヨコナデ。	乳灰褐色	精良	良好	完形 煤付着
849 七十六	同上 S E 10	口径 22.0 器高 2.4	848と同様。 口縁部内外面ヨコナデ、底部内外面ナデ・指頭痕。	淡褐灰色	長石等の微砂粒を少量含む。	良好	完形 煤付着
850 七十六	鉢 S E 10	口径 9.4 器高 5.0	半球形に近い体部から屈曲し、上外方に短く伸びる口縁部に至る。端部は若干つまむ。底部は平底に近い。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	乳灰褐色	精良	良好	完形
851 七十六	甕 (須恵器) S E 10	口径 23.5	内上方に内彎気味に伸びる体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外方に肥厚し、外に凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面回転ナデ、体部外面格子タタキ、内面同心円タタキ。	青灰色	長石等の微砂粒を少量含む。	良好	
852 七十六	皿 S E 9	口径 9.4 器高 1.4	平らに近い底部から上外方に短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、底部内外面ナデ。	淡乳茶褐色	長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
853	皿	口径 10.1 器高 2.0	平らに近い底部から斜上方に短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、底部内外面ナデ。	淡乳茶褐色	長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	完形
七十六	SE 9						
854	鉢	口径 13.4	深い椀形と思われる体部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヘラミガキ、下位ナデ、内面ヘラミガキ。	外 黒褐色～灰褐色 内 黑色	精良	良好	
	SE 9						
855	瓦器小皿	口径 8.0 器高 1.65	平らに近い底部から上外方に短く伸びる口縁部に至る。端部は外傾する小さい面をもつ。 内外面不明。	淡灰褐色	精良	良好	
	SP 115						
857	小形椀 (黒釉土器)	口径 8.3 器高 3.2 底径 3.5	浅い椀形の体部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台は断面逆台形。 外面ナデ、内面ヘラミガキ。	黒灰色	精良	良好	完形
七十六	SD 288						
858	同上	口径 7.8 器高 3.4 底径 3.6	椀形の体部から上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台は断面逆三角形で端部は丸い。 内外面不明。	黒灰色	3mm以下の 微砂粒を少 量含む	良好	
七十六	SD 288						
877	壺	口径 16.0	口縁部は斜上方に外反して伸び、端部は上下に肥厚し、外に面をもつ。端部外面にヘラ先による模様を施す。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラミガキ、頸部外面ハケナデ(12本)、内面不明。	外 茶色 内 淡茶灰色	長石・角閃石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
	包含層						
878	鉢	口径 9.6 高径 6.0 底径 1.6	半球形の体部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面不明。	淡茶灰色	4.5mm以下の 長石・雲母・石英等の砂粒を多 量に含む	良好	煤付着
	包含層						
879	甕	口径 13.4	上内方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、斜上方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	外 淡茶色 内 乳灰茶色	4mm以下の 長石等の微 砂粒を含む	良好	
	包含層						

*856は古錢

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
880	甕	口径 13.2 包含層	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ナデ、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	3.5mm以下の長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
881	同上	口径 14.0 包含層	内上方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ。	灰褐色	3mm以下の長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
882	同上	口径 13.8 包含層	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外方に肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	茶灰色	5.5mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着
883	同上	口径 16.7 包含層	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	茶色	5mm以下の長石・チャート・雲母・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
884 七十九	長頸壺 包含層	底径 5.2	肩部の張る球形に近い体部から屈曲し、直上する口縁部に至る。端部は欠損。底部は突出気味のくぼみ底。口縁部中位内面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラナデ、内面ナデ、頸部外面ハケナデ、体部内外面ナデ。	灰褐色	3mm以下の長石・石英・雲母・チャート等の砂粒を含む	良好	
885 七十九	壺 包含層	口径 13.6	口縁部は上外方に外反して伸び、端部は若干外方に肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ナデ。	淡茶灰色	4.5mm以下の雲母・長石・石英等の微砂粒を多量に含む	良好	
886 七十九	同上	口径 15.2 包含層	内上方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反して上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。端部内面にヘラ先による模様を施す。体部は欠損。口縁部・頸部内面に一本ずつ接合痕を有す。 口縁端部ヨコナデ、外面ヘラミガキ、頸部ナデ、体部内面指ナデ。	外灰茶色 内淡茶色	4.5mm以下の長石・石英等の微砂粒を多量に含む	良好	
887 七十九	同上	口径 22.7 包含層	内上方に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、外上方に伸びた後、直上する口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	茶灰色	8.5mm以下の砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
888	台付壺 七十九 包含層	口径 18.25 器高 32.3 底径 15.5 脚高 5.0	球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は外下方に外反して伸びる。端部は外傾する面をもつ。 口縁部内外面ハケナデ(11本)後暗文状のヘラミガキ、体部外面上・中位ハケナデ後ヘラミガキ、下位ハケナデ、内面ハケナデ後ナデ、脚部外面ハケナデ後ナデ、内面上位指頭痕、下位ハケナデ後ナデ。	赤褐色～茶褐色	長石・角閃石・雲母等の微砂粒を含む	良好	ほぼ完形 黒斑有 赤色顔料有
889	壺 包含層	口径 12.8	球形と思われる体部から丸く屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。頸部外面に一本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ後ヘラミガキ、頸部内面ナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ・指頭痕。	灰褐色	6mm以下の長石・角閃石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	煤付着
890	同上 包含層	口径 19.6	口縁部は直上した後丸く屈曲し、外上方に伸びる。端部は上下に肥厚し、外に凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、口縁部内面ヘラミガキ、頸部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ナデ。	乳灰茶色	2.5mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を少量含む	良好	煤付着 黒斑有
891	鉢 包含層	口径 9.7 器高 8.85 底径 3.3	深い椀形の体部から丸く屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出するあげ底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラナデ、底部外面ナデ。	外 褐灰色 内 茶灰色	4mm以下の長石・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	
892	同上 包含層	口径 8.1	扁平な球形と思われる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は若干内方に肥厚する。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面上位ヘラミガキ、下位ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面ナデ。	外 淡茶色 内 茶灰色	3mm以下の長石等の砂粒を少量含む	良好	
893	有孔小鉢 七十九 包含層	口径 11.15 器高 5.4	半球形の体部から上外方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 内外面不明。	淡茶色	3.5mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	完形
894	鉢 包含層	口径 11.2	半球形と思われる体部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ナデ。	灰褐色	長石・石英等の微砂粒を含む	良好	
895	高壺 包含層	口径 12.4	椀形の壺部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 壺部外面ハケナデ(12本)、内面ナデ。	暗茶褐色	4.5mm以下の雲母・角閃石・長石等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
896	高 坯 包含層	口 径 17.5	平らに近い坏底部から外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 口縁端部内外面ヨコナデ、坏部外面ハケナデ(8本)、内面ヨコナデ。	灰茶色	9mm以下の長石・石英・チャート・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	煤付着
897 七十九	同 上 包含層	口 径 15.7 器 高 9.6 底 径 10.0	坏部は平らに近い坏底部から屈曲して上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外方に若干肥厚する。脚部は坏部から下外方に伸びる。端部は丸い。裾端部内面に一本の接合痕を有す。 坏部外面ヘラナデ後ハケナデ(6本)、内面ハケナデ後ナデ、脚部外面ナデ、内面ハケナデ。	淡灰褐色	3mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	完形
898	同 上 包含層	口 径 19.6	坏部は外上方に伸びた後屈曲して上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 坏部内外面ナデ。	灰茶色	3mm以下の雲母・長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	
899	同 上 包含層	口 径 19.2	坏部は平らに近い坏底部から屈曲し、斜上方に伸びた後外上方する口縁部に至る。屈曲部に断面三角形の鈍い稜をもつ。端部は丸い。脚部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、坏部外面ナデ、内面不明。	茶灰色	長石・石英・雲母等の細砂粒を含む	良好	
900	同 上 包含層	口 径 13.8	坏部は平らな坏底部から屈曲して上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、坏部内外面ナデ。	淡褐灰色	1.5mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を含む	良好	黒斑有
901	同 上 包含層	口 径 11.7	浅い楕形の体部から内彎して直上する口縁部に至る。端部は純く尖る。脚部は欠損。 坏部内外面不明。	淡茶灰色	長石等の微砂粒を少量含む	良好	
902	甕 包含層	口 径 16.0	最大径を胴中位より上にもち、直上に内彎して伸びる体部から丸く屈曲し、外反して上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげ、外に四面をもつ。体部は下位欠損。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	4.5mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	
903	同 上 包含層	口 径 13.2	橢円形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。体部外面下位に二本、内面上位、下位に一本ずつ接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	外 茶色 内 淡茶色	7.5mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
904	甕	口径 16.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反して上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	灰茶色	3mm以下の長石・石英・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
905	同上	口径 14.1	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反して上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後一部ハケナデ(7本)、内面ハケナデ。	灰褐色	4mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を少量含む	良好	
906	同上	口径 15.4	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	外 暗褐灰色 内 褐灰色	5mm以下の砂粒を含む	良好	
907	同上	口径 16.9	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外に凹面をもつ。体部は欠損。体部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面指ナデ。	茶灰色	4.5mm以下の石英・長石・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
908	同上	口径 16.3	体部から屈曲し、外反気味に外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(6本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面ヘラケズリ。	黒灰褐色	角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む	良好	
909	同上	口径 15.0	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は上外方に拵張し丸い。外端面に櫛描き文を施す。体部は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、内面ヘラケズリ。	淡灰茶色	長石・雲母・角閃石・石英等の微砂粒を含む	良好	
910	同上	口径 17.5	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(6本)後ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラケズリ。	外 褐色 内 淡褐色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
911	同上	口径 15.1	体部から屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみあげる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラケズリ。	淡茶灰褐色	長石・石英・雲母等の細砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土 地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
912	坏蓋 (須恵器) 包含層	口径 12.4 稜径 12.5	丸味のある天井部から下外方へ内彎気味に伸び、稜に至る。稜は鈍く、下方に凹線がめぐる。口縁部は内彎気味に直下し、端部は明瞭な段をもつ。 天井部外面約1/2回転ヘラケナデ、他回転ナデ。	淡灰青色	精良	良好	ロクロ 左方向
913	坏身 (須恵器) 包含層	口径 11.3 たちあ がり高 1.85 受部径 13.6	体部から水平に伸びて受部に至り、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾した後直上し、端部は明瞭な段をもつ。底体部は欠損。 内外面回転ナデ。	淡灰色	4mm以下の砂粒を多量に含む	良好	ロクロ 右方向
914	円筒形埴輪 八十 包含層		タガ断面は台形をなし、側面は凹面をもつ。 外面ヨコナデ、内面ナデ。	灰茶色	長石・雲母等の細砂粒を含む	良好	
915	同 上 八十 包含層		底部の一部と思われる小片のみ。 外面ハケナデ、内面ナデ。	外 淡褐色 内 茶灰色	5.5mm以下の長石・雲母等の砂粒を含む	良好	
916	同 上 八十 包含層		タガ断面は変形な台形をなし、側面は凹面をもつ。 外面ナデ、内面ハケナデ(11本)。	茶褐灰色	5mm以下の長石。	良好	
917	朝顔形埴輪 八十 包含層		タガ断面は変形な台形をなし、側面は平らな面をもつ。 タガ外面ヨコナデ、内外面ハケナデ(7本)。	淡茶色	4mm以下の長石・チャート等の砂粒を多量に含む	良好	
918	円筒形埴輪 八十 包含層		タガはゆるやかな台形をなし、側面は平らな面をもつ。 タガ外面ナデ、内外面ハケナデ(6本)後指頭痕。	外 茶灰色 内 灰茶色	3mm以下の長石・石英・チャート等の砂粒を含む	良好	
919	壺 (須恵器) 包含層	底径 7.0	体部は欠損。高台は、方形の断面をもつ。 内外面回転ナデ。	淡灰青色	微砂粒を少量含む	良好	ロクロ 左方向

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高 底径	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
920	椀 (須恵器) 包含層	底径 6.3	体部は内彎気味に上外方に伸び、口縁部は欠損。高台は、三角形の断面をもち、端部は丸い。 内外面回転ナデ。	外 白灰色 内 乳灰色	精良	良好	
921	皿 包含層	口径 12.3	口縁部は内彎気味に斜上方に伸びる。端部は丸い。底部は欠損。 内外面ナデ。	外 淡灰茶色 内 灰茶色	3.5mm以下の石英等の微砂粒を含む	良好	
922	瓦質土器 包含層	口径 12.0	口縁部は上外方に内彎して伸びる。端部は丸い。体部は欠損。 内外面不明。	暗灰色	長石等の細砂粒を少量含む。	良好	
923	丸瓦 包含層		巴は右巻きである。外縁は高い位置にある。やや小粒で隆起も小さい珠文は密に巡らす。 内外面ナデ。	黒色	微砂粒を含む	良好	
924	同上 包含層		巴は欠損。外縁は低い位置にある。大粒で隆起も大きい珠文は密に巡らす。 内外面ナデ。	暗灰色	2mm以下の微砂粒を含む	良好	
925	壺 包含層	口径 22.2	口縁部は外上方に伸びた後屈曲して上外方に外反気味に伸びる。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面、頸部内面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の石英・長石・角閃石等の砂粒を大量に含む	良好	煤付着
926	磁器小型椀 包含層	口径 4.3 器高 1.3 底径 1.3	浅い椀形の体部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。底部は低い貧弱な高台をもつ。 内外面回転ナデ。口縁部に向って、放射状の沈線を施す。	淡灰白色	精良	良好	灰釉
927	椀陶器 包含層	底径 5.0	体部は欠損。底部は断面方形で垂直に下る高台をもつ。高台裏に刻印の銘がある。 内外面回転ナデ。	乳白茶色	精良	良好	自然釉
八十							

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
928	焼陶器	底径 5.0	体部は欠損。底部は断面逆台形で垂直に下る高台をもつ。二条(?)の圈線内に「鳥」(?)の絵を染付けている。 内外面回転ナデ。	乳灰色(釉色 ~灰白色)	精良	良好	釉付着
八十	包含層						
929	壺	口径 25.4	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、直上した後外上方し、屈曲して上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外に面をもつ。屈曲部に鋭い稜をもち、すぐ上の外面全体に波状文(27本)を施す。体部は下位欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラミガキ、体部外面ハケナデ(7本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色~茶灰色	6mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着 黒斑有
八十	包含層						
930	同上	口径 16.6	口縁部は外反して外上方に伸びる。端部は下方に肥厚し、外に面をもつ。端部外面に波状文(4本)を施す。体部は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ。	外 内 淡茶色 淡茶灰色	長石・雲母等の細砂粒を少量含む	良好	
	包含層						
931	鉢	口径 8.9 器高 6.8 底径 3.2	深い半球形の体部から直上して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出気味のくぼみ底。 体部外面タタキ(5本)、内面ヘラナデ、底部外面ヘラナデ。	灰茶色	長石・雲母・石英等の細砂粒を含む	良好	
	包含層						
932	同上	口径 9.15 器高 5.9 底径 2.4	体部は上外方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 内外面ナデ。	灰褐色	4mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を含む	良好	黒斑有
	包含層						
933	台付鉢	口径 15.5 器高 7.45 底径 4.9	半球形の体部から上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する小さい面をもつ。底部は突出するやや上げ底。 内外面ナデ。	茶灰色	4mm以下の角閃石・石英・長石・雲母等の砂粒を含む	良好	煤付着
八十一	包含層						
934	鉢	口径 14.3	浅い半球形と思われる体部から屈曲し、外上方に短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	茶色	3mm以下の長石・雲母・石英等の多粒を多量に含む	良好	煤付着
	包含層						
935	小型壺	口径 9.0	内彎気味に直上する体部から屈曲し、上外方に内彎して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面不明。	淡茶色	長石・角閃石・雲母等の微砂粒を含む	良好	
	包含層						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
936	土壙	長さ 8.95 最大径 3.35 管状径 2.4	管状形。 外面ナデ。	淡灰茶色	4.5mm以下の長石・石英等の砂粒を多量に含む	良好	完形
八十一	包含層						
937	高壙	口径 22.1	壺部は外上方に伸びた後屈曲して外反氣味に上外方する口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方に伸びる。裾部は欠損。 壺部外面ヨコナデ、内面不明、脚部外面不明、内面ナデ。	茶灰色	長石等の微砂粒を含む	良好	
	包含層						
938	甕	口径 17.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、外反して斜上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	外 灰褐色 内 灰茶色	5.5mm以下の雲母・長石・角閃石等の砂粒を含む	良好	煤付着
	包含層						
939	同上	口径 13.9	最大径を胴中よりも上にもつ球形の思われる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は屈曲して上外方につまみだす。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本)、体部外面ハケナデ、内面ヘラナデ。	淡灰褐色	4.5mm以下の石英・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
	包含層						
940	同上	口径 15.4	口縁部は外反して上外方に伸び、端部は若干つまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面ハケナデ、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	長石・雲母等の微砂粒を少量含む	良好	
	包含層						
941	同上	口径 14.6	上内方に内彎気味に伸びる体部から丸く屈曲し、外反して外上方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部内面ヘラナデ(?)、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗褐色	3.5mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂粒を含む	良好	
	包含層						
942	同上	口径 14.0	口縁部は外反して上外方に伸び、端部はふくらみ、内傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面不明、口縁端部上面ナデ。	外 暗灰褐色 内 淡灰褐色	長石・雲母等の微砂粒を含む	良好	煤付着
	包含層						
943	鉢 (須恵器)	口径 14.4	肩部の張る球形と思われる体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する凹面をもつ。体部は下位欠損。 口縁部・体部上位回転ナデ、体部下位不定方向ナデ。	淡灰色	精良	良好	
	包含層						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
944	坏蓋 (須恵器)	口径 11.2 包含層	丸味のある天井部から外下方へ直線的に伸び、稜に至る。稜は鈍く尖る。口縁部は直下し、端部は丸い。 天井部外面回転ヘラケズリ、他回転ナデ。	淡灰色	2mm以下の長石・チャート等の砂粒を少量含む	良好	ロクロ左方向灰かぶり
945	蓋 (須恵器)	口径 9.0 包含層	平坦で低い天井部から外下方へ直線的に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。内面にかえりを有し、かえり端部は鈍く尖る。 天井部外面回転ヘラケズリ、他回転ナデ。	淡灰青色	長石等の微砂粒を少量含む	良好	ロクロ左方向
946	坏身 (須恵器)	口径 9.2 包含層	受部は外上方に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾して伸び、端部は明瞭な段をもつ。底部は欠損。 内外面回転ナデ。	白灰色	微砂粒を含む	良好	ロクロ右方向
947	同上	口径 9.8 包含層	受部は外上方に伸び、端部は外傾する面をもつ。立ち上がりは内彎気味に直上し、端部は内傾する鈍い段をもつ。底部は欠損。 内外面回転ナデ。	灰青色	3mm以下の砂粒を含む	良好	ロクロ左方向
948	台付き鉢 (須恵器)	底径 10.0 包含層	底部は断面扁平な台形の高台をもつ。体部は欠損。 内外面回転ナデ。	外 淡灰色 内 白灰色	精良	良好	自然釉
949	瓦器椀	底径 5.3 八十一 包含層	体部は内彎して斜上方に伸びる。端部は欠損。底部は断面三角形をもち、直下する高台をもつ。 体部外面ナデ後ヘラミガキ、内面暗文、底部外面ナデ。	灰黒色	精良	良好	
950	土師皿	口径 10.8 包含層	広く平らと思われる底部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は一部欠損。 口縁部外面ヨコナデ、底部内外面ナデ。	茶橙灰色	2.5mm以下の長石等の砂粒を含む	良好	
951	同上	口径 16.4 器高 2.7 包含層	広く平らな底部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、底部外面ナデ後指頭痕、内面ナデ。	外 茶色 内 乳茶色	2mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	完形 煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
952	器台 包含層	口径 9.6	受部は内彎気味に外上方に伸びた後屈曲し、外反して直上して伸びる口縁部に至る。端部は尖る。脚部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、受部内外面ヘラミガキ後暗文。	淡灰茶色	雲母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
953	円筒形埴輪 八十一 包含層	底径 18.4	底部の一部の小片のみ。 外面タテハケナデ後ヨコナデ、内面ナデ。	乳茶色	長石・雲母・チャート等の細砂粒を含む	良好	
954	同上 包含層		タガは断面台形で、側面はやや凹面をもつ。 タガ外面ヨコナデ、他外面タテハケナデ後ヨコハケナデ、内面ナデ。	淡乳茶色	長石・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む	良好	
955	つまみ付蓋 包含層	器高 底径 1.9 3.4	つまみ状、底面に解読不明の墨書が認められている。 外面回転ナデ、内面糸切り。	乳灰色	細砂粒～微砂粒を少量含む	良好	完形
956	鉢 (陶質土器) 包含層	口径 13.2 器高 3.5 底径 4.6	平らな底部から屈曲して上外方に伸びる口縁部に至る。端部は二段に屈曲し、外傾する面をもつ。底部は断面台形の高台をもつ。 体部内外面回転ナデ、高台部回転ヘラケズリ。	褐灰色	精良	良好	白釉付着
957	小型丸底壺 八十一 包含層	口径 9.05 器高 7.9	扁平な球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 外面不明、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ナデ。	茶灰色	4.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を多量に含む	良好	完形 黒斑有
958	有孔鉢 八十一 包含層	口径 10.9 器高 7.2 底径 2.2	体部は上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。底部に穿孔を一つ有す。 外面タタキ(4本)後ナデ、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	7mm以下の石英・角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	
959	小型丸底壺 八十一 包含層	口径 9.4 器高 9.2	極めて扁平な球形の体部から屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。 底部は丸底。 口縁部内外面ヘラミガキ、体部外面上位ヘラミガキ、下位ヘラケズリ、内面ヘラナデ。	灰茶色	長石・雲母・角閃石等の微砂粒を含む	良好	完形

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
960	甕 包含層	口径 12.2	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、上外方した後外上方に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(6本)、内面ナデ。	淡褐色	8mm以下の長石・雲母・石英等の砂粒を含む	良好	
961	同上 包含層	口径 17.4	体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラケズリ。	茶褐色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
962	坏身 (須恵器) 包含層	口径 9.4	平坦に近い底部から上外方へ直線的に伸びる受部に至る。受部は外上方に伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾して伸びる。端部は内傾し、浅い凹面をもつ。 底体部外面約1/2回転ヘラケズリ、他回転ナデ。	淡灰青色	微砂粒を少量含む	良好	ロクロ左方向
963	鉢 (陶質土器) 包含層	口径 16.6	口縁部は上外方に伸びる。端部は屈曲して外上方し、内方に肥厚する。体部は欠損。 内外面回転ナデ、一部不定方向のナデ。	乳灰茶色	2mm以下の砂粒を少量含む	良好	縁袖付着
964	壺 包含層	口径 12.4 器高 22.5	球形に近い体部から屈曲し、上外方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。頸部内面に一本の接合痕を有す。 口縁部・頸部外面タタキ(3本)後ヨコナデ、口縁部内面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面上位指ナデ・指頭痕、下位ナデ。	淡黄茶色～暗褐色	4mm以下の長石・石英・雲母等の砂粒を多量に含む	良好	煤付着 炭化物付着
965	器台 包含層	口径 8.5 器高 7.0 底径 10.6	受部は外上方に伸びる。端部は外傾する面をもつ。脚部は受部から外反して外下方に伸びる。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 受部内外面ナデ、脚部外面ハケナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	長石・雲母・角閃石・石英等の細砂粒を含む	良好	
966	同上 包含層	口径 10.2	受部は斜上方に外反気味に伸びる。端部は丸い。脚部は欠損。 受部内外面ヘラミガキ。	淡褐色	雲母・長石等の微砂粒を少量含む	良好	
967	甕 包含層	口径 14.0	内彎気味に直上する体部から丸く屈曲し、外上方に外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外に面をもつ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	褐灰色	2.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む	良好	煤付着

遺物番号 図版番号	器種 出土 地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
968	甕	口径 15.6	上内方に伸びる体部から屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、丸い。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	茶灰色	6mm以下の長石・石英等の砂粒を含む	良好	
	包含層						
969	同上	口径 16.0	上内方に内彎して伸びる体部から屈曲し、斜上方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみあげ、外に面をもつ。体部は下位欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラケズリ。	暗茶褐色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒を含む	良好	煤付着
	包含層						
970	円筒形埴輪		タガ断面は台形をなし、側面は凹面をもつ。外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡灰褐色	長石・石英等の細砂粒を含む	良好	
	包含層						
971	坏身	口径 9.7 受部径 12.0	斜上方へ直線的に伸びる受部に至る。受部は外上方に伸び、端部は丸い。立ち上がりは直線的に内傾し、端部は鈍く尖る。底部は欠損。 底体部外面回転ヘラケズリ、他回転ナデ。	灰青色	微砂粒を含む	良好	
	包含層						
972	土師皿	口径 7.4 器高 2.0	底部から外上方に内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 内外面ナデ。	乳茶色	微砂粒を少量含む	良好	
	包含層						
973	同上	口径 8.9	平らと思われる底部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は一部欠損。 内外面ナデ。	乳灰茶色	微砂粒を少量含む	良好	
	包含層						
974	同上	口径 9.6	広く平らと思われる底部から上外方に短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は一部欠損。 口縁部外面ヨコナデ、他ナデ。	乳茶灰色	精良	良好	
	包含層						
975	同上	口径 10.2	外上方に内彎気味に伸びる体部から屈曲し、直上する口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 内外面ナデ。	乳茶色	2.5mm以下の砂粒を少量含む	良好	
	包含層						

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
976	瓦器皿 (黒色土器)	口径 10.4 器高 2.55	平らに近い底部から上外方に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラミガキ。	黒色	精良	良好	
八十一	包含層						
977	土師皿	口径 12.6	丸底と思われる底部から斜上方に内彎氣味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は一部欠損。 内外面ナデ。	淡灰色	微砂粒を少量含む。	良好	
	包含層						

第6章　まとめ

この報告は、八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査である。「第1章 調査の経過」で記述しているように4年ないし5年間に分割して発掘調査を実施している。今回は昭和57年度の第1次調査に断続するもので、昭和58年度事業として第2次調査と第3次調査を行った。第2次調査は当該地の北部にあたり、大阪府教育委員会が実施した小阪合ポンプ場建設地の西部に位置する。第3次調査は第1次調査地の南部に位置する。調査は前回と同様に細長トレンチの限定された調査である為、遺構の全容を明確に検出したものはごく僅かであり、遺跡及び遺構の性格の位置付け等は不明瞭な点が多々あると言える。

遺構では、古墳時代前期に比定される方形周溝墓と思われる溝状遺構や古墳時代中期に比定される埴輪を伴う古墳等の墓域が新たに発見された。また、奈良時代の居住域が第1次調査地の南部にも存在すること等が明らかになった。

では、今回の報告書では出土遺物について触れてみることにする。特に、第1次調査や今回の調査で出土した多量の遺物は弥生時代後期から古墳時代前期にかけての土器が殆どであり、この時期の土器を中心として記述することにする。

出土遺物について

第3次調査は、既往第1次調査で出土した遺物とほぼ同じ量の遺物を出土した。出土量はコンテナ箱にして約80箱を数え、これらは弥生時代後期から中近世に至る多種多様の出土遺物である。特に弥生時代後期から古墳時代前期にかけての土器が最も多く出土された。よって、今回の報告ではこの時期の土器を中心に記していくこととする。

弥生時代後期から古墳時代前期にかけての土器は、第1次調査A—I地区の落ち込み7等の堆積土内より多量の遺物が出土されている。この調査地の南部に位置する第3次調査の発掘調査では調査区の全般に出土されている。検出した遺構は、基本層序で述べている第5層と第6層の上面から切込まれていて、この堆積土内からは畿内第V様式・庄内式・布留式と呼称される土器が多量に出土された。これらの土器は弥生時代から古墳時代に移行する時期にあたり、弥生式土器から土師器へと変遷する接点で、重要な位置を占める土器である。

また、これらの土器の資料が増加するにつれ、各地域の調査報告や考古学者らの論考等で、型式学的により細分している「細分編年案」がいくつか提唱されている。八尾市に於いても「八尾南遺跡」の報告で古墳時代前期の土器についての細分編年案が試みられている。当遺跡の調査でもこの時期の良好な資料が多量に出土していることから、当遺跡に於ける細分編年案を試みることが今後できるであろう。

では、第3次調査で検出された弥生時代後期から古墳時代前期（畿内第V様式から布留式）に至る良好な一括土器が出土した遺構について列記し、各地域で報告されている資料と比較してみたい。

まず、今回の調査に於いては検出面によって2つの時期に分けられる。前者は第6層上面で検出した遺構と後者は第5層上面より検出した遺構である。これらは「第3章 調査の結果」で前者を弥生時代後期から古墳時代初頭の時期、後者を古墳時代前期の時期として取扱っている。前者の遺構内からの出土遺物は、畿内第V様式の形態的特徴をもつ土器が多く出土している。遺構は落ち込み28・落ち込み29・S P 135・S D 321等から多量の土器が出土している。後者の遺構内からの出土遺物は、庄内式～布留式古相の形態的特徴をもつ土器である。遺構は落ち込み26・S W 1・S D 314・S D 315・S D 316等から多量の土器が出土している。

弥生時代後期から古墳時代初頭の遺構

落ち込み28

出土した器種は壺・有孔鉢・甕である。壺は形態的に大きく4つに分られる。上方した後屈曲外上方する口縁部で、端部は上下に肥厚し、外に面をもつもので畿内第IV様式に類似するもの(16)。体部より屈曲し上方した後緩い角度で屈曲上外方する口縁部に伸び、端部は尖り気味につまみ出すもの(17・18・20)・19は大きく外上方する口縁部で、端部は上下に長く肥厚して外に面をもち、1本の波状文を施しているもの。球形の体部より上外方に外反する口縁部に伸び、端部はつまみ上げる（又は丸い）もの(21・22)である。甕は畿内第V様式の形態をもつものであるが、30の1点だけはやや器壁が厚いものの庄内式甕の形態や調整が酷似している。

胎土は一部に在地の胎土をみるがほとんど生駒山西麓の胎土であると思われる。

落ち込み29

出土した器種は壺・土壙・甕である。壺(38)は体部より上外方に外反した後穏やかに屈曲し上方に伸びる口縁部で、体部外面にヘラミガキ、内面ハケナデを施している。土壙(39)は管状形で指の握り痕がみられる。甕(40～47)は畿内第V様式の形態的特徴をもつもので、底部の形態が突出気味又は突出しない平底を呈している。

胎土は在地と生駒山西麓の胎土をもつ土器がある。

S P 135

出土した器種は壺・甕である。壺(51)は1点だけで最大径を中位にもつ体部から丸く屈曲上外方に外反気味に伸びる口縁部に至り、端部は僅かにつまみ上げる。底部は突出する平底をもつ形態である。甕(52～55)は畿内第V様式の形態・調整が酷似するが、口縁端部の形態にはつまみ上げる・丸く終わる・外に面をもつものの3形態がみられる。

胎土は在地及び生駒山西麓の胎土をもつもので、割合はほぼ半々である。

S D 321

出土した器種は壺・鉢・高杯・土壙・甕である。壺は形態的特徴から大きく3分類に分けることができる。器壁の厚い手づくねの小形壺(57)・外反する口縁をもつもの(59~62・64・69~71・74)・大きく開く複合口縁をもつもの(58・66・68)などがみられ、これらは畿内第V様式の系譜を引くものである。鉢は突出気味の平底をもつもの(75~78)・屈曲する口縁をもつもの(77~86)などの形態的特徴から大きく7分類が可能である。有孔鉢(91)は底部に円孔を穿しているが、畿内第V様式甕の体部下位の部分と形態・調整が類似している。脚台付鉢(92)は外下方に開く脚部をもつ鉢である。高杯は杯部が椀形(3形状に細部できる)で、脚部は短い柱状部より屈曲して大きく開くもの(93~95)・平坦な杯底部より屈曲し外上方に外反する杯部をもつもの(96)がある。土壙(98~175)は円形の棒状(径1cm位の竹や木など)のものに握り拳ぐらいの粘土を巻き付けて製作したもので、管状形を呈している。胎土は生駒山西麓の胎土で製作している。甕は畿内第V様式の形態的特徴をもつもの(176~237)と口縁部は不明であるが最大径を中位より上位にもつ体部で器壁を薄く仕上げているもの(240)で東部瀬戸内地方にみられる形態によく似ている。また、この遺構の上層から庄内式甕(238・239)の形態をもつ甕2点が出土している。

胎土は在地と生駒山西麓の胎土がほとんどである。これらの遺構から出土した土器は畿内第V様式の土器に位置付けられる資料で、東大阪市北鳥池遺跡の出土土器・柏原市船橋遺跡第9トレンチの出土土器等に類似するものと思われる。八尾市域では成法寺遺跡のSW2・SW3・東郷遺跡第13次調査のSK10・東弓削遺跡の溝状遺構等の出土土器に類例がみられる。しかし、これらの畿内第V様式の土器は庄内式土器の中に混入して出土することがみられるようで、一概に畿内第V様式の土器といえないのが現状である。

古墳時代前期の遺構

S W 1

出土した器種は壺・有孔鉢・甕である。壺(306)・有孔鉢(307)は突出しない平底をもつ底部のみの細片である。甕は畿内第V様式系(308~314)と庄内式(315~328)の形態をもつものに分れるが、畿内第V様式系は体部外面にタタキ後ハケナデを施すものが多い。庄内式の甕は畿内第V様式の系譜を引くように思えるもので、体部外面は底部までみられる粗いタタキ調整や底部に小さな平底が残る。この庄内式の甕は庄内式でも古相に位置づけられるものと考えられる。資料では成法寺遺跡のSW1・東郷遺跡第9次調査のSE2等があげられる。

S D 314

出土した器種は壺・鉢・鼓形器台・甕である。壺は布留式古相にみられる形態的特徴をもつもの(331・335~337)と東海地方(尾張)にみられる形態的特徴をもつもの(338)がある。

鉢（339）は口縁部が二段に屈曲する椀形のもので布留式土器によくみられる特徴のものである。器台（340）は鼓形器台と呼称されている山陰地方に特有の形態的特徴をもつもの。甕は壺の形態をもつもの（332～334）・畿内第V様式系（341～343）・庄内式（342・344）・布留式古相（345～346）の形態的特徴がみられるものがある。

338は朝日遺跡などの東海地方の遺跡に類例がみられる。340は山陰地方で布留式の時期に位置付けている。

S D 315

出土した器種は壺・有孔鉢・甕である。壺は畿内第V様式にみられる壺（348・349）と庄内式にみられる壺（350）のものがある。有孔鉢（351）は畿内第V様式によくみられる形態的特徴をもつ。甕はわずかに畿内第V様式の甕（353）がみられるが、殆どは生駒山西麓の胎土をもつ庄内式甕（353～358）である。

S D 316

出土した器種は壺・鉢・有穿鉢・器台・高杯・製塩土器・甕で、最も出土量が多かった遺構である。壺（359～379）は10分類できる。特徴的なものは底部に小さな窪み底がみられ、最大径を下位にもつ偏平な体部より屈曲し上外方に伸びる口縁部をもつもの（359～361）・体部より屈曲し上外方に（外反して）伸びる口縁部をもつもの（363～367）。そして端部は上下に肥厚して面をもつもの（371・372・376）があり、船橋遺跡などに類似する資料がある。体部より屈曲し上方へ伸びた後屈曲外下方へ伸び、再び屈曲外反する口縁部をもつもの（373～375・377・378）で波状文などの装飾を施すものなどである。鉢は椀形の体部に平底をもち、口縁部は受口状に屈曲するいわゆる畿内第V様式系のもの（380）・椀形の体部よりそのまま口縁部に至るもの（381～383）と口縁部が屈曲し（内彎気味に）上外方するものの（384～393）・偏平な体部より屈曲外反する口縁部に伸び、端部を上方に長く拡張するもの（394）・突出気味の平底をもつ大形の鉢（396）・口縁部が小さく二段屈曲し上外方するもの（395）などで、他地域の形態的特徴がみられ、383は口縁部外面にヨコナデ調整による稜線があるので東部瀬戸内地方の特徴をもつ鉢である。有孔鉢（397）は畿内第V様式の甕の下位体部に酷似した形態的特徴をもつ。器台は受部と脚部の間が貫通するもの（398～404）と貫通しないもの（405～411）に分れる。398は高杯の器形に酷似し、口縁部付近は外面に波状文などの装飾を施している特殊な器台である。高杯は椀形の杯部に裾部が大きく開く低い脚部をもつもの（412～418）・椀形の杯部に小さい脚部をもつもの（419）・椀形の杯部で口縁部に稜線がみられるもの（420）・平坦な杯底部より屈曲外上方に外反する杯部（426～466）と平坦な杯底部より屈曲上外方に短く伸びた後屈曲外上方に伸びるもの（422～424）とがある。甕は畿内第V様式の系譜を引くもの（455～498）・庄内式古相の形態をもつもの（504～781）・型式学的様式をもたない形態をもつもの（499～503）・

他地域の形態的特徴をもつもの（782～797）がある。畿内第V様式系の甕には突出した平底をもつもの（455～458）と突出しない小さい窪み底をもつもの（459～498）とがある。他地域の形態的特徴をもつものは体部より大きく外上方に屈曲する短い口縁部で、端部は上につまみ上げる形態をもつもので東部瀬戸内系の形態的特徴がみられるもの（793）・最大径を中位にもつて体部より大きく屈曲外上方に外反する短い口縁部に伸び、端部は上方へ長くつまみ出し拡張する形態をもつもの（795～797）で岡山県の吉備地方にある酒津式といわれる甕に類似する。

以上、出土した畿内第V様式から布留式を含む各遺構で出土した土器の形態的特徴について簡単に記述してみた。これらの出土した土器は、弥生時代から古墳時代へと移行する時期にあたり、古墳出現の時期に於ける前後を左右する重要な位置を占めるものである。また土器は考古学の上で、社会・経済や人々の生活様式等の歴史を知る一つの尺度で重要な物的証拠としての役割を果たすものであろう。

では、以上の各遺構から出土した土器の結果から判断できることについて箇条書に明記してみる。

- 1、各遺構の器種構成をみると煮沸容器である甕形土器が圧倒的に多く、統いて壺・鉢・高杯等が少量含む。甕は形態的特徴によって畿内第V様式と庄内式と布留式がある。
- 2、甕には（I）畿内第V様式の甕のみを出土する遺構（落ち込み28・落ち込み29・S P 135・S D 321）・（II）畿内第V様式系の甕と庄内式の甕が共存する遺構（S W 1・S D 315・S D 316）・（III）畿内第V様式系の甕と庄内式の甕と布留式の甕が共存する遺構（S D 314）の3形式が認められる。これは（I）→（II）→（III）と時期差があると考えられる。
- 3、土器の胎土に含まれる砂礫の相違で製作地又は粘土の採集地が判断できる。これによると（I）は在地の胎土が圧倒的に多く、生駒山西麓やその他の地域のものはごく少量である。（II）は畿内第V様式系の甕が在地の胎土を多く含み、庄内式の甕が生駒山西麓の胎土を多く含む。（III）は畿内第V様式系の甕が在地の胎土・庄内式の甕は生駒山西麓・布留式の甕は在地又は他地域の胎土である。

以上、今回の調査で得られた。これらの資料はその後の当遺跡の調査でも多量に出土している。今後、これらの資料を積重ねて、他地域の土器の実体究明や土器の細分編年を行うことにより当遺跡の様相を明らかにしていきたい。

参考文献

- 1 小林行雄 「大阪府枚岡市額田町西ノ辻遺跡 I 地点の土器、D・E・H地点」『弥生時代土器集成』資料編 1 1958
- 2 佐原真「畿内地方」『弥生式土器集成』本編 2 1968
- 3 都出比呂志「古墳出現前夜の集団関係—淀川水系を中心にして」『考古学研究』第20巻 4号 1974
- 4 寺沢薰 奈良県教育委員会「大和におけるいわゆる第五様式土器の細別と二・三の問題」『六条山』1980
- 5 大阪府立花園高等学校地歴部「北鳥池遺跡」『河内古代遺跡の研究』 1970
- 6 (財)大阪文化センター「船橋」一大和川環境整備事業柏原地区高水敷整正工事に伴う船橋遺跡試掘調査報告書一 1976
- 7 岡山県教育委員会「旭川放水路(百間川)改修工事に伴う発掘調査 I」岡山県埋蔵文化財発掘調査報告39 1980
- 8 鳥取県教育委員会「鳥取・秋里遺跡 I」 1976
- 9 愛知県教育委員会 編集「朝日遺跡 I (本文篇)」 1982
- 10 大阪府教育委員会「萱振遺跡発掘調査概要 I」一八尾市緑ヶ丘2丁目所在一 1983
- 11 (財)大阪文化センター「美園」—近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書一 1985
- 12 八尾南遺跡調査会「八尾南遺跡」一大阪市電気軌道2号線建設に伴う発掘調査報告書一 1981
- 13 米田敏幸・奥田尚「土器の胎土分析について」『古代学研究』第99巻 1983
- 14 八尾市教育委員会「東郷遺跡」『八尾市埋蔵文化財発掘調査概報 1980・1981年度』 1983
- 15 八尾市教育委員会「成法寺遺跡」一八尾市光南町1丁目29番地の調査一 1983
- 16 (財)八尾市文化財調査研究会「弓削遺跡(第1次調査)」『昭和59年度事業概要報告』 (財)八尾市文化財調査研究会報告 7 1985
- 17 (財)八尾市文化財調査研究会「小阪合遺跡(第3次調査)」『昭和58年度事業報告』 (財)八尾市文化財調査研究会 6 1985
- 18 八尾市教育委員会「東郷遺跡」『八尾市埋蔵文化財発掘調査概報 1980・1981年度』 1983

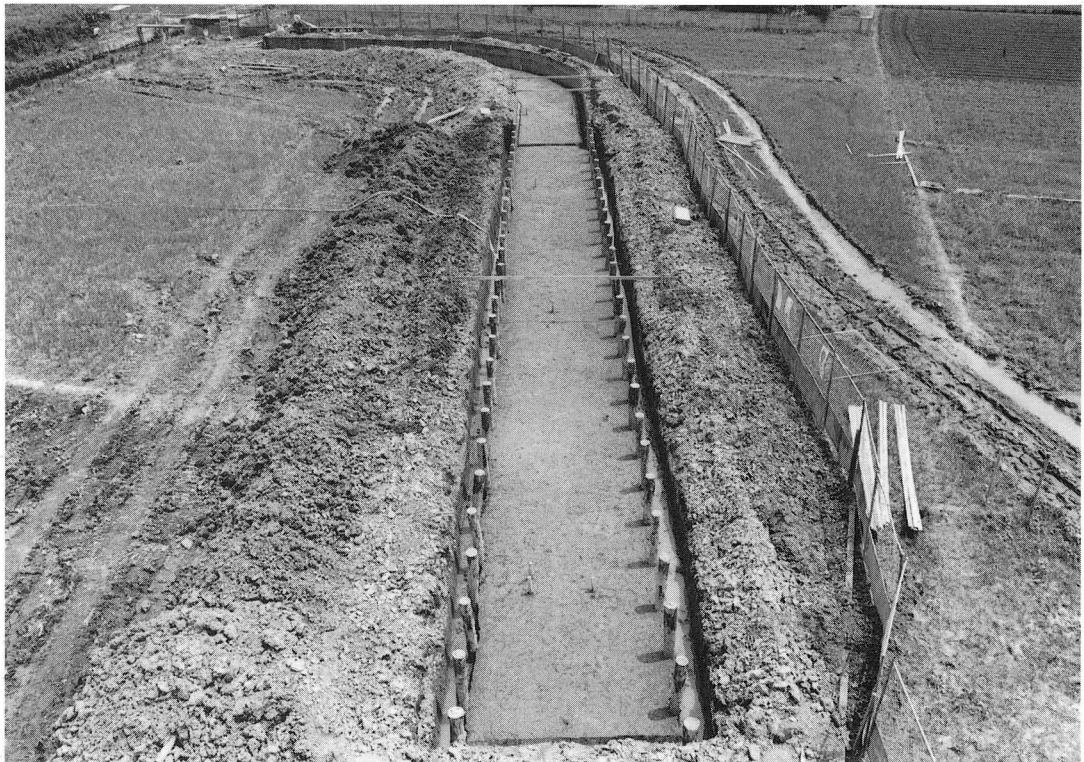
図 版



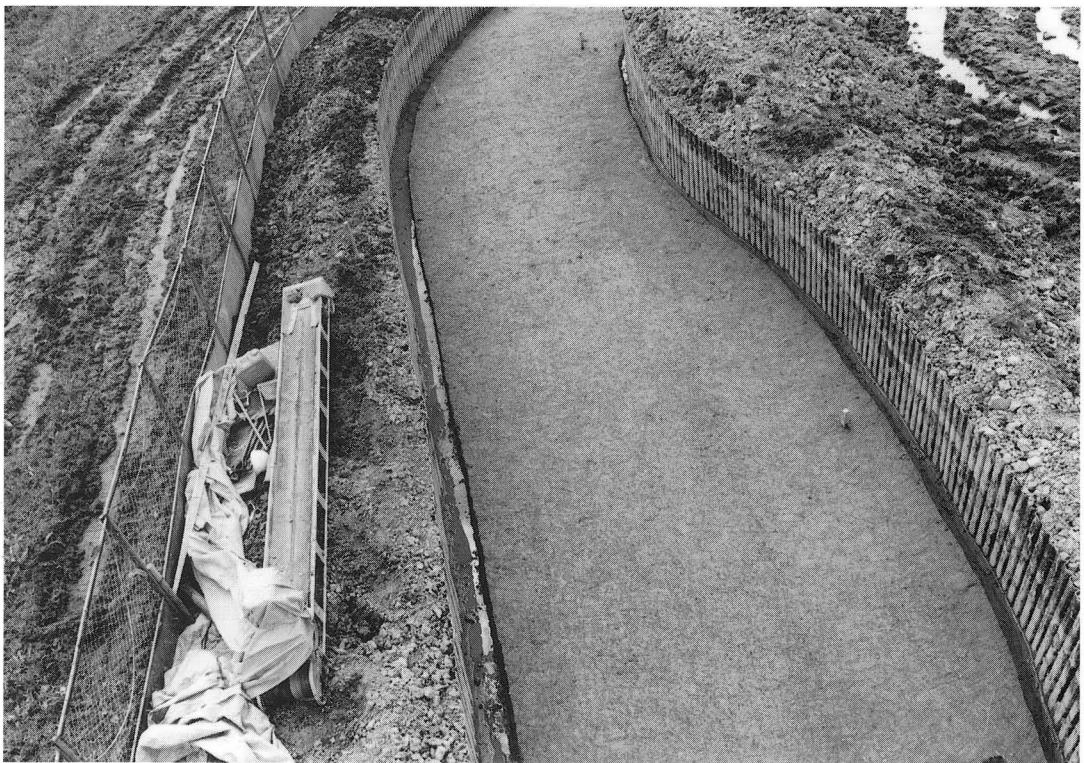
1. K—I地区全景（南より）



2. K—II地区全景（南より）



1. K-III地区全景（北より）



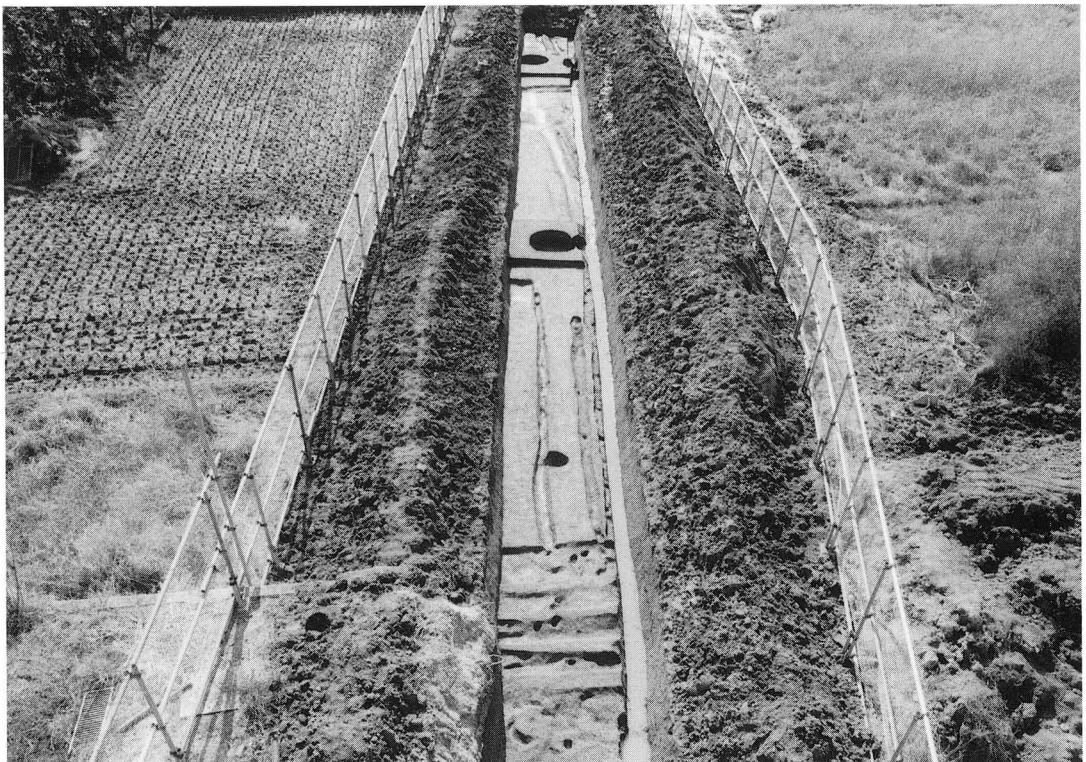
2. K-IV地区全景（東より）



1. 22 o～q 地区第1調査面（東より）



2. 22 o～q 地区第2・3調査面（東より）



1. 23 a～d 地区第1調査面（北より）



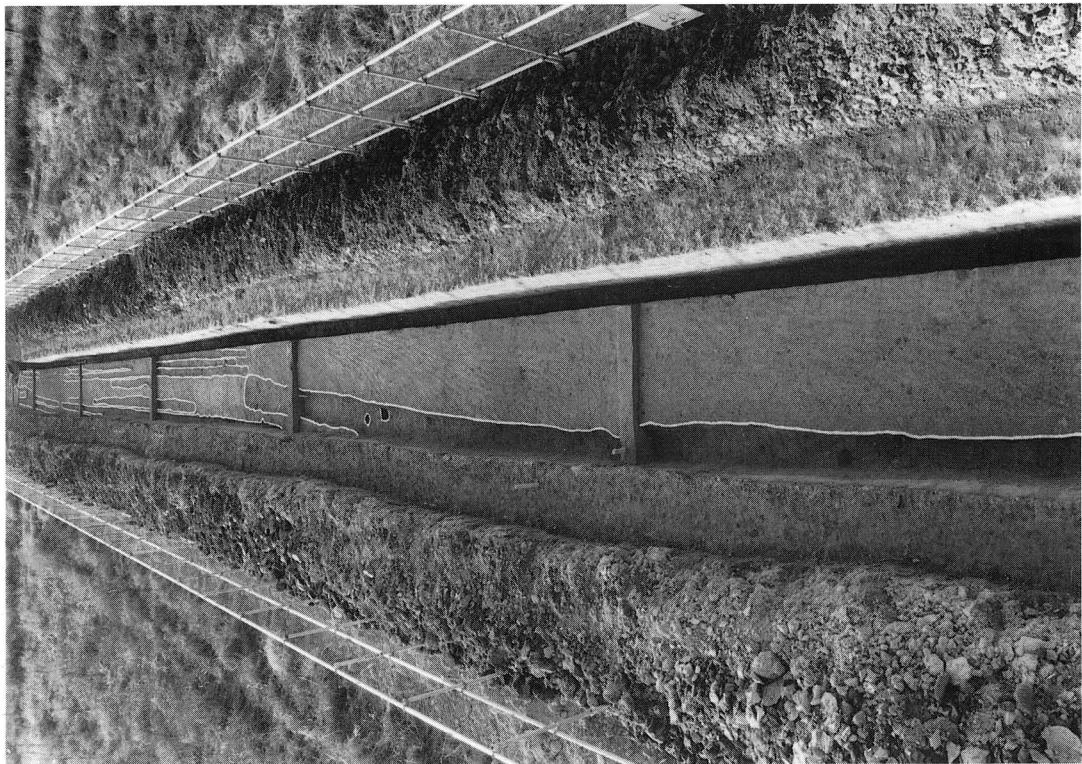
2. 23 i～n 地区第2・3調査面（南より）



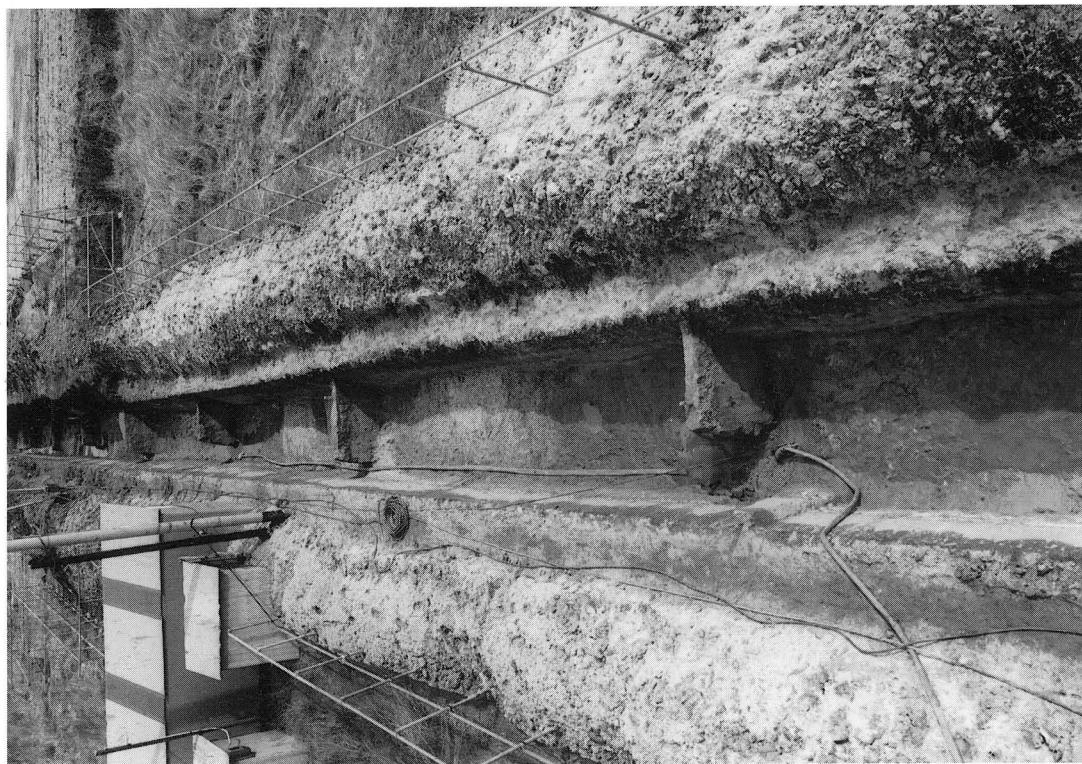
1. 24—1 a～d 地区第1調査面（西より）



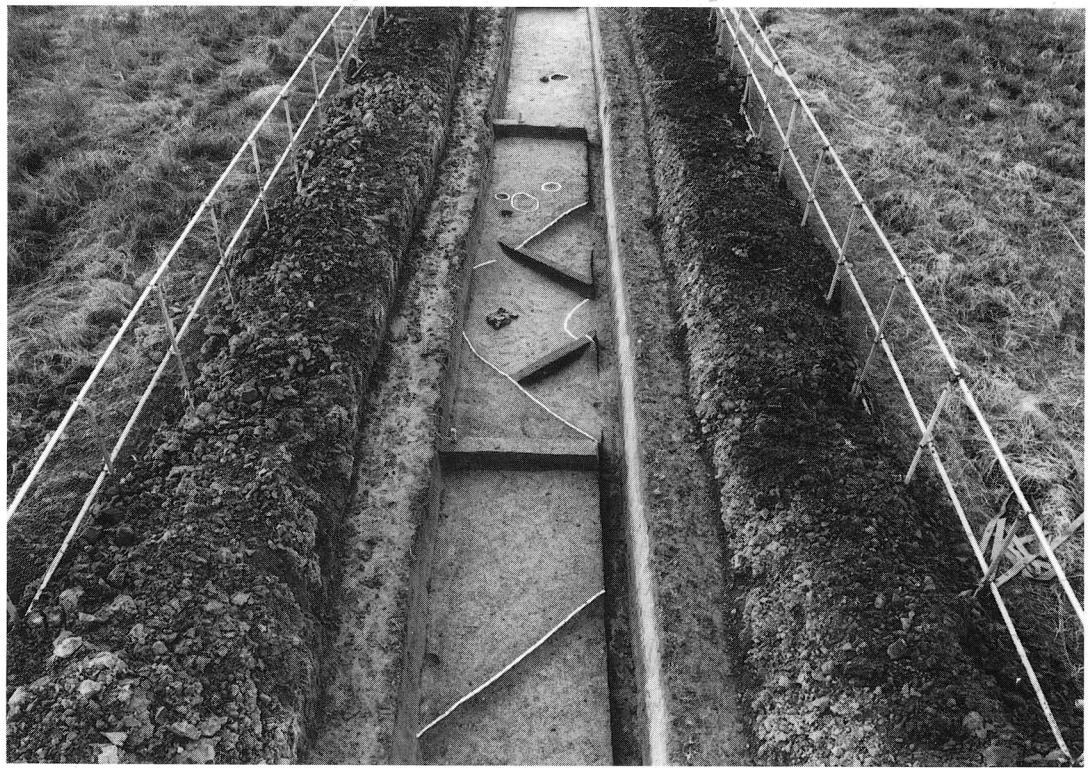
2. 24—1 e～j 地区第1調査面（西より）



1. 24—1 k～o 地区第1調査面（東より）



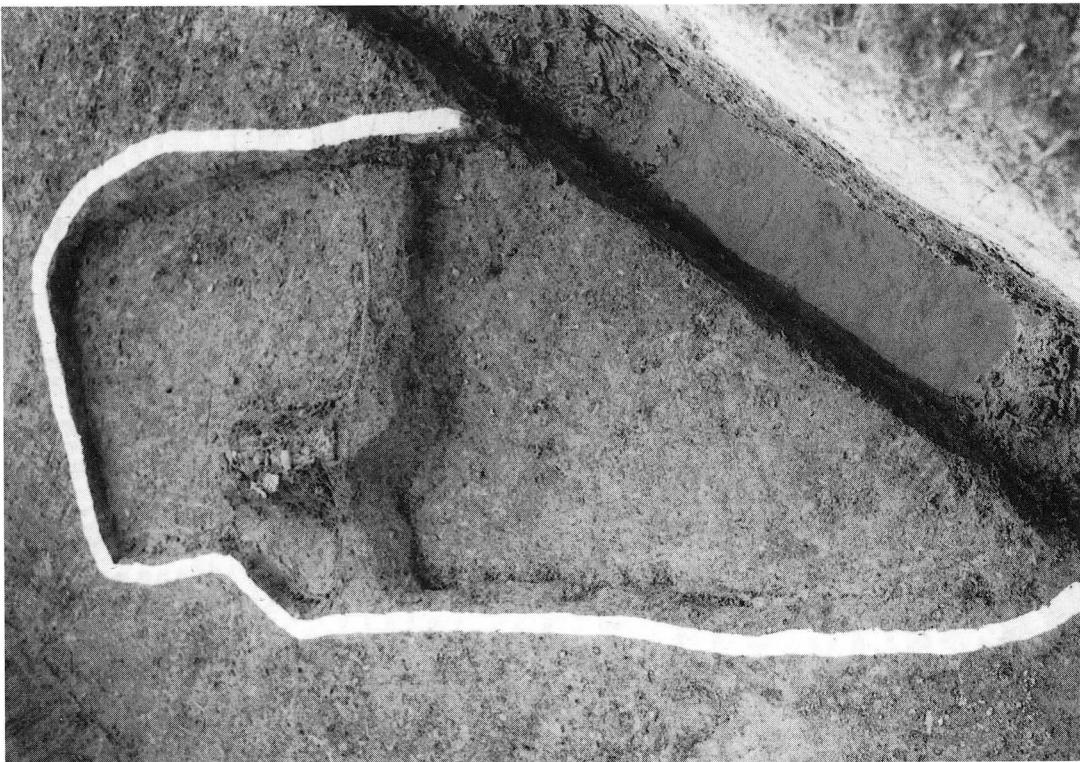
2. 24—1 a～g 地区第2調査面（西より）



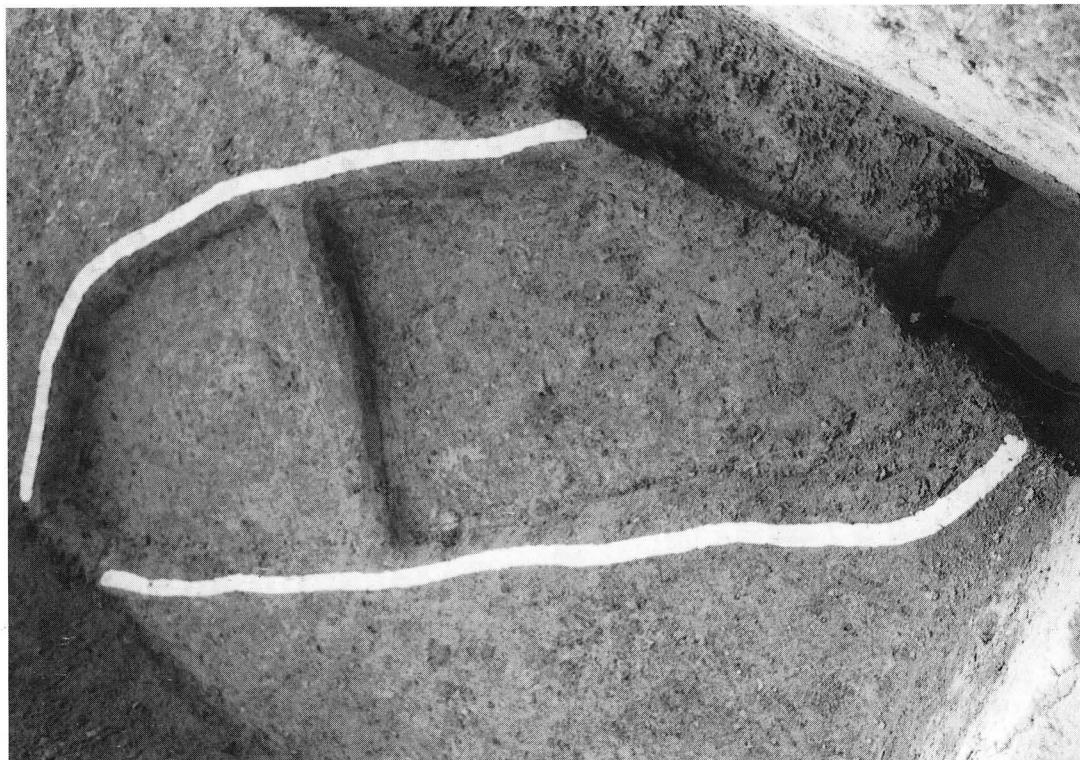
1. 24-1 m~o 地区第2調査面（東より）



2. 24-1 k~o 地区第3調査面（東より）



1. 24-1 I 地区 S K52 (北東より)



2. 24-1 I 地区 S K53 (北東より)